

平成26年度

香 川 県

歯の健康と医療費に関する実態調査
報告書

平成27年3月

香川県

公益社団法人 香川県歯科医師会

共同研究 監修：香川大学教授 真鍋芳樹
協力 香川県国民健康保険団体連合会
香川県後期高齢者医療広域連合

目 次

I 平成26年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費	1
一 調査の概要	1
1 調査の対象	1
2 現在歯数、歯周病の程度、咬合の状態、歯科健診受診頻度の調査方法	1
二 調査・分析結果	3
A 平成26年5月歯科受診者の属性	3
(1) 性別・年齢階級別の構成	3
(2) 対象者の現在歯数の状況	3
2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数	3
2-2 年齢階級別現在歯数状況	4
(3) 対象者の歯周病の状況	5
3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数	5
3-2 年齢階級別歯周病の状況	5
(4) 対象者の咬合の状態	6
4-1 年齢階級別咬合の状態別人数	6
(5) 対象者の歯科健診受診頻度の状況	7
5-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数	7
B 平成26年5月に歯科を受診し、平成25年5,8,11,平成26年2月に受診した者の状況	8
1 分析対象者および分析方法	8
2 分析項目	8
3 分析結果	10
(1) 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況	10
現在歯数別日数	10
歯周病の程度別日数	11
咬合の状態別日数	12
歯科健診受診頻度別日数	13
現在歯数別診療費	14
歯周病の程度別診療費	16
咬合の状態別診療費	18
歯科健診受診頻度別診療費	20
(2) 19分類疾病別の分析	22
現在歯数別19分類疾病別日数	22
歯周病の程度別19分類疾病別日数	23
咬合の状態別19分類疾病別日数	24
歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数	25
現在歯数別19分類疾病別診療費	26
歯周病の程度別19分類疾病別診療費	27
咬合の状態別19分類疾病別診療費	28
歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費	29
(3) 要疾病別分析	30
悪性新生物	30
虚血性心疾患	34
脳血管疾患	38
糖尿病	42

高血圧性疾患	46
動脈硬化症	50
肺炎	54
歯の疾患	58
(4) 生活習慣病に関する分析	62
まとめ・考察(Ⅰ)	69
Ⅱ 平成25年度特定健診受診者の特定健診結果	72
一 調査の概要	72
1 分析対象者および分析方法	72
二 調査・分析結果	73
A 平成25年度特定健診受診者の属性	73
(1) 性別・年齢階級別の構成	73
(2) 対象者の歯科階層化判定の状況	73
(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況	74
(4) 対象者の歯科質問項目5×7回答の状況	75
B 平成25年度特定健診受診者の特定健診結果の状況	76
(1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目1回答別、特定健診結果の状況	76
1-1 歯科階層化判定別 BMI	76
1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI	77
1-3 歯科質問項目5×7回答別 BMI	78
1-4 歯科階層化判定別 腹囲	79
1-5 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)	80
1-6 歯科質問項目5×7回答別 腹囲	81
1-7 歯科階層化判定別 HbA1c	88
1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c	83
1-9 歯科質問項目5×7回答別 HbA1c	84
1-10 歯科階層化判定別 尿糖	85
1-11 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖	86
1-12 歯科質問項目5×7 尿糖	87
1-13 歯科階層化判定別 喫煙	88
1-14 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙	89
1-15 歯科質問項目5×7回答別 喫煙	90
1-16 歯科階層化判定別 メタボ判定区分	91
1-17 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分	92
1-18 歯科質問項目5×7回答別 メタボ判定区分	93
まとめ・考察(Ⅱ)	94
Ⅲ 平成25年度特定健診受診者のうち平成25年 5, 8, 11, 平成26年 2 月に受診した者の状況 ..	96
一 調査の概要	96
1 分析対象者および分析方法	96
2 分析項目	96
二 調査・分析結果	97
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別	
一人あたり日数・診療費の状況	97
1-1 歯科階層化判定別日数	97
1-2 歯科階層化判定別診療費	98
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別	
一人あたり日数・診療費の状況	99

2-1 歯科質問項目1別日数	99
2-2 歯科質問項目1別診療費	100
(3) 歯科質問項目5×7回答別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況	101
3-1 歯科質問項目5×7回答別日数	101
3-2 歯科質問項目5×7別診療費	102
(4) 主要疾病別分析	103
悪性新生物	103
虚血性心疾患	106
脳血管疾患	109
糖尿病	112
高血圧性疾患	115
動脈硬化症	118
肺炎	121
歯の疾患	124
(5) 生活習慣病に関する分析	127
まとめ・考察(Ⅲ)	130
IV 平成25年度特定健診受診者のうち平成26年5月に歯科を受診した者の状況	132
一 調査の概要	132
1 分析対象者および分析方法	132
二 調査・分析結果	133
A 特定健診の歯科質問項目と現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・ 歯科健診受診頻度の状況	133
(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、残存歯数・歯周病の程度・ 咬合の状態・歯科健診受診頻度の状況	133
1-1 歯科階層化判定別現在歯数	133
1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度	134
1-3 歯科階層化判定別咬合の状態	135
1-4 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度	136
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別、現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・ 歯科健診受診頻度の状況	137
2-1 歯科質問項目1別現在歯数	137
2-2 歯科質問項目1別歯周病の程度	138
2-3 歯科質問項目1別咬合の状態	139
2-4 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度	140
(3) 歯科質問項目5×7別、現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・ 歯科健診受診頻度の状況	141
3-1 歯科質問項目5×7別現在歯数	141
3-2 歯科質問項目5×7別歯周病の程度	142
3-3 歯科質問項目5×7別咬合の状態	143
3-4 歯科質問項目5×7別歯科健診受診頻度	144
B 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度と 特定健診の検査結果の状況	145
(1) 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度とHbA1c	145
1-1 現在歯数とHbA1c	145
1-2 歯周病の程度とHbA1c	146
1-3 咬合の状態とHbA1c	147
1-4 歯科健診受診頻度とHbA1c	148
まとめ・考察(Ⅳ)	149

V 訪問歯科診療受診者 調査・分析結果	152
A 平成26年5月訪問歯科診療受診者の属性	152
(1) 性別・年齢階級別の構成	152
(2) 訪問歯科診療対象者の残存歯数の状況	152
2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数	152
2-2 年齢階級別現在歯数状況	153
(3) 対象者の歯周病の状況	154
3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数	154
(4) 対象者の咬合の状態	155
4-1 年齢階級別咬合の状態別人数	155
B 平成 26 年 5 月に歯科を受診し、平成 25 年 5、8、11、平成 26 年 2 月に受診した者の状況 ..	156
1 分析対象者および分析方法	156
2 分析項目	156
3 分析結果	157
(1) 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別 一人あたり日数・診療費の状況	157
現在歯数別日数	157
歯周病の程度別日数	158
咬合の状態別日数	159
現在歯数別診療費	160
歯周病の程度別診療費	161
咬合の状態別診療費	162
(2) 19 分類疾病別の分析	163
現在歯数別19分類疾病別日数	163
歯周病の程度別19分類疾病別日数	164
咬合の状態別19分類疾病別日数	165
現在歯数別19分類疾病別診療費	166
歯周病の程度別19分類疾病別診療費	167
咬合の状態別19分類疾病別診療費	168
まとめ・考察(V)	169

I 平成26年5月歯科受診者の受診前1年間の1人あたり日数・医療費

一 調査の概要

1 調査の対象

平成26年5月末日時点で香川県内の40歳以上の国民健康保険被保険者あるいは後期高齢者医療被保険者で、同月中に歯科を受診した者を調査対象とした。

分析は以下の視点で行った。なお分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、受診者1人あたりの諸数値を求めた。なお、個人コードは完全に数値化され、個人名等の特定は不可能な状態で分析を行った。

(A) 香川県歯科医師会会員の調査協力を得て、平成26年5月に歯科を受診した40歳以上の国民健康保険あるいは後期高齢者医療の被保険者を対象に調査した現在歯数と歯周病の程度、咬合の状態、歯科健診受診頻度を基に、これらの状況を分析した。咬合の状態は今年度新たに調査項目に加えた。

(B) 香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成25年5月、8月、11月、平成26年2月診療分のレセプト(これらは疾病分類を行っている)を入手し、上記歯科受診者と突合を行い、歯科受診前約1年間の医科(入院・入院外)・歯科・調剤の日数・診療費及び19分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患等主要疾病、生活習慣病の日数・診療費と現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度との関連を分析した。

以下の表に分析対象としたレセプト数(調剤を含む)と名寄せ人数等を示す。

平成26年5月診療分の歯科 〔(A)の視点の分析〕	レセプト数	15,544 件
平成26年5月に歯科受診者で、 平成25年5, 8, 11, 平成26年2月(病類月)診療分 〔(B)の視点の分析〕	レセプト数	147,922 件
	医 入院レセプト	1,933 件
	科 外来レセプト	76,359 件
	歯科レセプト	23,551 件
	調剤レセプト	46,079 件
	名寄せ人数	14,668 人
	歯科受診者の	94.4%

2 現在歯数、歯周病の程度、咬合の状態、歯科健診受診頻度の調査方法

① 現在歯数は、智歯は含み、C4は除外した。

現在歯数を基に「0～4 歯」「5～9 歯」「10～14 歯」「15 歯～19 歯」「20 歯以上」の5分類で分析した。

② 歯周病の程度は、抜歯部位以外の最も重症な部位について、下の判定表を参考に、歯槽骨の吸収程度(X線撮影)、歯周ポケットの深さ、歯の動揺度(Miller分類)、根分岐部病変(Lindhe分類)などを総合的に考慮して4段階に分類した。

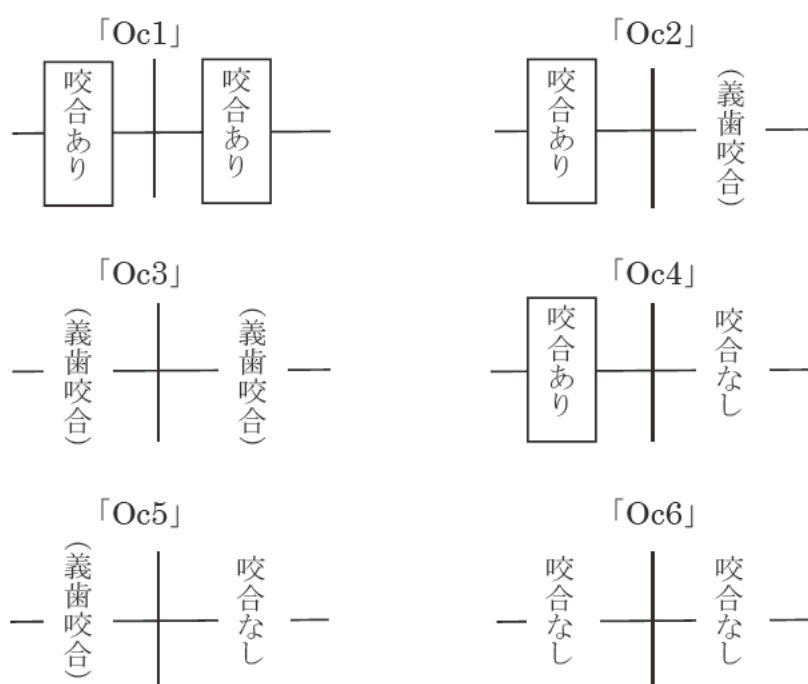
歯周病のないものはP-を記載し、軽度P1、中程度P2、重度P3と記載した。現在歯数がないものは歯周病の程度は記載せず、集計時に無歯とし、P-～P3ならびに無歯の5分類で分析した。

歯周病	ポケット	歯の動揺	骨吸収(歯根長の)	根分岐病変
軽度「P1」	3～5mm	0～1度	1/3 以下	なし
中等度「P2」	4～7mm	1～2 度	1/3～1/2	軽度
重度「P3」	6mm以上	2～3 度	1/2 以上	2～3 度

- ③ 咬合の状態は、臼歯部の咬合支持状態を左右両側において、現在歯による咬合、可撤性義歯による咬合、咬合していないものに分類し、「Oc1」は左右両側とも現在歯による臼歯部咬合があるもの、「Oc2」は片側は現在歯による臼歯部咬合があり片側は義歯による臼歯部咬合があるもの、「Oc3」は左右両側とも義歯による臼歯部咬合があるもの、「Oc4」は片側は現在歯による臼歯部咬合があり片側は現在歯でも義歯でも咬合がないもの、「Oc5」は片側は義歯による臼歯部咬合があり片側は現在歯でも義歯でも臼歯部咬合がないもの、「Oc6」は両側とも臼歯部咬合がないものの6段階に分類した。

尚、現在歯による咬合とは、臼歯部1歯でも咬合支持があれば現在歯による咬合とし、ブリッジによる咬合も含めた。また義歯を入れている場合でも、義歯を外しても現在歯のみで咬合があれば現在歯による咬合とした。

義歯による咬合とは、義歯を入れると咬合しているが、義歯を外すと咬合支持がない状態で義歯は、概ね常時使用している義歯で、常時使用していない場合は義歯はないものとした。咬合なしとは、上下の歯がかみ合わず咬合支持がないもので、臼歯部に歯があっても咬合していなければ咬合なしとした。



- ④ 歯科健診受診頻度は、平成25年6月～平成26年5月に歯科健診を受診した回数を記載した。歯科健診とは、治療目的ではなく歯の健康維持のため歯科医院等で口腔内診査を受け、状況に応じて指導やPMTTC等のメンテナンスを行っていることで、歯周治療終了後のSPTも含めた。また、1回の歯科健診で、一連の処置等により複数の受診日数がある場合でも、歯科健診の回数としては1回と数えた。

二 調査・分析結果

A 平成 26 年 5 月歯科受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった歯科受診者 15,544 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40 歳 代	257	4.0%	321	3.5%
50 歳 代	380	5.9%	514	5.7%
60-64 歳	592	9.2%	948	10.4%
65-69 歳	1,187	18.4%	1,579	17.4%
70-74 歳	1,379	21.4%	1,706	18.8%
75-79 歳	1,157	17.9%	1,611	17.7%
80 歳 以上	1,495	23.2%	2,418	26.6%
合 計	6,447	100.0%	9,097	100.0%

(2) 対象者の残存歯数の状況

2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数

年齢階級別現在歯数について人数ならびに割合を表 A-2-1 および図 A-2-1 に示す。

40 歳代では 0-4 歯が 0.2%、20 歯以上が 94.1%であるのに対して、80 歳以上では 0-4 歯が 22.3%、20 歯以上が 33.0%と年齢が高くなるにつれて、現在歯数が減少していた。

表 A-2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数

年齢階級	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上	総数
40 歳 代	1	5	11	17	544	578
50 歳 代	14	25	32	73	750	894
60-64 歳	31	55	95	158	1,201	1,540
65-69 歳	88	159	207	381	1,931	2,766
70-74 歳	162	204	300	447	1,972	3,085
75-79 歳	258	281	357	470	1,402	2,768
80 歳 以上	872	602	573	574	1,292	3,913
合 計	1,426	1,331	1,575	2,120	9,092	15,544
40 歳 代	0.2%	0.9%	1.9%	2.9%	94.1%	100.0%
50 歳 代	1.6%	2.8%	3.6%	8.2%	83.9%	100.0%
60-64 歳	2.0%	3.6%	6.2%	10.3%	78.0%	100.0%
65-69 歳	3.2%	5.7%	7.5%	13.8%	69.8%	100.0%
70-74 歳	5.3%	6.6%	9.7%	14.5%	63.9%	100.0%
75-79 歳	9.3%	10.2%	12.9%	17.0%	50.7%	100.0%
80 歳 以上	22.3%	15.4%	14.6%	14.7%	33.0%	100.0%
合 計	9.2%	8.6%	10.1%	13.6%	58.5%	100.0%

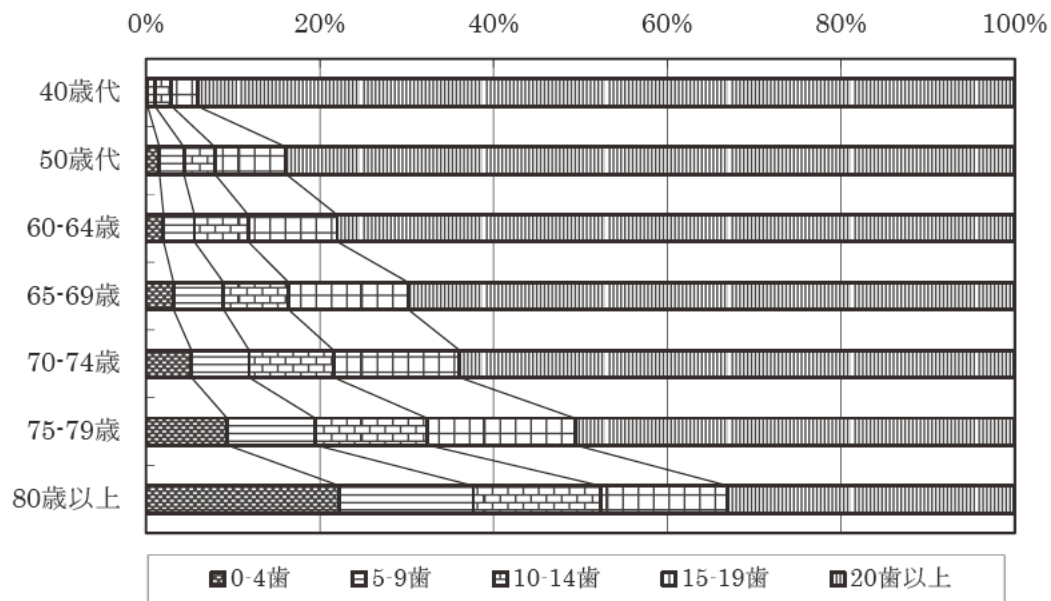


図 A-2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数の割合

2-2 年齢階級別現在歯数状況

対象者のうち 80 歳以上(3,913 人)の平均現在歯数は 13.6 本で、20 歯以上(8020 達成者)は 1,292 人(33.0%)であった。80 歳以上の平均現在歯数は、平成 17 年 2 月調査では 10.6 本、平成 19 年 2 月調査では 11.7 本、平成 20 年 5 月調査では 12.5 本、平成 21 年 5 月調査では 11.8 本、平成 22 年 5 月調査では 12.6 本、平成 23 年 5 月調査では 14.4 本、平成 24 年 5 月調査では 13.4 本、平成 25 年 5 月調査では 13.6 本であったが、今回の調査では 13.6 本で、昨年と同じであった。また 80 歳以上で 20 歯以上の割合は、平成 17 年 2 月調査では 19.7%、平成 19 年 2 月調査では 22.7%、平成 20 年 5 月調査では 24.9%、平成 21 年 5 月調査では 24.8%、平成 22 年 5 月調査では 27.0%、平成 23 年 5 月調査では 31.1%、平成 24 年 5 月調査では 30.3%、平成 25 年 5 月調査では 32.8%であったが、今回の調査では 33.0%となり、さらに増加した。

79 歳以下の年齢階級においても、平均現在歯が 20 歯以上の割合は 60 歳以上の年齢階級で昨年より増加し、全体的にも着実に改善されている。

表 A-2-2 年齢階級別現在歯数状況

年齢	人数	平均 現在歯数	最小値	最大値	人数		割合	
					0-19歯	20歯以上	0-19歯	20歯以上
40 歳 代	578	26.4	4	32	34	544	5.9%	94.1%
50 歳 代	894	24.2	0	32	144	750	16.1%	83.9%
60-64 歳	1,540	22.8	0	32	339	1,201	22.0%	78.0%
65-69 歳	2,766	21.5	0	32	835	1,931	30.2%	69.8%
70-74 歳	3,085	20.3	0	32	1,113	1,972	36.1%	63.9%
75-79 歳	2,768	17.9	0	32	1,366	1,402	49.3%	50.7%
80 歳 以上	3,913	13.6	0	32	2,621	1,292	67.0%	33.0%
合 計	15,544	19.1	0	32	6,452	9,092	41.5%	58.5%

(3) 対象者の歯周病の状況

3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級別歯周病の程度について人数ならびに割合を表 A-3-1 および図 A-3-1 に示す。

表 A-3-1 の下段には無歯を除いた者のうちの P- ～P3 の割合を示している。

40 歳代では P1 (軽度) が 53.8%、P3 (重度) が 13.0%であるのに対して、80 歳以上では P1 が 26.2%、P3 が 21.0%と年齢が高くなるにつれて、歯周病の程度が重症になっていた。

表 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級	P-	P1	P2	P3	P1～P3(再掲)	無歯	総数
40 歳代	2	311	190	75	576	0	578
50 歳代	0	384	364	142	890	4	894
60-64 歳	0	542	716	270	1,528	12	1,540
65-69 歳	0	938	1,282	520	2,740	26	2,766
70-74 歳	0	914	1,549	557	3,020	65	3,085
75-79 歳	0	755	1,402	496	2,653	115	2,768
80 歳以上	0	908	1,832	728	3,468	445	3,913
合 計	2	4,752	7,335	2,788	14,875	667	15,544
40 歳代	0.3%	53.8%	32.9%	13.0%	99.7%		
50 歳代	0.0%	43.1%	40.9%	16.0%	100.0%		
60-64 歳	0.0%	35.5%	46.9%	17.7%	100.0%		
65-69 歳	0.0%	34.2%	46.8%	19.0%	100.0%		
70-74 歳	0.0%	30.3%	51.3%	18.4%	100.0%		
75-79 歳	0.0%	28.5%	52.8%	18.7%	100.0%		
80 歳以上	0.0%	26.2%	52.8%	21.0%	100.0%		
合 計	0.0%	31.9%	49.3%	18.7%	100.0%		

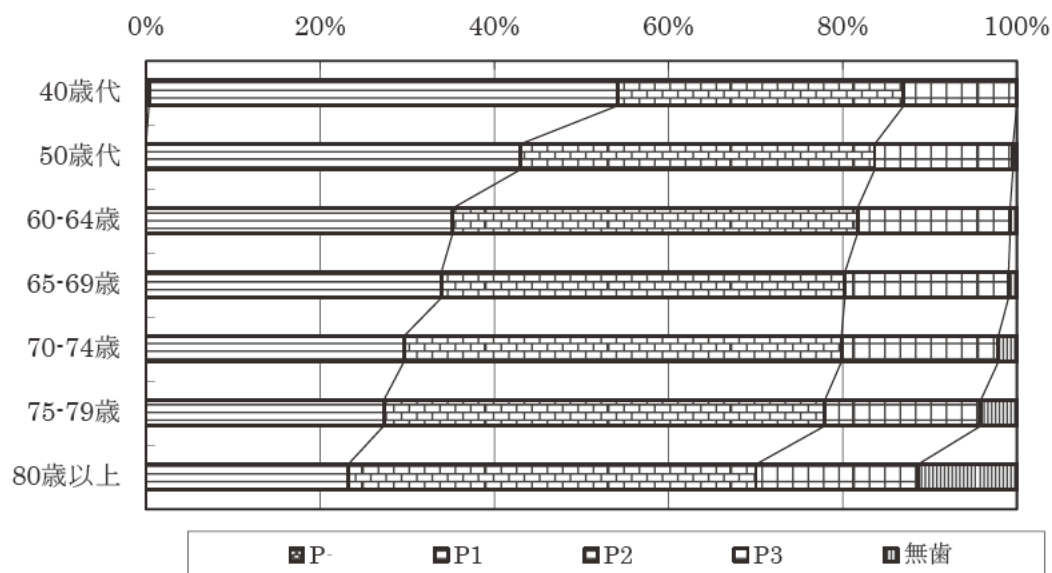


図 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別割合

3-2 年齢階級別歯周病の状況

有歯者のうち何らかの歯周病がある者(P1～P3)は、全ての年齢階級で、99%以上とほぼすべての人に歯周病があった。年齢階級別歯周病の程度別割合は、昨年と比較して全体的に P1 の割合が増加し、P2～P3 の割合が減少し、歯周病の状態は改善されていた。

(4) 対象者の咬合の状態

4-1 年齢階級別咬合の状態別人数

年齢階級別咬合の状態について人数ならびに割合を表 A-4-1 および図 A-4-1 に示す。

40 歳代では Oc1 が 93.4%、Oc3 が 3.3%、Oc6 が 0.5%であるのに対して、80 歳以上で Oc1 が 32.6%、Oc3 が 46.3%、Oc6 が 5.7%と年齢が高くなるにつれて、現在歯による臼歯部咬合が減少し、義歯による咬合や咬合なしが増加していた。

表 A-4-1 年齢階級別咬合の状態別人数

年齢階級	Oc1	Oc2	Oc3	Oc4	Oc5	Oc6	総数
40 歳 代	536	12	19	4	0	3	574
50 歳 代	741	45	62	17	5	18	888
60-64 歳	1,174	126	173	35	9	17	1,534
65-69 歳	1,877	274	492	49	19	41	2,752
70-74 歳	1,946	327	690	56	13	43	3,075
75-79 歳	1,366	364	908	49	22	50	2,759
80 歳 以上	1,270	474	1,802	89	36	220	3,891
合 計	8,910	1,622	4,146	299	104	392	15,473
40 歳 代	93.4%	2.1%	3.3%	0.7%	0.0%	0.5%	100.0%
50 歳 代	83.4%	5.1%	7.0%	1.9%	0.6%	2.0%	100.0%
60-64 歳	76.5%	8.2%	11.3%	2.3%	0.6%	1.1%	100.0%
65-69 歳	68.2%	10.0%	17.9%	1.8%	0.7%	1.5%	100.0%
70-74 歳	63.3%	10.6%	22.4%	1.8%	0.4%	1.4%	100.0%
75-79 歳	49.5%	13.2%	32.9%	1.8%	0.8%	1.8%	100.0%
80 歳 以上	32.6%	12.2%	46.3%	2.3%	0.9%	5.7%	100.0%
合 計	57.6%	10.5%	26.8%	1.9%	0.7%	2.5%	100.0%

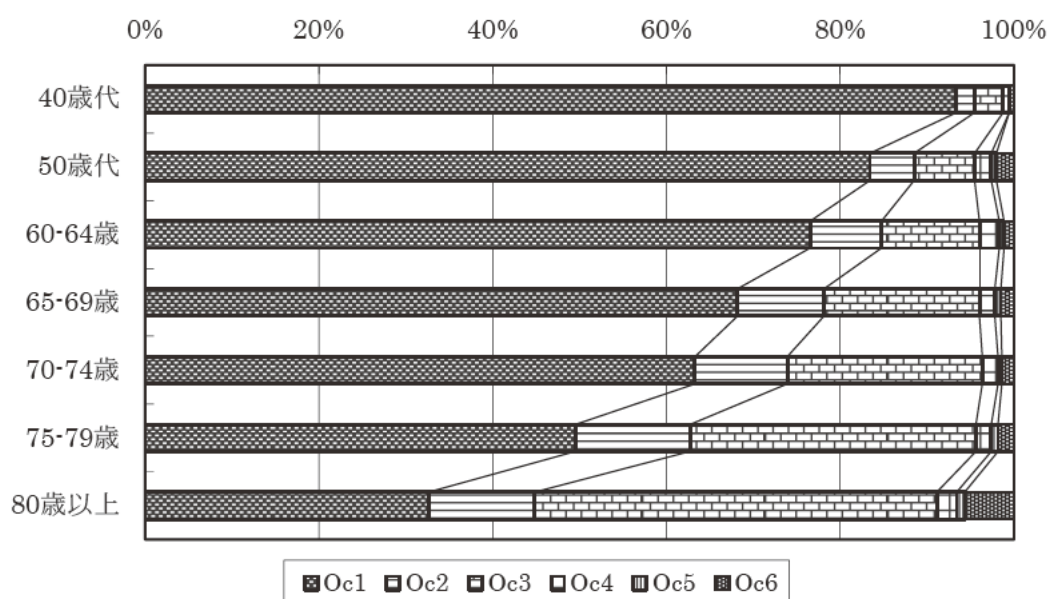


図 A-4-1 年齢階級別咬合の状態別割合

(5) 対象者の歯科健診受診頻度の状況

5-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級別歯科健診受診頻度について人数ならびに割合を表 A-5-1 および図 A-5-1 に示す。歯科健診を受診していない人の割合は 70-74 歳の年齢階級が 47.1%と最も少なく、40 歳代が 65.4%で最も多かった。歯科健診を受診する人の割合は、60-74 歳が高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて、少しずつ減少していた。

歯科健診を受診している人の割合は、平成 21 年が 37.5%、平成 22 年が 39.7%、平成 23 年が 41.1%、平成 24 年が 43.3%と年々増加し、平成 25 年は 41.9%と減少したが、今回は 45.9%と大きく増加し、過去最高となった。

表 A-5-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別人数

年齢階級	0回	1回	2回	3回以上	総数
40 歳 代	378	82	42	76	578
50 歳 代	515	120	78	181	894
60-64 歳	778	260	152	350	1,540
65-69 歳	1,373	405	266	722	2,766
70-74 歳	1,453	486	312	834	3,085
75-79 歳	1,429	429	232	678	2,768
80 歳 以上	2,491	442	293	687	3,913
合 計	8,417	2,224	1,375	3,528	15,544
40 歳 代	65.4%	14.2%	7.3%	13.1%	100.0%
50 歳 代	57.6%	13.4%	8.7%	20.2%	100.0%
60-64 歳	50.5%	16.9%	9.9%	22.7%	100.0%
65-69 歳	49.6%	14.6%	9.6%	26.1%	100.0%
70-74 歳	47.1%	15.8%	10.1%	27.0%	100.0%
75-79 歳	51.6%	15.5%	8.4%	24.5%	100.0%
80 歳 以上	63.7%	11.3%	7.5%	17.6%	100.0%
合 計	54.1%	14.3%	8.8%	22.7%	100.0%

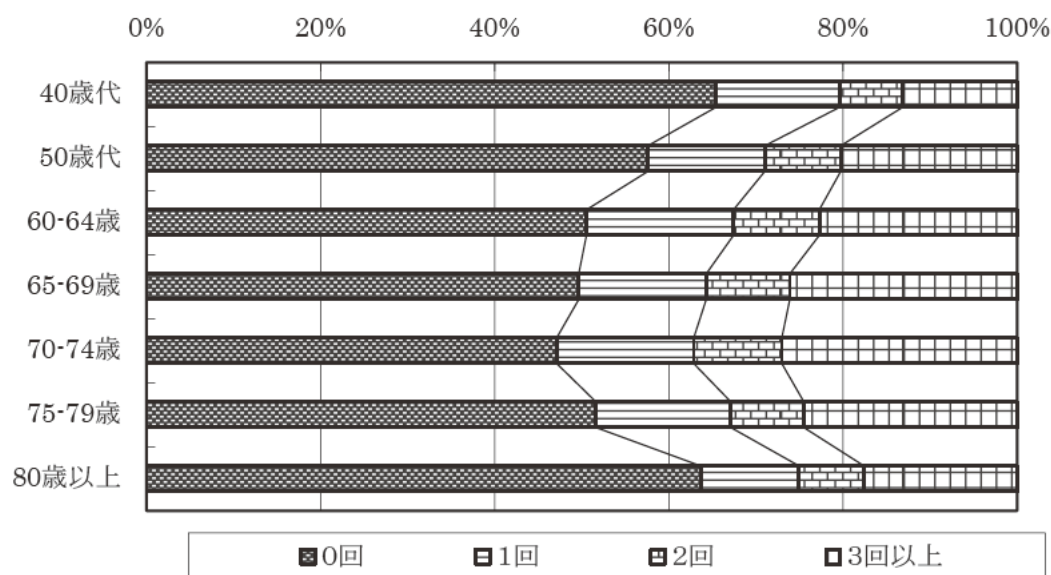


図 A-5-1 年齢階級別歯科健診受診頻度別割合

B 平成 26 年 5 月に歯科を受診し、平成 25 年 5, 8, 11, 平成 26 年 2 月に受診した者の状況

1 分析対象者および分析方法

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、この 4 か月分のレセプトを用いて以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 疾病 19 分類

疾病 19 分類に調剤を加えた 20 分類で分析した。

下表に 19 分類名および本報告書での表記について記した。

疾病 19 分類+調剤	本報告での表記	対象者(人)
調剤	0_調剤	11,349
感染症及び寄生虫症	1_感染症	1,126
新生物	2_新生物	1,492
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3_血液・免疫	108
内分泌、栄養及び代謝疾患	4_内分泌	2,794
精神及び行動の障害	5_精神	816
神経系の疾患	6_神経系	1,031
眼及び付属器の疾患	7_眼	3,628
耳及び乳様突起の疾患	8_耳	775
循環器系の疾患	9_循環器系	5,750
呼吸器系の疾患	10_呼吸器系	2,180
消化器系の疾患	11_消化器系	11,137
皮膚及び皮下組織の疾患	12_皮膚	1,945
筋骨格系及び結合組織の疾患	13_筋骨格系	4,252
尿路性器系の疾患	14_尿路性器系	1,243
妊娠、分娩及び産じょく	15_妊娠分娩	1
周産期に発生した病態	16_周産期	0
先天奇形、変形及び染色体異常	17_先天奇形	62
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18_症状・徴候	1,385
損傷、中毒及びその他の外因の影響	19_損傷・中毒	1,857

なお、15_妊娠分娩、16_周産期は該当が少数あるいは 0 だったため分析から除外した。

(3) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病として分析した。

主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	1,190
虚血性心疾患	560
脳血管疾患	808
糖尿病	1,294
高血圧性疾患	3,982
動脈硬化症	70
肺炎	71
歯の疾患	10,320

(4) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物 虚血性心疾患 脳血管疾患
糖尿病 高血圧性疾患

生活習慣病で受診した者は 6,962 人(47.5%)であった。

現在歯数、歯周病の程度、咬合の状態、受療状況等は年齢にも大きく依存するため、主要疾病と生活習慣病の分析では、年齢階級別に分析した。

3 分析結果

(1) 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

現在歯数別日数(一人あたり1年間、日)

全体の平均日数は医科 40.5 日で、歯科の 14.0 日に比べて 26.5 日長くなっていた。また、調剤は 17.4 日で歯科よりも多くなっていた。

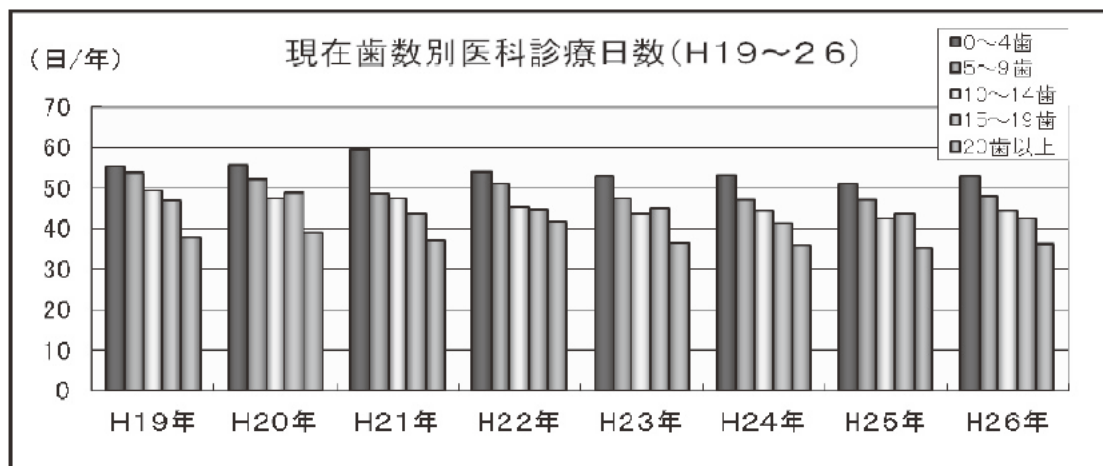
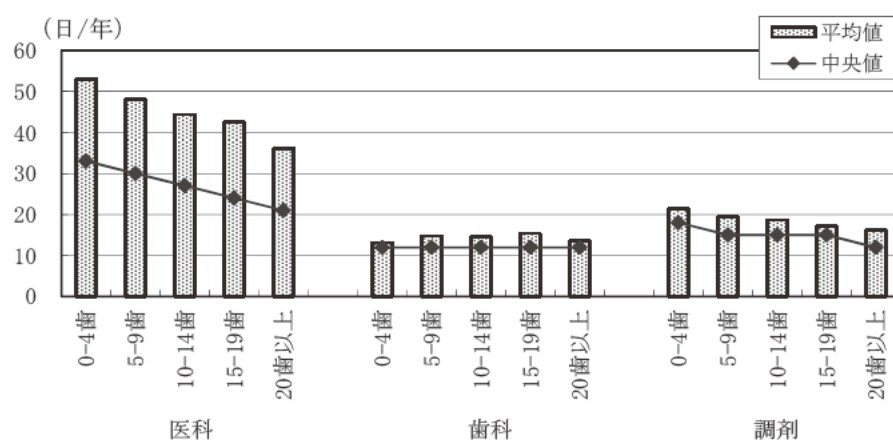
医科では 0-4 歯の平均日数が 53.0 日、20 歯以上が 36.1 日と、現在歯数が多いほど日数が少なくなっていた。歯科では 15-19 歯が平均 15.4 日と最も日数が多くなっていた。

調剤では 0-4 歯が平均 21.4 日、20 歯以上が 16.1 日と、現在歯数が多いほど日数が少なくなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが多くなっていた。

これらの傾向は、平成 19～25 年の調査と同じである。

現在歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,359	53.0	33.0	13.1	12.0	21.4	18.0
5 - 9 歯	1,278	48.1	30.0	14.7	12.0	19.5	15.0
10 - 14 歯	1,511	44.4	27.0	14.6	12.0	18.7	15.0
15 - 19 歯	2,036	42.5	24.0	15.4	12.0	17.2	15.0
19 歯以下 (A)	6,184	46.5	27.0	14.6	12.0	19.0	15.0
20 歯以上 (B)	8,484	36.1	21.0	13.6	12.0	16.1	12.0
全 体	14,668	40.5	24.0	14.0	12.0	17.4	15.0
比 較 (A)/(B)	72.9%	128.7%	128.6%	107.3%	100.0%	117.6%	125.0%



平成 19～26 年調査別 現在歯数別診療日数(医科)

歯周病の程度別日数(一人あたり1年間、日)

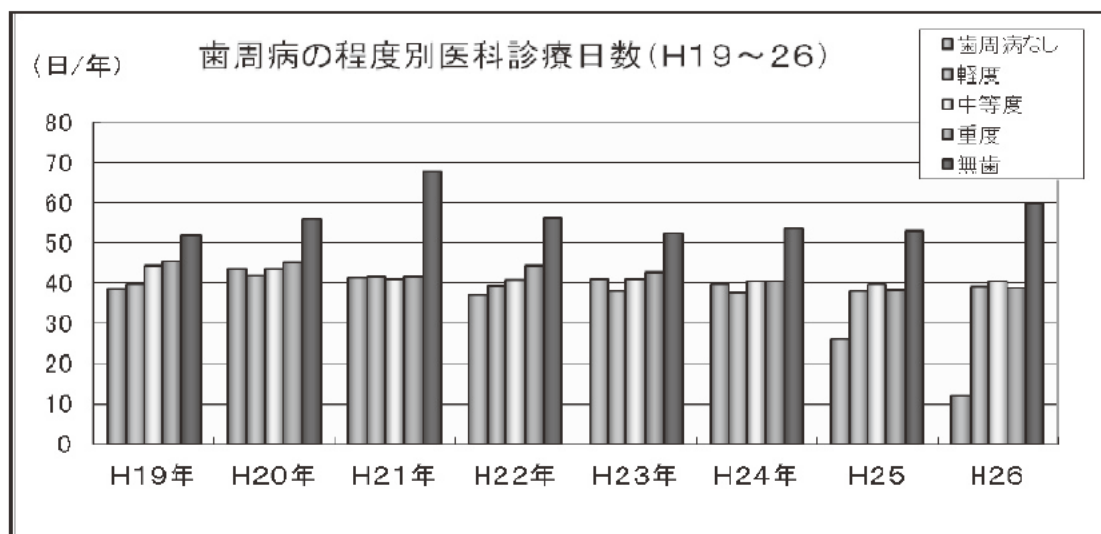
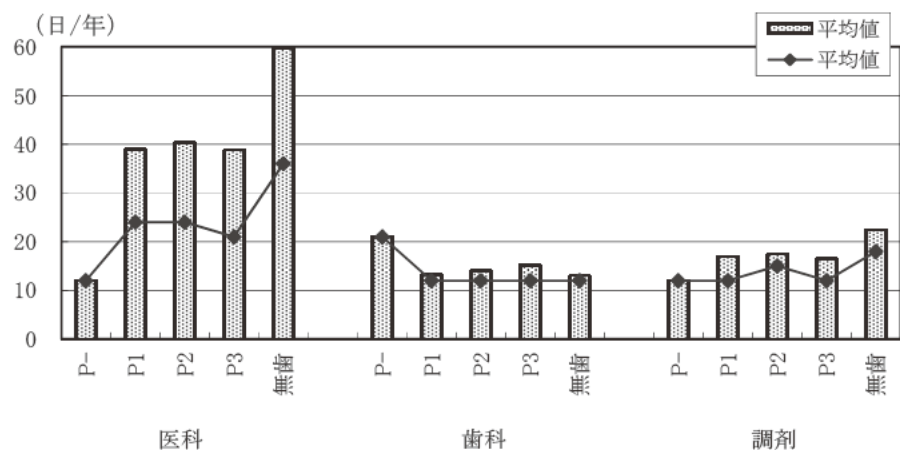
医科ではP- の平均日数が 12.0 日、P1 が 39.0 日、P2 が 40.4 日と、重度になるほど日数が多くなり、P3 は 38.8 日とやや少なくなっていた。

歯科では P- が平均 21.0 日と最も高かったが、歯周病ありの中では、P1 が 12.0 日、P2 が 14.1 日、P3 が 15.2 日と重度ほど日数が多くなっていた。

調剤では P- が平均 12.0 日、P1 が 17.0 日、P2 が 17.5 日と、重度になるほど日数が多くなり、P3 は 16.6 日とやや少なくなっていた。

歯周病あり・なしでは、歯周病ありが歯周病なしに比べて医科で約 3.3 倍、調剤で約 1.4 倍多くなっていたが、今回は歯科では歯周病なしの方が 1.5 倍多くなっていた。

歯周病分類	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	2	12.0	12.0	21.0	21.0	12.0	12.0
P1	4,418	39.0	24.0	13.2	12.0	17.0	12.0
P2	6,962	40.4	24.0	14.1	12.0	17.5	15.0
P3	2,649	38.8	21.0	15.2	12.0	16.6	12.0
歯周病有り(A)	14,029	39.7	24.0	14.1	12.0	17.1	15.0
無 歯	637	59.8	36.0	13.1	12.0	22.4	18.0
全 体	14,668	40.5	24.0	14.0	12.0	17.4	15.0
比 較 (A)/(P-)	701450.0%	330.5%	200.0%	66.9%	57.1%	142.9%	125.0%



平成 19～25 年調査別 歯周病の程度別診療日数(医科)

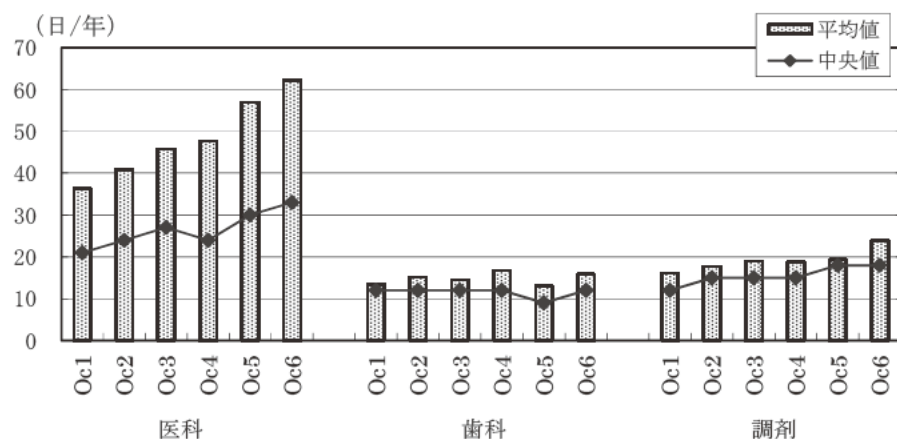
咬合の状態別日数(一人あたり1年間、日)

医科では Oc1 の平均日数が 36.4 日、Oc2 が 40.9 日、Oc3 が 45.8 日、Oc4 が 47.7 日、Oc5 が 57.0 日、Oc6 が 62.1 日と臼歯部咬合支持が少なくなるほど日数が多くなっていた。

歯科では全体の平均が 14.0 日で、Oc4 が平均 16.7 日と最も多く、Oc5 が 13.1 日で最も少なかったが、全体の平均との差は小さく、咬合の状態の各分類で大きな差はなかった。

調剤では Oc1 の平均日数が 16.1 日、Oc2 が 17.7 日、Oc3 が 19.0 日、Oc4 が 18.7 日、Oc5 が 19.4 日、Oc6 が 24.0 日と概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど日数が多くなっていた。

咬 合 状 態	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	8,293	36.4	21.0	13.4	12.0	16.1	12.0
Oc2	1,564	40.9	24.0	15.1	12.0	17.7	15.0
Oc3	3,984	45.8	27.0	14.5	12.0	19.0	15.0
Oc4	290	47.7	24.0	16.7	12.0	18.7	15.0
Oc5	96	57.0	30.0	13.1	9.0	19.4	18.0
Oc6	376	62.1	33.0	15.8	12.0	24.0	18.0
全 体	14,668	40.5	24.0	14.0	12.0	17.4	15.0



歯科健診受診頻度別日数(一人あたり1年間、日)

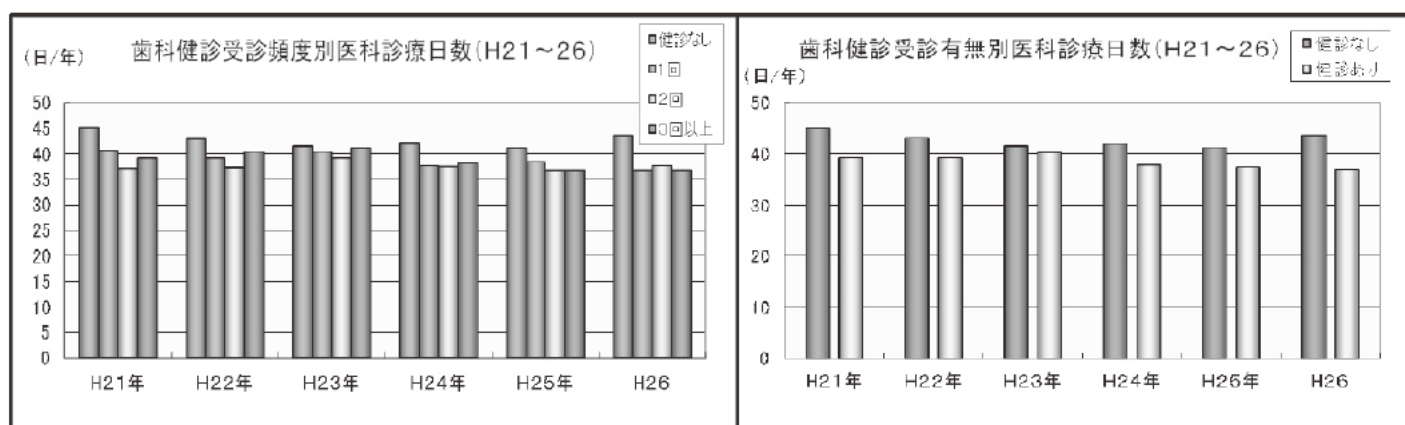
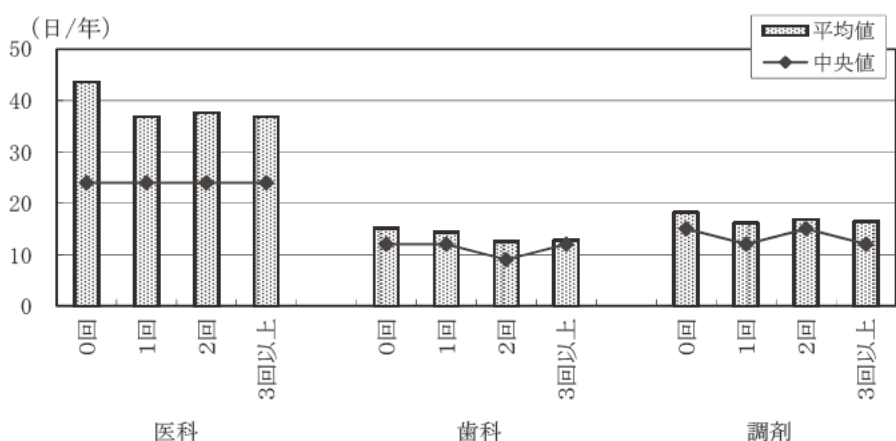
医科では健診なしの平均日数が43.6日と最も多く、1回が36.8日、2回が37.7日、3回以上は36.9日と歯科健診を受診した方が日数が少なくなっていた。

歯科では健診なしが15.1日、1回が14.3日で、2回が12.5日と歯科健診を受診するほど日数が少なくなり、3回以上が12.8日と2回より多くなっていた。

調剤では健診なしが18.2日で最も多く、1回が16.2日、2回が16.9日、3回以上は16.5日と歯科健診を受診した方が日数が少なくなっていた。

健診あり・なしでは、医科、歯科、調剤とも、健診ありの方が少なくなっていた。

健 診 頻 度	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	7,813	43.6	24.0	15.1	12.0	18.2	15.0
1 回	2,115	36.8	24.0	14.3	12.0	16.2	12.0
2 回	1,321	37.7	24.0	12.5	9.0	16.9	15.0
3 回以上	3,419	36.8	24.0	12.8	12.0	16.5	12.0
健 診 有 り (B)	6,855	37.0	24.0	13.1	12.0	16.5	12.0
全 体	14,668	40.5	24.0	14.0	12.0	17.4	15.0
比 較 (A)/(B)	114.0%	118.0%	100.0%	114.5%	100.0%	110.6%	125.0%



平成 21～26 年調査別 歯科健診受診頻度別診療日数(医科)

平成 21～26 年調査別 歯科健診受診有無別診療日数(医科)

現在歯数別診療費(一人あたり1年間、円)

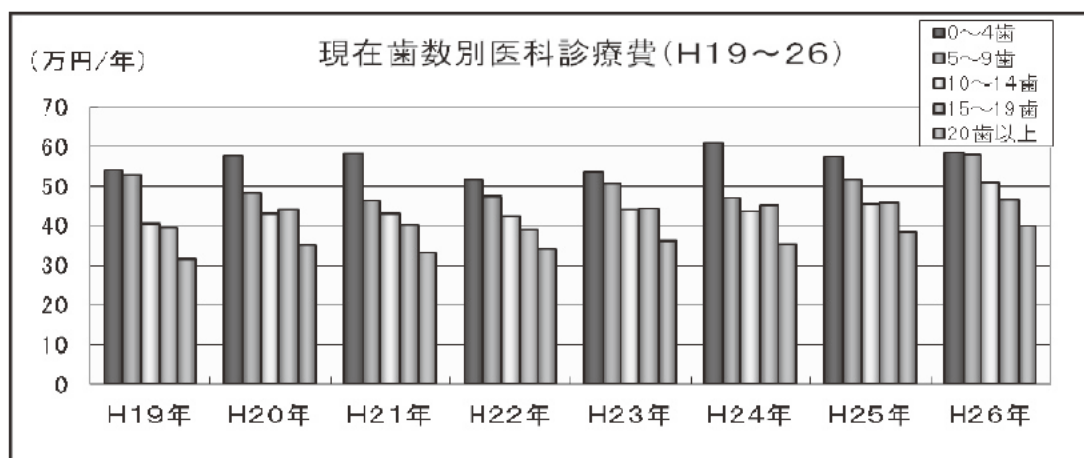
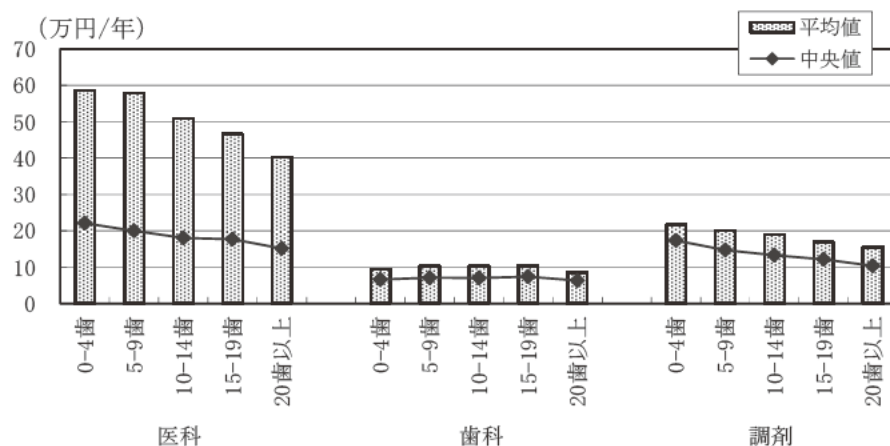
全体の平均診療費は医科約 45.5 万円で、歯科の約 9.2 万円に比べて約 36.3 万円高くなっていた。また、調剤は約 17.1 万円で歯科よりも約 7.9 万円高くなっていた。

医科では 0-4 歯の平均診療費が約 58.6 万円、20 歯以上が約 40.2 万円と、現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。歯科では、15-19 歯は約 10.3 万円で最も高く、0-4 歯は平均約 9.3 万円 20 歯以上は約 8.5 万円と低くなっていた。調剤では 0-4 歯が平均約 21.7 万円、20 歯以上が約 15.5 万円と、現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科、歯科、調剤ともに 19 歯以下のほうが高くなっていた。特に医科では 19 歯以下は 20 歯以上の約 1.3 倍高くなっていた。

これらの傾向は、平成 19～25 年の調査と同じである。

現在歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	1,359	585,979	220,680	93,410	65,715	217,147	173,025
5 - 9 歯	1,278	579,467	200,115	102,162	70,575	200,454	146,955
10 - 14 歯	1,511	508,736	180,855	102,399	69,915	189,804	132,645
15 - 19 歯	2,036	466,677	176,910	103,312	73,470	168,943	121,785
19 歯以下(A)	6,184	526,980	192,615	101,015	70,830	191,090	140,010
20 歯以上(B)	8,484	401,505	151,050	85,217	62,940	155,126	103,575
全 体	14,668	455,443	167,550	91,763	66,330	170,813	117,315
比 較 (A)/(B)	72.9%	131.3%	127.5%	118.5%	112.5%	123.2%	135.2%

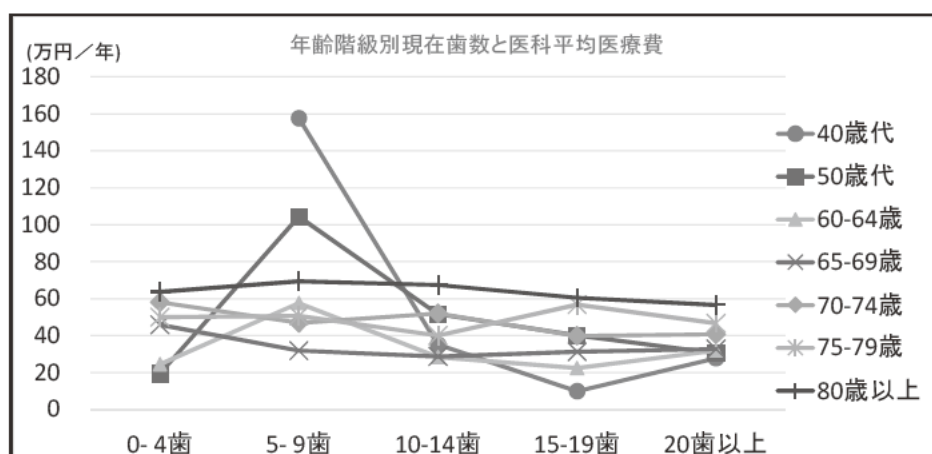


平成 19～26 年調査別 現在歯数別診療費(医科)

年齢階級別現在歯数別診療費（一人あたり一年間、円）

年齢階級別に現在歯数と診療費の関係をみると、医科では、40歳代、50歳代では19歯以下あ
の人数が少ないため傾向が認められないが、65歳以上では、概ね現在歯数が多いほど診療費
が低くなる傾向が認められた。

年齢階級	現在歯数分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0-4歯	1	—	48,630	—	—	48,630	—
	5-9歯	5	1,576,703	58,866	75,906	828,375	44,160	61,290
	10-14歯	9	351,206	122,263	222,235	149,790	64,260	183,990
	15-19歯	12	98,790	110,490	40,609	92,340	48,810	31,380
	20歯以上	454	277,307	80,114	117,333	87,990	62,310	56,700
50歳代	0-4歯	12	193,875	36,780	177,930	86,085	20,430	135,885
	5-9歯	22	1,044,687	118,453	111,531	163,380	73,650	65,910
	10-14歯	29	516,482	87,827	112,706	97,680	69,180	63,135
	15-19歯	62	400,943	89,046	87,030	108,600	73,530	42,030
	20歯以上	653	305,207	72,317	123,029	83,040	57,480	60,600
60-64歳	0-4歯	25	244,551	101,828	150,704	65,400	76,065	76,680
	5-9歯	54	576,115	141,343	115,501	95,670	72,690	90,360
	10-14歯	89	283,577	104,076	139,179	98,640	74,970	83,640
	15-19歯	164	224,447	100,879	105,628	94,020	73,950	77,040
	20歯以上	1,138	318,503	76,056	113,580	103,530	56,130	62,580
65-69歳	0-4歯	79	458,028	74,080	141,882	145,560	56,550	93,930
	5-9歯	157	318,315	98,479	161,916	117,735	68,865	106,350
	10-14歯	199	286,591	79,082	163,625	97,950	55,440	79,125
	15-19歯	367	311,978	92,740	122,776	132,540	66,900	74,130
	20歯以上	1,820	327,515	81,858	121,506	125,460	63,840	81,405
70-74歳	0-4歯	154	580,486	84,546	161,283	178,230	48,900	134,505
	5-9歯	195	469,459	107,025	182,556	161,130	72,000	124,860
	10-14歯	287	520,237	104,483	158,882	165,180	69,060	97,440
	15-19歯	418	398,599	108,208	152,443	160,725	79,740	114,345
	20歯以上	1,859	407,649	85,144	165,201	158,820	61,560	102,960
75-79歳	0-4歯	238	499,491	81,393	212,558	186,195	61,980	155,400
	5-9歯	254	506,537	93,052	226,267	221,370	71,100	151,545
	10-14歯	333	399,439	109,063	179,388	185,640	74,430	130,515
	15-19歯	446	567,945	98,894	182,196	193,890	68,955	132,300
	20歯以上	1,276	467,167	93,199	175,113	203,580	68,910	130,350
80歳以上	0-4歯	850	636,250	100,571	236,027	258,720	73,680	193,305
	5-9歯	591	693,136	101,982	214,546	244,890	72,960	181,035
	10-14歯	565	674,002	105,604	224,710	265,950	74,595	178,590
	15-19歯	567	605,285	111,665	218,921	249,390	83,085	178,140
	20歯以上	1,284	566,767	98,146	209,900	245,010	69,495	172,395



歯周病の程度別診療費（一人あたり1年間、円）

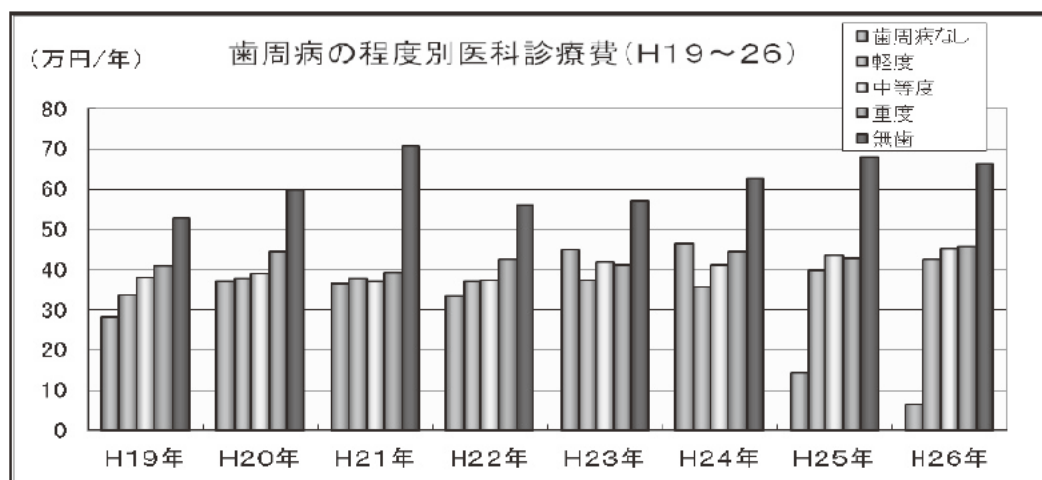
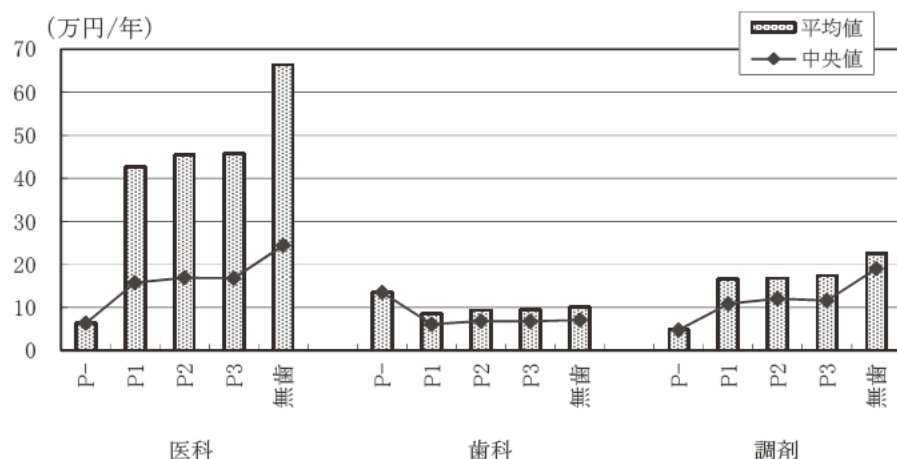
医科ではP- の平均診療費は約 6.3 万円と低く、P1 が約 42.6 万円、P2 が約 45.4 万円、P3 では約 45.7 万円と歯周病の程度が重度になるほど高くなっていった。

歯科では P- が平均約 13.5 万円と高く、歯周病ありの中では、P1 が約 8.5 万円、P2 が約 9.4 万円、P3 は約 9.5 万円と歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなっていった。

調剤では P- が平均約 4.7 万円と低く、P1 が約 16.5 万円、P2 が約 16.8 万円、P3 は約 17.4 万円と歯周病の程度が重度になるほど高くなっていった。

歯周病あり・なしでは、医科では 7 倍、調剤では 3.5 倍歯周病ありの方が高くなっていった。歯科では、歯周病なしの方が歯周病ありの約 1.5 倍高くなっていった。

歯周病分類	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	2	63,060	63,060	134,880	134,880	47,430	47,430
P1	4,418	426,166	157,740	85,039	60,915	164,906	107,955
P2	6,962	454,036	169,260	94,001	68,520	168,439	119,910
P3	2,649	457,068	167,550	94,975	67,860	173,649	116,070
歯周病あり(A)	14,029	445,842	165,120	91,444	66,225	168,295	114,900
無 歯	637	663,701	243,960	101,353	70,860	225,834	189,690
全 体	14,668	455,443	167,550	91,763	66,330	170,813	117,315
比較 (A)/(P-)	701450.0%	707.0%	261.8%	67.8%	49.1%	354.8%	242.3%

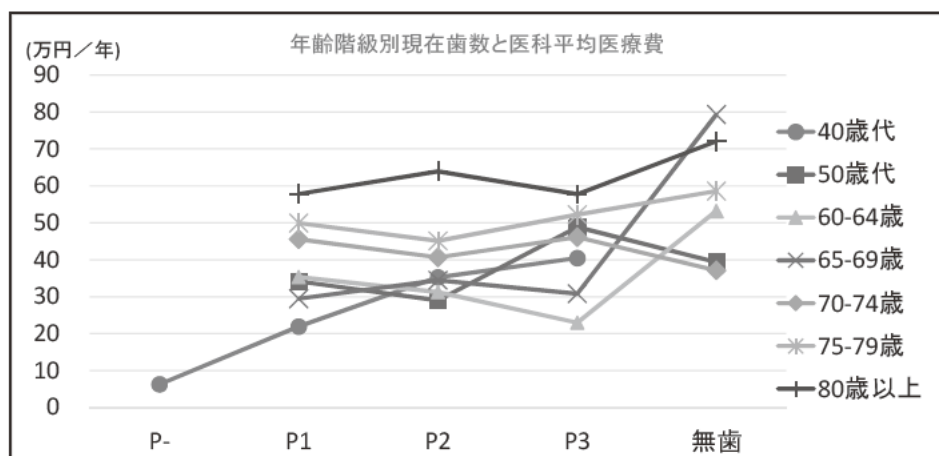


平成 19～25 年調査別 歯周病の程度別診療費(医科)

年齢階級別歯周病の程度別診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別に歯周病の程度と診療費の関係をみると、医科では、40歳代は歯周病の程度が重度になるほど高くなっていたが、その他の年齢階級では、歯周病の程度による傾向は特に認められなかった。

年齢階級	歯周病分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	P-	2	63,060	134,880	47,430	63,060	134,880	47,430
	P1	251	219,551	78,704	108,977	72,600	60,030	50,610
	P2	167	352,169	80,681	118,521	112,995	61,920	69,165
	P3	61	404,584	91,371	144,501	123,870	70,335	57,060
	無歯	-	-	-	-	-	-	-
50歳代	P-	-	-	-	-	-	-	-
	P1	328	341,743	67,589	130,348	96,690	57,045	71,010
	P2	326	289,853	79,242	108,015	82,290	60,660	55,650
	P3	120	488,449	84,263	118,201	78,210	59,430	51,210
	無歯	4	393,818	53,130	268,140	233,475	53,130	335,190
60-64歳	P-	-	-	-	-	-	-	-
	P1	518	353,068	76,131	98,535	98,520	51,630	64,440
	P2	679	312,601	89,106	122,108	107,730	66,015	69,360
	P3	265	229,649	80,127	125,569	90,180	60,960	67,230
	無歯	8	531,968	161,805	196,159	72,285	183,090	121,290
65-69歳	P-	-	-	-	-	-	-	-
	P1	885	294,559	82,410	118,107	125,880	63,840	81,075
	P2	1,214	344,512	85,802	129,926	127,740	66,945	78,750
	P3	496	308,335	82,438	136,011	110,160	58,830	81,120
	無歯	27	793,188	71,160	223,496	225,180	58,785	151,995
70-74歳	P-	-	-	-	-	-	-	-
	P1	848	455,681	86,462	181,393	160,515	59,880	105,960
	P2	1,463	406,379	93,056	157,049	163,695	68,640	108,120
	P3	539	460,776	98,804	153,550	159,015	66,030	107,085
	無歯	63	371,173	74,111	155,722	151,050	29,790	139,035
75-79歳	P-	-	-	-	-	-	-	-
	P1	695	499,341	88,978	187,347	200,580	61,440	126,120
	P2	1,301	451,576	97,041	177,873	194,100	68,805	132,030
	P3	447	522,221	102,600	194,801	200,130	82,230	142,260
	無歯	104	586,053	79,605	220,555	265,680	62,040	189,870
80歳以上	P-	-	-	-	-	-	-	-
	P1	893	578,051	95,966	222,539	259,710	66,255	173,610
	P2	1,812	639,655	103,741	216,133	245,055	75,015	178,125
	P3	721	577,831	103,887	215,480	259,890	76,170	181,980
	無歯	431	720,597	110,163	237,473	263,700	83,010	203,115



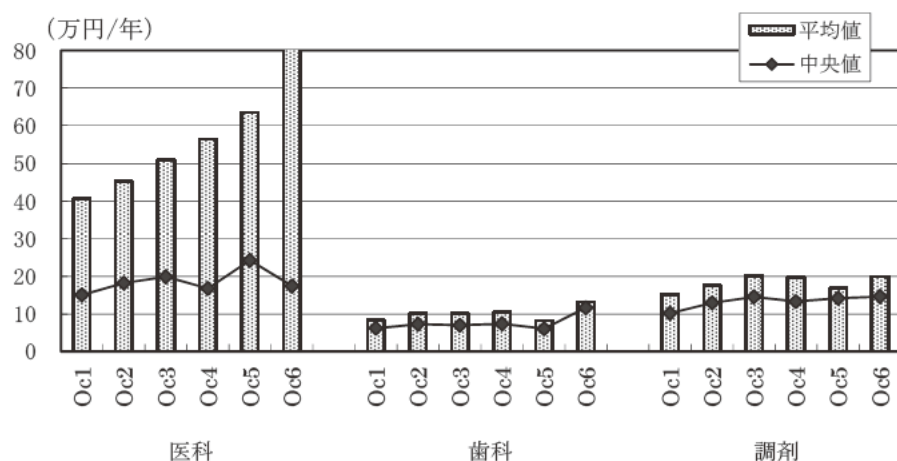
咬合の状態別診療費（一人あたり1年間、円）

医科ではOc1の平均診療費が約40.6万円、Oc2が約45.2万円、Oc3が約50.9万円、Oc4が約56.5万円、Oc5が約63.6万円、Oc6が約80.6万円と臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。

歯科ではOc6の平均診療費が約13.2万円と最も高く、Oc1とOc5が約8.3万円と約8.1万円と低くなっていた。Oc5を除外すると概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。

調剤ではOc1の平均診療費が15.2万円と最も低く、Oc3とOc4とOc6が約20万円前後で高くなっていた。Oc5を除外すると現在歯による臼歯部咬合が少なくなると診療費が高くなっていた。

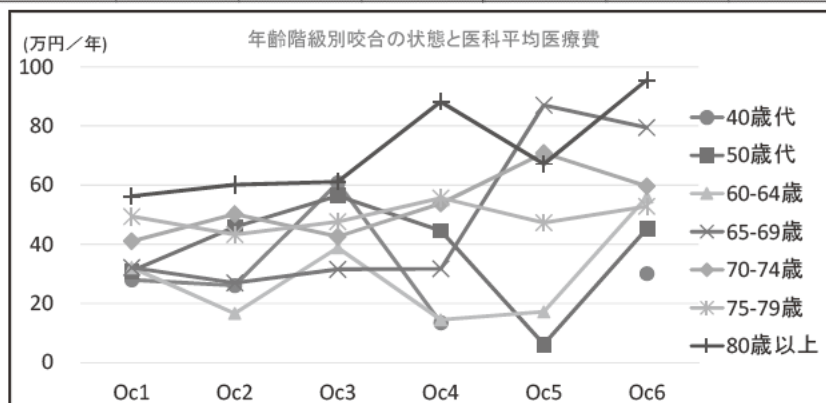
咬合状態	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	8,293	405,800	150,630	83,454	61,920	151,806	101,655
Oc2	1,564	452,497	181,980	101,377	72,765	175,174	129,135
Oc3	3,984	508,974	198,600	101,064	70,485	201,752	145,665
Oc4	290	565,049	167,550	105,635	73,410	197,623	133,020
Oc5	96	635,821	242,520	81,471	60,870	168,433	142,035
Oc6	376	806,390	174,570	132,213	116,280	199,379	146,190
全 体	14,668	455,443	167,550	91,763	66,330	170,813	117,315



年齢階級別咬合の状態別診療費(一人あたり1年間、円)

年齢階級別に咬合の状態と診療費の関係をみると、医科では60歳以上の各年齢階級において、概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。また全ての年齢階級において、Oc1よりOc6の診療費が高くなっていた。

年齢階級	咬合分類	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	Oc1	448	279,762	78,853	117,171	84,570	61,035	56,610
	Oc2	9	261,000	109,707	99,252	158,205	105,870	39,750
	Oc3	14	608,128	125,695	135,897	117,525	119,115	53,010
	Oc4	4	135,053	85,710	69,338	132,630	85,710	56,565
	Oc5	—	—	—	—	—	—	—
	Oc6	2	301,095	54,870	128,070	301,095	54,870	128,070
50歳代	Oc1	638	309,936	71,537	117,792	82,590	57,150	58,080
	Oc2	42	458,743	85,077	139,153	118,470	79,890	62,700
	Oc3	58	564,431	98,402	113,670	91,560	65,730	73,785
	Oc4	17	446,207	101,204	206,894	267,315	67,710	123,870
	Oc5	2	62,160	50,130	—	62,160	50,130	—
	Oc6	15	453,152	111,708	98,285	119,190	88,500	79,470
60-64歳	Oc1	1,107	321,338	73,394	113,044	103,530	54,930	64,440
	Oc2	128	166,412	124,773	112,413	81,660	86,010	71,580
	Oc3	178	388,464	114,499	127,231	99,150	73,560	81,705
	Oc4	31	145,167	88,276	104,954	93,885	59,985	59,655
	Oc5	7	171,885	50,340	66,765	95,595	20,325	66,765
	Oc6	15	560,038	70,539	142,797	95,310	35,115	84,660
65-69歳	Oc1	1,765	321,554	80,189	123,247	125,460	62,130	81,060
	Oc2	263	269,482	92,060	114,904	120,540	66,900	69,780
	Oc3	472	315,445	92,284	158,618	122,730	63,600	87,705
	Oc4	52	316,764	79,699	152,099	110,985	71,040	133,860
	Oc5	17	870,165	91,539	83,198	153,375	65,160	77,865
	Oc6	39	794,396	80,951	85,814	129,270	51,180	71,460
70-74歳	Oc1	1,821	410,815	83,967	155,615	158,730	61,410	101,460
	Oc2	319	502,068	103,608	155,108	166,740	77,880	111,480
	Oc3	657	425,800	103,761	188,422	161,130	70,140	122,640
	Oc4	53	538,022	112,675	157,057	144,975	62,970	105,750
	Oc5	13	708,701	98,403	177,207	242,520	78,990	54,030
	Oc6	42	596,612	157,343	213,098	277,860	107,160	148,530
75-79歳	Oc1	1,256	494,290	91,181	172,559	200,280	68,010	128,070
	Oc2	334	432,764	93,467	188,169	191,115	64,890	135,270
	Oc3	837	475,747	102,076	200,163	200,280	73,050	138,870
	Oc4	44	557,128	94,545	198,661	191,940	66,480	125,505
	Oc5	21	473,510	82,084	199,461	313,920	57,255	166,710
	Oc6	46	528,561	127,052	177,306	142,470	92,355	154,200
80歳以上	Oc1	1,258	562,634	95,361	206,006	233,520	67,650	168,930
	Oc2	469	601,678	105,717	223,661	269,145	72,600	194,370
	Oc3	1,768	611,801	100,365	224,894	263,280	70,530	183,690
	Oc4	89	881,973	132,678	278,385	246,000	105,720	247,770
	Oc5	36	671,563	77,317	184,834	343,680	59,670	155,430
	Oc6	217	955,174	140,165	235,097	197,130	141,900	182,595



歯科健診受診頻度別診療費（一人あたり1年間、円）

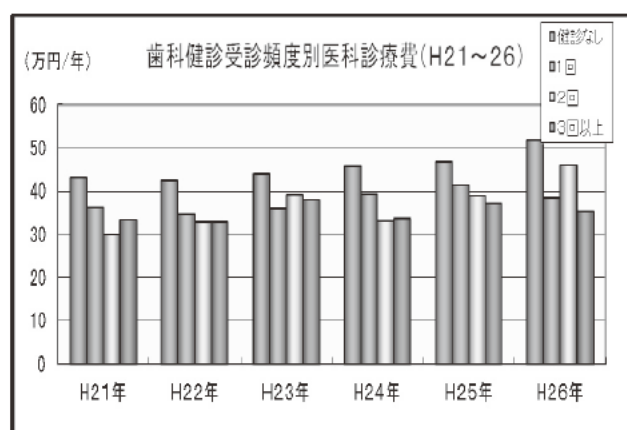
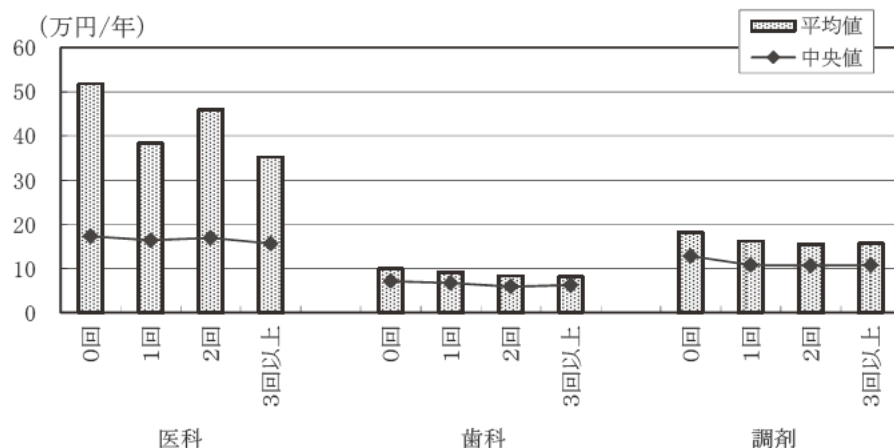
医科では健診なしの平均診療費が約 51.7 万円で最も高く、3 回以上が約 37.0 万円と最も低くなっていた。

歯科では健診なしが平均約 9.9 万円、1 回が約 9.2 万円、2 回が約 8.3 万円、3 回以上で約 8.2 万円と歯科健診を受診するほど診療費が低くなっていた。

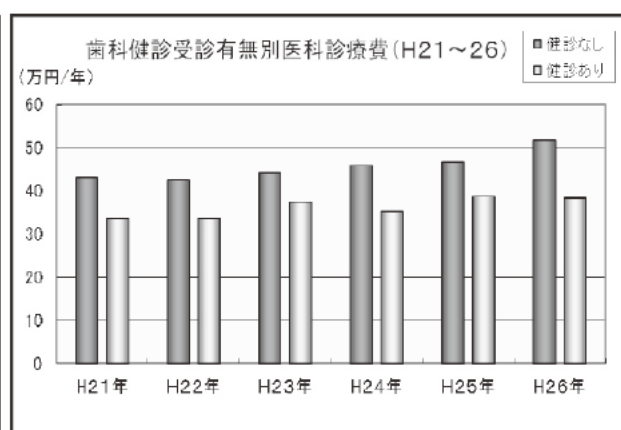
調剤では健診なしが平均約 18.2 万円で最も高く、1 回が約 16.1 万円、2 回が約 15.4 万円と歯科健診を受診するほど低くなり、3 回以上では約 15.7 万円と 2 回よりやや高くなっていた。

健診あり・なしでは、医科、歯科、調剤とも、健診ありの方が低くなっていた。

健 診 頻 度	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	7,813	517,904	172,800	99,710	71,670	182,440	127,935
1 回	2,115	384,386	163,920	92,066	67,530	161,196	107,730
2 回	1,321	459,945	169,680	83,346	59,460	154,958	106,695
3 回以上	3,419	352,498	156,735	81,809	62,205	156,912	107,565
健 診 有 り (B)	6,855	383,356	160,530	84,987	62,730	157,852	107,475
全 体	14,668	455,443	167,550	91,763	66,330	170,813	117,315
比 較 (A)/(B)	114.0%	135.1%	107.6%	117.3%	114.3%	115.6%	119.0%



平成 21～26 年調査別歯科健診受診頻度別診療費（医科）

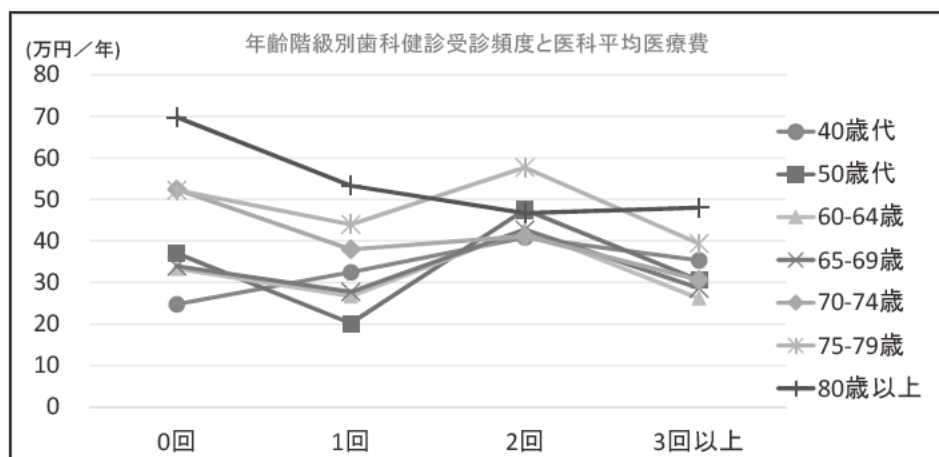


平成 21～26 年調査別歯科健診受診有無別診療費(医科)

年齢階級別歯科健診受診頻度別診療費（一人あたり１年間、円）

年齢階級別に歯科健診受診頻度と診療費の関係をみると、医科では、80 歳以上を除く年齢階級で、2 回が最も高くなっていた。50 歳代以上の年齢階級では健診なしは 3 回以上より診療費が高くなっていた。

年齢階級	健診頻度	人数	平均値			中央値		
			医科	歯科	調剤	医科	歯科	調剤
40歳代	0 回	300	247,528	80,517	115,077	75,975	62,310	58,905
	1 回	69	324,782	94,747	106,615	110,370	78,585	50,130
	2 回	37	408,416	67,234	145,454	100,635	56,400	52,860
	3 回以上	75	353,198	81,521	118,821	112,410	59,430	53,010
50歳代	0 回	429	370,458	74,985	118,474	90,195	60,150	58,545
	1 回	105	201,515	81,538	129,201	75,360	56,820	71,835
	2 回	67	474,963	67,297	127,401	90,615	50,940	64,005
	3 回以上	177	305,757	74,963	116,904	81,810	60,810	58,995
60-64歳	0 回	702	333,488	90,470	122,598	98,100	63,975	75,735
	1 回	255	266,758	83,842	98,680	113,145	62,625	57,630
	2 回	146	427,543	77,685	138,869	118,215	62,520	72,030
	3 回以上	367	261,296	75,582	100,222	91,740	55,680	59,535
65-69歳	0 回	1,266	339,413	89,770	129,879	126,870	66,900	81,450
	1 回	394	277,387	88,819	132,620	112,215	66,720	70,350
	2 回	271	427,285	79,110	126,739	132,000	54,810	87,060
	3 回以上	691	286,410	76,073	122,585	125,460	63,075	83,025
70-74歳	0 回	1,364	524,096	99,601	182,291	163,800	68,040	119,610
	1 回	448	379,749	95,379	148,664	173,640	68,145	102,495
	2 回	295	411,663	84,985	142,341	158,535	66,915	88,530
	3 回以上	806	306,181	83,456	149,868	154,485	62,205	99,540
75-79歳	0 回	1,306	522,152	100,131	190,631	198,000	73,005	131,685
	1 回	405	439,619	97,033	185,827	194,190	72,720	132,570
	2 回	215	576,632	92,647	164,314	194,535	59,445	118,890
	3 回以上	621	393,624	88,625	180,408	200,280	66,315	137,370
80歳以上	0 回	2,446	697,831	113,476	229,547	263,640	84,000	191,160
	1 回	439	532,898	93,881	212,739	250,020	68,625	179,175
	2 回	290	467,268	86,780	192,287	251,100	59,220	149,745
	3 回以上	682	479,780	84,863	202,913	226,110	62,760	164,775



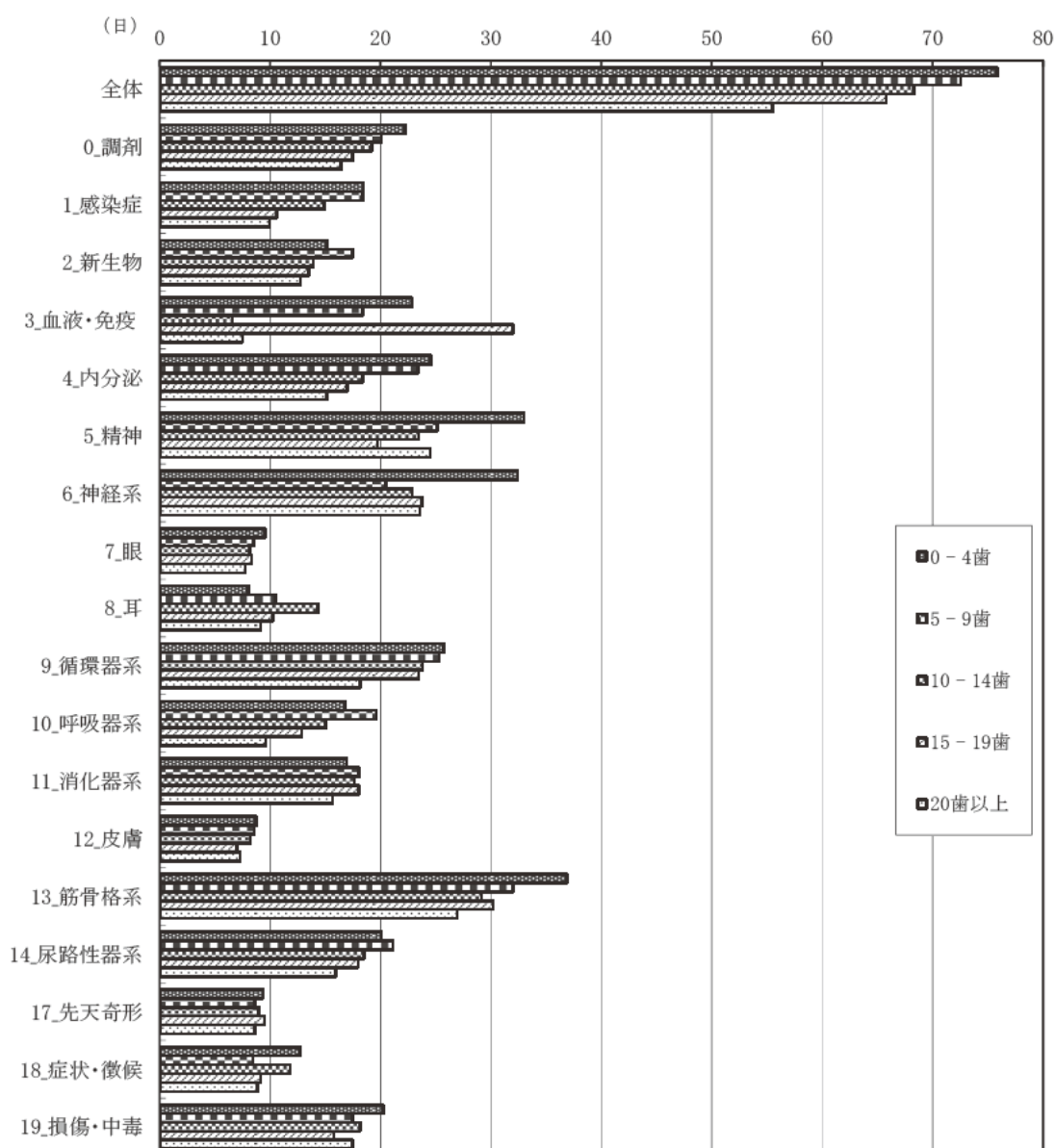
(2) 19 分類疾病別の分析

現在歯数別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、現在歯数が多いほど診療日数が少なくなっており、0-4 歯は 75.8 日、20 歯以上は 55.5 日で 20.3 日多くなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症、内分泌、循環器系、呼吸器系、皮膚、筋骨格系、尿路性器系で概ね現在歯数が多いほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

現在歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0-4歯	75.8	22.3	18.4	15.1	22.8	24.6	33.0	32.4	9.5
5-9歯	72.5	20.1	18.4	17.5	18.4	23.4	25.2	20.5	8.5
10-14歯	68.3	19.2	14.9	13.9	6.6	18.4	23.5	22.9	8.1
15-19歯	65.8	17.5	10.6	13.5	32.0	17.0	19.7	23.8	8.3
20歯以上	55.5	16.4	10.0	12.8	7.5	15.2	24.5	23.6	7.8

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
8.0	25.8	16.7	17.0	8.8	36.9	20.1	9.4	12.7	20.2
10.5	25.3	19.6	18.1	8.6	32.0	21.2	8.6	8.4	17.5
14.3	23.8	15.0	17.6	8.2	29.1	18.5	9.0	11.8	18.1
10.2	23.4	12.8	18.1	7.0	30.2	18.0	9.5	9.1	15.8
9.2	18.2	9.6	15.6	7.3	26.9	16.0	8.6	8.8	17.5

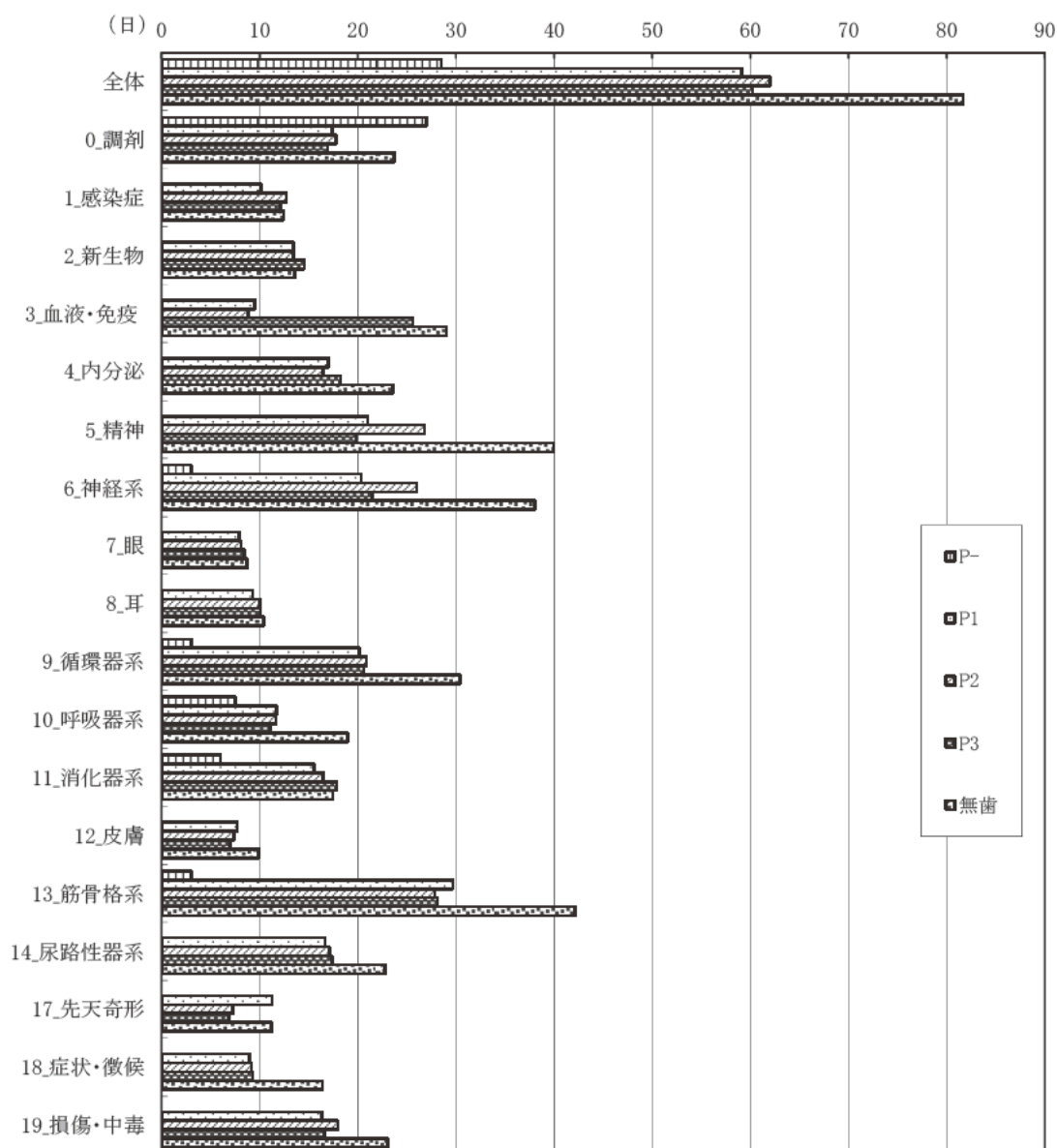


歯周病の程度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、P-が28.5日と少なく、歯周病ありと大きく差があった。歯周病ありではP1が59.1日、P2が62.0日と歯周病が重度になるほど多くなっていたが、P3は60.2日でやや少なくなっていた。疾病分類別では、感染症、循環器系、呼吸器系、消化器系、筋骨格系、尿路性器系、症状・徴候で概ね歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなる傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	28.5	27.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
P1	59.1	17.3	10.1	13.4	9.5	17.0	21.0	20.4	7.9
P2	62.0	17.8	12.7	13.4	8.8	16.5	26.8	26.0	8.1
P3	60.2	17.0	12.2	14.6	25.6	18.2	19.8	21.5	8.4
無歯	81.6	23.7	12.4	13.6	29.0	23.5	40.0	38.1	8.7

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
0.0	3.0	7.5	6.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9.3	20.1	11.7	15.5	7.7	29.7	16.7	11.3	9.0	16.3
10.0	20.9	11.7	16.5	7.4	27.9	17.1	7.3	9.2	18.0
10.1	20.6	11.0	17.9	7.0	28.1	17.4	6.8	9.3	16.6
10.4	30.4	19.0	17.5	9.9	42.2	22.7	11.3	16.4	23.0

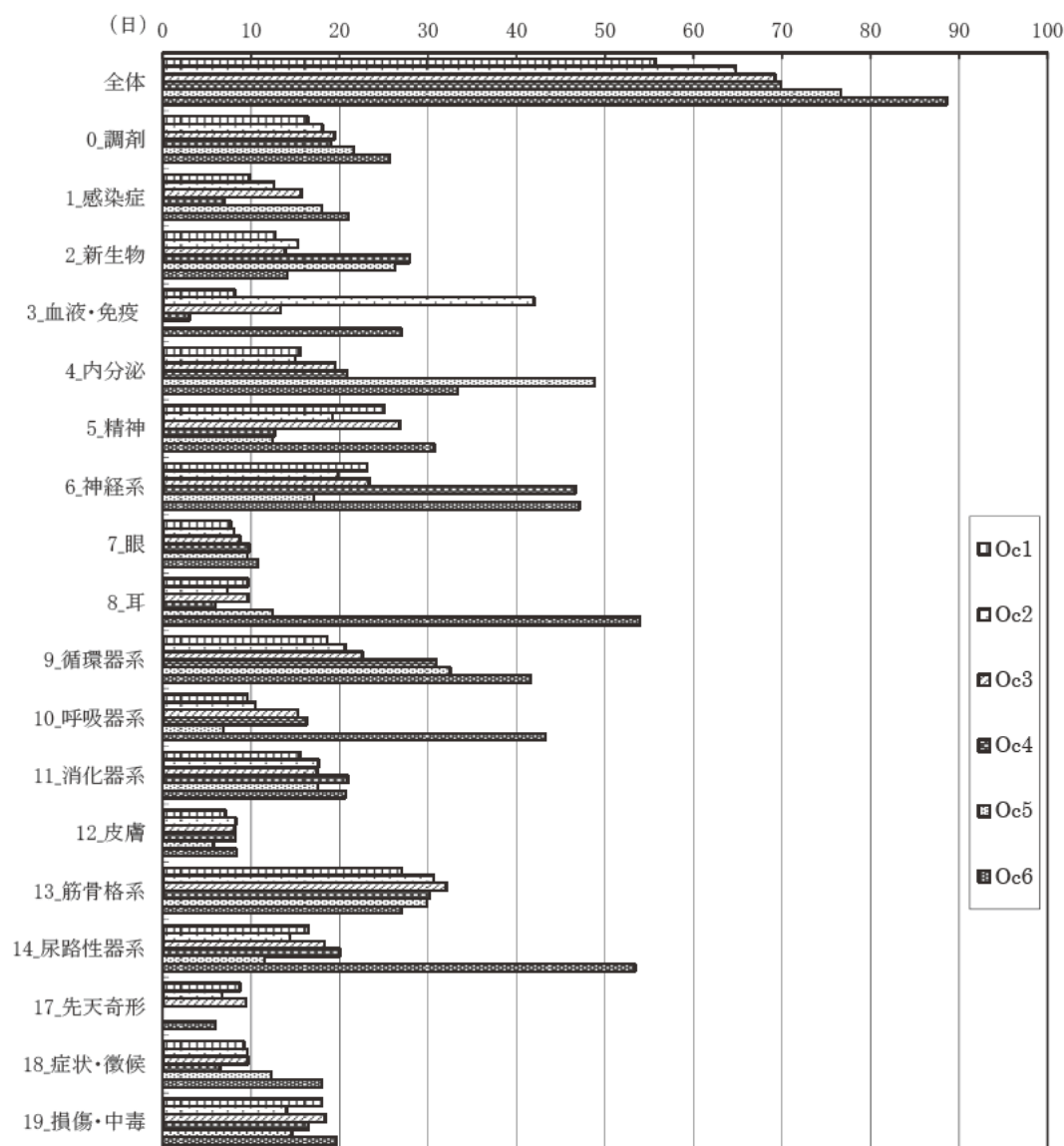


咬合の状態別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。Oc6は 88.6 日で、Oc1 の 55.7 日より32.9 日多くなっていた。疾病分類別では、調剤、眼、循環器系、呼吸器系、症状・徴候で概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が認められた。

咬合状態	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
Oc1	55.7	16.4	9.8	12.7	8.1	15.5	25.1	23.1	7.7
Oc2	64.8	18.0	12.6	15.3	42.0	15.0	19.2	19.8	8.1
Oc3	69.2	19.4	15.7	13.8	13.3	19.5	26.8	23.3	8.8
Oc4	69.9	19.0	7.0	27.9	3.0	20.8	12.7	46.6	9.8
Oc5	76.7	21.6	18.0	26.3	0.0	48.9	12.4	17.1	9.5
Oc6	88.6	25.7	21.0	14.1	27.0	33.4	30.7	47.1	10.8

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_泌尿性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
9.7	18.6	9.6	15.5	7.1	27.0	16.5	8.8	9.2	18.0
7.3	20.6	10.5	17.6	8.3	30.7	14.4	6.8	9.6	14.0
9.7	22.6	15.3	17.5	8.1	32.0	18.3	9.5	9.6	18.4
6.0	30.9	16.3	20.9	8.2	30.2	20.0	0.0	6.5	16.5
12.5	32.5	6.9	17.5	5.8	29.9	11.6	0.0	12.3	14.6
54.0	41.6	43.3	20.6	8.4	27.0	53.4	6.0	18.0	19.7



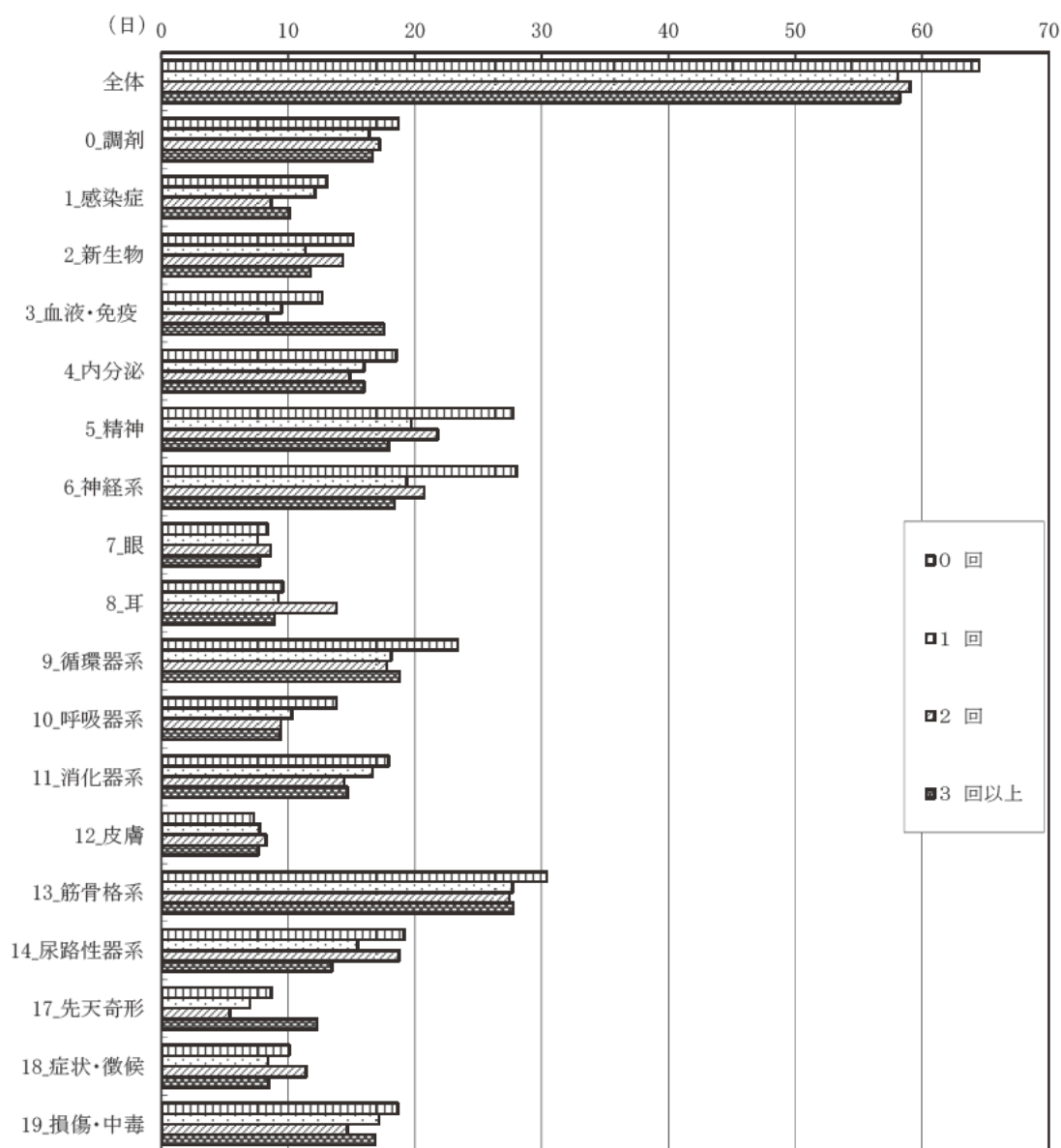
歯科健診受診頻度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、健診なしが64.5日と最も多く、1回が58.1日、2回が59.1日、3回以上は36.9日と歯科健診を受診した方が少なくなっていた。

疾病分類別では、調剤、感染症、内分泌、精神、神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系、筋骨格系、損傷・中毒において歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなるか、3回以上でやや多くなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	全 体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 回	64.5	18.7	13.1	15.1	12.7	18.5	27.7	28.0	8.4
1 回	58.1	16.4	12.1	11.4	9.5	16.0	19.7	19.3	7.6
2 回	59.1	17.2	8.7	14.3	8.3	14.9	21.8	20.7	8.6
3 回以上	58.2	16.7	10.1	11.8	17.6	16.0	17.9	18.4	7.8

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
9.6	23.4	13.8	17.9	7.3	30.4	19.2	8.7	10.1	18.6
9.2	18.1	10.3	16.7	7.8	27.7	15.5	7.0	8.4	17.2
13.8	17.8	9.4	14.4	8.3	27.4	18.7	5.4	11.4	14.7
8.9	18.8	9.4	14.7	7.6	27.7	13.4	12.3	8.5	16.8

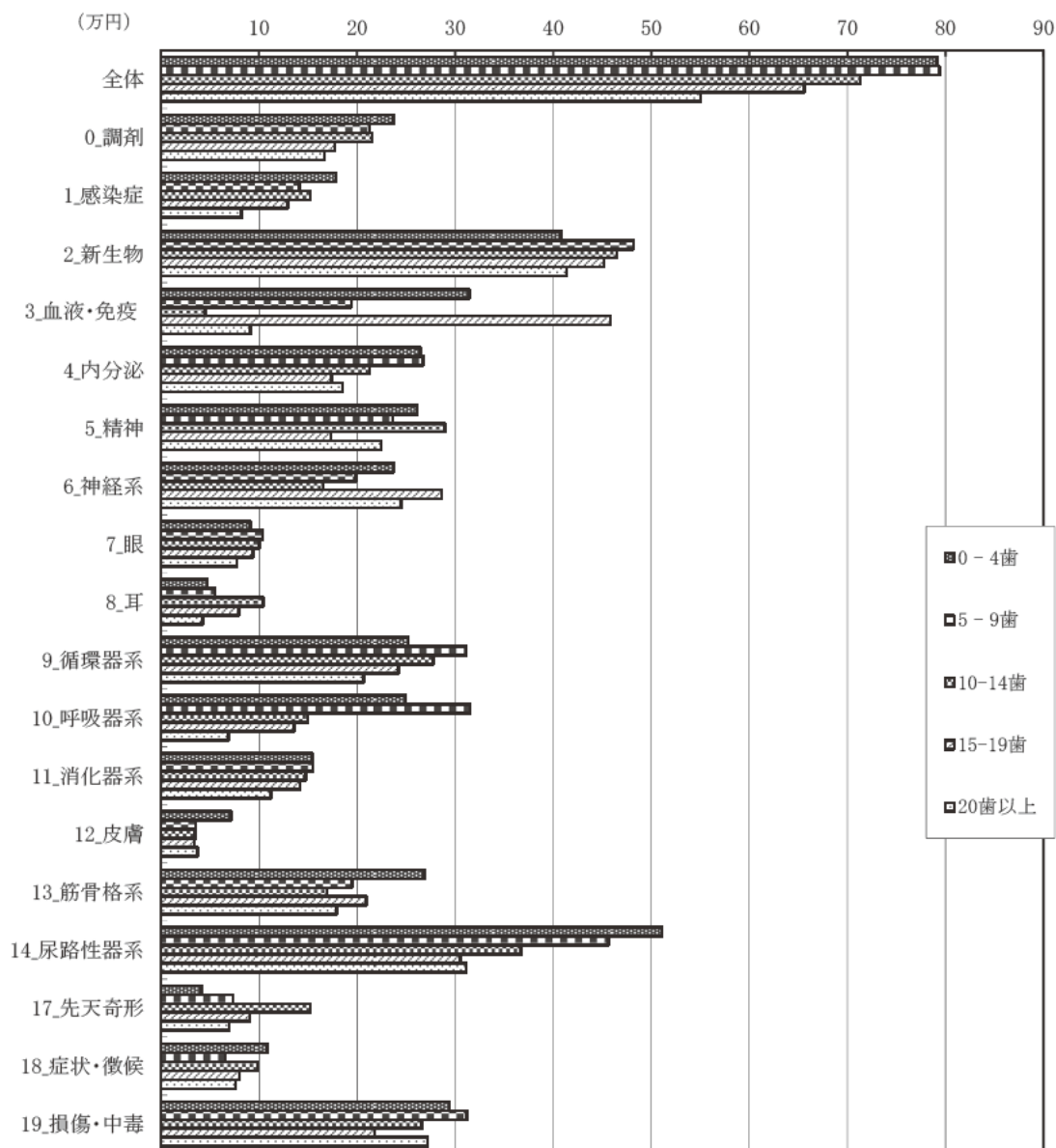


現在歯数別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間平均、円）

全体では、概ね現在歯数が多いほど診療費が低くなっており、0-4 歯は 79.1 万円、20 歯以上は 55.0 万円で 24.1 万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症、内分泌、眼、消化器系、呼吸器系、尿路性器系で概ね現在歯数が多いほど診療費が低くなる傾向が認められた。

現在歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0-4歯	791370	237140	178590	407560	314130	264300	261370	237390	90900
5-9歯	793870	212910	140660	482060	194020	267550	236660	199020	103590
10-14歯	713390	214920	152500	464960	44930	212760	289340	165180	100190
15-19歯	655870	176990	129310	451920	458200	173850	173230	286380	93940
20歯以上	550320	166670	82340	413400	91330	184770	224580	244940	77290

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
47470	252420	249130	154010	71390	268670	510850	41450	108010	294090
55180	311120	315000	154460	35120	194800	455990	73720	65650	311740
104050	277630	149810	147230	34850	169130	367280	152400	98350	265930
79650	242480	135770	141910	33770	208980	305220	90520	80210	217780
42230	206750	69010	112110	37250	179320	311230	69360	75830	272030

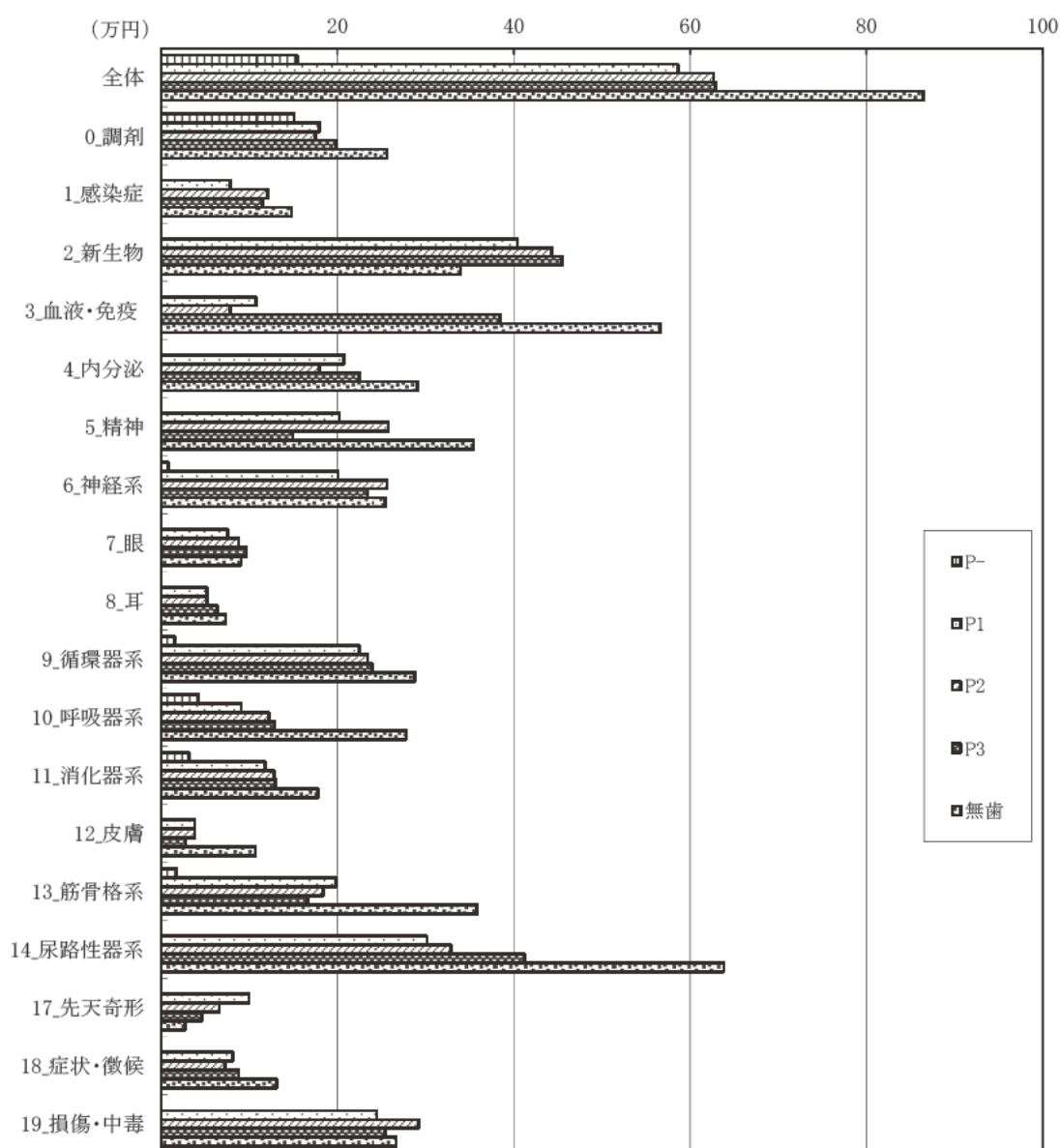


歯周病の程度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、P-の診療費が 15.4 万円と低く、歯周病ありと大きく差があった。歯周病ありの中では、P1が58.6万円、P2が62.7万円、P3が62.9万円と歯周病の程度が重いほど診療費が多くなっていった。疾病分類別では、調剤、新生物、眼、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系で歯周病の程度が重いほど診療費が多くなる傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	154220	151050	0	0	0	0	0	8100	0
P1	586280	179410	78230	404450	107510	207220	202120	200380	75510
P2	626960	175310	120760	442970	78280	179230	258090	256510	87720
P3	628920	198490	115330	454960	384460	224990	149210	234520	96790
無歯	864790	255960	147840	339990	565520	290790	354400	253770	90720

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_泌尿器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
0	15150	42360	31260	0	18150	0	0	0	0
52180	224800	90600	117590	37850	198170	301590	99250	81010	244590
51940	234370	121710	128040	38270	183710	328690	65670	72520	291860
63560	239090	128740	129950	27750	166590	412360	45820	87900	254590
73400	288150	277950	177710	106830	358310	637870	27300	130790	266480

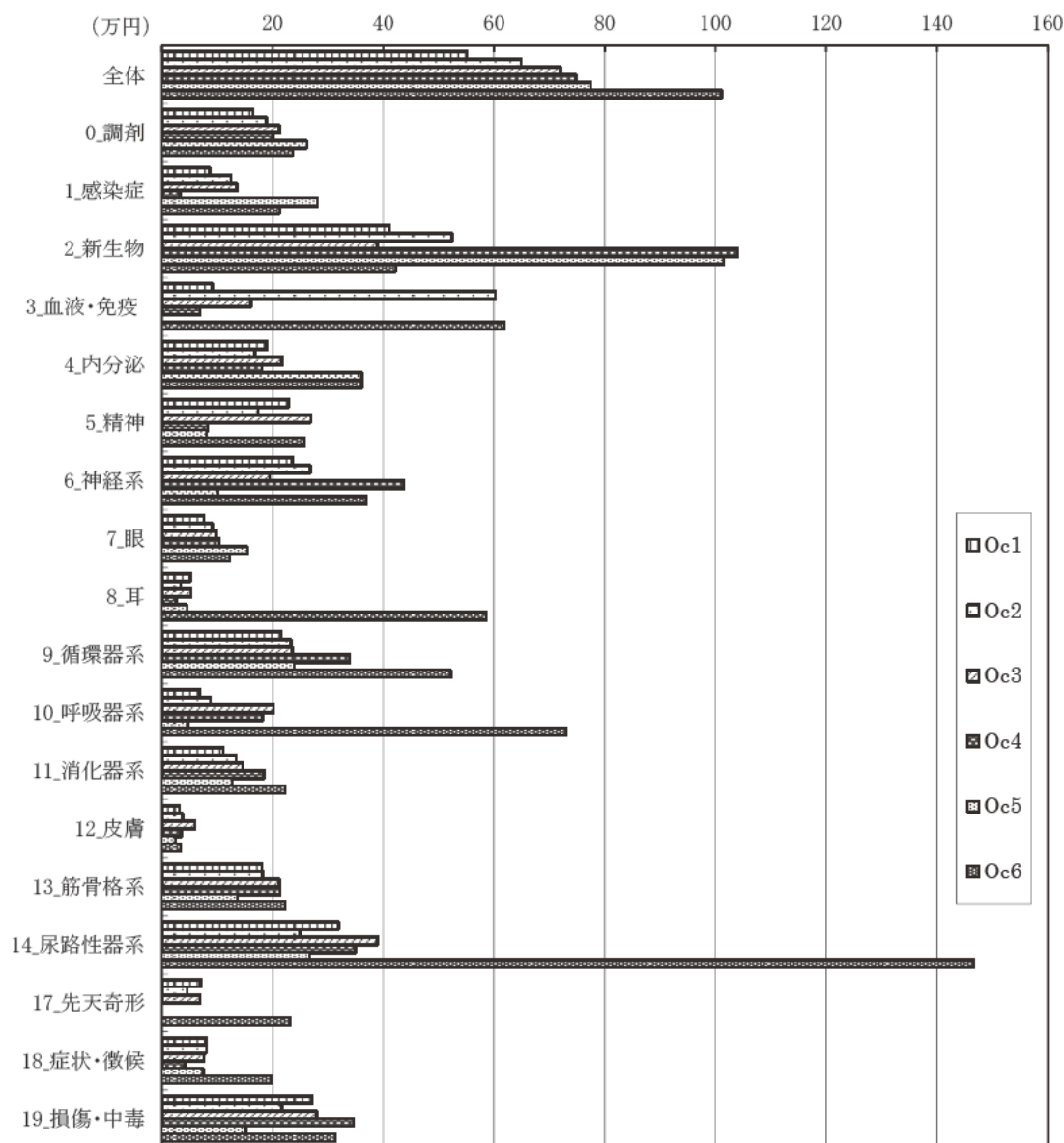


咬合の状態別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。Oc6は101.1万円で、Oc1の55.1万円より46万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、眼、循環器系、消化器系、筋骨格系で概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が認められた。

咬合状態	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
Oc1	550960	164110	86440	411540	90490	189450	228300	235870	76020
Oc2	648640	188530	125370	523560	602260	167790	173900	268150	91320
Oc3	719250	212800	135870	389140	161100	217420	268500	194470	98620
Oc4	747270	199990	33120	1040630	68520	181170	83110	436900	102960
Oc5	775420	261690	281000	1015420	0	360940	80650	102240	154540
Oc6	1011340	236740	212130	422030	619290	360900	257670	369180	123170

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
52020	215840	68150	111140	31910	180680	319210	70440	79280	272070
34100	232390	87250	134220	37270	182400	249090	45700	80430	216540
52080	235660	202160	145150	59090	211800	389210	69190	75530	279920
25570	339180	181780	184340	34940	213640	350120	0	41710	346430
45050	238020	46730	127390	24940	136530	267210	0	74910	151000
586640	522520	730740	223930	34480	223880	1467150	232020	198040	314360

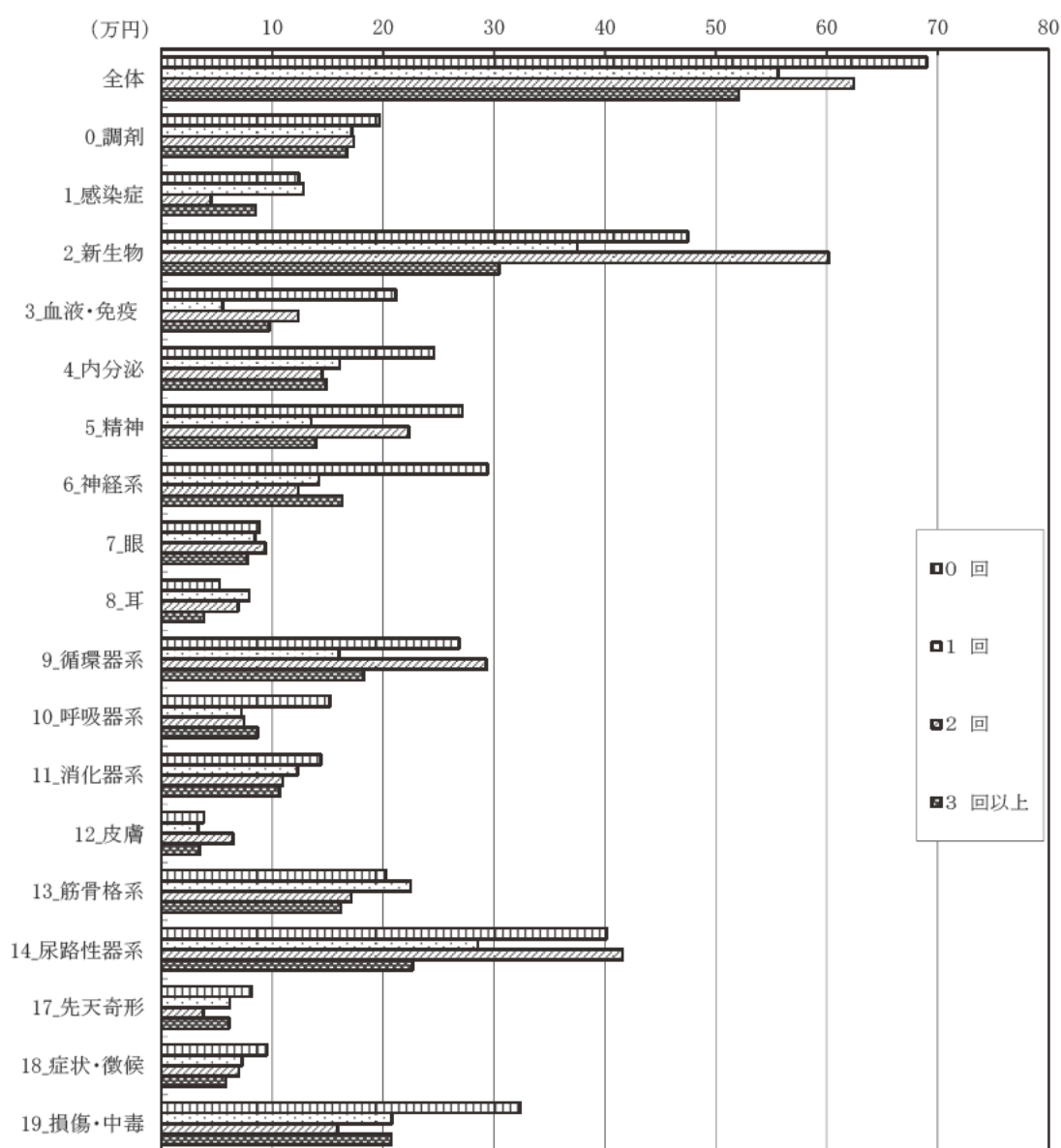


歯科健診受診頻度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなっていた。健診なしは 69.0 万円、3 回以上は 52.1 万円で、16.9 万円高くなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、消化器系、症状・徴候において概ね歯科健診受診頻度が多くなるほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

健 診 頻 度	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0 回	690040	197040	123880	474370	211760	245960	271300	293940	88240
1 回	556170	171640	128350	375000	55850	161040	134930	142220	84460
2 回	624280	173490	44940	601550	123570	145360	223360	123620	93820
3 回以上	520620	167300	85040	304420	96880	148350	138820	162880	77550

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
52460	268410	152050	143600	38320	201740	401130	80700	95340	323100
79090	160500	72330	123070	32880	224760	285350	61820	72680	208000
68860	293050	74610	109570	64700	171150	415660	38030	69900	159260
38320	182450	86600	106600	34470	161740	226410	61130	58220	207340



(3) 主要疾病別分析

悪性新生物 年齢階級別現在歯数別

悪性新生物の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

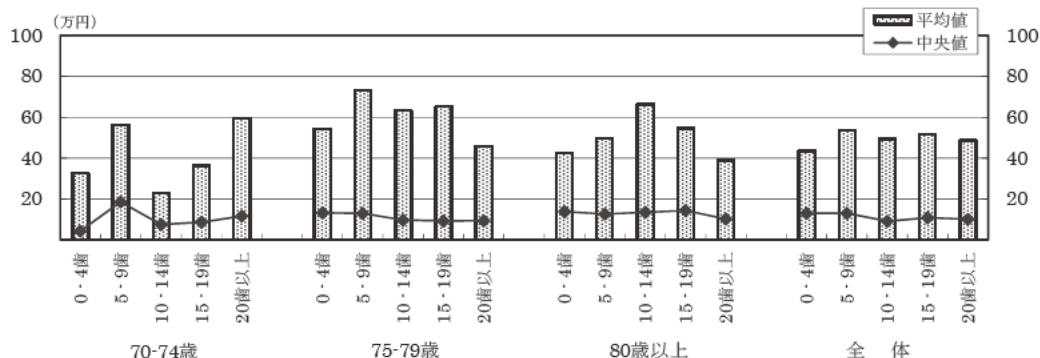
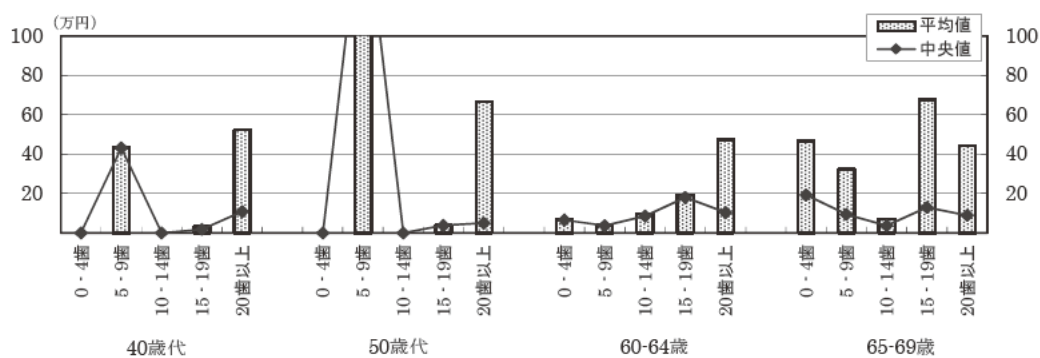
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	1	6	17	25	66	115
5 - 9 歯	1	1	5	10	22	27	58	124
10 - 14 歯	0	0	3	16	20	34	50	123
15 - 19 歯	3	1	10	24	36	39	46	159
20 歯以上	17	31	76	148	152	131	114	669
計	21	33	95	204	247	256	334	1,190

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、中央値でみると概ね現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていった。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					65400	65400	468320	193080
5 - 9 歯	432600	432600	1735530	1735530	38200	37080	322910	94350
10 - 14 歯					97240	85890	69980	36780
15 - 19 歯	32800	18060	38520	38520	193240	179880	677570	129980
19 歯以下 (A)	132750	47130	887030	887030	130550	85890	418220	94350
20 歯以上 (B)	524010	108510	666580	50130	475170	103470	443280	88860
全 体	449480	104580	679940	50130	406240	102240	436400	91470
比 較 (A)/(B)	25.3%	43.4%	133.1%	1769.4%	27.5%	83.0%	94.3%	106.2%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	326090	43620	543160	132240	426570	138120	436100	130380
5 - 9 歯	562560	185960	732330	130620	498040	126140	537290	129620
10 - 14 歯	230770	75330	632820	97100	664830	135240	494180	90780
15 - 19 歯	364310	86570	652510	92880	545960	144260	515770	108060
19 歯以下 (A)	375260	86550	642520	104700	524520	141420	498210	114960
20 歯以上 (B)	595560	115880	457140	93450	390280	102570	487580	101520
全 体	510830	113700	547660	100860	478700	128360	492230	105030
比 較 (A)/(B)	63.0%	74.7%	140.6%	112.0%	134.4%	137.9%	102.2%	113.2%



悪性新生物 年齢階級別歯周病の程度別

悪性新生物の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

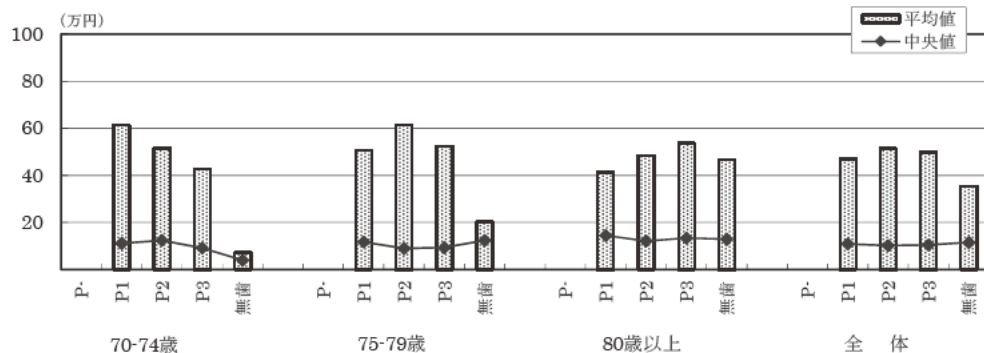
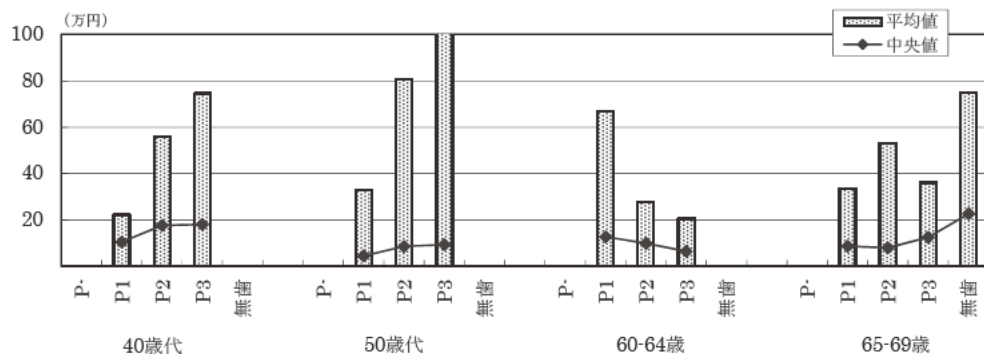
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	9	17	33	75	68	76	72	350
P2	8	11	54	96	122	123	169	583
P3	4	5	8	30	49	45	67	208
無 歯	0	0	0	3	8	12	26	49
計	21	33	95	204	247	256	334	1,190

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、40歳代、50歳代と80歳以上では、歯周病の程度が重度なほど、概ね診療費が高くなっていった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	222180	104580	328520	45510	670270	126750	334460	86280
P2	556960	176160	807690	86190	274700	99180	530300	79550
P3	745980	180500	1593720	93840	205100	64190	359530	124740
歯 周 病 あり (A)	449480	104580	679940	50130	406240	102240	431740	86580
無 歯							749220	226860
全 体	449480	50130	679940	102240	406240	86580	436400	115050
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	613320	111150	507030	117020	412680	144660	470690	108380
P2	515800	123660	615100	88830	485450	120570	514080	102240
P3	427920	90600	523510	92880	537200	133110	499510	104750
歯 周 病 あり (A)	525530	115050	564550	97680	479700	128640	498110	104790
無 歯	71580	39480	204330	123600	466920	121350	355350	114960
全 体	510830	113700	547660	100860	478700	128360	492230	105030
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



悪性新生物 年齢階級別咬合の状態別

悪性新生物の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

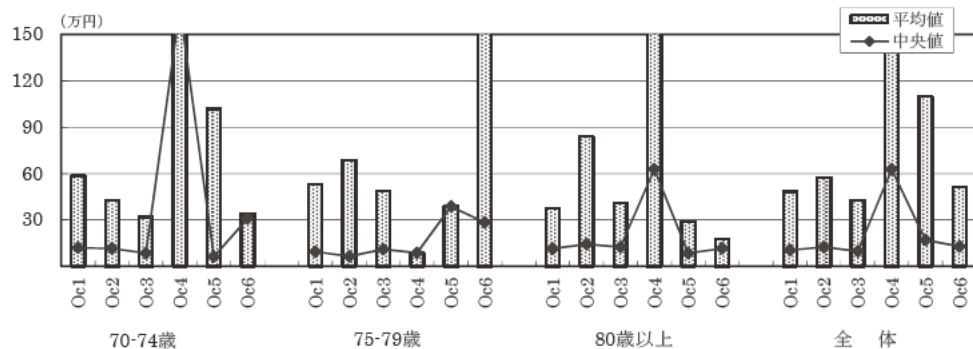
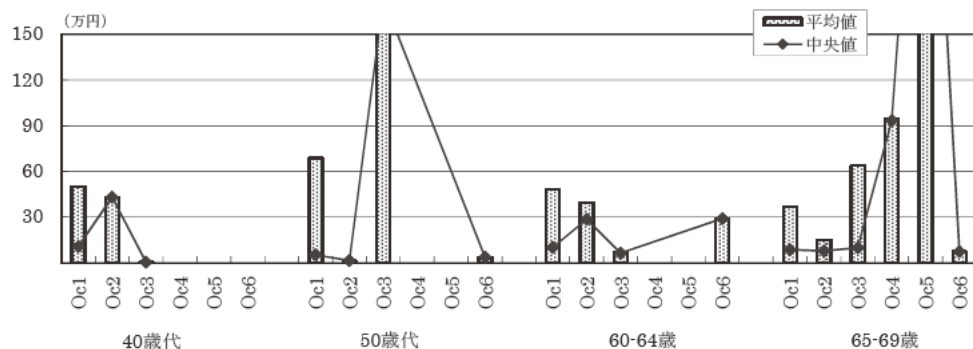
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	17	30	69	133	155	122	115	641
Oc2	2	1	10	25	20	31	48	137
Oc3	1	1	14	38	64	96	152	366
Oc4	0	0	0	4	1	1	5	11
Oc5	0	0	0	2	3	2	5	12
Oc6	0	1	2	1	4	4	9	21
計	20	33	95	203	247	256	334	1,188

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、Oc4 と Oc5 の片側で臼歯部咬合がないものが、診療費が高くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	499050	108510	688280	52670	479850	102390	368000	86580
Oc2	431990	431990	15720	15720	393160	286230	151270	77910
Oc3	4140	4140	1735530	1735530	69290	64520	638810	99020
Oc4							947730	933780
Oc5							3956730	3956730
Oc6			38520	38520	290970	290970	74700	74700
全 体	449480	104580	679940	50130	406240	102240	436400	91470

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	587090	118770	527480	93620	375510	113040	483180	104580
Oc2	429390	114590	688800	64140	838410	143480	575020	123480
Oc3	320370	85440	484470	110990	408920	124340	426650	97590
Oc4	1672020	1672020	86580	86580	2255170	627330	1529580	627330
Oc5	1017610	63420	386300	386300	287750	85230	1098140	170100
Oc6	339910	309710	1781810	282660	176540	114600	512900	127950
全 体	510830	113700	547660	100860	478700	128360	492230	105030



悪性新生物 年齢階級別歯科健診受診頻度別

悪性新生物の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

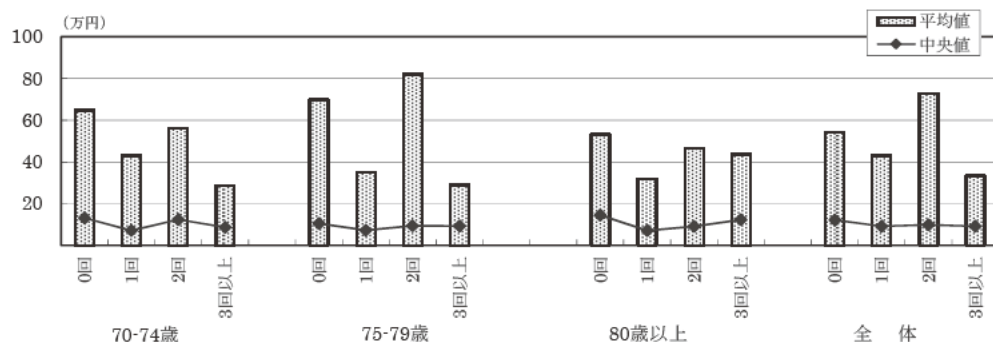
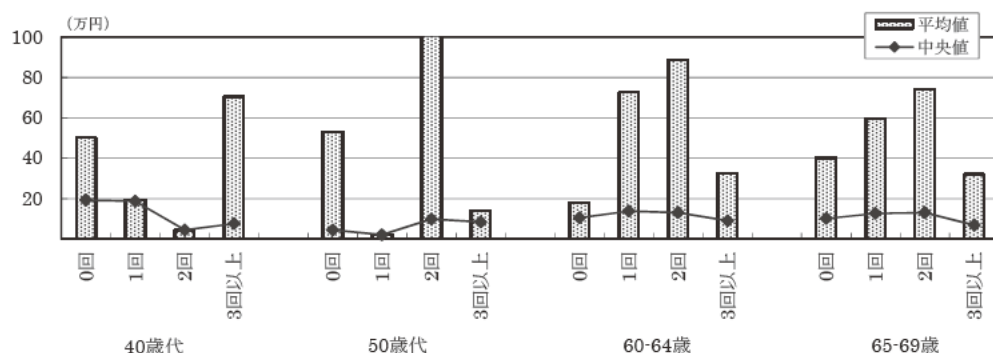
健 診 頻 度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	10	19	41	96	122	121	195	604
1 回	4	1	20	25	40	42	47	179
2 回	2	5	10	21	20	26	28	112
3 回 以上	5	8	24	62	65	67	64	295
計	21	33	95	204	247	256	334	1,190

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では中央値で見ると歯科健診なしが最も高く、3回以上が最も低くなっていた。また、健診なしは健診ありと比較しても約1.3倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	504670	193350	532520	45510	178350	104550	402020	100890
1 回	194500	187700	21510	21510	727200	138060	596720	126870
2 回	44660	44660	2237100	98670	888400	130820	741240	131190
3 回 以上	705040	76200	139140	84680	327200	91220	321750	69740
健 診 有 り (B)	399320	87210	880010	83330	579280	97800	466970	83550
全 体	449480	104580	679940	50130	406240	102240	436400	91470
比 較 (A)/(B)	126%	222%	61%	55%	31%	107%	86%	121%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	648620	131700	699710	105420	532860	145440	544330	122000
1 回	430480	71030	350470	73140	318950	71460	431240	92010
2 回	561990	124860	820580	94830	466940	91190	726550	99080
3 回 以上	285910	86730	290770	93450	436140	123420	333620	91830
健 診 有 り (B)	376350	86730	411380	93450	402720	101520	438540	93620
全 体	510830	113700	547660	100860	478700	128360	492230	105030
比 較 (A)/(B)	172%	152%	170%	113%	132%	143%	124%	130%



虚血性心疾患 年齢階級別現在歯数別

虚血性心疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

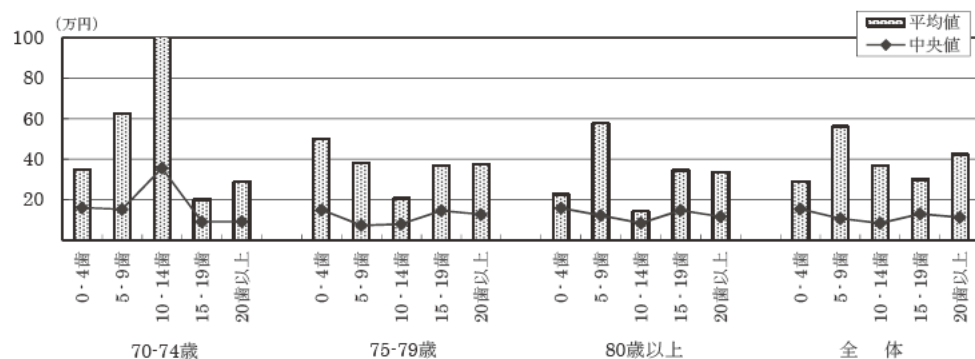
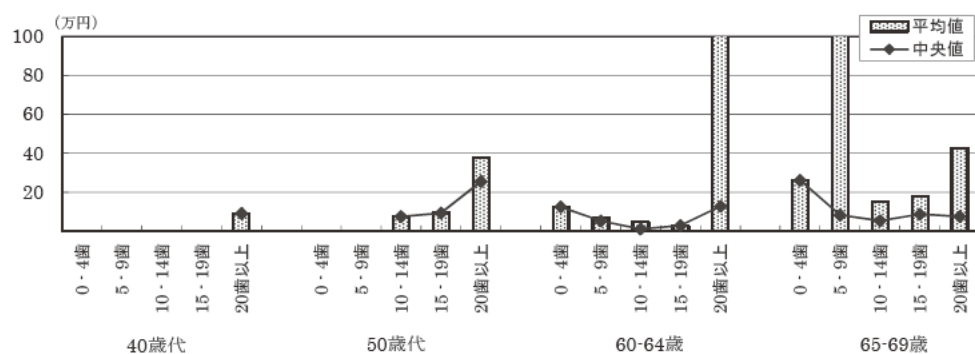
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	1	2	5	12	40	60
5 - 9 歯	0	0	4	9	7	20	32	72
10 - 14 歯	0	2	3	5	9	15	35	69
15 - 19 歯	0	2	3	4	16	25	32	82
20 歯以上	2	8	15	45	73	64	70	277
計	2	12	26	65	110	136	209	560

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体でみると、中央値では0-4 歯が最も高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					124440	124440	262190	262190
5 - 9 歯					69470	53930	1083320	83430
10 - 14 歯			75620	75620	49180	12000	152430	55050
15 - 19 歯			93620	93620	26700	29160	177800	88160
19 歯以下 (A)			84620	93620	57270	30000	587380	76530
20 歯以上 (B)	91550	91550	376680	256200	1777100	128460	426910	101040
全 体	91550	91550	279320	105080	1049480	63080	476280	99720
比 較 (A)/(B)	-	-	22.5%	36.5%	3.2%	23.4%	137.6%	75.7%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	347930	161190	500480	149520	226220	158490	290710	153660
5 - 9 歯	625080	153480	380070	73370	578580	122250	562770	107600
10 - 14 歯	1809020	356370	207710	79500	142670	84750	368860	84750
15 - 19 歯	201560	91640	371030	146550	344210	147050	298710	130250
19 歯以下 (A)	692470	153480	361090	133290	313460	116040	381300	114360
20 歯以上 (B)	287090	92280	374630	127250	336640	120210	424420	112950
全 体	423450	105330	367460	130140	321230	116040	402630	112970
比 較 (A)/(B)	241.2%	166.3%	96.4%	104.8%	93.1%	96.5%	89.8%	101.2%



虚血性心疾患 年齢階級別歯周病の程度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

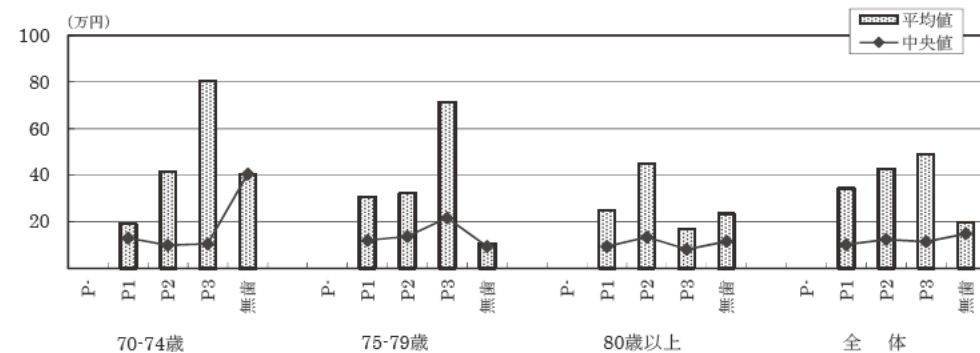
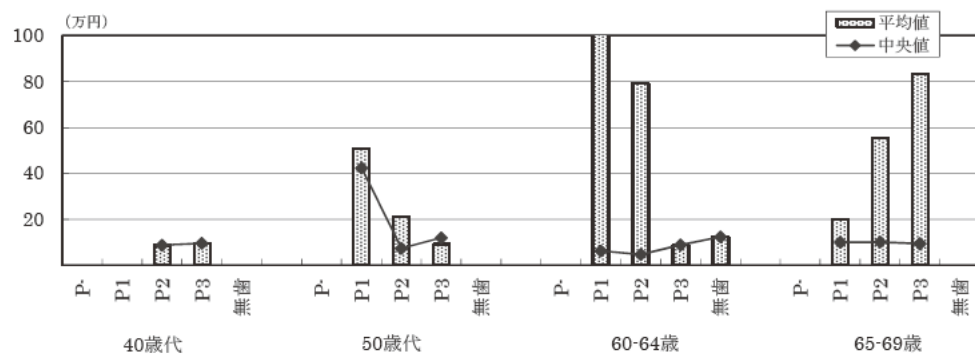
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	0	4	13	23	31	37	64	172
P2	1	5	10	31	58	71	91	267
P3	1	3	2	11	20	21	39	97
無 歯	0	0	1	0	1	7	15	24
計	2	12	26	65	110	136	209	560

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではらつきがあるが、全体では、平均値でみると歯周病の程度が重度なほど、診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1			508130	422780	1466530	62340	199620	99720
P2	87420	87420	209530	73890	791960	46560	554910	101040
P3	95670	95670	90570	120480	88740	88740	833170	93360
歯 周 病 あり (A)	91550	91550	279320	105080	1086480	62340	476280	99720
無 歯					124440	124440		
全 体	91550	105080	279320	62340	1049480	99720	476280	104040
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	190990	130320	306440	120270	251620	93780	343320	101870
P2	416040	99930	322400	137970	449190	134220	427540	124830
P3	806140	105390	714180	217170	170650	82440	489550	114360
歯 周 病 あり (A)	423620	104040	381600	132210	328020	115440	411740	109820
無 歯	405060	405060	106910	94020	233390	238200	199110	149520
全 体	423450	105330	367460	130140	321230	116040	402630	112970
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



虚血性心疾患 年齢階級別咬合の状態別

虚血性心疾患の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

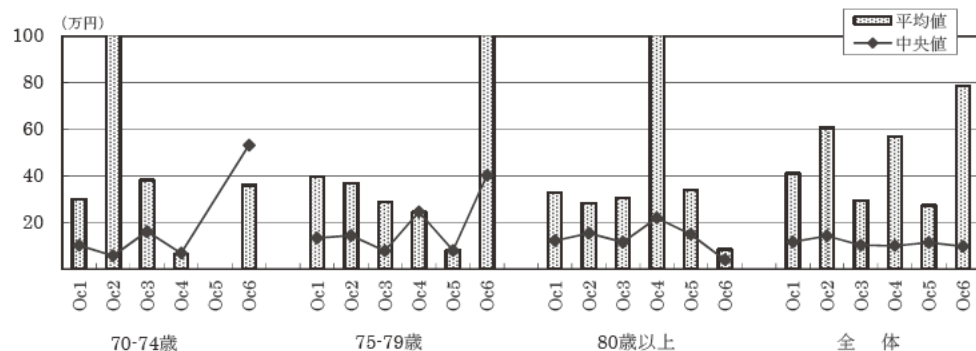
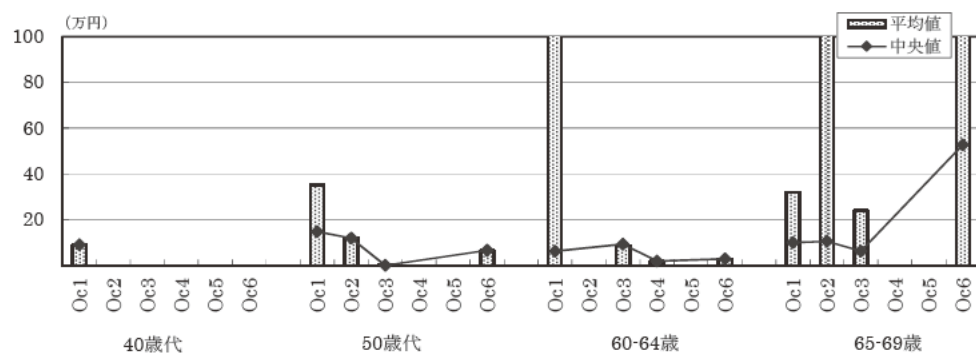
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	2	9	18	43	70	60	72	274
Oc2	0	1	0	3	13	24	18	59
Oc3	0	1	6	16	21	45	104	193
Oc4	0	0	1	0	3	2	4	10
Oc5	0	0	0	0	0	1	3	4
Oc6	0	1	1	3	3	3	6	17
計	2	12	26	65	110	135	207	557

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別ではばらつきがあるが、全体では、Oc6が高くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	91550	91550	351400	149130	1483320	64560	321300	101040
Oc2			120480	120480			1804030	106680
Oc3			2100	2100	89290	94130	241310	64190
Oc4					20940	20940		
Oc5								
Oc6			66750	66750	30000	30000	2623190	527010
全 体	91550	91550	279320	105080	1049480	63080	476280	99720

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	299700	101220	397310	133190	329380	121070	410200	116450
Oc2	1254410	56940	367450	144350	282220	154040	605740	141660
Oc3	382130	161190	286750	77970	304010	114830	295050	102180
Oc4	64960	68070	244940	244940	1247280	219600	569480	99840
Oc5			79590	79590	337820	148770	273260	114180
Oc6	357800	532260	1275340	402960	85340	39150	786930	97470
全 体	423450	105330	367460	130140	321230	116040	402630	112970



虚血性心疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

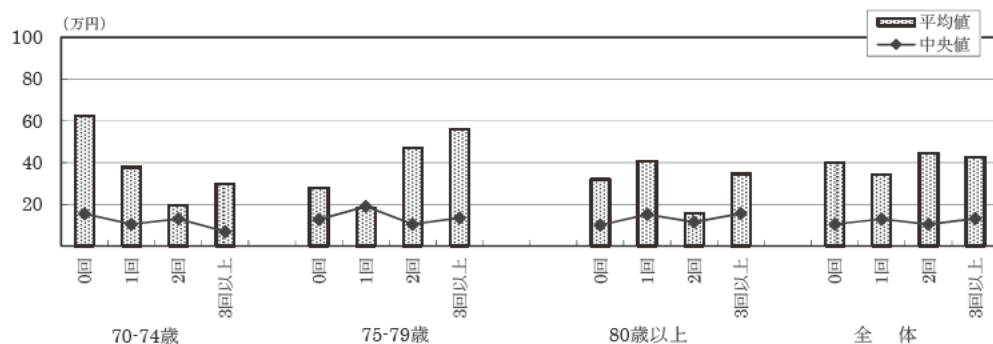
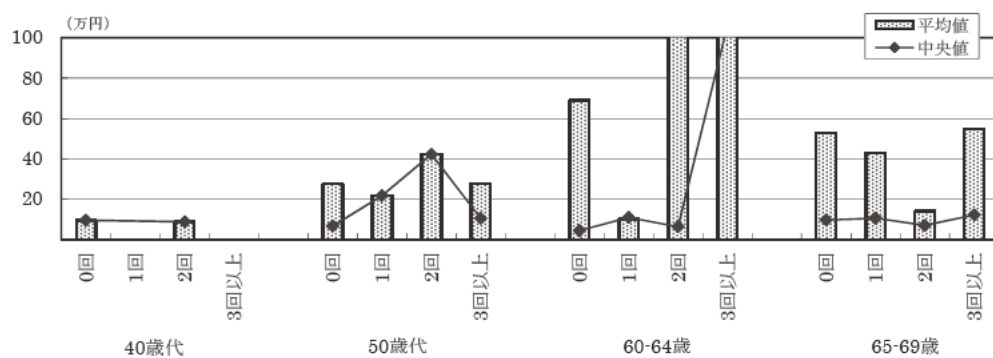
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	3	17	35	42	73	116	287
1 回	0	2	4	6	19	12	33	76
2 回	1	1	3	8	13	12	21	59
3 回以上	0	6	2	16	36	39	39	138
計	2	12	26	65	110	136	209	560

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあり、全体でも歯科健診受診頻度による大きな差はなく、特徴的な傾向は認められなかった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	95670	95670	275210	66750	691610	44040	527920	97200
1 回			217400	217400	100970	109710	426950	106340
2 回	87420	87420	422730	422730	4333760	63810	141090	69990
3 回以上			278120	105080	1061990	1061990	549430	121620
健診有り(B)	87420	87420	280700	120480	1725460	152640	416040	100380
全 体	91550	91550	279320	105080	1049480	63080	476280	99720
比較 (A)/(B)	109%	109%	98%	55%	40%	29%	127%	97%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	623300	154770	277210	126840	319650	100040	399480	104010
1 回	377290	104040	182500	189750	403540	151440	343100	129050
2 回	195410	130320	469580	104010	157710	114360	442830	103530
3 回以上	296990	69030	561900	134160	344320	155640	424770	130880
健診有り(B)	300010	95460	472050	137970	323190	133680	405940	120480
全 体	423450	105330	367460	130140	321230	116040	402630	112970
比較 (A)/(B)	208%	162%	59%	92%	99%	75%	98%	86%



脳血管疾患 年齢階級別現在歯数別

脳血管疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

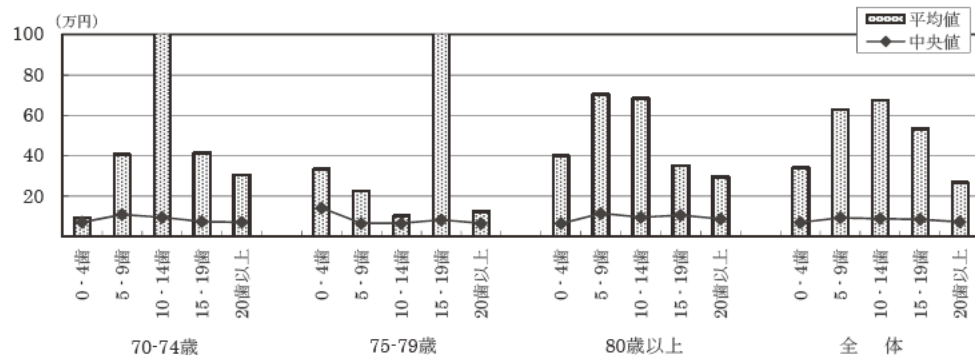
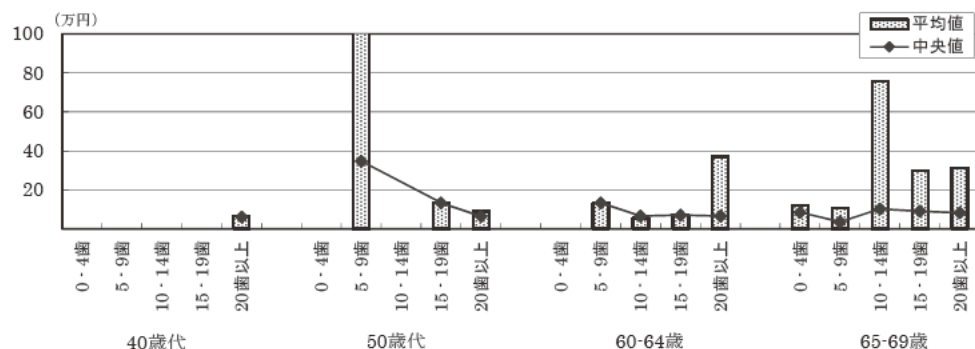
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	0	8	11	15	77	111
5 - 9 歯	0	3	1	9	9	15	42	79
10 - 14 歯	0	0	4	9	10	21	41	85
15 - 19 歯	0	2	1	17	25	30	39	114
20 歯以上	4	11	28	64	112	76	124	419
計	4	16	34	107	167	157	323	808

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体でみると、10-14歯が最も高く、そこから現在歯が少なくなるほど、また多くなるほど診療費が低くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯							119370	84570
5 - 9 歯			3980990	347460	132750	132750	106600	35190
10 - 14 歯					56420	65870	758250	102150
15 - 19 歯			133520	133520	70500	70500	298280	90180
19 歯以下 (A)			2442000	150180	71490	78810	321150	81840
20 歯以上 (B)	66110	61830	90110	64500	370460	65270	312490	72600
全 体	66110	61830	825080	93770	317700	68270	315970	74460
比 較 (A)/(B)	-	-	2710.0%	232.8%	19.3%	120.8%	102.8%	112.7%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	93380	72000	334800	141060	399930	65100	340530	71010
5 - 9 歯	407060	109050	225220	66540	704780	115020	628830	94020
10 - 14 歯	2024300	95390	102540	66540	684720	96360	676710	89250
15 - 19 歯	415100	73740	1047120	83570	352120	105900	534500	85200
19 歯以下 (A)	642020	78240	518120	81330	513580	88080	529380	85500
20 歯以上 (B)	305170	71520	124140	66750	295190	79620	266930	72540
全 体	416110	72600	327400	70500	429740	85500	393280	74760
比 較 (A)/(B)	210.4%	109.4%	417.3%	121.8%	174.0%	110.6%	198.3%	117.9%



脳血管疾患 年齢階級別歯周病の程度別

脳血管疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

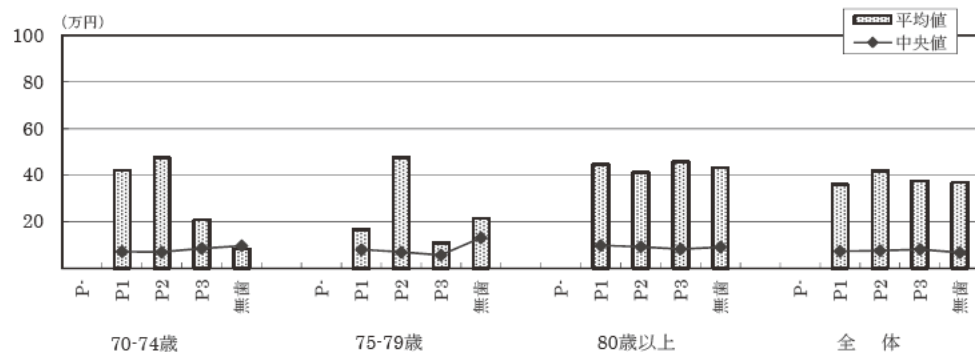
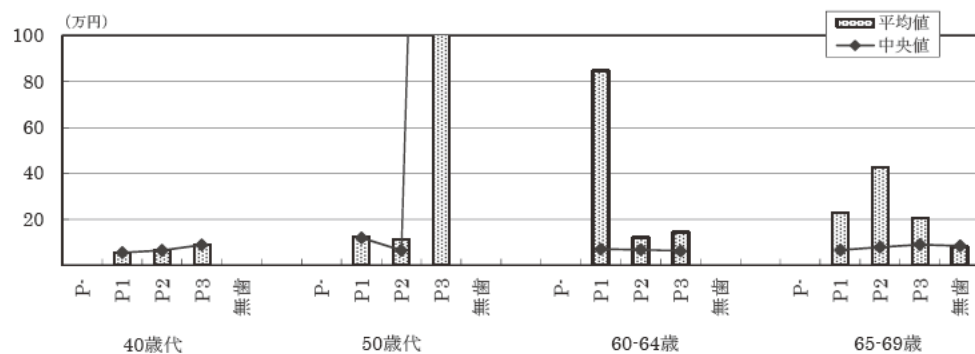
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	2	5	9	25	52	43	70	206
P2	1	9	20	53	90	85	152	410
P3	1	2	5	25	22	22	53	130
無 歯	0	0	0	4	3	7	48	62
計	4	16	34	107	167	157	323	808

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級によりばらつきがあるが、全体では、中央値では、歯周病の程度が重度なほどわずかではあるが診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	55310	55310	124100	118980	848760	70500	228110	66600
P2	64560	64560	113930	64500	122220	67500	427000	79110
P3	89250	89250	5777660	5777660	143680	62190	206040	90180
歯 周 病 あ り (A)	66110	61830	825080	93770	317700	68270	325100	74460
無 歯							81040	84320
全 体	66110	93770	825080	68270	317700	74460	315970	72570
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	421810	72570	166950	81330	445210	99300	360930	73950
P2	474760	70500	474300	70500	411720	93300	419000	75800
P3	207770	86340	109140	57470	458130	82560	375130	82200
歯 周 病 あ り (A)	422160	72570	332630	70500	429190	90810	395320	76610
無 歯	85440	97200	215370	131490	432880	59750	368810	68580
全 体	416110	72600	327400	70500	429740	85500	393280	74760
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



脳血管疾患 年齢階級別咬合の状態別

脳血管疾患の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

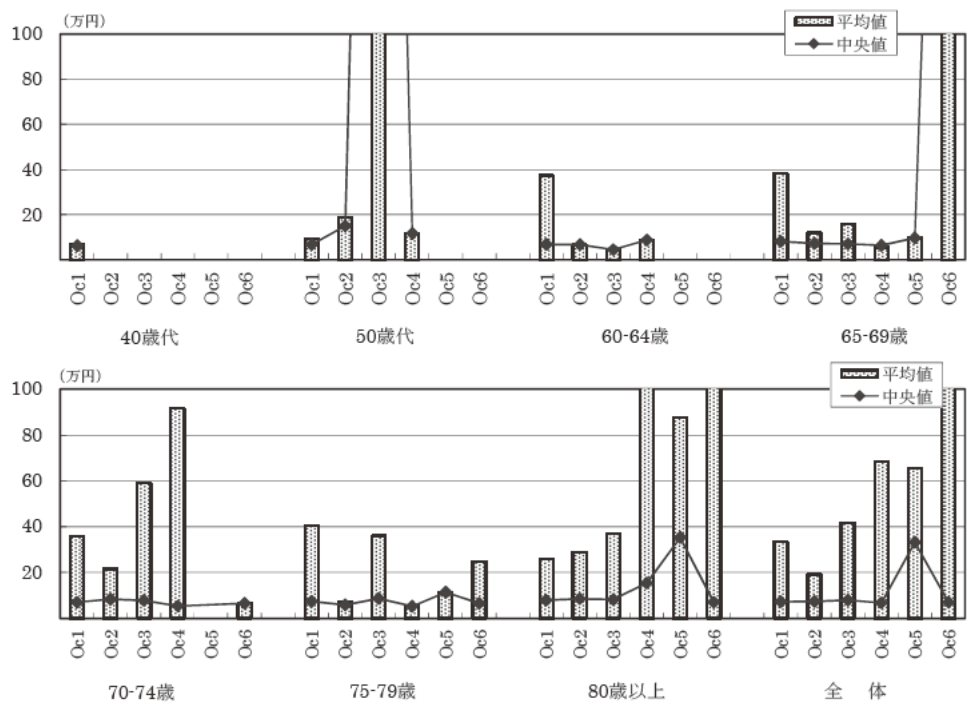
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	4	10	28	62	105	78	117	404
Oc2	0	3	2	11	19	23	33	91
Oc3	0	2	3	27	33	44	130	239
Oc4	0	1	1	5	9	3	9	28
Oc5	0	0	0	1	0	1	5	7
Oc6	0	0	0	1	1	8	25	35
計	4	16	34	107	167	157	319	804

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、Oc2 が低くなっているが概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	66110	61830	92670	67590	372900	68270	381070	81380
Oc2			187380	150180	67410	67410	119260	72600
Oc3			5797760	5797760	46190	44610	157330	70500
Oc4			116850	116850	87120	87120	54970	64500
Oc5							96630	96630
Oc6							4251660	4251660
全 体	66110	61830	825080	93770	317700	68270	315970	74460

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	358560	70500	404270	73200	259130	79410	333560	72600
Oc2	216740	83880	75060	58650	289140	86040	191150	73740
Oc3	588440	78240	361020	86880	370580	82290	416150	79110
Oc4	915370	54240	55250	52440	1142770	153450	684570	68190
Oc5			114480	114480	876820	352980	656460	332580
Oc6	66030	66030	247230	65480	1269530	70500	1086680	70500
全 体	416110	72600	327400	70500	429740	85500	393280	74760



脳血管疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

脳血管疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

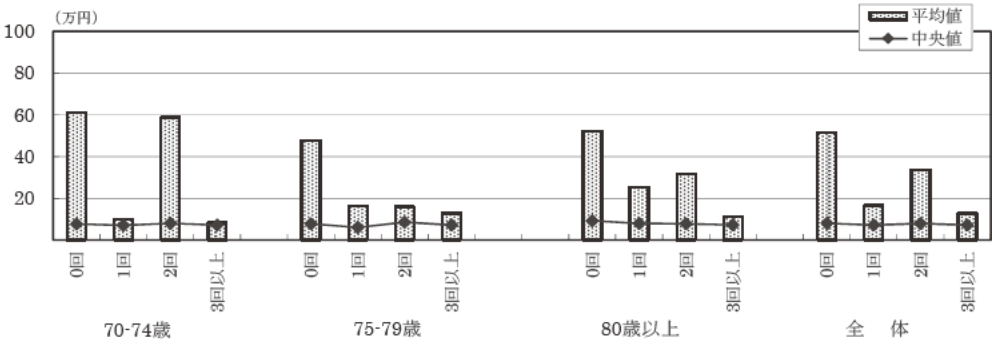
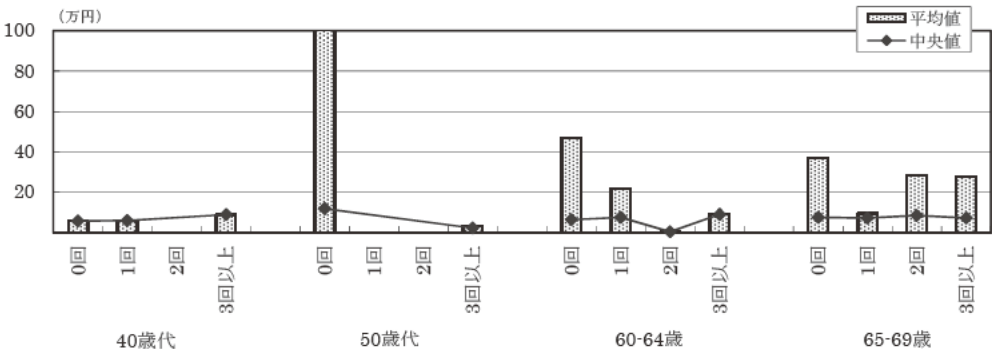
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	2	13	18	67	88	86	232	506
1 回	1	0	8	12	32	25	31	109
2 回	0	0	1	10	17	17	18	63
3 回以上	1	3	7	18	30	29	42	130
計	4	16	34	107	167	157	323	808

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、健診なしが最も高く、3回以上が最も低くなっていた。
健診なしは健診ありの 2.8 倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし (A)	58040	58040	1008510	118980	467190	63780	371110	74460
1 回	59100	59100			217430	75270	96080	71550
2 回					4140	4140	282810	84030
3 回以上	89250	89250	30210	22500	92660	89820	275760	71810
健診有り (B)	74180	74180	30210	22500	149510	75270	223620	75860
全 体	66110	61830	825080	93770	317700	68270	315970	74460
比 較 (A)/(B)	78%	78%	3338%	529%	312%	85%	166%	98%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし (A)	612120	76610	475760	78110	519750	91950	517520	79620
1 回	99010	70290	161970	59700	253170	78420	165290	70500
2 回	587400	79890	158700	85800	316610	77370	336740	79110
3 回以上	82300	70500	128960	70500	111340	72020	128290	70500
健診有り (B)	197760	72540	147700	69090	200260	76920	185130	72540
全 体	416110	72600	327400	70500	429740	85500	393280	74760
比 較 (A)/(B)	310%	106%	322%	113%	260%	120%	280%	110%



糖尿病 年齢階級別現在歯数別

糖尿病の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

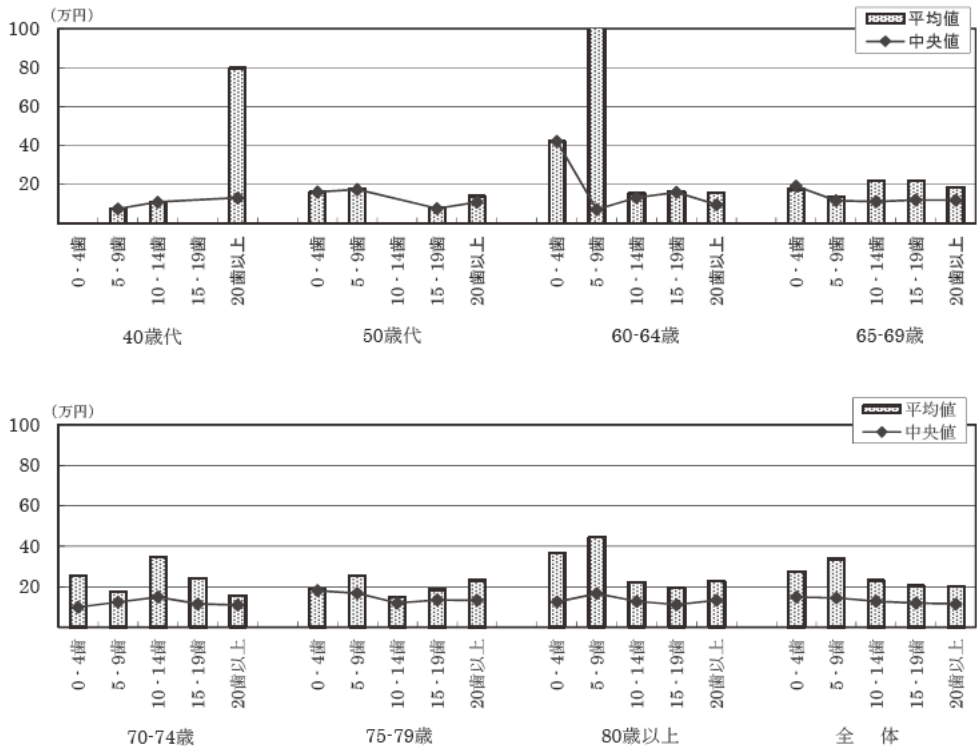
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	2	1	9	21	29	45	107
5 - 9 歯	1	2	8	19	27	26	45	128
10 - 14 歯	2	0	11	26	40	33	46	158
15 - 19 歯	0	4	14	36	50	48	39	191
20 歯以上	16	33	95	166	146	129	125	710
計	19	41	129	256	284	265	300	1,294

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では中央値では現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			160470	160470	422130	422130	174170	191340
5 - 9 歯	74730	74730	173870	173870	1090700	71100	138640	116940
10 - 14 歯	110010	110010			153290	131580	216190	111870
15 - 19 歯			80520	75780	162830	158970	219800	120600
19 歯以下 (A)	98250	99240	123840	129710	385700	134130	197060	118880
20 歯以上 (B)	796520	130700	138940	108240	155950	96840	183190	118920
全 体	686270	118020	136000	109380	216500	101220	188070	118920
比 較 (A)/(B)	12.3%	75.9%	89.1%	119.8%	247.3%	138.5%	107.6%	100.0%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	255840	99810	186680	180630	366240	125700	276430	149040
5 - 9 歯	177340	124410	253280	168150	444830	166890	337290	144630
10 - 14 歯	347350	149430	150610	119460	222340	127560	231770	129170
15 - 19 歯	241110	115110	186140	134490	195150	111930	204790	119160
19 歯以下 (A)	261670	124940	190470	143310	310490	133290	254260	131910
20 歯以上 (B)	156860	109110	232080	133920	226220	118500	202360	115470
全 体	207790	115520	210730	138660	275380	129300	225780	121710
比 較 (A)/(B)	166.8%	114.5%	82.1%	107.0%	137.3%	112.5%	125.6%	114.2%



糖尿病 年齢階級別歯周病の程度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

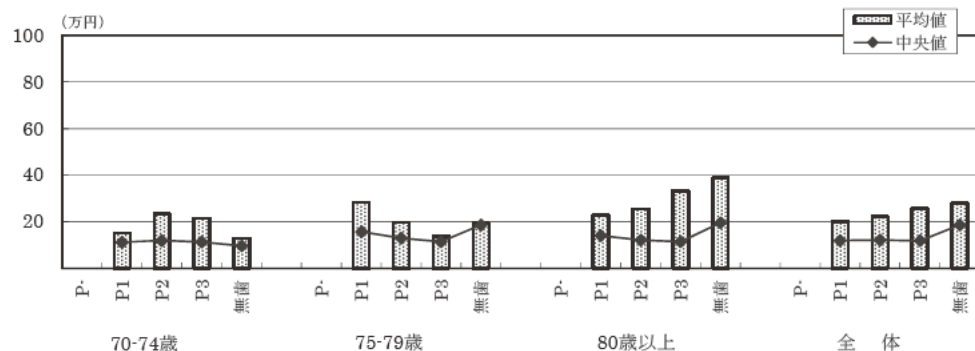
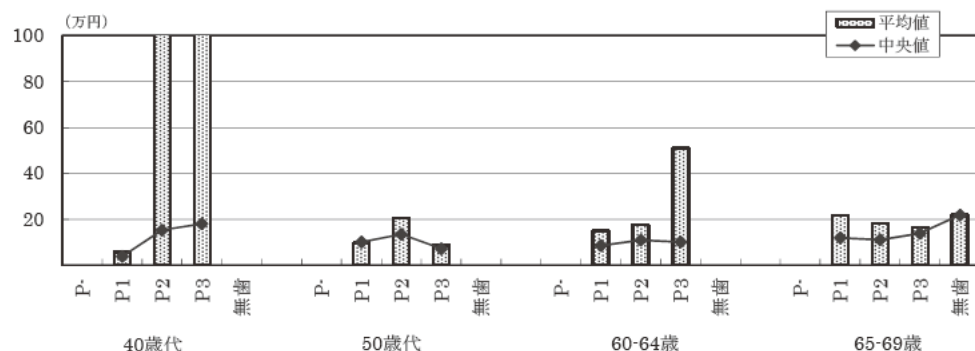
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	9	22	43	69	68	74	79	364
P2	6	15	67	125	148	135	137	633
P3	4	4	19	57	60	45	61	250
無 歯	0	0	0	5	8	11	23	47
計	19	41	129	256	284	265	300	1,294

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなっていった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	56740	38160	97650	100610	149910	85800	217310	118830
P2	1217520	152880	205520	135480	175890	110040	181030	110520
P3	1305840	180050	86150	72570	510450	101220	165300	139410
歯 周 病 あり (A)	686270	118020	136000	109380	216500	101220	187430	118530
無 歯							219990	218760
全 体	686270	109380	136000	101220	216500	118530	188070	118170
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	151030	112820	283670	157620	229340	140310	201870	120120
P2	234530	119210	196590	129600	256860	122160	223130	122160
P3	216560	114000	137290	114480	333700	114750	256860	118860
歯 周 病 あり (A)	210050	118170	211450	136280	265930	126270	223680	120330
無 歯	129740	96720	193970	186630	389180	195720	281330	186630
全 体	207790	115520	210730	138660	275380	129300	225780	121710
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



糖尿病 年齢階級別咬合の状態別

糖尿病の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

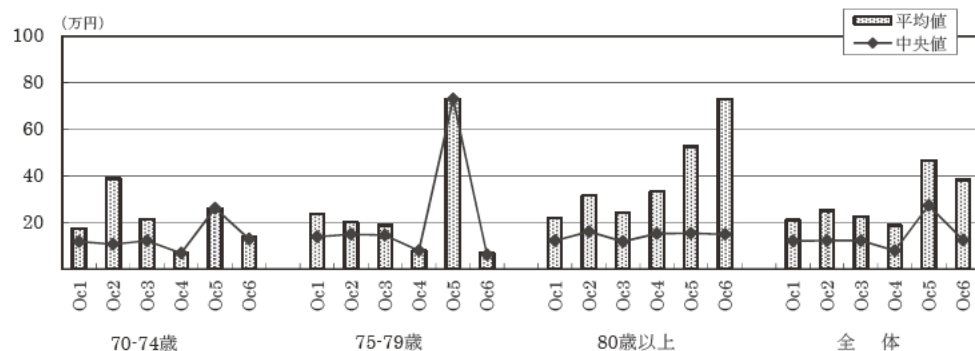
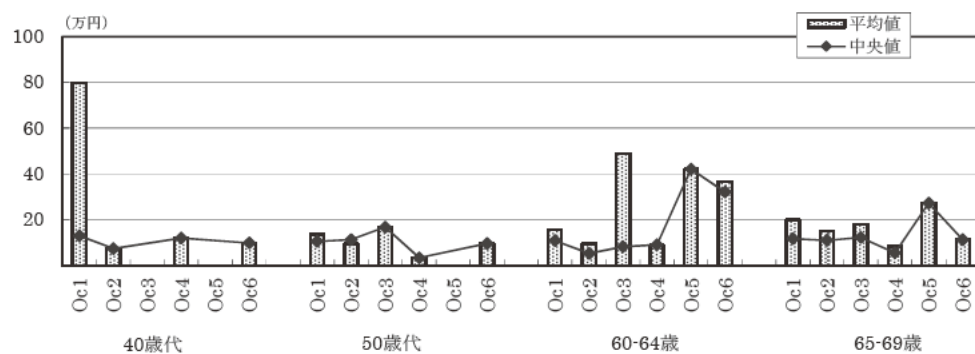
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	16	30	97	167	148	124	121	703
Oc2	1	3	5	27	31	40	27	134
Oc3	0	4	21	50	90	94	119	378
Oc4	1	2	1	3	4	2	10	23
Oc5	0	0	1	1	2	1	6	11
Oc6	1	1	4	7	6	4	15	38
計	19	40	129	255	281	265	298	1,287

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、Oc1～Oc4 が低く、Oc5 と Oc6 が高くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	796520	130700	135430	106020	156320	109200	200240	118830
Oc2	74730	74730	95640	114060	96830	54000	151600	110940
Oc3			167170	169070	490690	83040	182680	123810
Oc4	120780	120780	34860	34860	91050	91050	84270	56280
Oc5					422130	422130	273810	273810
Oc6	99240	99240	97410	97410	366060	322410	117390	112980
全 体	686270	118020	136000	109380	216500	101220	188070	118920

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	174440	118170	234670	138780	219190	121470	208890	120330
Oc2	387730	105960	200610	148520	314850	160500	249880	121970
Oc3	214310	120950	186890	144650	242840	117810	227140	122370
Oc4	68680	67340	78300	78300	332260	152360	186450	78300
Oc5	260820	260820	729420	729420	525350	154040	463550	273810
Oc6	139660	128570	66420	61310	728020	149340	381750	125280
全 体	207790	115520	210730	138660	275380	129300	225780	121710



糖尿病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

糖尿病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

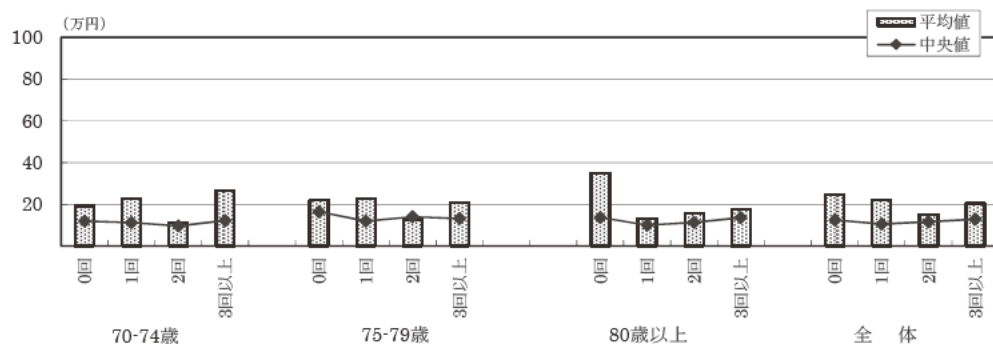
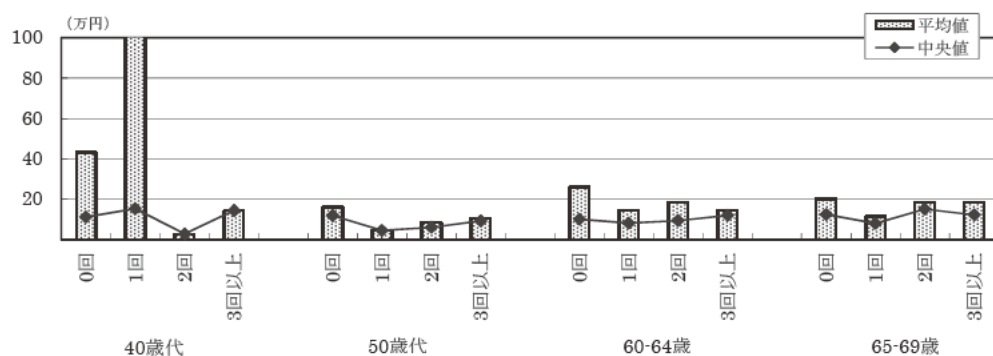
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	14	27	76	138	154	126	184	719
1 回	3	2	20	22	41	37	30	155
2 回	1	6	10	36	22	18	27	120
3 回以上	1	6	23	60	67	84	59	300
計	19	41	129	256	284	265	300	1,294

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上でやや高くなっていた。健診なしは健診ありの1.3倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	431600	111170	161230	118710	260490	100640	200950	123810
1 回	2275240	153210	45690	45690	145600	82130	115250	79760
2 回	27600	27600	84500	59660	183140	93660	185440	151040
3 回以上	143370	143370	104060	92610	147320	119310	186710	121490
健診有り(B)	1399340	143370	87340	76470	153430	101220	173000	116450
全 体	686270	118020	136000	109380	216500	101220	188070	118920
比較 (A)/(B)	31%	78%	185%	155%	170%	99%	116%	106%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	190940	118340	219060	164390	347660	136190	248820	124650
1 回	226850	112140	228110	119160	131200	100340	219620	105120
2 回	110980	95120	128210	139830	155540	113100	149920	115970
3 回以上	266650	121950	208240	131520	178120	135720	204090	128340
健診有り(B)	227750	114080	203170	129600	160730	120590	196970	118980
全 体	207790	115520	210730	138660	275380	129300	225780	121710
比較 (A)/(B)	84%	104%	108%	127%	216%	113%	126%	105%



高血圧性疾患 年齢階級別現在歯数別

高血圧性疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

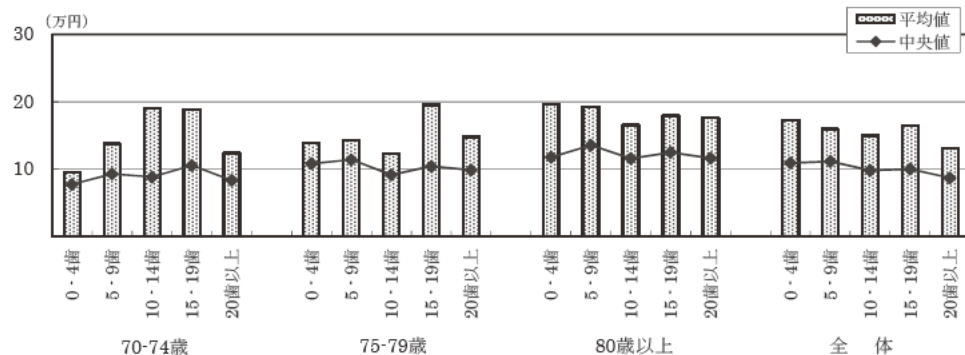
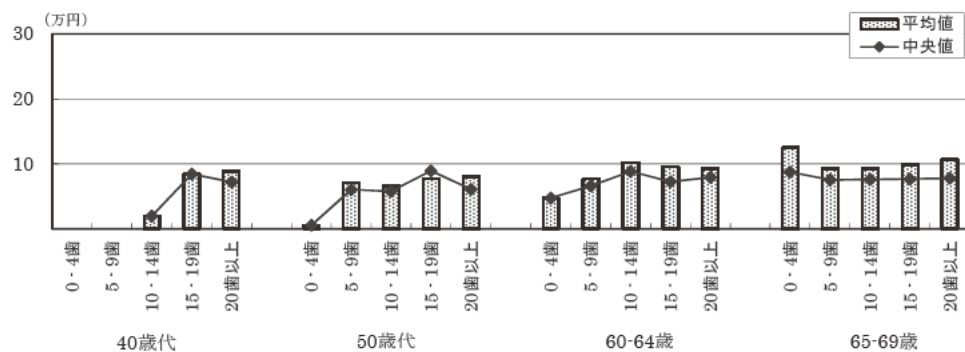
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	1	2	18	35	66	261	383
5 - 9 歯	0	3	9	42	50	83	197	384
10 - 14 歯	1	4	12	46	85	101	200	449
15 - 19 歯	2	6	41	99	117	143	195	603
20 歯以上	23	76	233	428	546	407	450	2,163
計	26	90	297	633	833	800	1,303	3,982

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、15-19 歯の平均値がやや高くなっていたが、概ね現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			5820	5820	47510	47510	125540	87420
5 - 9 歯			70720	60300	76990	66180	93020	75240
10 - 14 歯	19500	19500	66250	57710	102210	88650	92790	76140
15 - 19 歯	84390	84390	77390	89160	95690	72390	99360	76740
19 歯以下 (A)	62760	28860	67670	65480	92780	71820	98890	76740
20 歯以上 (B)	89110	72060	80210	60750	92910	79140	106810	77910
全 体	86070	71370	78260	60780	92880	76920	104240	77310
比 較 (A)/(B)	70.4%	40.0%	84.4%	107.8%	99.9%	90.8%	92.6%	98.5%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	95930	77790	138620	108630	196450	117810	172690	109230
5 - 9 歯	138030	93030	142340	114420	192250	135600	159900	111450
10 - 14 歯	190240	88800	122530	91740	165630	116160	150230	98400
15 - 19 歯	189120	105600	195360	104550	179310	124920	164880	100440
19 歯以下 (A)	169190	94290	155920	105120	184340	122610	161860	104550
20 歯以上 (B)	123840	83610	148210	99000	176340	116540	130740	87240
全 体	139460	86880	152000	102290	181570	119520	144960	95580
比 較 (A)/(B)	136.6%	112.8%	105.2%	106.2%	104.5%	105.2%	123.8%	119.8%



高血圧性疾患 年齢階級別歯周病の程度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

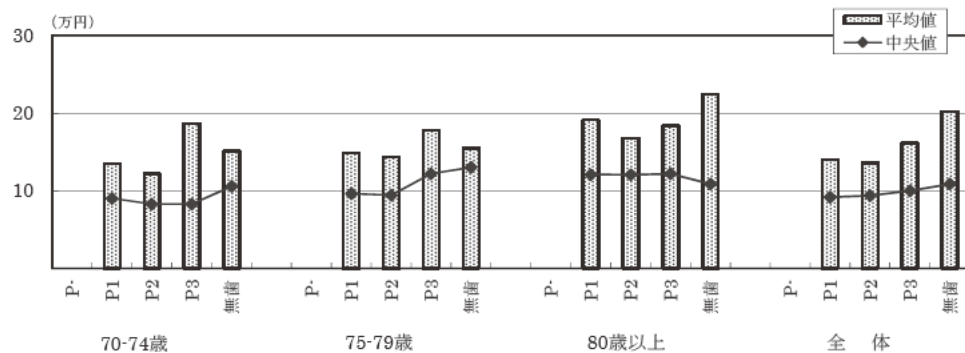
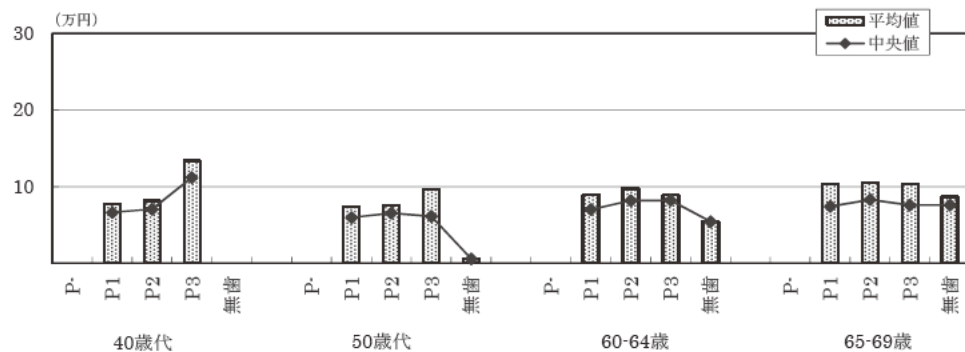
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	10	40	100	214	242	214	304	1,124
P2	13	30	135	294	412	400	605	1,889
P3	3	19	61	120	168	160	274	805
無 歯	0	1	1	5	11	26	120	164
計	26	90	297	633	833	800	1,303	3,982

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、概ね歯周病の程度が重度なほど診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	77000	66540	73660	59820	89130	70280	103120	74460
P2	81950	70680	75730	65480	97580	81900	105420	83150
P3	134210	112080	95750	61260	89240	82320	104080	75930
歯 周 病 あり (A)	86070	71370	79070	61260	93010	77430	104380	77360
無 歯			5820	5820	54480	54480	87440	76110
全 体	86070	61260	78260	77430	92880	77360	104240	86510
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	134890	90290	148340	96360	190940	121010	139800	91700
P2	122500	82910	143320	94550	167520	120480	135870	93930
P3	186860	82850	178140	121950	183450	121710	161880	100230
歯 周 病 あり (A)	139300	86510	151900	101270	177230	121050	142510	94680
無 歯	151460	105660	154810	130220	224430	108780	201950	108780
全 体	139460	86880	152000	102290	181570	119520	144960	95580
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



高血圧性疾患 年齢階級別咬合の状態別

高血圧性疾患の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

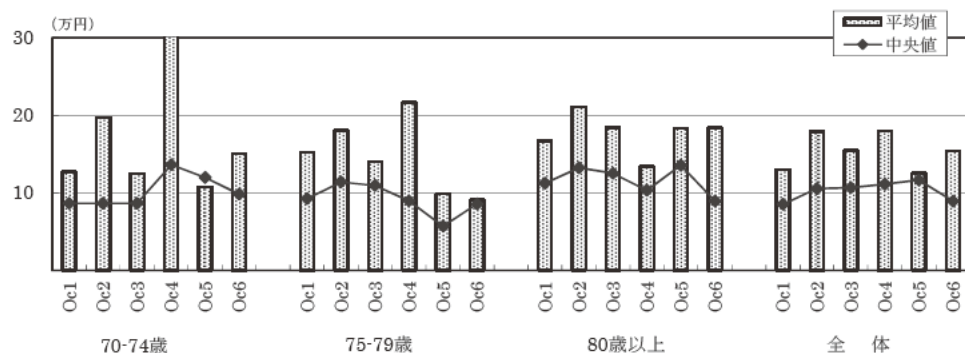
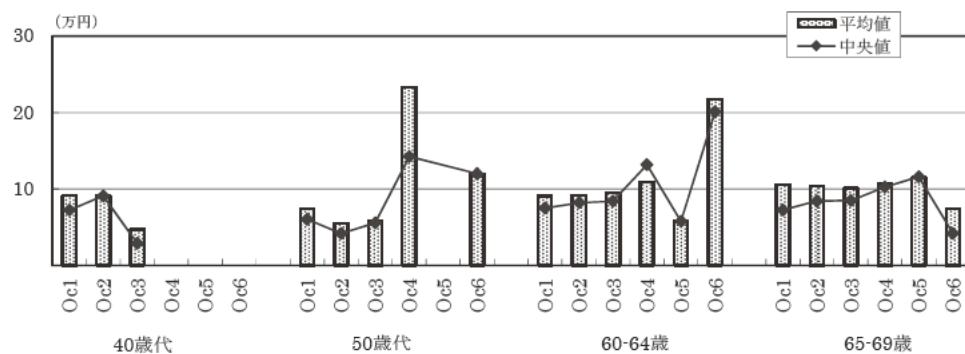
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	21	69	230	409	533	401	432	2,095
Oc2	2	7	27	61	105	107	183	492
Oc3	3	8	31	125	159	252	598	1,176
Oc4	0	3	5	17	15	18	28	86
Oc5	0	0	1	8	4	11	9	33
Oc6	0	2	3	10	17	10	46	88
計	26	89	297	630	833	799	1,296	3,970

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別でばらつきがあるが、全体では、Oc1 が平均値、中央値とも低くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	91190	72060	74200	60240	90820	74840	106080	72420
Oc2	90870	90870	54710	41700	92040	81900	103130	84150
Oc3	47050	28860	57830	55350	95390	83940	101020	84900
Oc4			233330	142170	108610	131580	106360	102330
Oc5					57600	57600	115060	115850
Oc6			119990	119990	217720	200880	73750	41820
全 体	86070	71370	78260	60780	92880	76920	104240	77310

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	127240	86430	152130	92430	166710	112440	129910	85200
Oc2	197350	86580	180620	113940	211200	132390	178940	105600
Oc3	125280	86430	140300	109430	184450	125120	154560	106680
Oc4	315730	136200	216400	89850	133670	103250	179360	111240
Oc5	107570	119940	99120	57150	183310	135600	125710	116610
Oc6	149880	98490	91170	85830	183660	89360	153850	89510
全 体	139460	86880	152000	102290	181570	119520	144960	95580



高血圧性疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

高血圧性疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

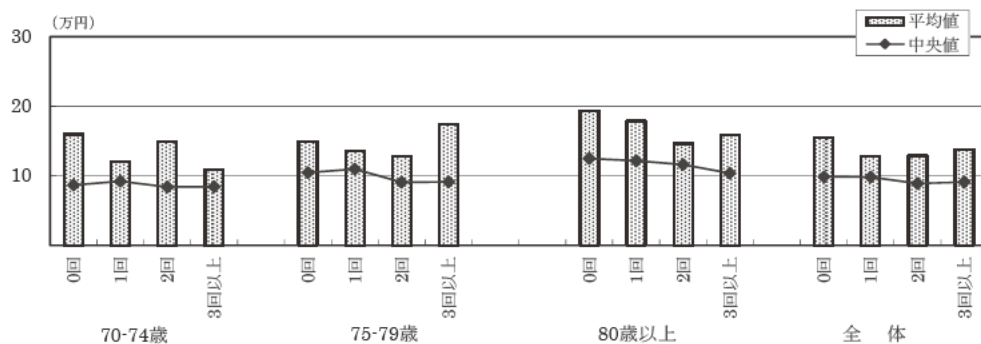
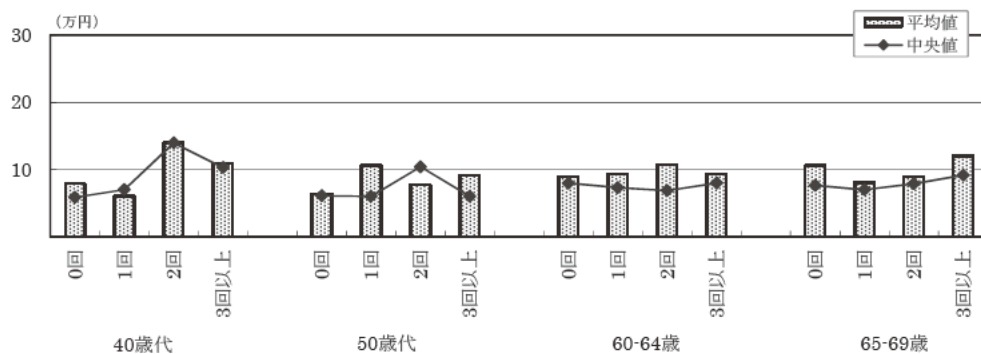
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	15	49	147	304	401	408	802	2,126
1 回	4	13	63	103	141	130	157	611
2 回	1	3	27	65	79	64	97	336
3 回以上	6	25	60	161	212	198	247	909
計	26	90	297	633	833	800	1,303	3,982

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、健診なしの診療費が最も高く、1回、2回が低くなり、3回以上では高くなっていた。健診なしは健診ありの約1.2倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	79720	59010	63690	61260	89380	79920	106610	76850
1 回	61100	70370	106480	60300	93750	73440	81200	70410
2 回	139920	139920	77900	104610	107430	68940	89490	79260
3 回以上	109630	103280	92190	60240	94000	80480	120480	91980
健診有り(B)	94730	92790	95680	60300	96310	74520	102060	78720
全 体	86070	71370	78260	60780	92880	76920	104240	77310
比較(A)/(B)	84%	64%	67%	102%	93%	107%	104%	98%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	160080	86940	149820	104880	193150	125270	155260	98960
1 回	119860	92220	135950	109800	178820	121920	128550	98310
2 回	150310	84030	128900	90920	146950	116340	129370	89270
3 回以上	109470	84600	174490	91460	159320	103920	137630	91260
健診有り(B)	120330	86600	154260	98210	163040	112890	133150	91730
全 体	139460	86880	152000	102290	181570	119520	144960	95580
比較(A)/(B)	133%	100%	97%	107%	118%	111%	117%	108%



動脈硬化症 年齢階級別現在歯数別

動脈硬化症の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

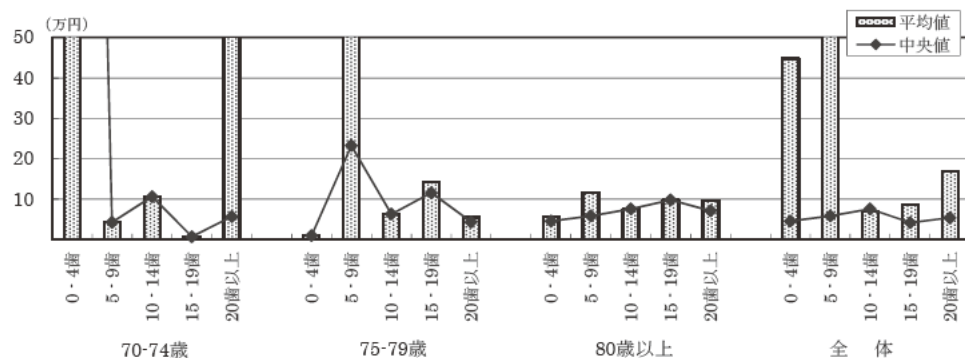
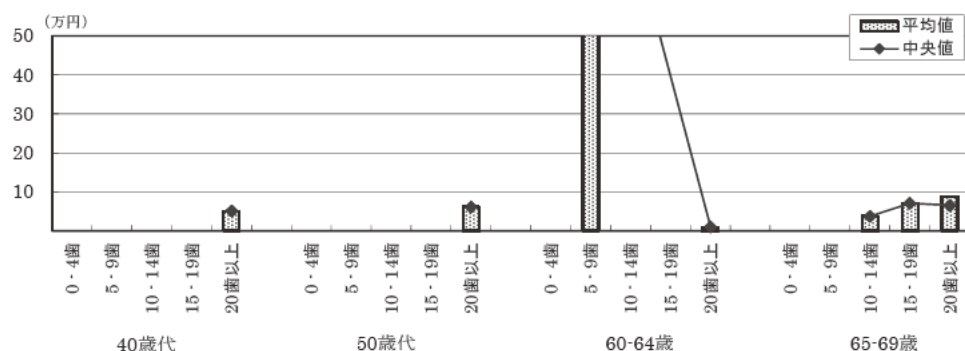
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	0	0	0	1	1	8	10
5 - 9 歯	0	0	2	0	1	3	3	9
10 - 14 歯	0	0	0	1	1	2	2	6
15 - 19 歯	0	0	0	2	2	3	2	9
20 歯以上	1	1	1	8	8	10	7	36
計	1	1	3	11	13	19	22	70

・診療費（一人あたり1年間、円）

動脈硬化症の該当者が少なく、現在歯数との関連は不明であるが、全体では0-4歯、5-9歯の診療費が高くなっていた。19歯以下は20歯以上の1.9倍高くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯								
5 - 9 歯					1168920	1168920		
10 - 14 歯							37500	37500
15 - 19 歯							70850	70850
19 歯以下 (A)					1168920	1168920	59730	42180
20 歯以上 (B)	51060	51060	61350	61350	10140	10140	88230	65660
全 体	51060	51060	61350	61350	782660	24420	80460	42180
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	11527.8%	11527.8%	67.7%	64.2%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	4019340	4019340	10710	10710	55650	46490	447520	46490
5 - 9 歯	43470	43470	922660	232680	117340	58740	611260	58740
10 - 14 歯	106440	106440	63330	63330	76100	76100	70460	76100
15 - 19 歯	7580	7580	142520	115770	98360	98360	86790	42180
19 歯以下 (A)	836880	43470	370320	109020	76410	58740	328840	57870
20 歯以上 (B)	502390	57480	54600	43860	97430	71070	168760	54210
全 体	631040	57360	204150	44340	83090	59010	246510	57180
比 較 (A)/(B)	166.6%	75.6%	678.2%	248.6%	78.4%	82.7%	194.8%	106.8%



動脈硬化症 年齢階級別歯周病の程度別

動脈硬化症の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

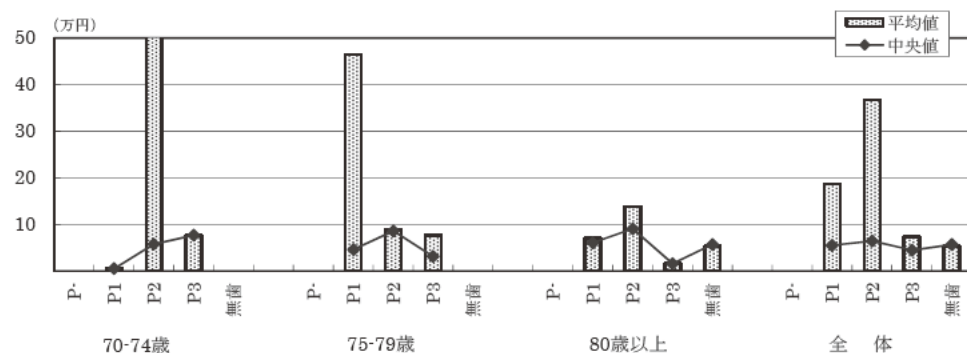
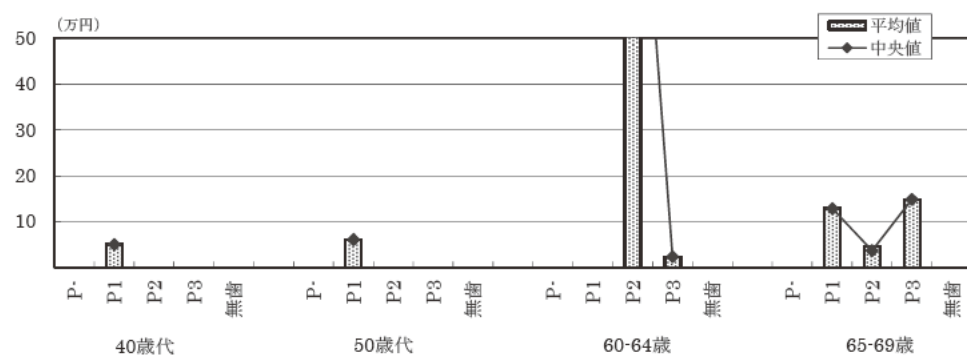
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	1	1	0	2	2	6	8	20
P2	0	0	2	7	9	9	7	34
P3	0	0	1	2	2	4	2	11
無 歯	0	0	0	0	0	0	5	5
計	1	1	3	11	13	19	22	70

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯周病の程度との関連は不明であった。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	51060	51060	61350	61350			128960	128960
P2					1161780	1161780	47040	37500
P3					24420	24420	148940	148940
歯 周 病 あり (A)	51060	51060	61350	61350	782660	24420	80460	42180
無 歯								
全 体	51060	61350	61350	24420	782660	42180	80460	57360
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	4920	4920	463390	46190	70070	60230	186050	54900
P2	893340	57600	88070	85590	138520	90480	366330	64340
P3	76820	76820	76500	30990	15560	15560	73910	44340
歯 周 病 あり (A)	631040	57360	204150	44340	91840	61710	261370	57360
無 歯					53350	57000	53350	57000
全 体	631040	57360	204150	44340	83090	59010	246510	57180
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



動脈硬化症 年齢階級別咬合の状態別

動脈硬化症の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

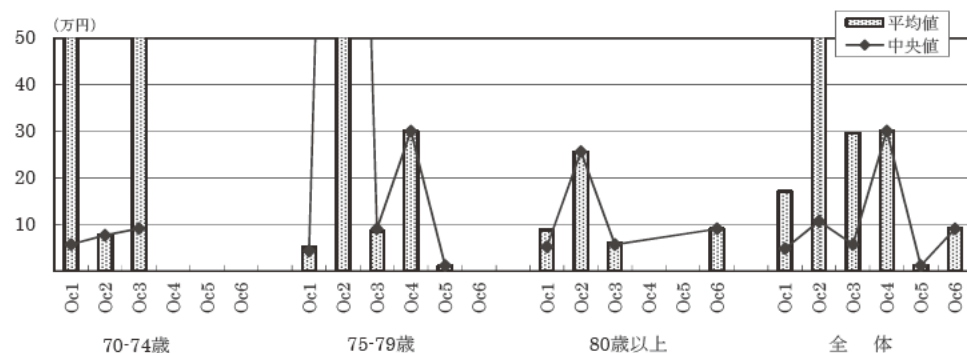
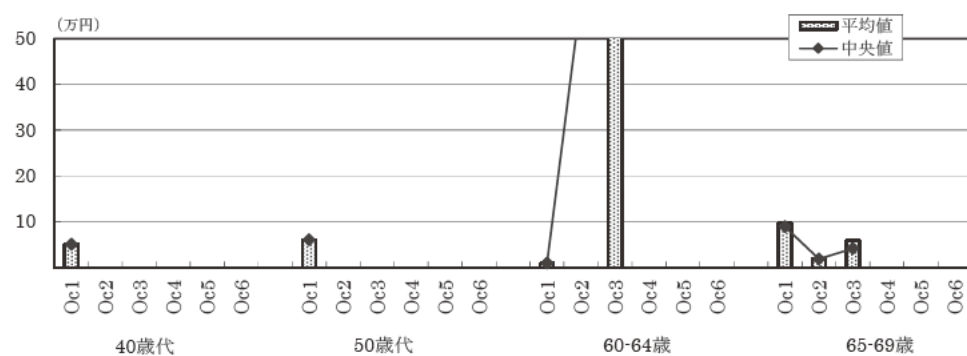
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	1	1	1	7	7	9	8	34
Oc2	0	0	0	1	2	1	1	5
Oc3	0	0	2	3	4	7	11	27
Oc4	0	0	0	0	0	1	0	1
Oc5	0	0	0	0	0	1	0	1
Oc6	0	0	0	0	0	0	1	1
計	1	1	3	11	13	19	21	69

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、咬合の状態との関連は不明であった。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	51060	51060	61350	61350	10140	10140	98050	89310
Oc2							19470	19470
Oc3					1168920	1168920	59730	42180
Oc4								
Oc5								
Oc6								
全 体	51060	51060	61350	61350	782660	24420	80460	42180

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	548250	57360	50620	43380	88440	51990	170880	47700
Oc2	76820	76820	2515080	2515080	256200	256200	588880	106440
Oc3	1053020	91430	85210	90450	60140	57000	295820	57000
Oc4			300450	300450			300450	300450
Oc5			11340	11340			11340	11340
Oc6					90480	90480	90480	90480
全 体	631040	57360	204150	44340	83090	59010	246510	57180



動脈硬化症 年齢階級別歯科健診受診頻度別

動脈硬化症の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

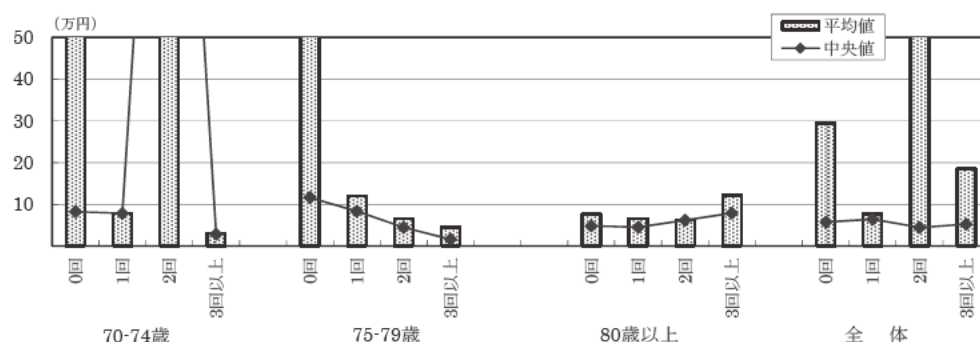
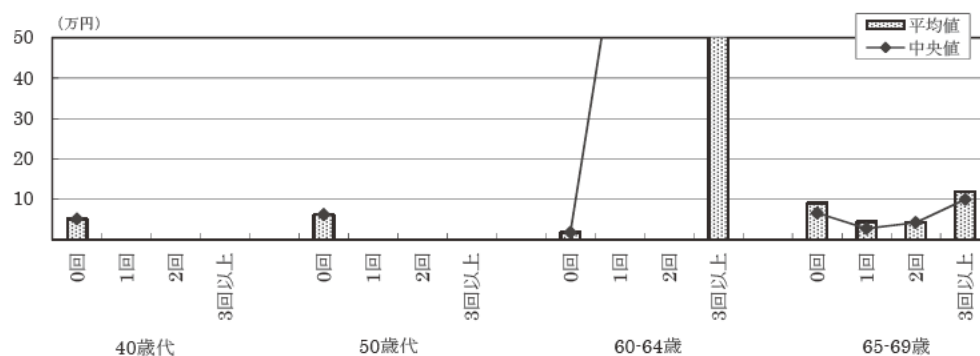
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	1	2	4	6	5	10	29
1 回	0	0	0	3	1	4	6	14
2 回	0	0	0	1	2	3	1	7
3 回以上	0	0	1	3	4	7	5	20
計	1	1	3	11	13	19	22	70

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯科健診受診頻度との関係は不明であるが、全体では、健診なしは健診ありの約1.4倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	51060	51060	61350	61350	17280	17280	89880	65750
1 回							43590	26910
2 回							42000	42000
3 回以上					2313420	2313420	117580	99510
健診有り(B)					2313420	2313420	75070	42000
全 体	51060	51060	61350	61350	782660	24420	80460	42180
比較 (A)/(B)	-	-	-	-	1%	1%	120%	157%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	728360	81900	577730	115770	77140	48180	294370	57360
1 回	78450	78450	119710	82980	64750	44960	76900	64040
2 回	1817270	1817270	65580	44340	61710	61710	562140	44340
3 回以上	30100	28550	44960	15300	121300	78660	185390	52400
健診有り(B)	547620	47190	70730	43860	88060	60230	212670	57000
全 体	631040	57360	204150	44340	83090	59010	246510	57180
比較 (A)/(B)	133%	174%	817%	264%	88%	80%	138%	101%



肺炎 年齢階級別現在歯数別

肺炎の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

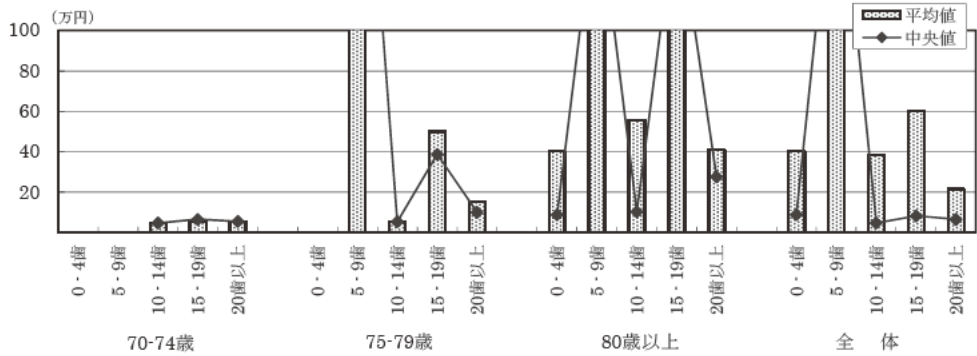
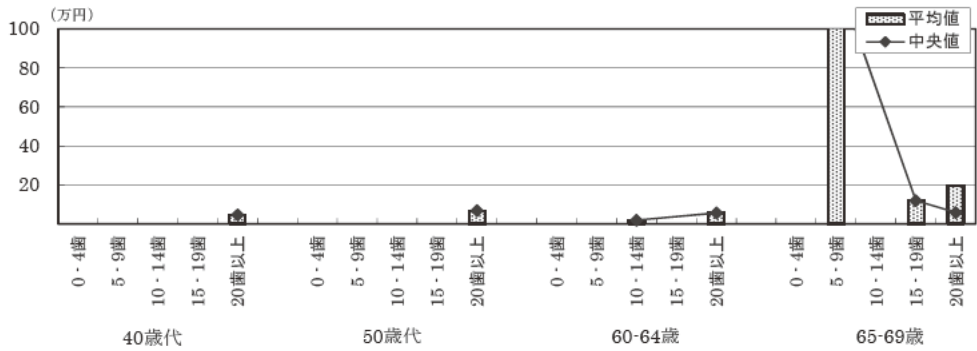
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0- 4 歯	0	0	0	0	0	0	10	10
5- 9 歯	0	0	0	2	0	1	7	10
10-14 歯	0	0	1	0	1	1	6	9
15-19 歯	0	0	0	1	4	6	4	15
20 歯以上	1	1	1	7	4	5	8	27
計	1	1	2	10	9	13	35	71

・診療費（一人あたり1年間、円）

一昨年から、肺炎についても分析を行っているが、該当者が少なく、現在歯数との関連は不明であった。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯								
5 - 9 歯							1279950	1279950
10 - 14 歯					19230	19230		
15 - 19 歯							118800	118800
19 歯以下 (A)					19230	19230	892900	208830
20 歯以上 (B)	46200	46200	67800	67800	55290	55290	196410	58260
全 体	46200	46200	67800	67800	37260	37260	405350	80600
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	34.8%	34.8%	454.6%	358.4%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯					403230	88610	403230	88610
5 - 9 歯			2661600	2661600	2356830	1686000	2171930	1975670
10 - 14 歯	47670	47670	55140	55140	557210	102450	385030	47670
15 - 19 歯	59910	66060	500310	386250	1409840	1614320	599980	83880
19 歯以下 (A)	57460	64740	714830	386250	1093060	484920	868560	133160
20 歯以上 (B)	56190	56180	154490	99960	408420	276500	215140	65850
全 体	56900	64740	499310	99960	936570	427680	620070	83610
比 較 (A)/(B)	102.3%	115.2%	462.7%	386.4%	267.6%	175.4%	403.7%	202.2%



肺炎 年齢階級別歯周病の程度別

肺炎の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

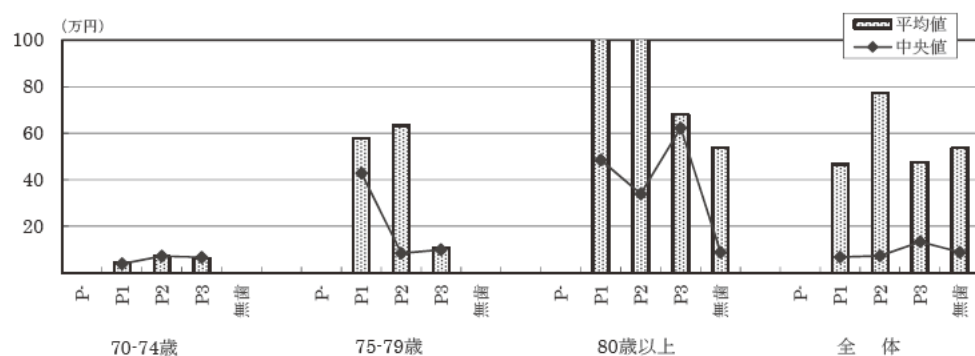
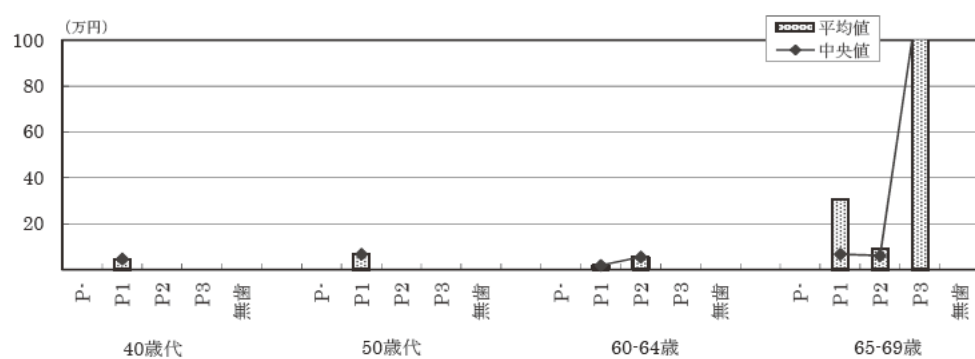
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	1	1	1	4	4	3	5	19
P2	0	0	1	4	2	7	20	34
P3	0	0	0	2	3	3	4	12
無 歯	0	0	0	0	0	0	6	6
計	1	1	2	10	9	13	35	71

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯周病の程度との関連は不明であるが、全体では、中央値では、歯周病の程度が重度の方が診療費が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	46200	46200	67800	67800	19230	19230	305930	67500
P2					55290	55290	89990	62060
P3							1234940	1234940
歯 周 病 あ り (A)	46200	46200	67800	67800	37260	37260	405350	80600
無 歯								
全 体	46200	67800	67800	37260	37260	80600	405350	64740
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	44300	39780	577180	429030	1120150	484920	466650	67800
P2	72600	72600	633160	83880	1061750	339240	771400	73160
P3	63230	67380	109140	99960	680420	622550	475720	133160
歯 周 病 あ り (A)	56900	64740	499310	99960	1019220	484920	627730	83610
無 歯					537090	88610	537090	88610
全 体	56900	64740	499310	99960	936570	427680	620070	83610
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-



肺炎 年齢階級別咬合の状態別

肺炎の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

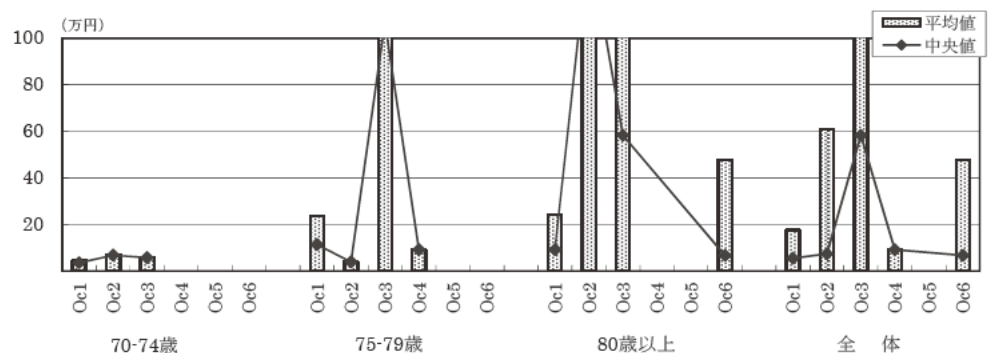
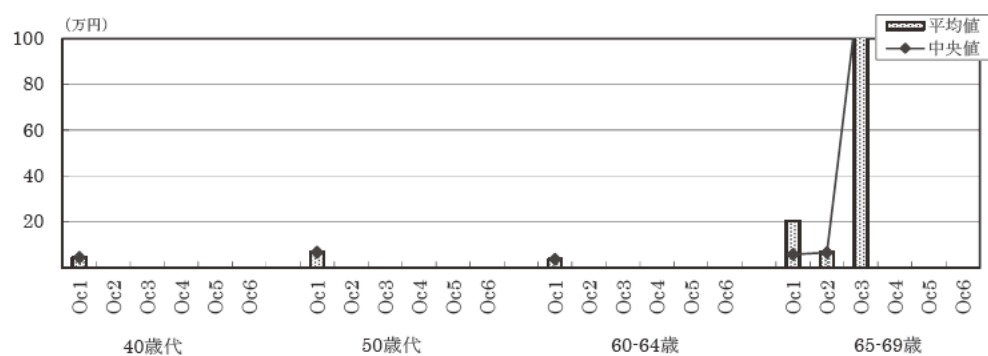
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	1	1	2	7	4	6	8	29
Oc2	0	0	0	1	3	1	3	8
Oc3	0	0	0	2	2	4	17	25
Oc4	0	0	0	0	0	2	0	2
Oc5	0	0	0	0	0	0	0	0
Oc6	0	0	0	0	0	0	7	7
計	1	1	2	10	9	13	35	71

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、咬合の状態との関連は不明であった。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	46200	46200	67800	67800	37260	37260	203970	58260
Oc2							65850	65850
Oc3							1279950	1279950
Oc4								
Oc5								
Oc6								
全 体	46200	46200	67800	67800	37260	37260	405350	80600

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	45750	35300	236050	113730	243080	91910	177940	55290
Oc2	70860	67380	38520	38520	1519230	1423320	609330	73920
Oc3	58250	58250	1213110	1067850	1349970	582810	1219130	582810
Oc4			91920	91920			91920	91920
Oc5								
Oc6					475460	66600	475460	66600
全 体	56900	64740	499310	99960	936570	427680	620070	83610



肺炎 年齢階級別歯科健診受診頻度別

肺炎の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

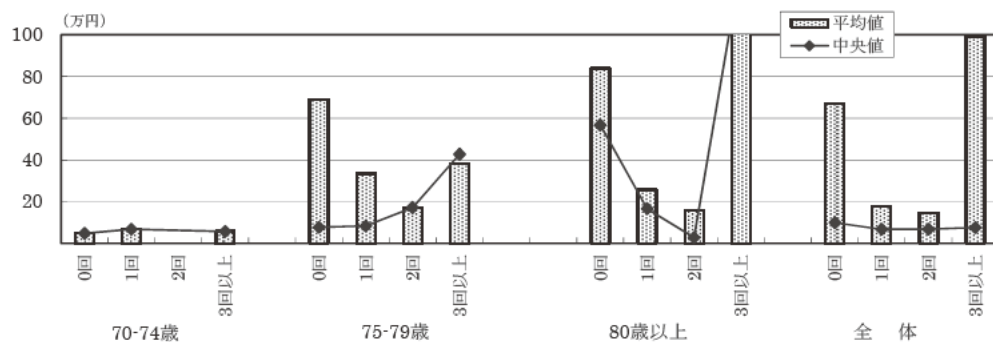
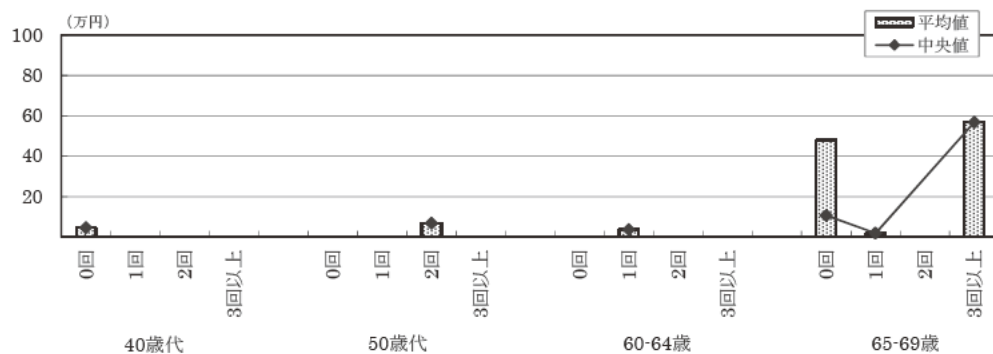
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	1	0	0	6	4	6	24	41
1 回	0	0	2	2	1	3	3	11
2 回	0	1	0	0	0	1	3	5
3 回以上	0	0	0	2	4	3	5	14
計	1	1	2	10	9	13	35	71

・診療費（一人あたり1年間、円）

該当者が少なく、歯科健診受診頻度との関係は不明であるが、全体では、中央値では、歯科健診受診頻度が多くなるほど診療費が低くなり、3回以上でやや高くなっていた。健診なしは健診ありの約1.2倍高かった。

健 診 頻 度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	46200	46200					479930	107070
1 回					37260	37260	18600	18600
2 回			67800	67800				
3 回以上							568400	568400
健 診 有 り (B)			67800	67800	37260	37260	293500	42630
全 体	46200	46200	67800	67800	37260	37260	405350	80600
比 較 (A)/(B)	-	-	-	-	-	-	164%	251%

健 診 頻 度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健 診 な し (A)	51470	48320	692830	77550	840140	567990	669560	99960
1 回	67380	67380	335210	83880	258790	166140	178280	67380
2 回			172320	172320	160300	28710	144200	67800
3 回以上	59700	58250	385390	429030	2271890	1329060	992230	76220
健 診 有 り (B)	61240	67380	333450	172320	1146980	166140	552440	68310
全 体	56900	64740	499310	99960	936570	427680	620070	83610
比 較 (A)/(B)	84%	72%	208%	45%	73%	342%	121%	146%



歯の疾患 年齢階級別現在歯数別

歯の疾患の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

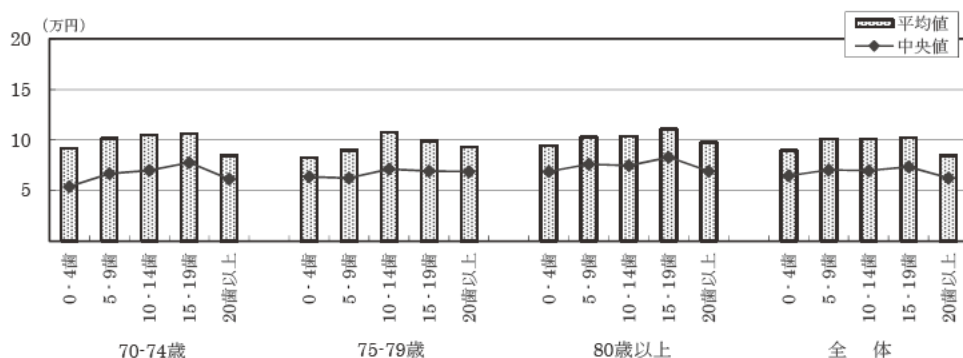
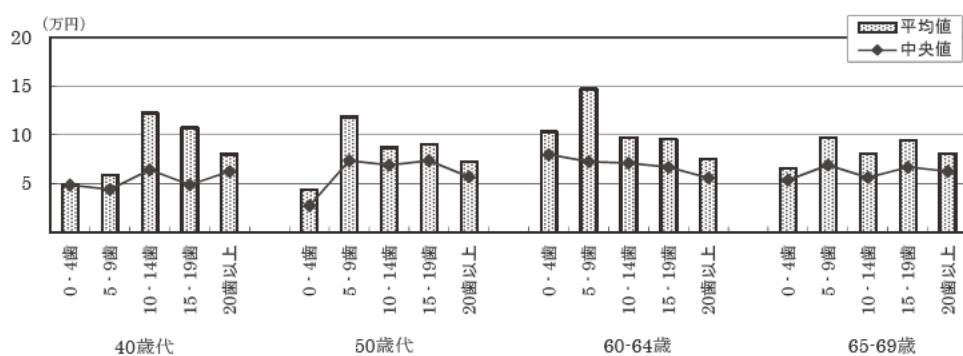
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	1	3	15	48	71	120	391	649
5 - 9 歯	5	14	34	102	132	163	393	843
10 - 14 歯	7	21	64	137	218	242	385	1,074
15 - 19 歯	9	44	125	259	335	342	426	1,540
20 歯以上	309	464	828	1,316	1,418	944	935	6,214
計	331	546	1,066	1,862	2,174	1,811	2,530	10,320

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも、概ね5-19 歯の診療費が高く、0-4 歯と20 歯以上は低くなっていた。全体でも、同様に 5-19 歯が高く、0-4 歯と 20 歯以上は低くなっていた。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	48630	48630	43370	27480	103600	79830	66290	53660
5 - 9 歯	58870	44160	118450	73650	146930	72690	96830	69050
10 - 14 歯	122260	64260	87210	69180	97220	70880	80600	56280
15 - 19 歯	107430	48810	90150	73550	95630	66960	93860	66930
19 歯以下 (A)	98440	49580	92520	71690	103890	71720	88670	63420
20 歯以上 (B)	80020	62580	72250	56930	75390	55860	80860	62690
全 体	81240	62040	75290	58850	81760	59120	83150	62930
比 較 (A)/(B)	123.0%	79.2%	128.1%	125.9%	137.8%	128.4%	109.7%	101.2%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	92050	54060	82750	63590	94700	68850	90000	64740
5 - 9 歯	101870	66950	89970	62490	102880	76290	101270	70440
10 - 14 歯	104920	70080	108000	71210	103600	74790	101340	69800
15 - 19 歯	106100	77880	98980	69450	110930	83000	102500	73440
19 歯以下 (A)	103700	70860	97560	68430	103200	75360	99970	70530
20 歯以上 (B)	84690	61490	92570	68840	97390	69180	84590	62570
全 体	91300	65310	94960	68730	101050	72810	90710	65930
比 較 (A)/(B)	122.4%	115.2%	105.4%	99.4%	106.0%	108.9%	118.2%	112.7%



歯の疾患 年齢階級別歯周病の程度別

歯の疾患の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

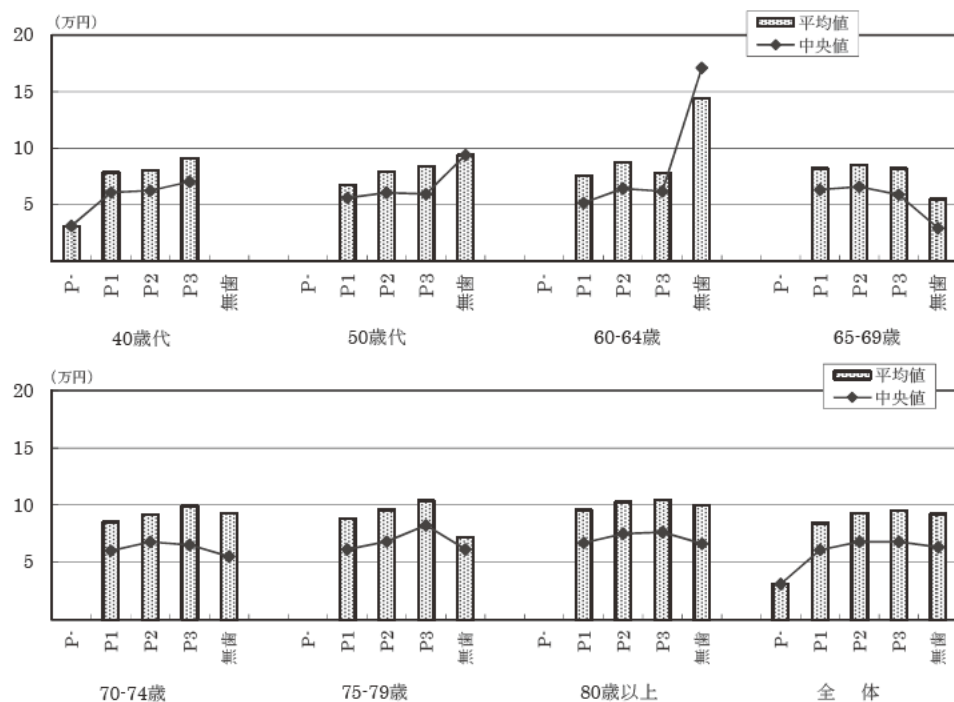
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-	1	0	0	0	0	0	0	1
P1	163	225	371	611	618	485	628	3,101
P2	119	228	495	874	1,132	950	1,268	5,066
P3	48	92	196	364	409	339	493	1,941
無 歯	0	1	4	13	15	37	141	211
計	331	546	1,066	1,862	2,174	1,811	2,530	10,320

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級とも、概ね歯周病が重度なほど診療費が高くなっていた。全体でも、同様の傾向が認められ、歯周病ありは歯周病なしの約3倍高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-	31260	31260						
P1	78810	60870	67390	56100	75430	51630	81960	63210
P2	80900	62580	79430	60630	87390	64290	84840	65910
P3	91370	70340	84140	59430	78220	61860	82080	58830
歯 周 病 あ り (A)	81390	62040	75260	58800	81520	58970	83350	62970
無 歯			93840	93840	144140	171000	54990	29160
全 体	81240	58800	75290	58970	81760	62970	83150	65310
比 較 (A)/(P-)	260.4%	198.5%	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-							31260	31260
P1	85310	60260	88600	61440	95700	67140	84450	60900
P2	91640	67910	95910	68370	102570	74960	92790	68040
P3	99340	65310	103870	82350	104370	76350	95120	68070
歯 周 病 あ り (A)	91290	65310	95430	68760	101130	73050	90680	65990
無 歯	93090	55230	72190	61410	99670	66300	92450	63390
全 体	91300	65310	94960	68730	101050	72810	90710	65930
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	290.1%	211.1%



歯の疾患 年齢階級別咬合の状態別

歯の疾患の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

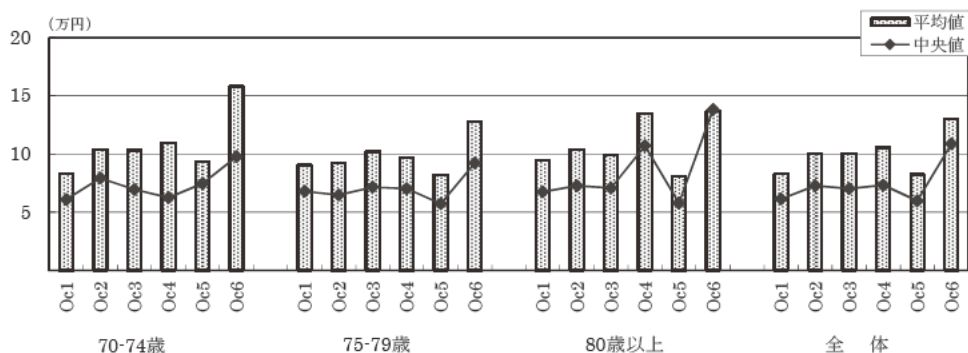
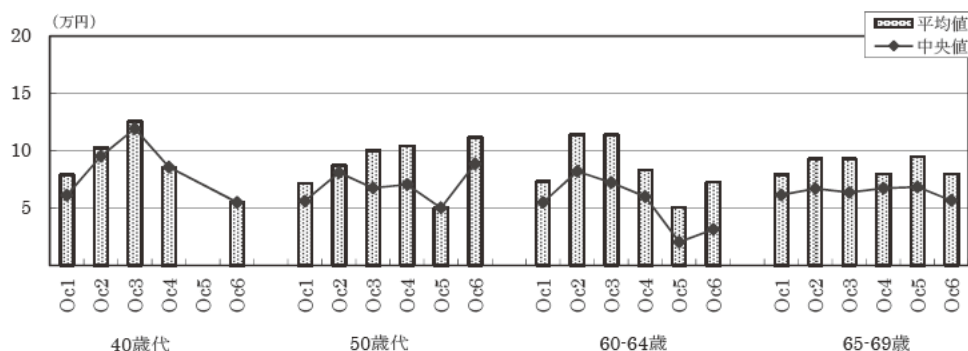
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	303	453	800	1,268	1,384	934	924	6,066
Oc2	9	36	97	192	251	252	349	1,186
Oc3	12	37	128	330	464	542	1,036	2,549
Oc4	2	12	24	32	35	29	53	187
Oc5	0	2	4	9	10	14	18	57
Oc6	1	5	9	18	24	34	140	231
計	327	545	1,062	1,849	2,168	1,805	2,520	10,276

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では、Oc5 がやや低くなっているが、概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど、診療費が高くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	78860	61050	71400	56100	73010	54930	79080	61460
Oc2	102540	95100	86900	80840	113850	81900	92920	66950
Oc3	125690	119120	100250	67410	113760	72300	92800	63540
Oc4	85710	85710	104000	70550	83020	59990	79820	67130
Oc5			50130	50130	50340	20330	94840	68460
Oc6	54870	54870	111710	88500	72740	31290	79910	56490
全 体	81240	62040	75290	58850	81760	59120	83150	62930

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	83380	61070	90680	68010	94790	67620	82850	61500
Oc2	104320	79380	91980	64860	103730	72750	99920	72750
Oc3	103080	69570	102250	71660	99290	70710	100630	70320
Oc4	109600	62730	96990	70320	134570	107010	105600	73410
Oc5	93810	74720	82080	57260	81060	57890	82480	59880
Oc6	158410	97670	127840	92360	136990	138110	130010	108900
全 体	91300	65310	94960	68730	101050	72810	90710	65930



歯の疾患 年齢階級別歯科健診受診頻度別

歯の疾患の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

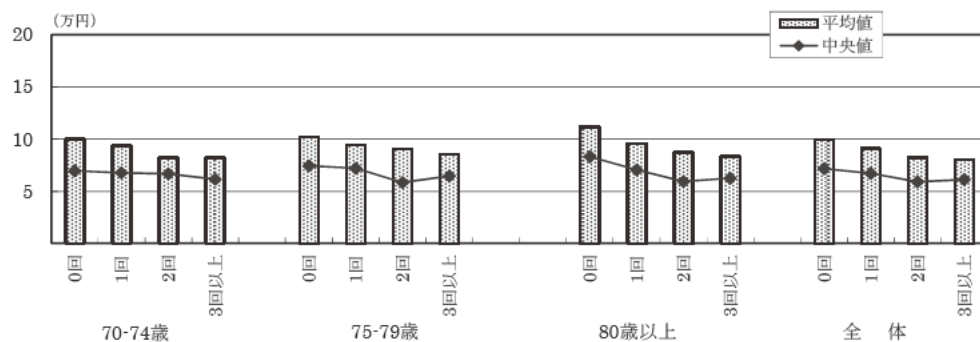
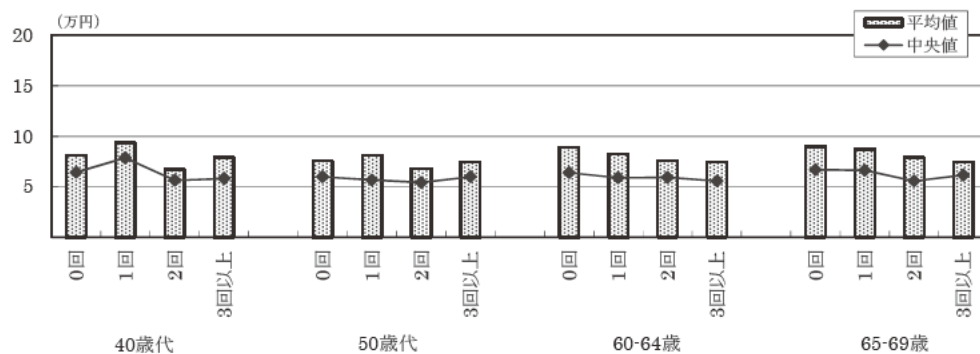
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	191	254	414	741	857	779	1,396	4,632
1 回	42	79	200	289	350	300	320	1,580
2 回	28	52	119	208	245	177	227	1,056
3 回以上	70	161	333	624	722	555	587	3,052
計	331	546	1,066	1,862	2,174	1,811	2,530	10,320

・診療費（一人あたり1年間、円）

60歳以上の各年齢階級で、健診なしが最も高く、歯科健診頻度が多くなるほど診療費が低くなる傾向が認められた。全体でも同様の傾向が認められ、健診なしは健診ありの約 1.2 倍高かった。

健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	81220	64260	75300	59670	89150	63800	89660	66960
1 回	93710	78590	81400	56820	82240	58830	87250	66120
2 回	67400	56400	68260	54240	75280	59190	78800	55580
3 回以上	79360	58200	74550	59790	74580	55620	74970	61500
健診有り(B)	81270	59130	75280	58310	77060	57120	78840	60780
全 体	81240	62040	75290	58850	81760	59120	83150	62930
比較 (A)/(B)	100%	109%	100%	102%	116%	112%	114%	110%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	100250	69810	102520	74430	111940	83210	99320	71780
1 回	93650	67650	94700	72240	95850	70710	91070	67340
2 回	82620	66930	90750	58350	87170	59460	82270	59160
3 回以上	82480	61440	85820	64560	83360	62670	80370	61320
健診有り(B)	85480	62850	89250	65580	87640	64260	83690	62190
全 体	91300	65310	94960	68730	101050	72810	90710	65930
比較 (A)/(B)	117%	111%	115%	113%	128%	129%	119%	115%



(4) 生活習慣病に関する分析

生活習慣病 年齢階級別現在歯数別

生活習慣病の年齢階級別現在歯数別受診者数を下表に示す。

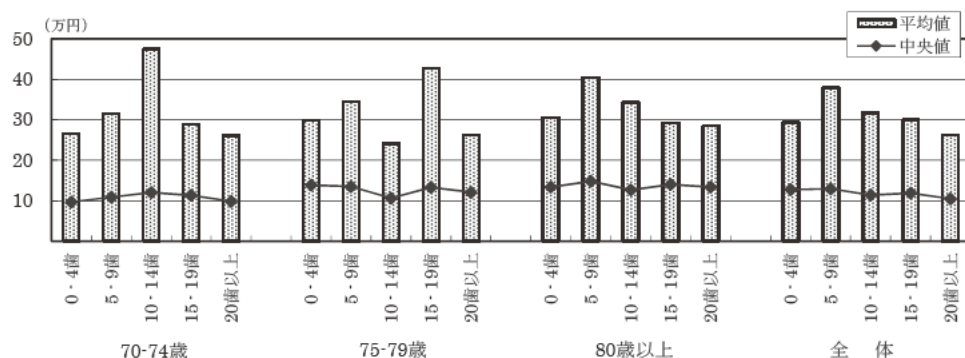
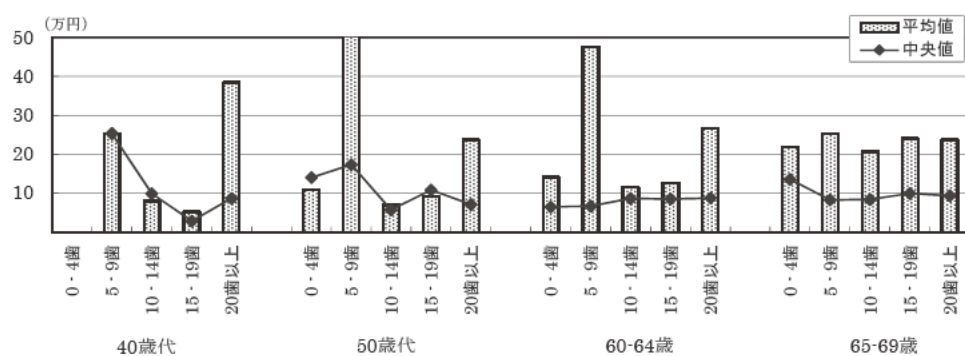
現在歯数	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 - 4 歯	0	3	5	37	79	131	445	700
5 - 9 歯	2	8	26	81	102	150	334	703
10 - 14 歯	3	6	31	90	150	183	320	783
15 - 19 歯	5	14	65	166	211	242	316	1,019
20 歯以上	63	149	410	766	922	700	747	3,757
計	73	180	537	1,140	1,464	1,406	2,162	6,962

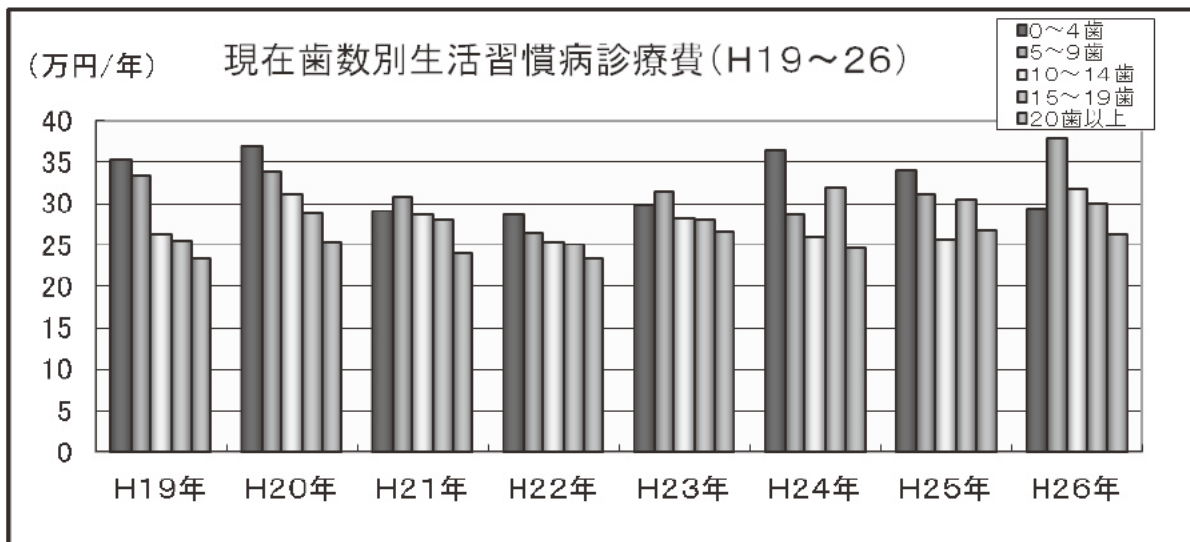
・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では 0-4 歯の平均値が低い、概ね 5 歯以上では現在歯数が少ないほど診療費が高くなっていた。19 歯以下は 20 歯以上の 1.2 倍高かった。

現在歯数分類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯			108920	140700	141400	65400	219370	135600
5 - 9 歯	253670	253670	1779800	173870	475310	67470	252830	83430
10 - 14 歯	79840	99240	69370	57710	115410	87120	207030	84680
15 - 19 歯	53440	28860	91370	108680	127480	85470	240570	99980
19 歯以下 (A)	101400	75470	524540	116610	196290	83280	233060	94080
20 歯以上 (B)	384140	87420	237660	71550	267350	88070	237140	94250
全 体	345410	87210	287070	75440	250550	87120	235800	94250
比 較 (A)/(B)	26.4%	86.3%	220.7%	163.0%	73.4%	94.6%	98.3%	99.8%

現在歯数分類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	266580	97200	299090	138480	306060	133860	293700	127880
5 - 9 歯	315180	108960	346130	134970	404920	148140	379650	129300
10 - 14 歯	475400	120260	241840	106470	343170	126650	317050	114030
15 - 19 歯	288700	113610	427420	132960	293150	140540	301030	118380
19 歯以下 (A)	342130	111060	338240	128510	334900	136320	320590	121050
20 歯以上 (B)	260520	98960	263010	120750	285100	134220	263020	104880
全 体	290730	103980	300780	124560	317700	135530	289520	111080
比 較 (A)/(B)	131.3%	112.2%	128.6%	106.4%	117.5%	101.6%	121.9%	115.4%





平成 19～26 年調査別 現在歯数別生活習慣病診療費

生活習慣病 年齢階級別歯周病の程度別

生活習慣病の年齢階級別歯周病の程度別受診者数を下表に示す。

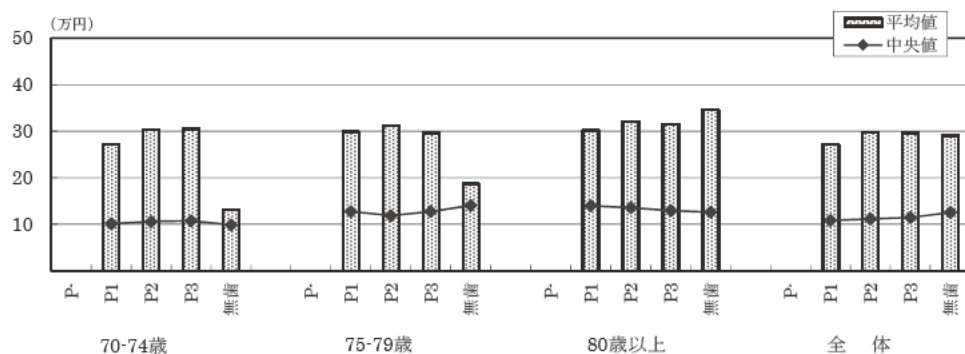
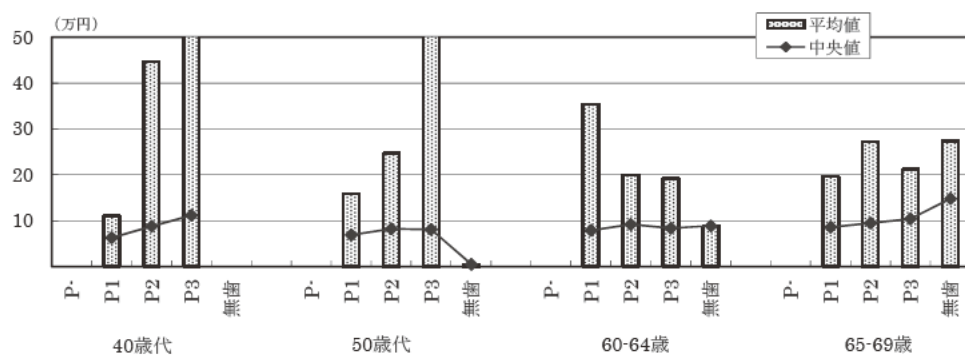
歯周病分類	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
P-								0
P1	31	84	181	370	414	377	509	1,966
P2	29	66	262	532	737	715	1,006	3,347
P3	13	29	92	223	283	256	437	1,333
無 歯	0	1	2	15	30	58	210	316
計	73	180	537	1,140	1,464	1,406	2,162	6,962

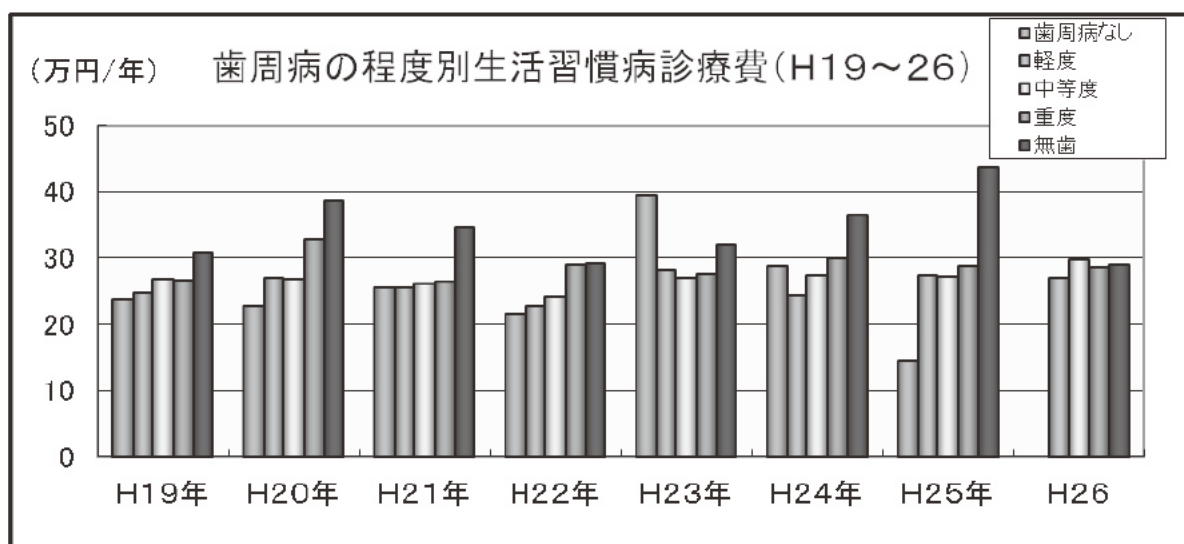
・診療費（一人あたり1年間、円）

P-の該当者がいなかった。年齢階級でばらつきがあるが、全体では、P1が低く、P2、P3 が高くなっていた。

歯 周 病 分 類	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	111030	63030	159450	69530	354600	79320	196480	85970
P2	447520	88230	247160	82410	200300	92060	271980	95310
P3	676530	112080	757220	81240	192430	84390	212160	104490
歯 周 病 あり (A)	345410	87210	288640	75780	251150	87120	235290	93240
無 歯			5820	5820	89460	89460	273930	148470
全 体	345410	75780	287070	87120	250550	93240	235800	104270
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-

歯 周 病 分 類	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯 周 病 な し P-								
P1	271700	101630	298590	127650	301980	140190	270840	108330
P2	302590	105960	312620	118650	321080	135780	297580	111600
P3	304600	107250	296650	127700	314830	129750	296690	114750
歯 周 病 あり (A)	294070	104270	305660	124010	314700	135840	289490	110750
無 歯	131270	99140	187360	140670	345560	126350	290080	125370
全 体	290730	103980	300780	124560	317700	135530	289520	111080
比 較 (A)/(P-)	-	-	-	-	-	-	-	-





平成 19～26 年調査別 歯周病の程度別生活習慣病診療費

生活習慣病 年齢階級別咬合の状態別

生活習慣病の年齢階級別咬合状態別受診者数を下表に示す。

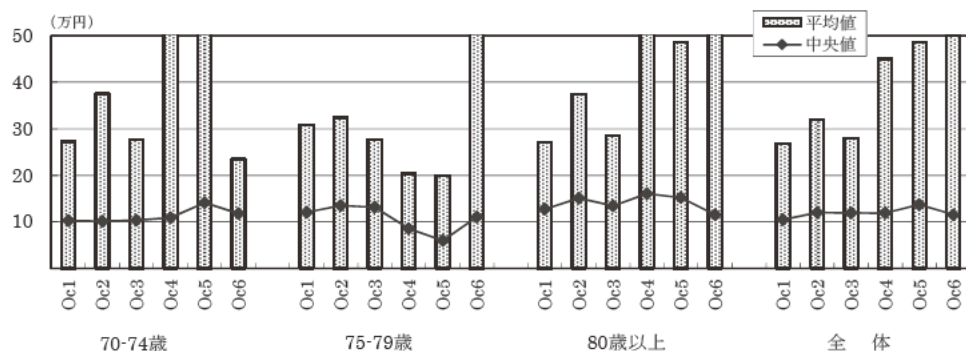
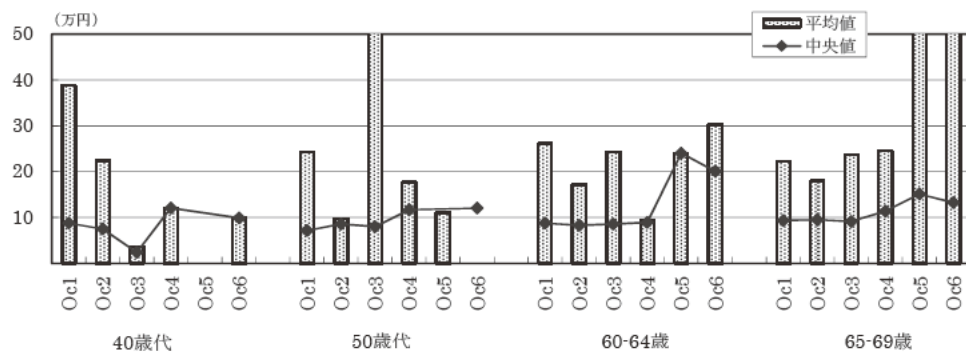
咬合状態	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
Oc1	61	140	406	735	905	683	726	3,656
Oc2	5	14	41	116	165	191	273	805
Oc3	4	15	71	229	331	465	986	2,101
Oc4	1	5	8	25	28	25	45	137
Oc5	0	0	2	11	7	14	24	58
Oc6	1	4	9	19	25	26	96	180
計	72	178	537	1,135	1,461	1,404	2,150	6,937

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級でばらつきがあるが、全体では Oc3 がやや低くなっていたが、概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。

咬 合 状 態	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	387570	87420	242730	71360	261850	87530	222990	93360
Oc2	224090	74730	97730	85310	171600	82920	180250	94950
Oc3	36320	24180	964290	79950	242870	85470	237220	91620
Oc4	120780	120780	177310	116850	92770	89090	245070	113730
Oc5			110660		239870	239870	836760	150690
Oc6	99240	99240		119990	303260	200880	723950	132540
全 体	345410	87210	287070	75440	250550	87120	235800	94250

咬 合 状 態	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	273040	103110	307880	120690	270610	127490	268510	105120
Oc2	375200	101490	323370	135510	374620	151440	318480	120210
Oc3	276030	103500	277030	131490	285810	134240	279950	119310
Oc4	539850	109130	203780	85800	747000	160410	450380	119160
Oc5	572110	141510	199840	60230	484920	152450	484910	137430
Oc6	235400	118170	542640	110570	555190	115520	501770	115700
全 体	290730	103980	300780	124560	317700	135530	289520	111080



生活習慣病 年齢階級別歯科健診受診頻度別

生活習慣病の年齢階級別歯科健診受診頻度別受診者数を下表に示す。

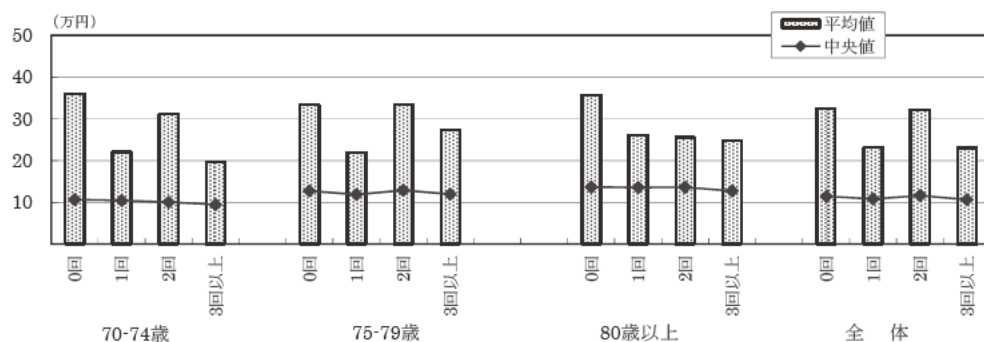
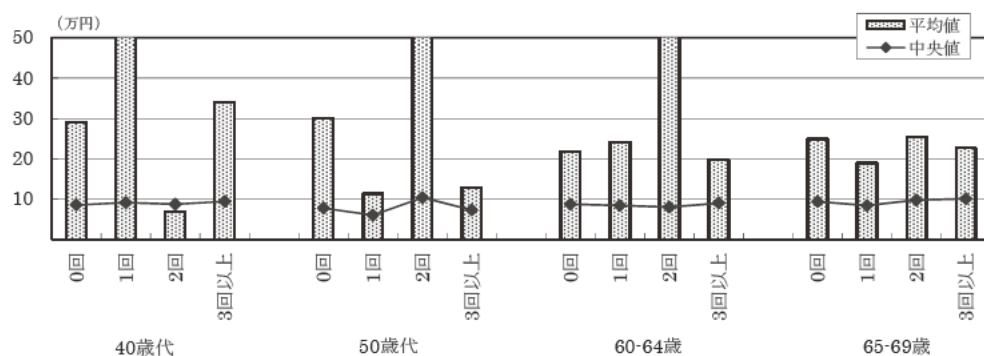
健診頻度	40歳代	50歳代	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上	全 体
0 回	43	105	276	572	714	712	1,349	3,771
1 回	12	17	106	157	244	216	263	1,015
2 回	5	13	44	126	134	121	159	602
3 回以上	13	45	111	285	372	357	391	1,574
計	73	180	537	1,140	1,464	1,406	2,162	6,962

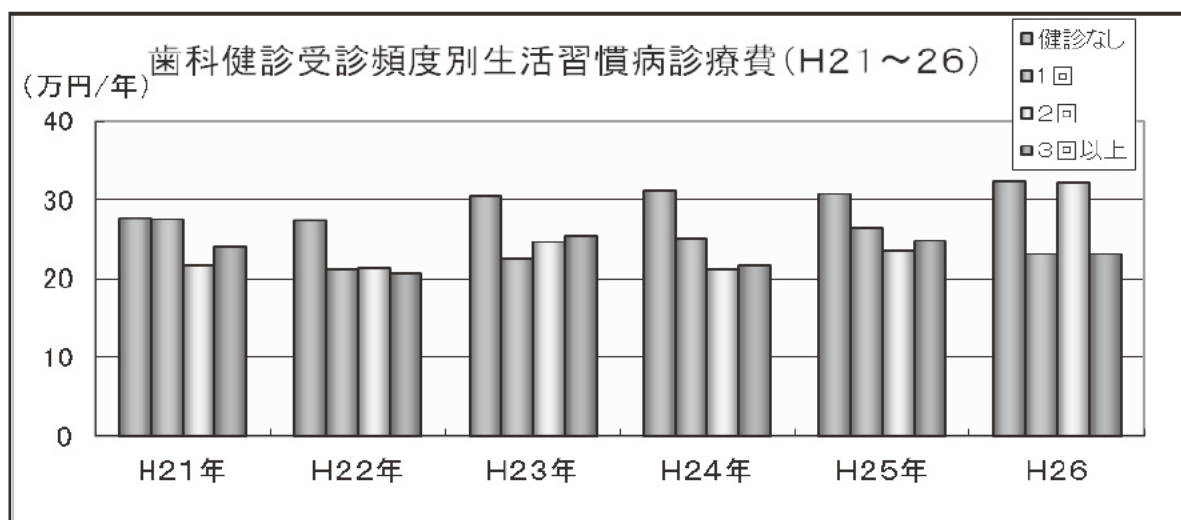
・診療費（一人あたり1年間、円）

65 歳以上では、各年齢階級とも、健診なしが健診ありより高くなり、全体では、健診なしが最も高く、3 回以上が最も低くなっていた。健診なしは健診ありの約 1.3 倍高かった。

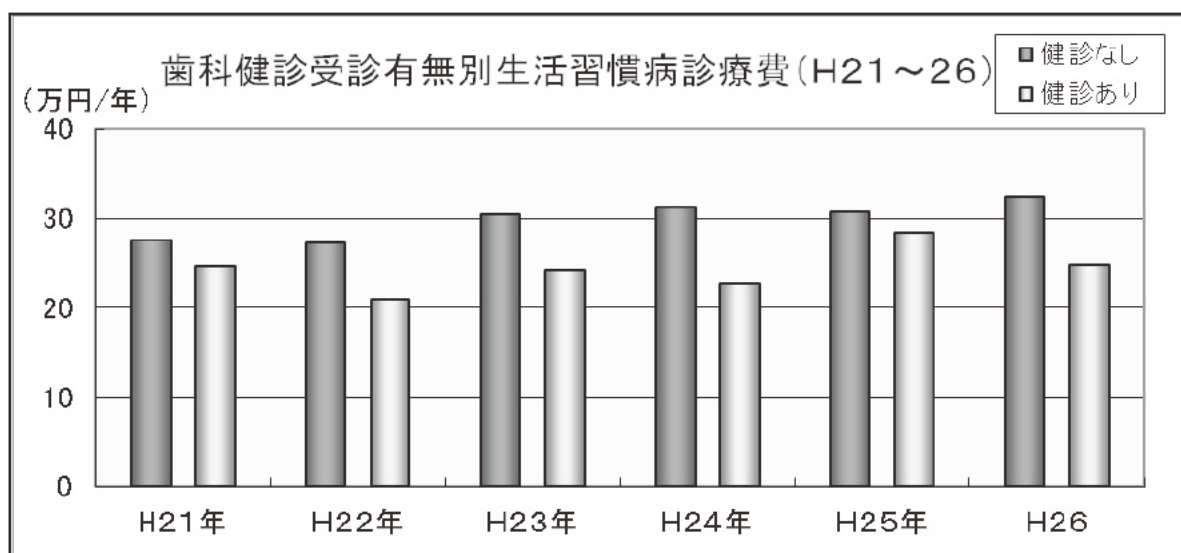
健診頻度	40歳代		50歳代		60-64歳		65-69歳	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	291810	85440	300850	77400	219020	87530	249010	93860
1 回	658930	91700	113650	60300	240620	84450	188930	84270
2 回	68850	87210	949920	103800	605030	80280	254420	97490
3 回以上	339660	94470	128930	72930	197900	90120	226860	101040
健診有り(B)	422230	91020	267770	73890	283880	85470	222490	94620
全 体	345410	87210	287070	75440	250550	87120	235800	94250
比較 (A)/(B)	69%	94%	112%	105%	77%	102%	112%	99%

健診頻度	70-74歳		75-79歳		80歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
健診なし(A)	360140	106580	333480	126990	356720	136410	324270	114210
1 回	220640	104460	220140	118890	260670	135390	231480	107550
2 回	311320	99980	334070	128880	255350	136140	322440	116070
3 回以上	196070	94590	273080	119490	246770	127170	231100	106500
健診有り(B)	224650	100380	267240	120090	252940	129750	248450	108030
全 体	290730	103980	300780	124560	317700	135530	289520	111080
比較 (A)/(B)	160%	106%	125%	106%	141%	105%	131%	106%





平成 19～26 年調査別 歯科健診受診頻度別生活習慣病診療費



平成 19～26 年調査別 歯科健診受診有無別生活習慣病診療費

まとめ・考察（Ⅰ）

A 平成 26 年 5 月歯科受診者の状況

現在歯数の状況

- ・平成 26 年 5 月に香川県下の歯科医院を受診した調査対象者の現在歯数の状況をみると、80 歳以上の平均現在歯数は 13.6 本で、20 歯以上の歯を有する 8020 達成者の割合は 33.0%であった。これは、昨年の調査と比較して、現在歯数では増減なく、8020 達成者の割合で 0.2%多くなり過去最高となった。また、79 歳以下の各年齢階級では、40 歳代、50 歳代では平均現在歯数、20 歯以上の歯を有する者の割合とも、昨年より低下していたが、60 歳以上の年齢階級では、両者とも昨年よりも増加し、高齢者の現在歯数は着実に増加している。

歯周病の状況

- ・今年度は、歯周病なしが 40 歳代の 2 人のみであった。有歯者のうち歯周病がある者（P1～P3）は、40 歳代で 99.7%、60 歳代以上では 100%とほぼ全ての者が歯周病に罹患していた。

咬合の状況

- ・今年度は新たに、臼歯部の咬合支持の状態を調査した。左右両側とも現在歯による咬合支持がある Oc1 は、40 歳代では 93.4%で高齢になるほどその割合は減少し、80 歳以上では 32.6%であった。逆に Oc2 と Oc3 の義歯による咬合は高齢になるほど増加していた。両側とも咬合支持のない Oc6 は 80 歳以上で 5.7%と高くなっていた。

歯科健診受診頻度の状況

- ・歯科健診を受診する人の割合は、60-79 歳の年齢階級が約 48～53%と高く、ここから高齢層、若年層になるにつれて減少していた。この傾向はこれまでの調査と変わらないが、今回は、各年齢階級において、昨年より、歯科健診受診者の割合は 3.6～5.4%増加していた。また 3 回以上の割合も、昨年より 0.4～2.9%増加しており、かかりつけ歯科医においてメンテナンスを行う者が着実に増加していると思われる。

B 平成 26 年 5 月に歯科を受診し、平成 25 年 5, 8, 11, 平成 26 年 2 月に受診した者の状況

現在歯数と診療日数・診療費の関係

- ・現在歯数と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、現在歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。この傾向はこれまでの調査と同じである。
- ・歯科の診療日数・診療費は、5-19 歯で多く、0-4 歯と 20 歯以上では少なくなっていた。これは、中程度の欠損歯数が治療において多くの補綴装置を必要とするためと考えられる。

歯周病の程度と診療日数・診療費の関係

- ・歯周病の程度と診療日数・診療費との関係では、今回は P-の人数が少ないので P-については分析結果を断言できない。歯周病ありの中では、医科・調剤では、診療日数は P2が高かったが、診療費は歯周病の程度が重度なほど高くなっていた。
- ・歯科では、診療日数、診療費とも P-が高かったが P-の人数が少なく断言できない。歯周病ありの中では歯周病の程度が重度なほど、診療日数・診療費は増加していた。

咬合の状態と診療日数・診療費の関係

- ・咬合の状態と診療日数・診療費との関係では、医科、調剤では、臼歯部咬合支持が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。
- ・歯科では、診療日数は咬合の状態で大きな差は認められなかったが、診療費は概ね臼歯部咬合支持が少ないほど増加していた。

歯科健診受診頻度と診療日数・診療費の関係

- ・歯科健診受診頻度と診療日数・診療費との関係では、医科・歯科・調剤とも、健診なしが最も高く、医科では、健診なしの診療日数は健診ありの約 1.2 倍、診療費は約 1.4倍高くなっていた。

19 分類疾病別の状況

- ・19 分類疾病別の現在歯数と診療日数・診療費の関係では、調剤、感染症、呼吸器系、尿路性器系において現在歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。
- ・19 分類疾病別の歯周病の程度と診療日数・診療費の関係では、循環器系、呼吸器系、消化器系、尿路性器系で歯周病の程度が重いほど診療日数・診療費が増加していた。
- ・19 分類疾病別の咬合の状態と診療日数・診療費の関係では、調剤、眼、循環器系で臼歯部咬合支持が少ないほど診療日数・診療費が増加していた。
- ・19 分類疾病別の歯科健診受診頻度と診療日数・診療費の関係では、調剤、内分泌、消化器系で歯科健診受診頻度が多いほど診療日数・診療費が増加していた。

主要疾病別の状況

- ・主要疾病別分析では、糖尿病、高血圧性疾患において、残存歯数が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。また、虚血性心疾患、糖尿病、歯の疾患において、歯周病の程度が重度になるほど、診療費が高くなる傾向が見られた。また、脳血管疾患、歯の疾患において、臼歯部咬合支持が少なくなるほど、診療費が高くなる傾向が見られた。また、糖尿病、高血圧性疾患、歯の疾患において、歯科健診受診頻度が多くなるほど、診療費が低くなる傾向が見られた。

生活習慣病の状況

- ・生活習慣病の診療費は、0-4 歯の平均値が低くなっていたが、概ね現在歯数が少なくなるほど高くなっていた。歯周病の程度については、今年は P-該当者がなく、歯周病ありの中では、歯周病の程度が重度になるほど、診療費が高くなっていた。咬合の状態については、Oc3 がやや低くなっていたが、臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなっていた。また歯科健診受診頻度については、2 回が最も高くなっていたが、健診なしは健診ありの 1.3 倍高くなっていた。

Ⅱ 平成25年度特定健診受診者の特定健診結果

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

平成 20 年度から特定健診・特定保健指導が始まったが、歯科に関する質問項目は含まれていない。当初より香川県では市町国保の特定健診および後期高齢者健診（以下特定健診という）の質問票に香川県独自の歯科に関する 7 項目の質問（下表）を追加している。この質問項目から下図の方法で歯科階層化判定を行い、歯科保健指導モデル事業を行っている。

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 25 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、その属性および歯科階層化判定別と歯科質問項目1「何でもかんで食べられる」、項目5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と項目7「定期的に（年に1回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）のクロス回答別（以下、項目5×7）に特定健診結果の分析を行った。なお、以下、項目5も7も「はい」を「5-Y 7-Y」、5が「はい」で7は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5が「いいえ」で7が「はい」を「5-N 7-Y」、5も7も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

表 特定健診における歯科質問票

歯について	1	何でもかんで食べられる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	2	歯みがきの時に歯ぐきから血が出ることがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	3	歯ぐきが腫れることがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	4	歯がぐらぐらする	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	5	デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	6	フッ素入り歯みがき剤を使っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
	7	定期的（年に1回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

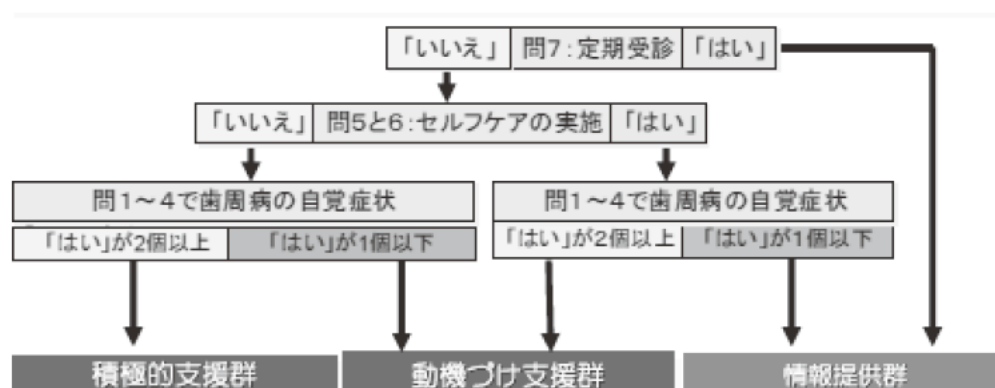


図 歯科保健指導モデル事業における歯科階層化判定方法

※問5と6では、2個とも「はい」の場合「はい」に判定、1個でも「いいえ」があれば「いいえ」に判定

※問1～4で「はい」の個数は、問1は「いいえ」を「はい」と読み替え、問2～4は「はい」を用いて判定

二 調査・分析結果

A 平成 25 年度特定健診受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった特定健診受診者 95,894 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1 性別・年齢階級別人数・割合

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40・64歳	6,437	17.4%	10,312	17.5%
65・74歳	14,627	39.4%	21,898	37.2%
75歳以上	16,023	43.2%	26,597	45.2%
合計	37,087	100.0%	58,807	100.0%

(2) 対象者の歯科階層化判定の状況

2-1 年齢階級別歯科階層化判定別人数

年齢階級別歯科階層化判定について人数並びに割合を表 A-2 および図 A-2 に示す。

積極的支援の割合は、40・64 歳が 10.7%、65・74 歳が 8.3%、75 歳以上は 6.8%と年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級における各階層化判定別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-2

年齢階級	情報提供	動機づけ支援	積極的支援	総数
40・64歳	8,688	6,268	1,793	16,749
65・74歳	22,021	11,485	3,019	36,525
75歳以上	23,088	16,641	2,891	42,620
合計	53,797	34,394	7,703	95,894
40・64歳	51.9%	37.4%	10.7%	100.0%
65・74歳	60.3%	31.4%	8.3%	100.0%
75歳以上	54.2%	39.0%	6.8%	100.0%
合計	56.1%	35.9%	8.0%	100.0%

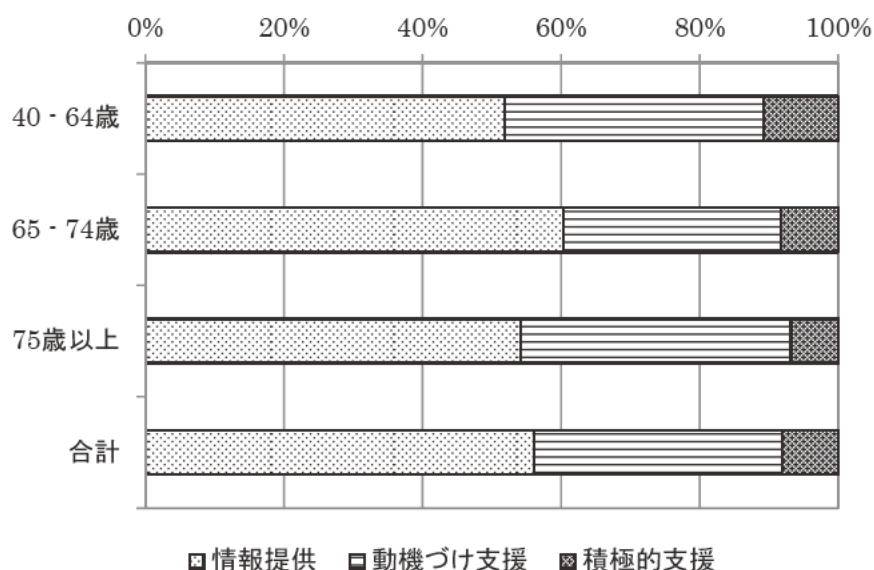


図 A-2

(3) 対象者の歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)の回答の状況

3-1 年齢階級別歯科質問項目1回答別人数

年齢階級別歯科質問項目1回答について人数ならびに割合を表 A-3 および図 A-3 に示す。
 歯科質問項目1に「はい」(何でもかんで食べられる)と回答したのは、40-64 歳が 89.8%、
 65-74 歳が 86.4%、75 歳以上が 78%で、年齢が高くなるにつれて減少していた。各年齢階級
 における各回答別の割合は、昨年とほぼ同じであった。

表 A-3

年齢階級	はい	いいえ	無回答	総数
40・64歳	15,046	1,646	57	16,749
65・74歳	31,564	4,716	245	36,525
75歳以上	33,244	7,945	1,431	42,620
合計	79,854	14,307	1,733	95,894
40・64歳	89.8%	9.8%	0.3%	100.0%
65・74歳	86.4%	12.9%	0.7%	100.0%
75歳以上	78.0%	18.6%	3.4%	100.0%
合計	83.3%	14.9%	1.8%	100.0%

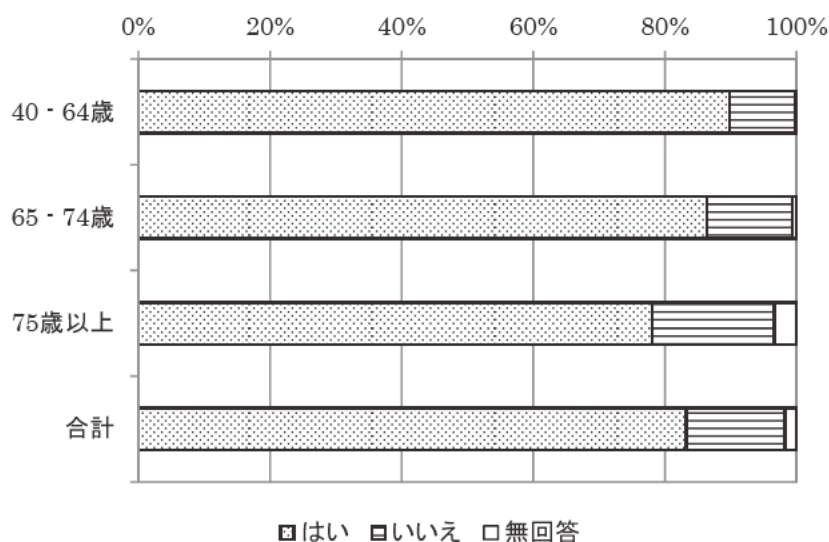


図 A-3-2 年齢階級別歯科質問項目1回答別割合

(4) 対象者の歯科質問項目5×7回答の状況

4-1 年齢階級別項目5×7回答別人数

年齢階級別項目5×7回答について人数ならびに割合を表 A-4 および図 A-4 に示す。

質問項目5は補助清掃器具を使ったセルフケアの実施、質問項目7は定期健診の受診を表している。両方とも行っているほうが口腔の健康への関心が高いと考えられ、逆に行っていないほうは関心が低いと考えられる。「5-Y 7-Y」の割合は、65-74 歳、40-64 歳、75 歳以上の順に多く、「5-N 7-N」の割合は逆に、75 歳以上、40-64 歳、65-74 歳の順に多かった。全体としては、「5-N 7-N」の割合が最も多く 34.9%、その次が「5-Y 7-Y」の 30.7%、そして「5-Y 7-N」の 17.5%、「5-N 7-Y」の 15.1%と続いた。各年齢階級で「5-Y 7-Y」の割合が「5-N 7-N」の割合を上回ったのは 65-74 歳のみであった。

表 A-4

年齢階級	5-Y 7-Y	5-Y 7-N	5-N 7-Y	5-N 7-N	分類不能	総数
40・64歳	4,815	3,312	2,326	6,239	57	16,749
65・74歳	13,208	6,644	5,325	11,102	246	36,525
75歳以上	11,426	6,790	6,843	16,127	1,434	42,620
合計	29,449	16,746	14,494	33,468	1,737	95,894
40・64歳	28.7%	19.8%	13.9%	37.2%	0.3%	100.0%
65・74歳	36.2%	18.2%	14.6%	30.4%	0.7%	100.0%
75歳以上	26.8%	15.9%	16.1%	37.8%	3.4%	100.0%
合計	30.7%	17.5%	15.1%	34.9%	1.8%	100.0%

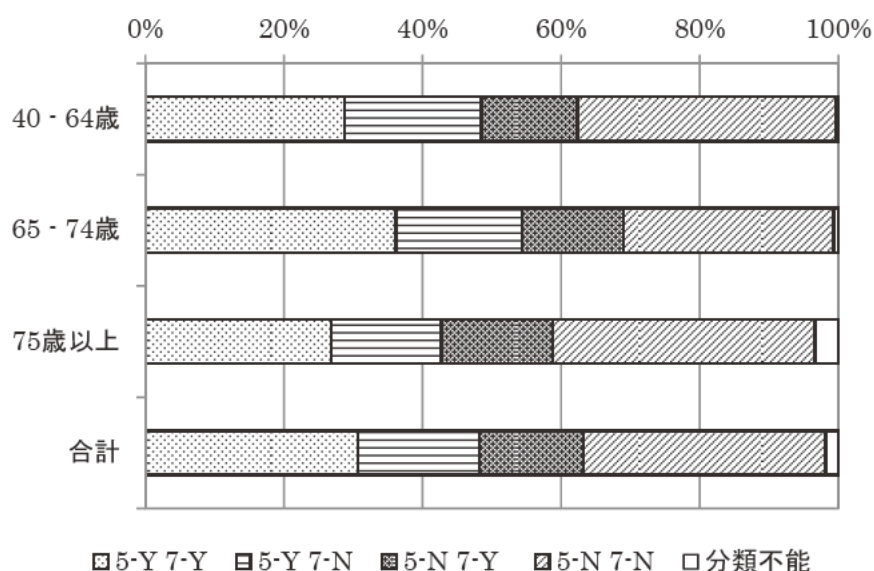


図 A-4-2 年齢階級別歯科質問項目 5 回答別割合

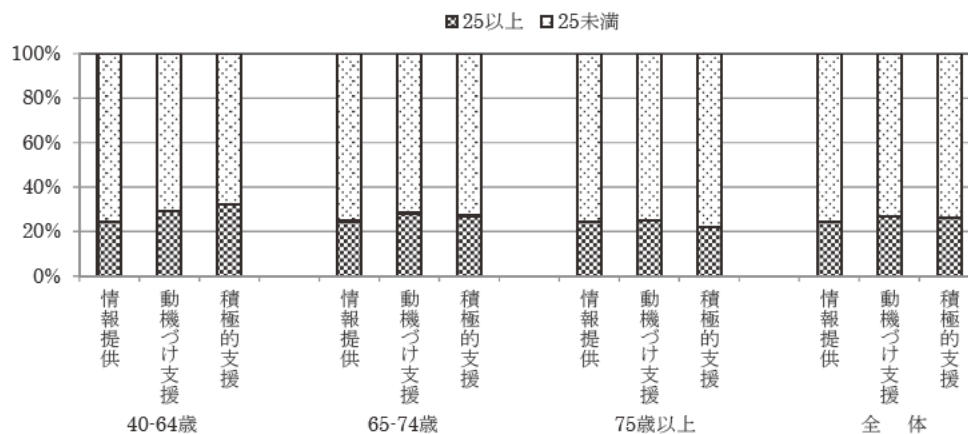
B 平成 25 年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

(1) 特定健診の歯科階層化判定及び歯科質問項目 1 回答別、特定健診結果の状況

1-1 歯科階層化判定別 BMI

BMI は、肥満度の判定基準のひとつで、25 以上であると特定保健指導の対象となる。
 BMI25 以上の割合は、40-64 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。
 65-74 歳では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高かった。
 75 歳以上では、積極的支援が情報提供、動機づけ支援より低くなっていた。
 全体では、情報提供が、動機づけ支援、積極的支援より低くなっていた。
 これらの傾向は昨年との調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	情報提供	8,688	6,573	2,115	75.7%	24.3%
	動機づけ支援	6,267	4,452	1,815	71.0%	29.0%
	積極的支援	1,793	1,213	580	67.7%	32.3%
65-74歳	情報提供	22,021	16,601	5,420	75.4%	24.6%
	動機づけ支援	11,485	8,250	3,235	71.8%	28.2%
	積極的支援	3,019	2,200	819	72.9%	27.1%
75歳以上	情報提供	23,087	17,492	5,595	75.8%	24.2%
	動機づけ支援	16,636	12,451	4,185	74.8%	25.2%
	積極的支援	2,889	2,256	633	78.1%	21.9%
全 体	情報提供	53,796	40,666	13,130	75.6%	24.4%
	動機づけ支援	34,388	25,153	9,235	73.1%	26.9%
	積極的支援	7,701	5,669	2,032	73.6%	26.4%



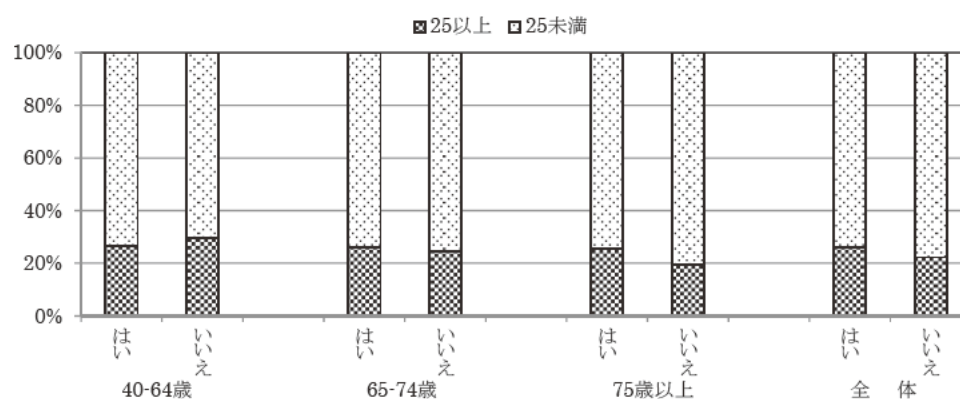
1-2 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 BMI

BMI25以上の割合は、40-64歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、65-74歳、75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より BMI25以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

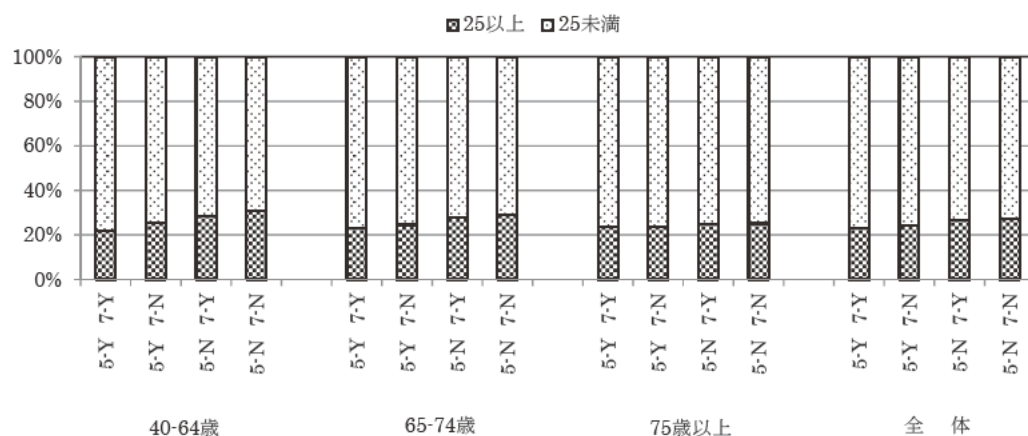
年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	はい	15,045	11,051	3,994	73.5%	26.5%
	いいえ	1,646	1,156	490	70.2%	29.8%
	無回答	57	31	26	54.4%	45.6%
65-74歳	はい	31,564	23,340	8,224	73.9%	26.1%
	いいえ	4,716	3,557	1,159	75.4%	24.6%
	無回答	245	154	91	62.9%	37.1%
75歳以上	はい	33,242	24,743	8,499	74.4%	25.6%
	いいえ	7,939	6,398	1,541	80.6%	19.4%
	無回答	1,431	1,058	373	73.9%	26.1%
全 体	はい	79,851	59,134	20,717	74.1%	25.9%
	いいえ	14,301	11,111	3,190	77.7%	22.3%
	無回答	1,733	1,243	490	71.7%	28.3%



1-3 歯科質問項目 5×7回答別 BMI

全ての年齢階級で、BMI25以上の者の割合が「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に高かった。BMI25以上の占める割合は、全体では「5-N 7-N」の方が「5-Y 7-Y」よりも4.4%高かった。この傾向がもっとも強く表れていたのは40-64歳で、「5-N 7-N」と「5-Y 7-Y」の差が9%あった。5-Yと5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、BMI25以上の者の割合に3%～4%の違いがみられ、BMIに関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアの影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	25未満	25以上	25未満	25以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,815	3,759	1,056	78.1%	21.9%
	5-Y 7-N	3,312	2,474	838	74.7%	25.3%
	5-N 7-Y	2,326	1,662	664	71.5%	28.5%
	5-N 7-N	6,238	4,312	1,926	69.1%	30.9%
65-74歳	5-Y 7-Y	13,208	10,161	3,047	76.9%	23.1%
	5-Y 7-N	6,644	5,011	1,633	75.4%	24.6%
	5-N 7-Y	5,325	3,850	1,475	72.3%	27.7%
	5-N 7-N	11,102	7,875	3,227	70.9%	29.1%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,425	8,715	2,710	76.3%	23.7%
	5-Y 7-N	6,790	5,199	1,591	76.6%	23.4%
	5-N 7-Y	6,843	5,151	1,692	75.3%	24.7%
	5-N 7-N	16,120	12,074	4,046	74.9%	25.1%
全 体	5-Y 7-Y	29,448	22,635	6,813	76.9%	23.1%
	5-Y 7-N	16,746	12,684	4,062	75.7%	24.3%
	5-N 7-Y	14,494	10,663	3,831	73.6%	26.4%
	5-N 7-N	33,460	24,261	9,199	72.5%	27.5%



1-4 歯科階層化判定別 腹囲

腹囲は、男性 85cm 以上、女性 90cm 以上で、特定保健指導の対象となる。

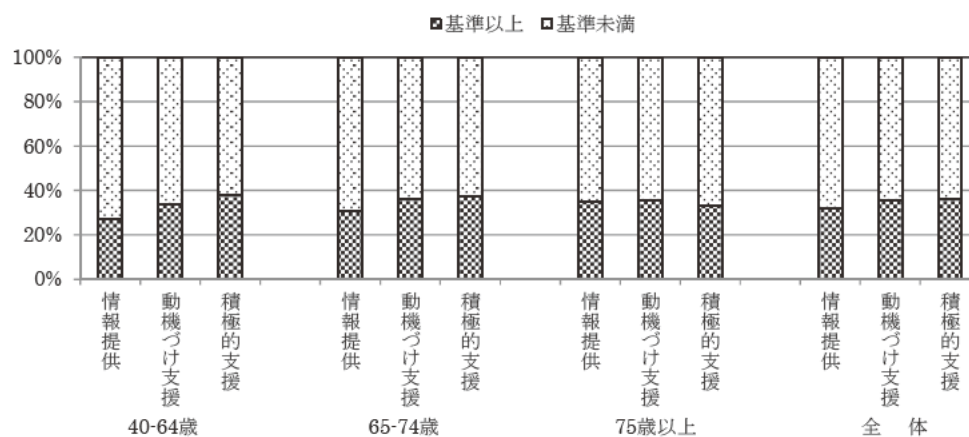
この基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていった。しかし、75 歳以上では、概ね歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	情報提供	8,688	6,346	2,342	73.0%	27.0%
	動機づけ支援	6,268	4,170	2,098	66.5%	33.5%
	積極的支援	1,793	1,113	680	62.1%	37.9%
65-74歳	情報提供	21,996	15,220	6,776	69.2%	30.8%
	動機づけ支援	11,463	7,302	4,161	63.7%	36.3%
	積極的支援	3,007	1,883	1,124	62.6%	37.4%
75歳以上	情報提供	19,587	12,744	6,843	65.1%	34.9%
	動機づけ支援	13,645	8,823	4,822	64.7%	35.3%
	積極的支援	2,406	1,616	790	67.2%	32.8%
全 体	情報提供	50,271	34,310	15,961	68.3%	31.7%
	動機づけ支援	31,376	20,295	11,081	64.7%	35.3%
	積極的支援	7,206	4,612	2,594	64.0%	36.0%

基準:男性 85cm、女性 90cm



1-5 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 腹囲

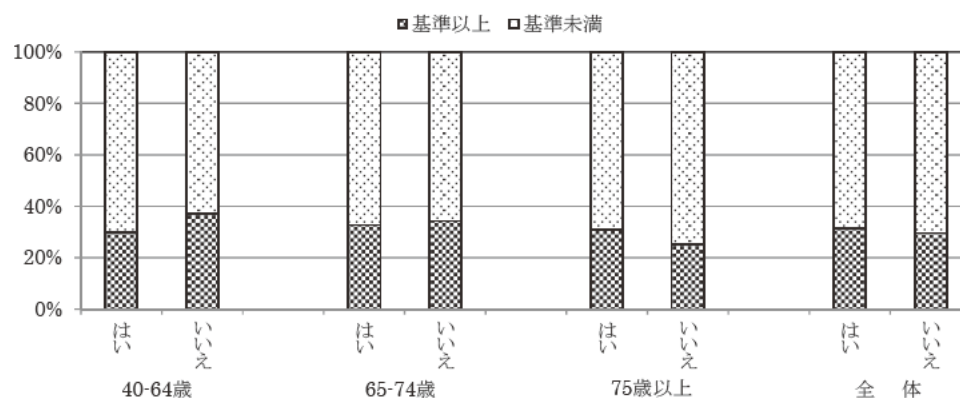
基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし、75 歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より腹囲が基準以上の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	はい	15,046	10,567	4,479	70.2%	29.8%
	いいえ	1,646	1,035	611	62.9%	37.1%
	無回答	57	27	30	47.4%	52.6%
65-74歳	はい	31,523	21,186	10,337	67.2%	32.8%
	いいえ	4,700	3,093	1,607	65.8%	34.2%
	無回答	243	126	117	51.9%	48.1%
75歳以上	はい	33,244	23,005	10,239	69.2%	30.8%
	いいえ	7,945	5,935	2,010	74.7%	25.3%
	無回答	535	329	206	61.5%	38.5%
全 体	はい	79,813	54,758	25,055	68.6%	31.4%
	いいえ	14,291	10,063	4,228	70.4%	29.6%
	無回答	835	482	353	57.7%	42.3%

基準:男性 85cm、女性 90cm



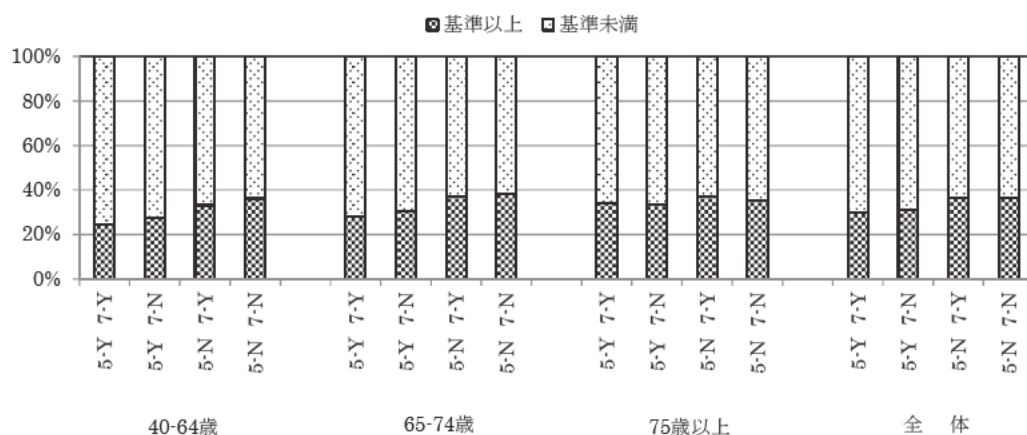
1-6 歯科質問項目5×7回答別 腹囲

基準以上の割合は、40-64 歳、65-74 歳では、「5-N 7-N」が最も高く、次いで、「5-N 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に低くなっていたが、75 歳以上では「5-N 7-Y」が最も高く、次いで、「5-N 7-N」、「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」の順に低くなっていた。

全体では「5-N 7-Y」が最も高く、次いで、「5-N 7-N」、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」の順に低くなっていた。5-Y と 5-N、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、基準以上の割合に 5%～7%の違いがみられ、腹囲に関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアのほうが影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数			割 合	
		総数	基準未満	基準以上	基準未満	基準以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,815	3,648	1,167	75.8%	24.2%
	5-Y 7-N	3,312	2,410	902	72.8%	27.2%
	5-N 7-Y	2,326	1,556	770	66.9%	33.1%
	5-N 7-N	6,239	3,988	2,251	63.9%	36.1%
65-74歳	5-Y 7-Y	13,201	9,484	3,717	71.8%	28.2%
	5-Y 7-N	6,634	4,599	2,035	69.3%	30.7%
	5-N 7-Y	5,316	3,342	1,974	62.9%	37.1%
	5-N 7-N	11,071	6,853	4,218	61.9%	38.1%
75歳以上	5-Y 7-Y	10,272	6,782	3,490	66.0%	34.0%
	5-Y 7-N	5,745	3,820	1,925	66.5%	33.5%
	5-N 7-Y	5,919	3,720	2,199	62.8%	37.2%
	5-N 7-N	13,164	8,530	4,634	64.8%	35.2%
全 体	5-Y 7-Y	28,288	19,914	8,374	70.4%	29.6%
	5-Y 7-N	15,691	10,829	4,862	69.0%	31.0%
	5-N 7-Y	13,561	8,618	4,943	63.5%	36.5%
	5-N 7-N	30,474	19,371	11,103	63.6%	36.4%

基準:男性 85cm、女性 90cm



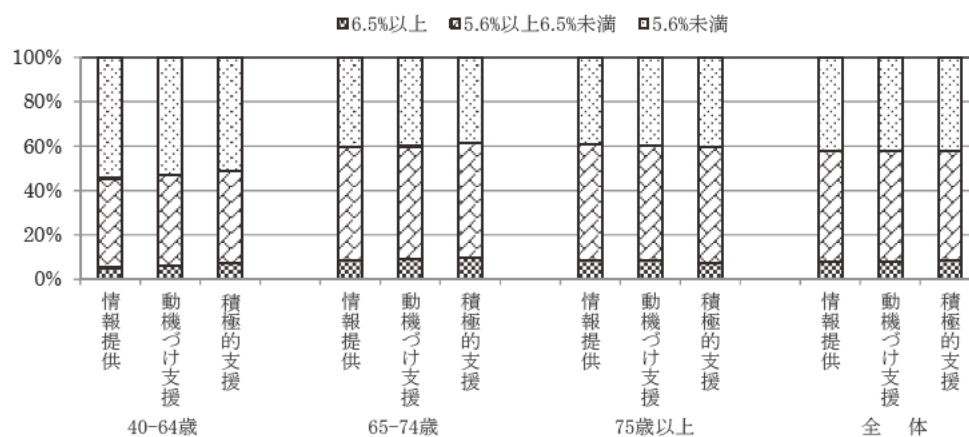
1-7 歯科階層化判定別 HbA1c(NGSP 値)

HbA1c は、血糖状態の指標のひとつで、5.6%以上で特定保健指導の選定基準となり、6.5%以上で糖尿病の診断基準となる。[HbA1cは昨年度まではJDS値で示していたが、今年度よりNGSP値で示している。(NGSP値=JDS値+0.4%)]

HbA1cが6.5%以上の割合は、40-64歳、65-74歳で歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。75歳以上では、積極的支援が最も低くなっていた。

全体では、情報提供が最も低く、動機づけ支援が最も高くなっていた。

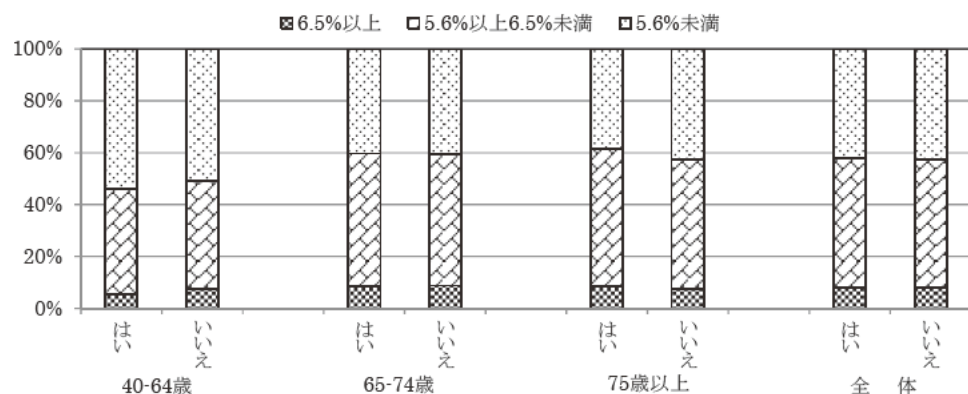
年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.6%未満	5.6%以上 6.5%未満	6.5%以上	5.6%未満	5.6%以上 6.5%未満	6.5%以上
40-64歳	情報提供	8,590	4,685	3,463	442	54.5%	40.3%	5.1%
	動機づけ支援	6,205	3,304	2,519	382	53.2%	40.6%	6.2%
	積極的支援	1,776	909	734	133	51.2%	41.3%	7.5%
65-74歳	情報提供	21,756	8,834	11,113	1,809	40.6%	51.1%	8.3%
	動機づけ支援	11,384	4,566	5,789	1,029	40.1%	50.9%	9.0%
	積極的支援	2,997	1,151	1,551	295	38.4%	51.8%	9.8%
75歳以上	情報提供	22,821	8,946	11,881	1,994	39.2%	52.1%	8.7%
	動機づけ支援	16,381	6,522	8,511	1,348	39.8%	52.0%	8.2%
	積極的支援	2,862	1,153	1,492	217	40.3%	52.1%	7.6%
全 体	情報提供	53,167	22,465	26,457	4,245	42.3%	49.8%	8.0%
	動機づけ支援	33,970	14,392	16,819	2,759	42.4%	49.5%	8.1%
	積極的支援	7,635	3,213	3,777	645	42.1%	49.5%	8.4%



1-8 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 HbA1c(NGSP 値)

HbA1c が 6.5%以上の割合は、40-64 歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし 65-74 歳では同等、75 歳以上では「はい」が「いいえ」より高くなっていた。
全体では、「はい」と「いいえ」は同値であった。

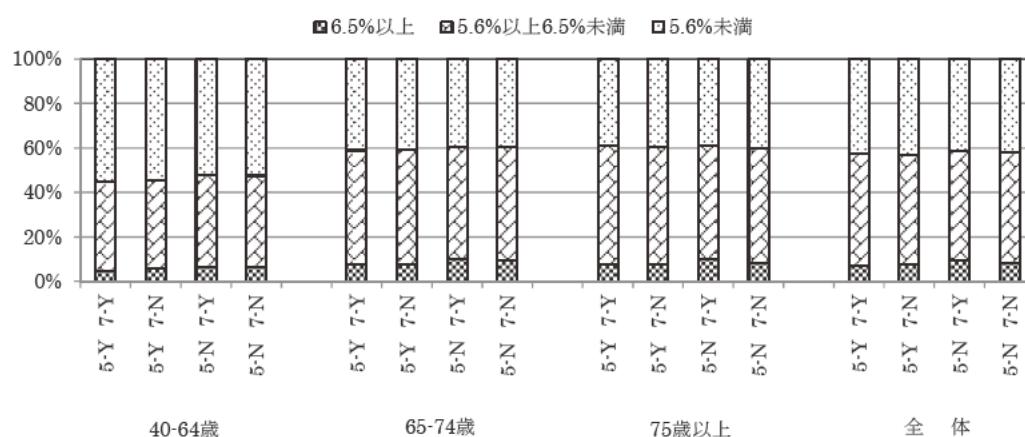
年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.6%未満	5.6%以上 6.5%未満	6.5%以上	5.6%未満	5.6%以上 6.5%未満	6.5%以上
40-64歳	はい	14,887	8,040	6,020	827	54.0%	40.4%	5.6%
	いいえ	1,627	828	676	123	50.9%	41.5%	7.6%
	無回答	57	30	20	7	52.6%	35.1%	12.3%
65-74歳	はい	31,221	12,576	15,957	2,688	40.3%	51.1%	8.6%
	いいえ	4,672	1,886	2,377	409	40.4%	50.9%	8.8%
	無回答	244	89	119	36	36.5%	48.8%	14.8%
75歳以上	はい	32,780	12,660	17,303	2,817	38.6%	52.8%	8.6%
	いいえ	7,853	3,345	3,904	604	42.6%	49.7%	7.7%
	無回答	1,431	616	677	138	43.0%	47.3%	9.6%
全 体	はい	78,888	33,276	39,280	6,332	42.2%	49.8%	8.0%
	いいえ	14,152	6,059	6,957	1,136	42.8%	49.2%	8.0%
	無回答	1,732	735	816	181	42.4%	47.1%	10.5%



1-9 歯科質問項目5×7回答別 HbA1c(NGSP 値)

HbA1c が 6.5%以上の割合は、どの年齢階級でも「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が高かった。
5.6%以上 6.5%未満の割合は、どの年齢階級でも「5-Y 7-Y」と「5-N 7-N」の間に差がほとんど無かった。

年齢階級	区 分	人 数				割 合		
		総数	5.6%未満	5.6%以上 6.5%未満	6.5%以上	5.6%未満	5.6%以上 6.5%未満	6.5%以上
40-64歳	5-Y 7-Y	4,549	2,636	1,913	215	57.9%	42.1%	4.7%
	5-Y 7-N	3,089	1,792	1,297	183	58.0%	42.0%	5.9%
	5-N 7-Y	2,158	1,204	954	143	55.8%	44.2%	6.6%
	5-N 7-N	5,768	3,237	2,531	409	56.1%	43.9%	7.1%
65-74歳	5-Y 7-Y	12,060	5,367	6,693	984	44.5%	55.5%	8.2%
	5-Y 7-N	6,054	2,684	3,370	510	44.3%	55.7%	8.4%
	5-N 7-Y	4,726	2,082	2,644	545	44.1%	55.9%	11.5%
	5-N 7-N	9,956	4,327	5,629	1,058	43.5%	56.5%	10.6%
75歳以上	5-Y 7-Y	10,418	4,405	6,013	876	42.3%	57.7%	8.4%
	5-Y 7-N	6,174	2,648	3,526	525	42.9%	57.1%	8.5%
	5-N 7-Y	6,070	2,617	3,453	696	43.1%	56.9%	11.5%
	5-N 7-N	14,549	6,334	8,215	1,324	43.5%	56.5%	9.1%
全 体	5-Y 7-Y	27,027	12,408	14,619	2,075	45.9%	54.1%	7.7%
	5-Y 7-N	15,317	7,124	8,193	1,218	46.5%	53.5%	8.0%
	5-N 7-Y	12,954	5,903	7,051	1,384	45.6%	54.4%	10.7%
	5-N 7-N	30,273	13,898	16,375	2,791	45.9%	54.1%	9.2%



1-10 歯科階層化判定別 尿糖

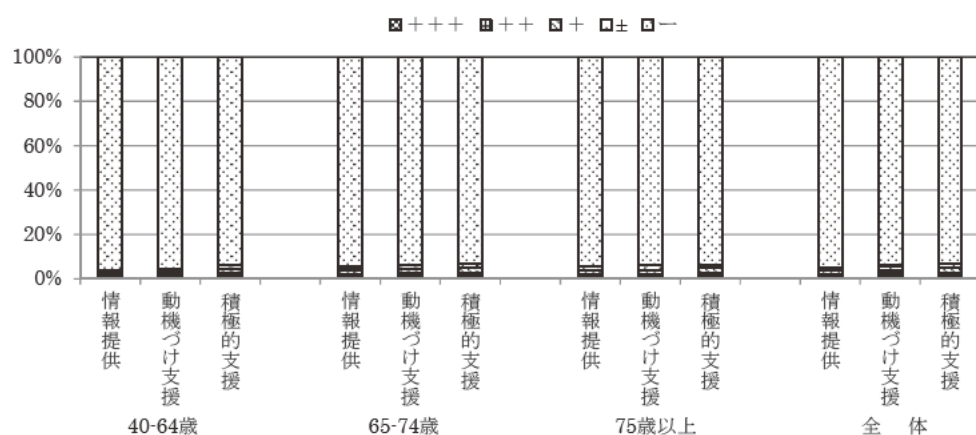
尿糖は特定健診の必須項目であるが、特定保健指導の選定基準にはなっていない。

尿糖が±～+++の割合は、全ての年齢階級で、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

全体でも、歯科階層化判定が重くなるほど尿糖が±～+++の割合が高くなっていた。

年齢階級	区 分	人 数					
		総数	一	±	+	++	+++
40-64歳	情報提供	8,667	8,345	94	89	64	75
	動機づけ支援	6,254	5,981	64	75	53	81
	積極的支援	1,790	1,680	31	27	27	25
65-74歳	情報提供	21,971	20,819	354	358	227	213
	動機づけ支援	11,449	10,727	212	223	135	152
	積極的支援	3,012	2,803	55	74	40	40
75歳以上	情報提供	22,935	21,614	453	423	224	221
	動機づけ支援	16,393	15,365	353	339	178	158
	積極的支援	2,848	2,663	49	72	33	31
全 体	情報提供	53,573	50,778	901	870	515	509
	動機づけ支援	34,096	32,073	629	637	366	391
	積極的支援	7,650	7,146	135	173	100	96

年齢階級	区 分	割 合					
		総数	一	±	+	++	+++
40-64歳	情報提供	100%	96.3%	1.1%	1.0%	0.7%	0.9%
	動機づけ支援	100%	95.6%	1.0%	1.2%	0.8%	1.3%
	積極的支援	100%	93.9%	1.7%	1.5%	1.5%	1.4%
65-74歳	情報提供	100%	94.8%	1.6%	1.6%	1.0%	1.0%
	動機づけ支援	100%	93.7%	1.9%	1.9%	1.2%	1.3%
	積極的支援	100%	93.1%	1.8%	2.5%	1.3%	1.3%
75歳以上	情報提供	100%	94.2%	2.0%	1.8%	1.0%	1.0%
	動機づけ支援	100%	93.7%	2.2%	2.1%	1.1%	1.0%
	積極的支援	100%	93.5%	1.7%	2.5%	1.2%	1.1%
全 体	情報提供	100%	94.8%	1.7%	1.6%	1.0%	1.0%
	動機づけ支援	100%	94.1%	1.8%	1.9%	1.1%	1.1%
	積極的支援	100%	93.4%	1.8%	2.3%	1.3%	1.3%



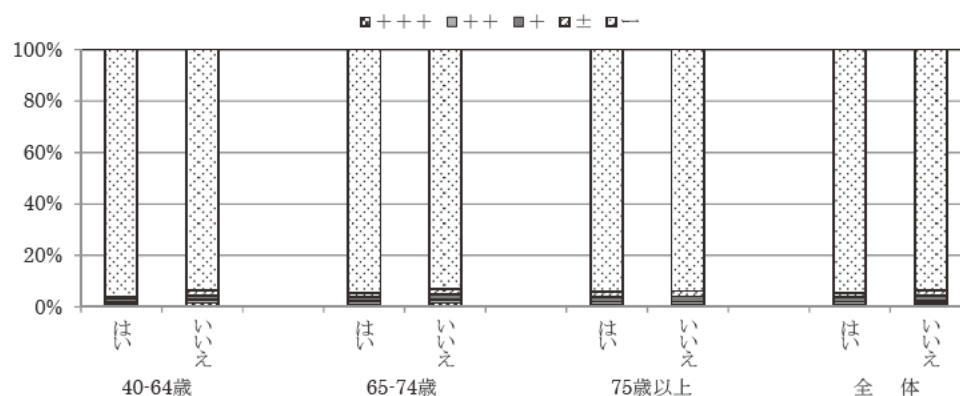
1-11 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 尿糖

尿糖が±～++++の割合は、各年齢階級で「はい」が「いいえ」より低くなっていた。

全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より尿糖が±～++++の割合が低くなっていた。これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					
		総数	一	±	+	++	++++
40-64歳	はい	15,011	14,410	159	162	124	156
	いいえ	1,643	1,541	29	28	20	25
	無回答	57	55	1	1	0	0
65-74歳	はい	31,488	29,754	518	553	336	327
	いいえ	4,699	4,373	99	96	62	69
	無回答	245	222	4	6	4	9
75歳以上	はい	32,985	31,021	661	645	337	321
	いいえ	7,777	7,297	158	162	85	75
	無回答	1,414	1,324	36	27	13	14
全 体	はい	79,484	75,185	1,338	1,360	797	804
	いいえ	14,119	13,211	286	286	167	169
	無回答	1,716	1,601	41	34	17	23

年齢階級	区 分	割 合					
		総数	一	±	+	++	++++
40-64歳	はい	100%	96.0%	1.1%	1.1%	0.8%	1.0%
	いいえ	100%	93.8%	1.8%	1.7%	1.2%	1.5%
	無回答	100%	96.5%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%
65-74歳	はい	100%	94.5%	1.6%	1.8%	1.1%	1.0%
	いいえ	100%	93.1%	2.1%	2.0%	1.3%	1.5%
	無回答	100%	90.6%	1.6%	2.4%	1.6%	3.7%
75歳以上	はい	100%	94.0%	2.0%	2.0%	1.0%	1.0%
	いいえ	100%	93.8%	2.0%	2.1%	1.1%	1.0%
	無回答	100%	93.6%	2.5%	1.9%	0.9%	1.0%
全 体	はい	100%	94.6%	1.7%	1.7%	1.0%	1.0%
	いいえ	100%	93.6%	2.0%	2.0%	1.2%	1.2%
	無回答	100%	93.3%	2.4%	2.0%	1.0%	1.3%

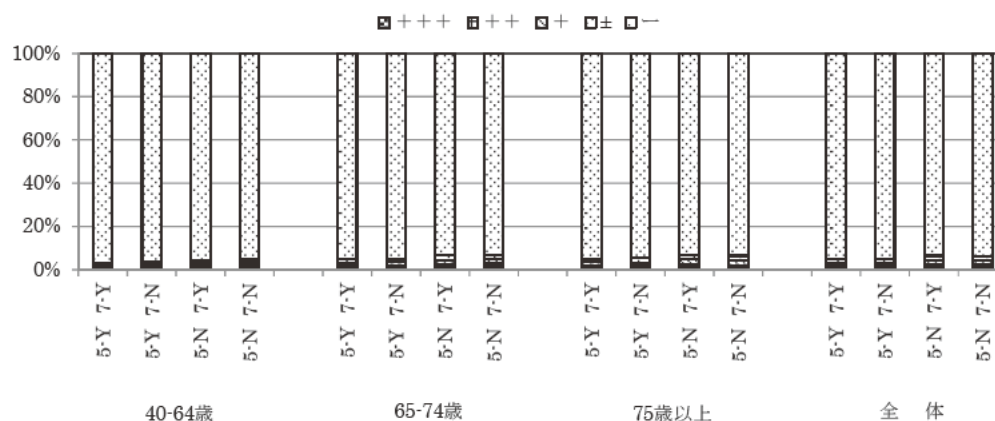


1-12 歯科質問項目5×7 尿糖

尿糖が±～++++の割合は、各年齢階級で「5-Y 7-Y」が「5-N 7-N」より低くなっていた。
全体でも、「5-Y 7-Y」は「5-N 7-N」より尿糖が±～++++の割合が低くなっていた。

年齢階級	区 分	人 数					
		総数	一	±	+	++	+++
40-64歳	5-Y 7-Y	4,803	4,641	44	41	36	41
	5-Y 7-N	3,311	3,179	42	40	25	25
	5-N 7-Y	2,318	2,219	27	28	20	24
	5-N 7-N	6,222	5,912	75	81	63	91
65-74歳	5-Y 7-Y	13,185	12,565	195	199	120	106
	5-Y 7-N	6,632	6,294	109	99	70	60
	5-N 7-Y	5,305	4,953	107	105	70	70
	5-N 7-N	11,064	10,314	206	246	138	160
75歳以上	5-Y 7-Y	11,380	10,797	188	200	101	94
	5-Y 7-N	6,721	6,369	129	111	54	58
	5-N 7-Y	6,783	6,305	163	145	91	79
	5-N 7-N	15,875	14,844	339	351	176	165
全 体	5-Y 7-Y	29,368	28,003	427	440	257	241
	5-Y 7-N	16,664	15,842	280	250	149	143
	5-N 7-Y	14,406	13,477	297	278	181	173
	5-N 7-N	33,161	31,070	620	678	377	416

年齢階級	区 分	割 合					
		総数	一	±	+	++	+++
40-64歳	5-Y 7-Y	100%	96.6%	0.9%	0.9%	0.7%	0.9%
	5-Y 7-N	100%	96.0%	1.3%	1.2%	0.8%	0.8%
	5-N 7-Y	100%	95.7%	1.2%	1.2%	0.9%	1.0%
	5-N 7-N	100%	95.0%	1.2%	1.3%	1.0%	1.5%
65-74歳	5-Y 7-Y	100%	95.3%	1.5%	1.5%	0.9%	0.8%
	5-Y 7-N	100%	94.9%	1.6%	1.5%	1.1%	0.9%
	5-N 7-Y	100%	93.4%	2.0%	2.0%	1.3%	1.3%
	5-N 7-N	100%	93.2%	1.9%	2.2%	1.2%	1.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	100%	94.9%	1.7%	1.8%	0.9%	0.8%
	5-Y 7-N	100%	94.8%	1.9%	1.7%	0.8%	0.9%
	5-N 7-Y	100%	93.0%	2.4%	2.1%	1.3%	1.2%
	5-N 7-N	100%	93.5%	2.1%	2.2%	1.1%	1.0%
全 体	5-Y 7-Y	100%	95.4%	1.5%	1.5%	0.9%	0.8%
	5-Y 7-N	100%	95.1%	1.7%	1.5%	0.9%	0.9%
	5-N 7-Y	100%	93.6%	2.1%	1.9%	1.3%	1.2%
	5-N 7-N	100%	93.7%	1.9%	2.0%	1.1%	1.3%



1-13 歯科階層化判定別 喫煙

喫煙は特定保健指導の選定基準のひとつになっている。

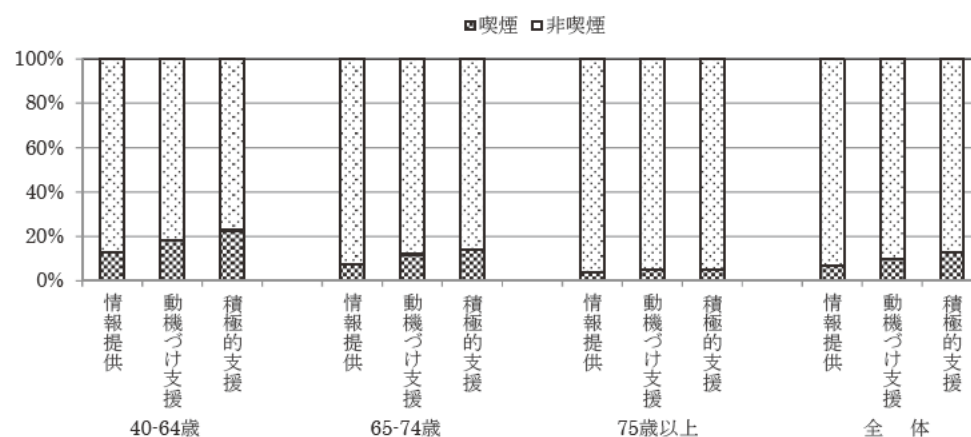
喫煙者の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75歳以上では、情報提供が最も少なく、動機づけ支援が最も高くなっていた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど喫煙者の割合が高くなっていた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

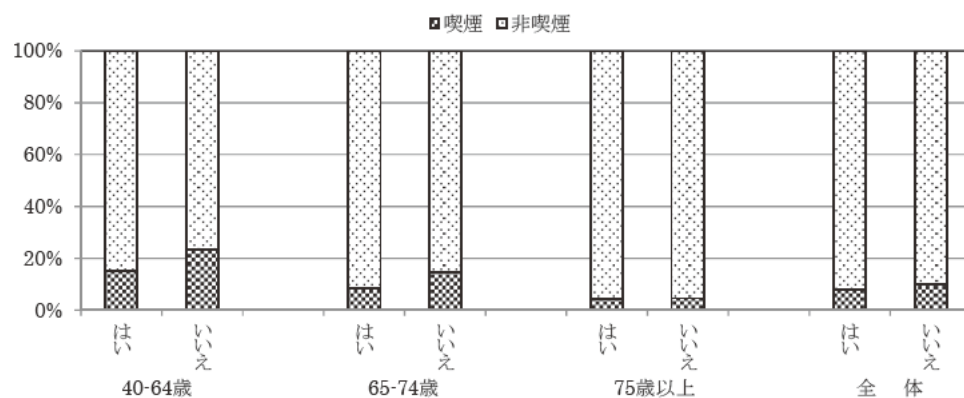
年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	情報提供	8,688	1,121	7,567	12.9%	87.1%
	動機づけ支援	6,268	1,125	5,143	17.9%	82.1%
	積極的支援	1,793	408	1,385	22.8%	77.2%
65-74歳	情報提供	22,021	1,598	20,423	7.3%	92.7%
	動機づけ支援	11,484	1,375	10,109	12.0%	88.0%
	積極的支援	3,019	430	2,589	14.2%	85.8%
75歳以上	情報提供	23,088	924	22,164	4.0%	96.0%
	動機づけ支援	16,640	875	15,765	5.3%	94.7%
	積極的支援	2,891	146	2,745	5.1%	94.9%
全 体	情報提供	53,797	3,643	50,154	6.8%	93.2%
	動機づけ支援	34,392	3,375	31,017	9.8%	90.2%
	積極的支援	7,703	984	6,719	12.8%	87.2%



1-14 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 喫煙

喫煙者の割合は、各年齢階級とも「はい」が「いいえ」より低くなっていた。
全体でも、何でもかんで食べられる人はそうでない人より喫煙者の割合が低くなっていた。
これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

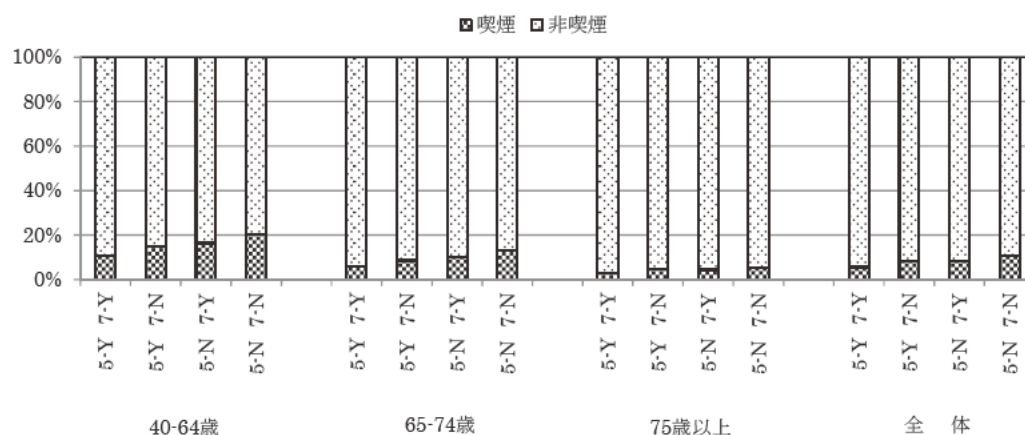
年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	はい	15,046	2,262	12,784	15.0%	85.0%
	いいえ	1,646	384	1,262	23.3%	76.7%
	無回答	57	8	49	14.0%	86.0%
65-74歳	はい	31,563	2,679	28,884	8.5%	91.5%
	いいえ	4,716	693	4,023	14.7%	85.3%
	無回答	245	31	214	12.7%	87.3%
75歳以上	はい	33,243	1,489	31,754	4.5%	95.5%
	いいえ	7,945	368	7,577	4.6%	95.4%
	無回答	1,431	88	1,343	6.1%	93.9%
全 体	はい	79,852	6,430	73,422	8.1%	91.9%
	いいえ	14,307	1,445	12,862	10.1%	89.9%
	無回答	1,733	127	1,606	7.3%	92.7%



1-15 歯科質問項目5×7回答別 喫煙

喫煙者の割合は、全ての年齢階級で「5・Y 7・Y」より「5・N 7・N」の方が高くなっていた。全体では、「5・Y 7・Y」、「5・Y 7・N」、「5・N 7・Y」、「5・N 7・N」の順に喫煙者の割合が高くなっていた。この傾向は、75歳以上、64-74歳、40-64歳の順に、若いほど強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数				
		総数	喫煙	非喫煙	喫煙	非喫煙
40-64歳	5・Y 7・Y	4,815	518	4,297	10.8%	89.2%
	5・Y 7・N	3,312	484	2,828	14.6%	85.4%
	5・N 7・Y	2,326	383	1,943	16.5%	83.5%
	5・N 7・N	6,239	1,261	4,978	20.2%	79.8%
65-74歳	5・Y 7・Y	13,208	781	12,427	5.9%	94.1%
	5・Y 7・N	6,643	573	6,070	8.6%	91.4%
	5・N 7・Y	5,325	538	4,787	10.1%	89.9%
	5・N 7・N	11,102	1,479	9,623	13.3%	86.7%
75歳以上	5・Y 7・Y	11,426	363	11,063	3.2%	96.8%
	5・Y 7・N	6,790	327	6,463	4.8%	95.2%
	5・N 7・Y	6,843	302	6,541	4.4%	95.6%
	5・N 7・N	16,126	865	15,261	5.4%	94.6%
全 体	5・Y 7・Y	29,449	1,662	27,787	5.6%	94.4%
	5・Y 7・N	16,745	1,384	15,361	8.3%	91.7%
	5・N 7・Y	14,494	1,223	13,271	8.4%	91.6%
	5・N 7・N	33,467	3,605	29,862	10.8%	89.2%



1-16 歯科階層化判定別 メタボ判定区分

特定健診結果よりメタボリックシンドローム該当、予備群、非該当が判定され、特定保健指導における積極的支援、動機づけ支援、情報提供に分類される。

メタボ該当の割合は、40-64歳、65-74歳では、歯科階層化判定が重くなるほど高くなっていた。

75歳以上では、逆に歯科階層化判定が重くなるほど低くなっていた。

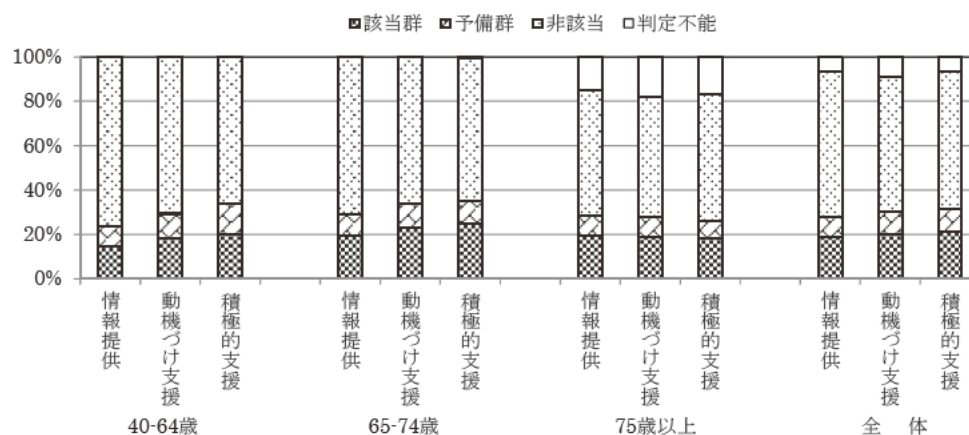
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、歯科階層化判定が重くなるほど、メタボ該当の割合が高くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	情報提供	8,688	1,281	769	6,638	0	14.7%	8.9%	76.4%	0.0%
	動機づけ支援	6,268	1,146	698	4,424	0	18.3%	11.1%	70.6%	0.0%
	積極的支援	1,793	359	246	1,188	0	20.0%	13.7%	66.3%	0.0%
65-74歳	情報提供	22,021	4,297	2,045	15,654	25	19.5%	9.3%	71.1%	0.1%
	動機づけ支援	11,485	2,658	1,236	7,569	22	23.1%	10.8%	65.9%	0.2%
	積極的支援	3,019	745	308	1,954	12	24.7%	10.2%	64.7%	0.4%
75歳以上	情報提供	23,088	4,498	2,031	13,058	3,501	19.5%	8.8%	56.6%	15.2%
	動機づけ支援	16,641	3,174	1,442	9,029	2,996	19.1%	8.7%	54.3%	18.0%
	積極的支援	2,891	533	218	1,655	485	18.4%	7.5%	57.2%	16.8%
全 体	情報提供	53,797	10,076	4,845	35,350	3,526	18.7%	9.0%	65.7%	6.6%
	動機づけ支援	34,394	6,978	3,376	21,022	3,018	20.3%	9.8%	61.1%	8.8%
	積極的支援	7,703	1,637	772	4,797	497	21.3%	10.0%	62.3%	6.5%



1-17 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)回答別 メタボ判定区分

メタボ該当の割合は、40-64歳、65-74歳では「はい」が「いいえ」より低くなっていた。しかし75歳以上では、「はい」が「いいえ」より高くなっていた。

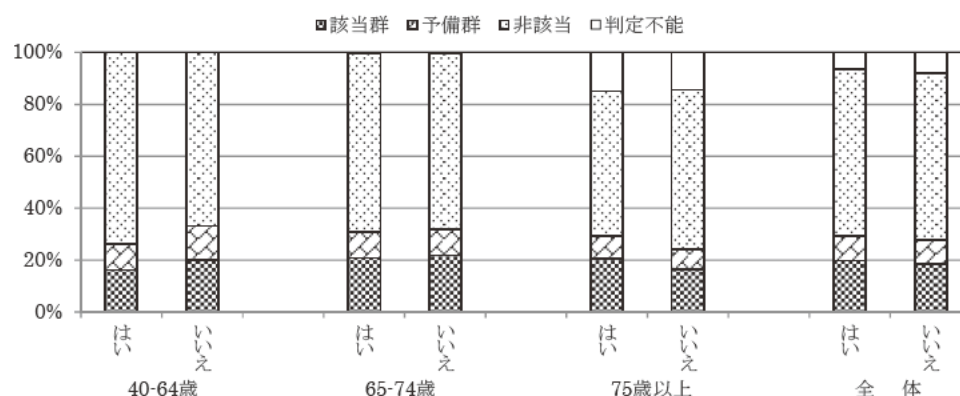
メタボ予備群を含めても、各年齢階級で同様の傾向が認められた。

全体では、何でもかんで食べられる人はそうでない人より、メタボ該当の割合が高くなっていた。

メタボ予備群を含めても同様の傾向が認められた。

これらの傾向は昨年の調査結果と同じであった。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	はい	15,046	2,436	1,488	11,122	0	16.2%	9.9%	73.9%	0.0%
	いいえ	1,646	331	215	1,100	0	20.1%	13.1%	66.8%	0.0%
	無回答	57	19	10	28	0	33.3%	17.5%	49.1%	0.0%
65-74歳	はい	31,564	6,589	3,086	21,848	41	20.9%	9.8%	69.2%	0.1%
	いいえ	4,716	1,027	473	3,200	16	21.8%	10.0%	67.9%	0.3%
	無回答	245	84	30	129	2	34.3%	12.2%	52.7%	0.8%
75歳以上	はい	33,244	6,772	3,011	18,520	4,941	20.4%	9.1%	55.7%	14.9%
	いいえ	7,945	1,293	619	4,888	1,145	16.3%	7.8%	61.5%	14.4%
	無回答	1,431	140	61	334	896	9.8%	4.3%	23.3%	62.6%
全 体	はい	79,854	15,797	7,585	51,490	4,982	19.8%	9.5%	64.5%	6.2%
	いいえ	14,307	2,651	1,307	9,188	1,161	18.5%	9.1%	64.2%	8.1%
	無回答	1,733	243	101	491	898	14.0%	5.8%	28.3%	51.8%

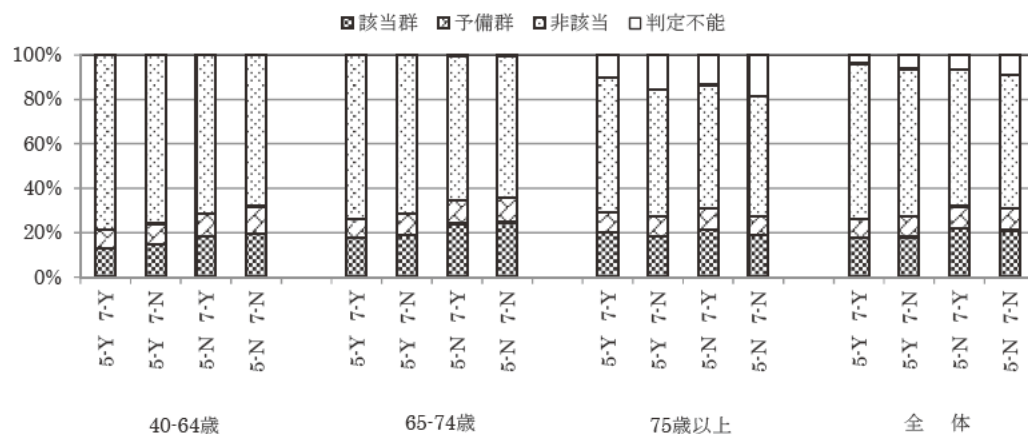


1-18 歯科質問項目5×7回答別 メタボ判定区分

メタボ該当群・予備群の割合は、40-64歳と65-74歳では「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。しかし、75歳以上ではこれと逆の結果になっていた。

全体では、メタボ該当群・予備群の割合は、「5-Y 7-Y」より「5-N 7-N」の方が高くなっていた。「5-Y」と「5-N」、すなわち、セルフケア群と非セルフケア群とを比較すると、メタボ該当群・予備群の割合に違いがみられ、メタボ判定に関してはプロフェッショナルケアよりセルフケアの影響が強く表れていた。

年齢階級	区 分	人 数					割 合			
		総数	該当群	予備群	非該当	判定不能	該当群	予備群	非該当	判定不能
40-64歳	5-Y 7-Y	4,815	625	397	3,793	0	13.0%	8.2%	78.8%	0.0%
	5-Y 7-N	3,312	497	299	2,516	0	15.0%	9.0%	76.0%	0.0%
	5-N 7-Y	2,326	428	237	1,661	0	18.4%	10.2%	71.4%	0.0%
	5-N 7-N	6,239	1,217	770	4,252	0	19.5%	12.3%	68.2%	0.0%
65-74歳	5-Y 7-Y	13,208	2,321	1,147	9,733	7	17.6%	8.7%	73.7%	0.1%
	5-Y 7-N	6,644	1,277	624	4,733	10	19.2%	9.4%	71.2%	0.2%
	5-N 7-Y	5,325	1,281	569	3,466	9	24.1%	10.7%	65.1%	0.2%
	5-N 7-N	11,102	2,738	1,219	7,114	31	24.7%	11.0%	64.1%	0.3%
75歳以上	5-Y 7-Y	11,426	2,264	1,055	6,953	1,154	19.8%	9.2%	60.9%	10.1%
	5-Y 7-N	6,790	1,262	577	3,906	1,045	18.6%	8.5%	57.5%	15.4%
	5-N 7-Y	6,843	1,452	653	3,814	924	21.2%	9.5%	55.7%	13.5%
	5-N 7-N	16,127	3,086	1,345	8,733	2,963	19.1%	8.3%	54.2%	18.4%
全 体	5-Y 7-Y	29,449	5,210	2,599	20,479	1,161	17.7%	8.8%	69.5%	3.9%
	5-Y 7-N	16,746	3,036	1,500	11,155	1,055	18.1%	9.0%	66.6%	6.3%
	5-N 7-Y	14,494	3,161	1,459	8,941	933	21.8%	10.1%	61.7%	6.4%
	5-N 7-N	33,468	7,041	3,334	20,099	2,994	21.0%	10.0%	60.1%	8.9%



まとめ・考察（Ⅱ）

A 平成 25 年度特定健診受診者の状況

性別・年齢階級別の状況

- ・平成 25 年度特定健診受診者は、95,894 人だった。その属性については、男女比ではおよそ 1:1.6 で女性が多く、年齢階級別では 40-64 歳がおよそ 18%、65-74 歳がおよそ 38%、75 歳以上がおよそ 44%と、75 歳以上が一番多かった。

歯科階層化判定の状況

- ・対象者の歯科階層化判定の状況は、各年齢階級とも情報提供群が最も多かった。積極的支援群の割合は年齢階級が高くなるにつれ 10.7%、8.3%、6.8%と少なくなっていた。

歯科質問項目 1 の回答の状況

- ・歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」について「はい」と答えた者の割合は 40-64 歳で 89.8%、65-74 歳で 86.4%、75 歳以上で 78%と、高齢になるほど何でもかんで食べられる者の割合が少なくなっていた。

対象者の歯科質問項目 5×7 回答の状況

- ・全体として、「5-Y 7-Y」が 30.7%、「5-Y 7-N」が 17.5%、「5-N 7-Y」が 15.1%、「5-N 7-N」が 34.9%と、「5-N 7-N」の割合が最も多かった。「5-Y 7-Y」が多く「5-N 7-N」が少ないのは、65 - 74 歳、40-64 歳、75 歳以上の順であった。特筆すべき点は 65-74 歳でのみ「5-Y 7-Y」の割合が「5-N 7-N」の割合を上回っていた。働き盛りの年齢より、退職して後期高齢期に入るまでが、最も口腔ケアへの意識が高い時期と考えられた。

B 平成 25 年度特定健診受診者の特定健診結果の状況

歯科階層化判定と特定健診結果の状況

- ・歯科階層化判定と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。40-64 歳と 65-74 歳では全ての項目において、概ね歯科階層化判定が重くなるほど肥満、糖尿病、喫煙傾向、メタボの割合が高くなっていた。ところが、75 歳以上では尿糖以外の項目でこの傾向とは逆の傾向を示していた。

歯科質問項目 1 の回答と特定健診結果の状況

- ・歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」回答と BMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
- ・肥満(BMI、腹囲)の割合は 40-64 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高く、75 歳上では逆に「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高かった。65-74 歳では BMI と腹囲で逆の結果が出ていた。
- ・糖尿病(HbA1c、尿糖)に関して、HbA1c 基準値以上の割合は 40-64 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かったが、75 歳上では逆に「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高かった。65-74 歳では、ほぼ同等であった。尿糖が±~+++の割合はすべての年齢階級で「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かった。
- ・喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かった。
- ・メタボの割合は 40-64 歳、65-74 歳では「何でもかんで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が高かったが、75 歳以上では「何でもかんで食べられる」に「はい」と答えた群の方が高くなっていた。

歯科質問項目5×7の回答と特定健診結果の状況

- ・歯科質問項目5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」(セルフケア)と歯科質問項目7「定期的(年1回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」(プロフェッショナルケア)のクロス回答とBMI、腹囲、HbA1c、尿糖、喫煙、メタボ判定区分との関係を分析した。
- ・肥満(BMI、腹囲)に関して、BMIも腹囲も40-64歳、65-74歳では、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に、基準値以上の者の割合が高くなっていたが、75歳以上ではこのようにはなっていなかった。全体としては、「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」の方が基準以上の者の割合が高かった。
- ・肥満に関しては、セルフケアの影響がプロフェッショナルケアの影響を上回っていた。
- ・糖尿病(HbA1c、尿糖)に関して、HbA1c基準値以上や尿糖±以上の割合は各年齢階級とも「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高くなっていた。全体としても「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」のほうがHbA1c、尿糖ともに高かった。
- ・喫煙する人の割合は、すべての年齢階級で「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高くなっていた。
- ・メタボの割合は40-64歳、65-74歳では「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に高かったが、75歳以上ではこの傾向に無く、全体としては「5-Y 7-Y」よりも「5-N 7-N」のほうがメタボの割合は高かった。
- ・肥満、糖尿病、喫煙、メタボ全てにおいて、セルフケア、プロフェッショナルケア両方とも行っていると答えた群が、特定健診結果が優れている者の割合が一番高いという結果が得られた。そして、特定健診結果に与える影響はセルフケアのほうがプロフェッショナルケアよりも大きかった。

まとめ

- ・特定健診受診者について、香川県独自の歯科質問項目から“歯科階層化判定”と“何でもかんで食べられるか”について、健診結果との関係を分析した。40-64歳では、歯科階層化判定が重度なほど、また「何でも咬んで食べられる」に「いいえ」と答えた群の方が、各種健診結果が悪くなっていた。しかしながら、75歳以上では逆の結果が出た。
- ・セルフケアとプロフェッショナルケアについて特定健診結果との関係を分析した。結果、全ての検査項目についてセルフケア、プロフェッショナルケア両方とも行っていると答えた群がどちらも行っていないと答えた群よりも健診結果が優れている者の割合が高かった。よって、肥満、糖尿病、喫煙、メタボに対する口腔ケアの重要性が示唆された。一方、健診結果に与える影響がどちらの方が大きいかわかる分析したところ、セルフケアの影響の方が大きかった。
- ・喫煙は、歯科階層化判定別、歯科質問項目1回答別、歯科質問項目5×7回答別全てにおいて、年齢区分に関係なく同じ傾向にあった。今回も、セルフケア、プロフェッショナルケアを行っていると答えた群に喫煙者の割合が少なく、そうでない群に喫煙者の割合が多かった。そして、この傾向は若い年齢区分ほど強くなっていた。

Ⅲ 平成 25 年度特定健診受診者のうち平成 25 年 5,8,11,平成 26 年 2 月に受診した者の状況

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 25 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答および健診結果を入手できた者を対象者とし、歯科階層化判定別と歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」、項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」(セルフケア)と項目 7「定期的に(年に 1 回以上)に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」(プロフェッショナルケア)のクロス回答別(以下、項目 5×7)に平成 25 年度の医療費について分析を行った。なお、以下、項目 5 も 7 も「はい」を「5-Y 7-Y」、5 が「はい」で 7 は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5 が「いいえ」で 7 が「はい」を「5-N 7-Y」、5 も 7 も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、平成 25 年度の 4 か月分のレセプトを用いて、特定健診受診者と突合を行い、以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。名寄せ人数は 90,961 人で、特定健診受診者の 94.9%であった。

レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 主要疾病別

以下の疾病を主要疾病として分析した。

主要疾病名	対象者(人)
悪性新生物	6,775
虚血性心疾患	2,864
脳血管疾患	4,393
糖尿病	6,693

主要疾病名	対象者(人)
高血圧性疾患	29,892
動脈硬化症	429
肺炎	373
歯の疾患	41,828

(3) 生活習慣病

以下の疾病を生活習慣病として分析した。

悪性新生物	虚血性心疾患	脳血管疾患
糖尿病	高血圧性疾患	動脈硬化症

生活習慣病で受診した者は 45,466 人(50.0%)であった。

二 調査・分析結果

(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

1-1 歯科階層化判定別日数(一人あたり1年間、日)

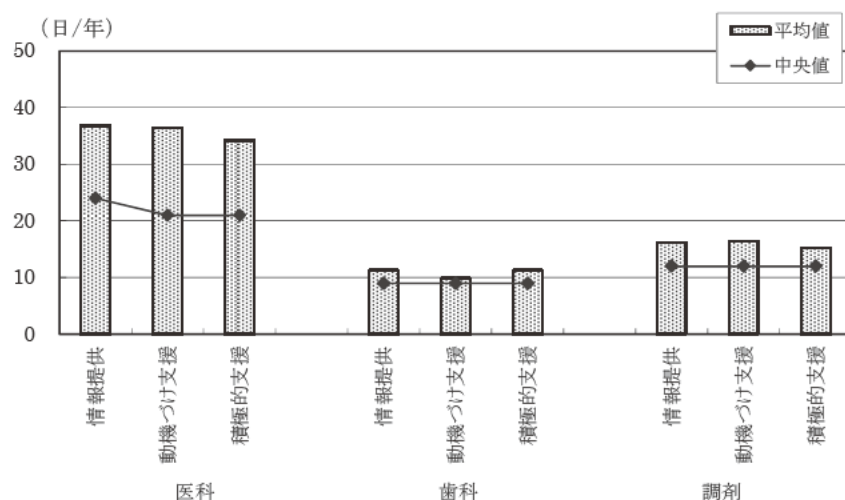
全体の平均日数は医科 36.4 日で、歯科の 11.0 日に比べて約 25 日多くなっていた。また、調剤は 16.1 日で歯科よりも約 5 日多くなっていた。

医科では情報提供群の平均日数が 36.8 日、積極的支援群が 34.2 日と、判定区分が重くなるほど日数が少なくなっていた。

歯科では動機づけ支援群が平均 9.9 日と最も日数が少なくなっていた。

調剤では逆に動機づけ支援群が 16.4 日で最も日数が多くなっていた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	51,984	36.8	24.0	11.3	9.0	16.1	12.0
動 機 づ け 支 援	31,879	36.4	21.0	9.9	9.0	16.4	12.0
積 極 的 支 援	7,098	34.2	21.0	11.3	9.0	15.3	12.0
全 体	90,961	36.4	24.0	11.0	9.0	16.1	12.0



1-2 歯科階層化判定別診療費（一人あたり1年間、円）

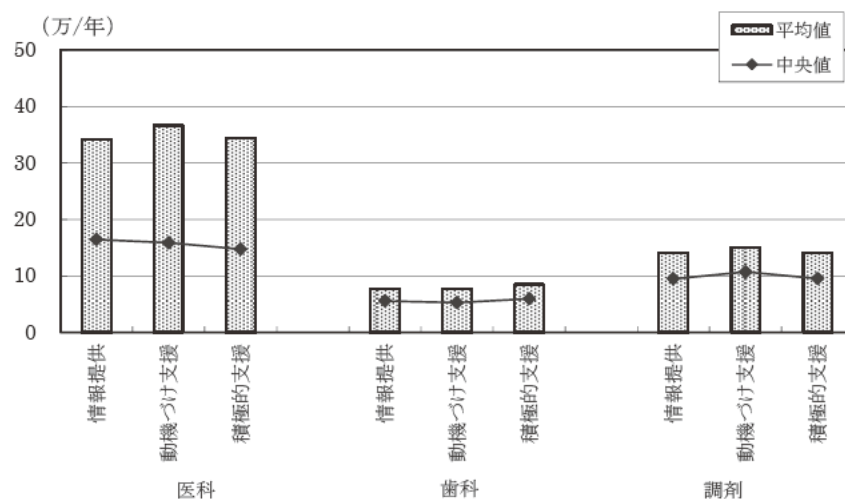
全体の平均診療費は医科約 35.1 万円で、歯科の約 7.8 万円に比べて約 27 万円高くなっていた。また、調剤は約 14.4 万円で歯科よりも約 7 万円高くなっていた。

医科では情報提供群の平均診療費が約 34.2 万円で最も低く、次いで積極的支援群が約 34.3 万円で、動機づけ支援群が 36.7 万円で最も高かった。

歯科では情報提供群が平均約 7.8 万円、動機づけ支援は約 7.7 万円であったが、積極的支援群は約 8.5 万円と高くなっていた。

調剤では医科と同様に情報提供群・積極的支援群が低く、動機づけ支援群が約 15.1 万円で最も高かった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	51,984	341,943	164,400	77,876	55,680	140,415	94,890
動 機 づ け 支 援	31,879	366,886	158,520	76,769	52,470	150,781	106,680
積 極 的 支 援	7,098	343,473	147,240	85,124	59,250	140,381	95,160
全 体	90,961	350,908	160,890	78,099	55,200	144,028	98,910



(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

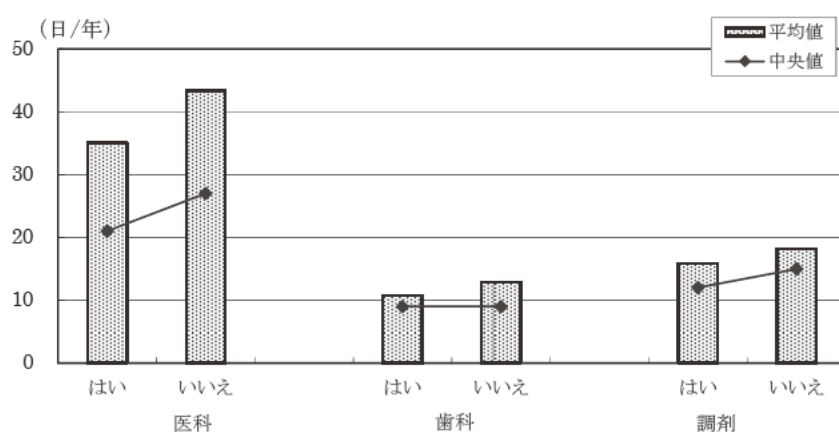
2-1 歯科質問項目1別日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

医科では「はい」の平均日数が 35.1 日、「いいえ」が 43.3 日と、「はい」の方が約 8 日少なくなっていた。

歯科では「はい」の平均日数が 10.7 日、「いいえ」が 12.9 日と、「はい」の方が約 2 日少なくなっていた。

調剤でも、「はい」の平均日数が 15.8 日、「いいえ」が 18.2 日と、「はい」の方が約 2 日少なくなっていた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	75,629	35.1	21.0	10.7	9.0	15.8	12.0
いいえ	13,624	43.3	27.0	12.9	9.0	18.2	15.0
全 体	90,961	36.4	24.0	11.0	9.0	16.1	12.0



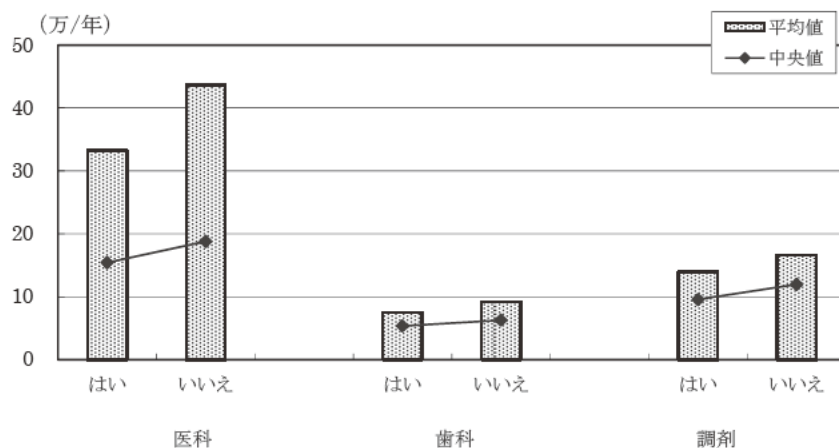
2-2 歯科質問項目1別診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

医科では「はい」の平均診療費が約 33.3 万円、「いいえ」が約 43.7 万円で、「はい」の方が約 10 万円低かった。

歯科では「はい」が約 7.5 万円、「いいえ」が約 9.2 万円で、「はい」の方が約 1.7 万円低かった。
調剤では「はい」が約 14.0 万円、「いいえ」が約 16.7 万円で、「はい」の方が約 2.7 万円低かった。

中央値で見てもすべての診療科において「はい」のほうが低い値を示していた。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	75,629	333,038	154,665	75,438	53,910	139,917	95,790
いいえ	13,624	436,849	188,115	92,259	63,060	166,762	119,715
全 体	90,961	350,908	160,890	78,099	55,200	144,028	98,910



(3) 歯科質問項目 5×7回答別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

3-1 歯科質問項目5×7回答別 日数(一人あたり1年間、日)(無回答は非表示)

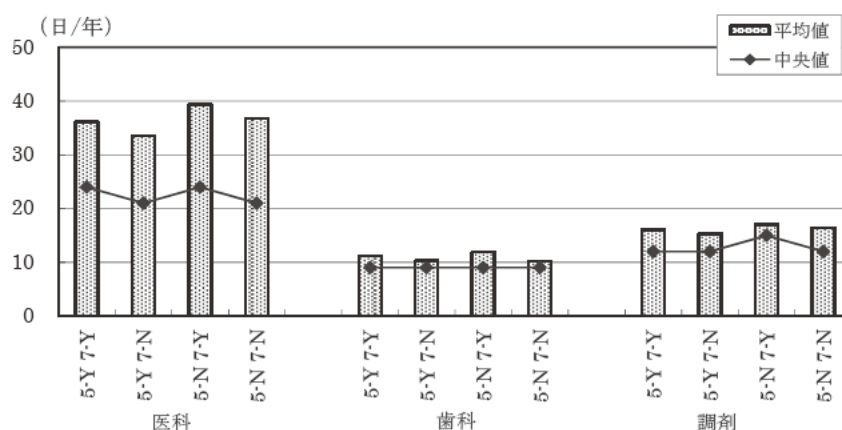
医科の診療日数については「5-Y 7-N」の平均値が最も少なく、「5-N 7-Y」が最も多かった。

「7-Y」(プロフェッショナルケア群)が高くなっていたが、質問項目7の回答が同じなら「5-N」(非セルフケア群)の方が平均値が高くなっていた。

歯科の平均値においては「7-Y」(プロフェッショナルケア群)が高く、「5-N 7-N」が最も低かった。

調剤においては「5-Y」(セルフケア群)より「5-N」(非セルフケア群)で平均値が高くなる傾向にあった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	28,661	36.2	24.0	11.2	9.0	16.0	12.0
5-Y 7-N	15,573	33.5	21.0	10.3	9.0	15.3	12.0
5-N 7-Y	14,050	39.4	24.0	11.8	9.0	17.0	15.0
5-N 7-N	30,966	36.7	21.0	10.2	9.0	16.4	12.0
全 体	90,961	36.4	24.0	11.0	9.0	16.1	12.0



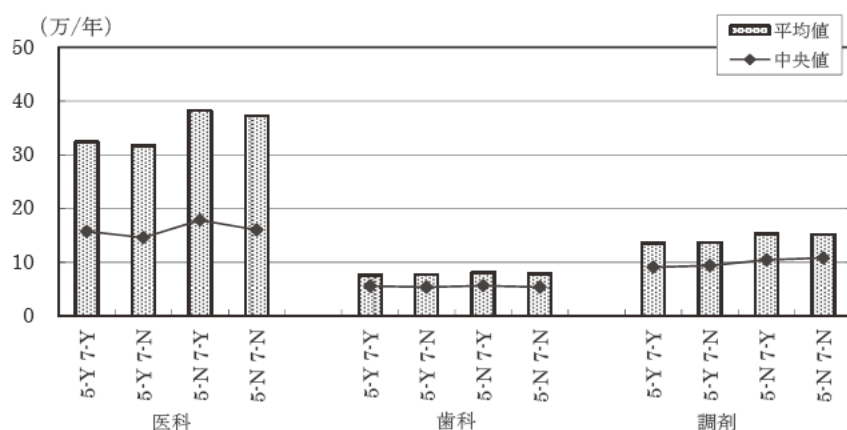
3-2 歯科質問項目5×7別 診療費(一人あたり1年間、円)(無回答は非表示)

医科の平均値、中央値とも「5・N」(非セルフケア群)が高い傾向にあり、「5・Y」(セルフケア群)同士、「5・N」(非セルフケア群)同士で7の回答別を比較すると「7・Y」(プロフェッショナルケア群)の方が平均値、中央値が高かった。

歯科の平均値においては「5・Y 7・Y」が最も低く、「5・N 7・Y」が最も高かったがその差は小さかった。

調剤の平均値においては「5・Y 7・Y」が最も低く、「5・N 7・Y」が最も高かった。医科と同様に平均値、中央値とも「5・N」(非セルフケア群)が高い傾向にあった。

	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5・Y 7・Y	28,661	324,292	157,530	76,306	55,440	135,297	91,110
5・Y 7・N	15,573	317,002	145,740	78,152	53,700	137,231	93,600
5・N 7・Y	14,050	382,606	178,350	81,560	56,520	152,949	104,160
5・N 7・N	30,966	372,102	160,350	78,410	53,700	151,737	108,060
全 体	90,961	350,908	160,890	78,099	55,200	144,028	98,910



(4) 主要疾病別分析

悪性新生物 年齢階級別歯科階層化判定別

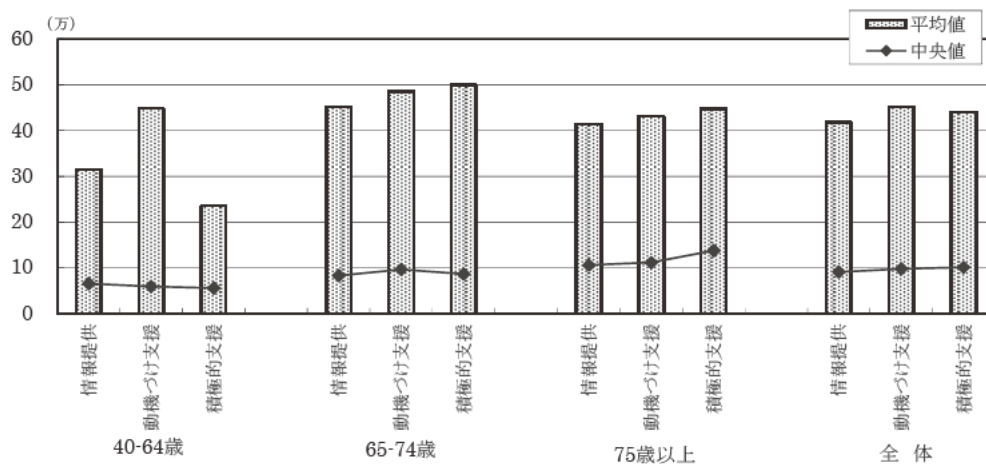
悪性新生物の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	431	1,600	1,997	4,028
動機づけ支援	262	776	1,201	2,239
積極的支援	67	206	235	508
計	760	2,582	3,433	6,775

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳の年齢階級では動機づけ支援群の平均値が高く、積極的支援群が低くなっており、ばらつきがあるが、65-74 歳、75 歳以上の年齢階級では歯科階層化判定が重くなるほど診療費の平均値が高くなっており、積極的支援群は情報提供群より約 3～4 万円高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	315480	65490	452250	83210	414130	105660	418720	91080
動機づけ支援	448700	59120	485420	95910	430440	111270	451630	97590
積極的支援	235530	55350	499530	86070	447660	137700	440720	100920
全 体	354360	61820	465990	85140	422130	109470	431250	94500



悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目1回答別

悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

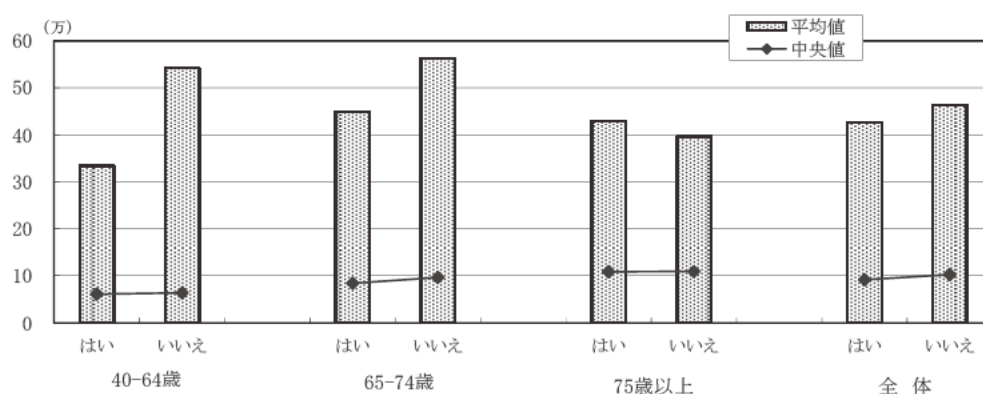
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	679	2,225	2,736	5,640
い い え	78	341	598	1,017
無 回 答	3	16	99	118
計	760	2,582	3,433	6,775

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳、65-74 歳の年齢階級では、「はい」の方が診療費の平均値、中央値ともに低くなっていたが、75 歳以上では逆に「はい」の方が高くなっていた。

全体では「いいえ」の方が診療費の平均値が約 4 万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	333850	61200	449250	84420	429070	108990	425570	91950
い い え	541830	63770	562840	96900	396410	109400	463370	102990
全 体	354360	61820	465990	85140	422130	109470	431250	94500



悪性新生物 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

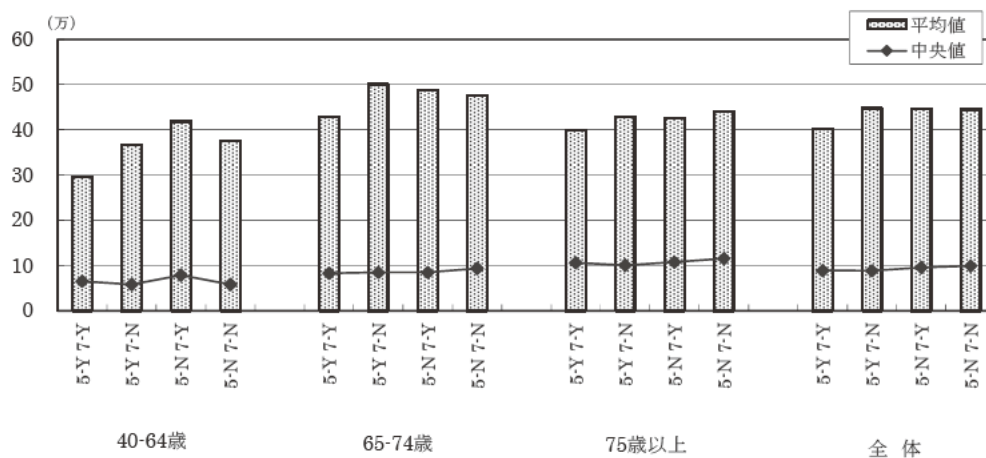
悪性新生物の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	243	973	1,000	2,216
5-Y 7-N	156	426	551	1,133
5-N 7-Y	122	406	629	1,157
5-N 7-N	236	762	1,154	2,152
全 体	757	2,567	3,334	6,658

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳の年齢階級では「5-Y」（セルフケア群）の平均値が低く、「5-N 7-Y」が平均値、中央値とも最も高くなっていた。全体として平均値において「5-Y7-Y」が低く、それ以外の群が高くなる傾向があった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	296180	65400	429060	83400	399420	105780	401120	89250
5-Y 7-N	366390	58340	500920	84620	429020	100920	447430	88320
5-N 7-Y	418620	79100	487130	84660	425580	107460	446450	95880
5-N 7-N	376040	58320	476260	93660	439760	115310	445700	98910
全 体	354360	61820	465990	85140	422130	109470	431250	94500



虚血性心疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

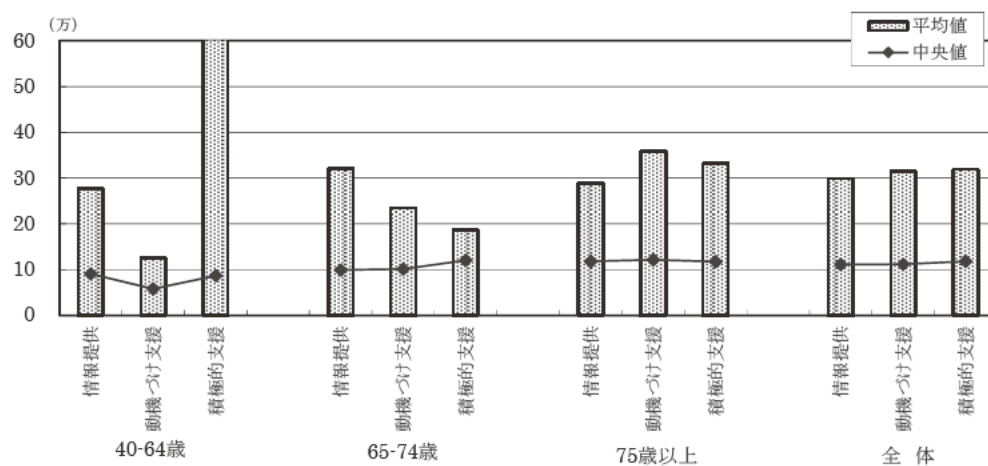
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	82	565	996	1,643
動機づけ支援	53	250	692	995
積極的支援	25	72	129	226
計	160	887	1,817	2,864

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級ではばらつきがあり、最も高い平均値の群が異なっていた。特に 40-64 歳の年齢階級では積極的支援群の平均値が群を抜いて高くなっていた。

全体では情報提供群が最も低く、積極的支援群が最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	277330	90590	319880	98610	288380	117470	298660	110970
動機づけ支援	124790	57600	234440	101030	359060	121340	315270	111300
積極的支援	629990	86400	186680	120030	332190	117060	318780	117800
全 体	281910	72270	284980	100440	318410	118740	306020	111630



虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

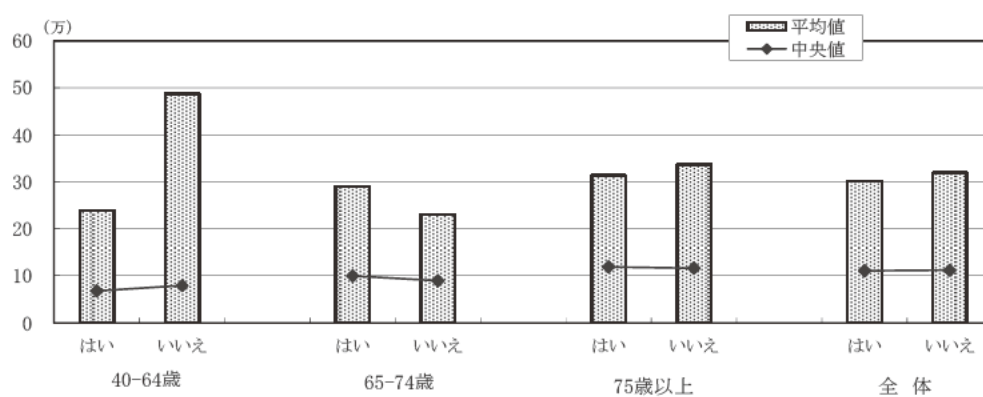
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	132	755	1,421	2,308
い い え	27	121	334	482
無 回 答	1	11	62	74
計	160	887	1,817	2,864

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳の年齢階級では「いいえ」の方の平均値が低いが、他の年齢階級では「いいえ」の方の平均値が高くなっていた。

全体では、「いいえ」の平均値の方が約2万円高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	239800	68070	290520	100050	313600	118890	301830	110960
い い え	487990	79500	230830	90030	337410	116640	319090	111860
全 体	281910	72270	284980	100440	318410	118740	306020	111630



虚血性心疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

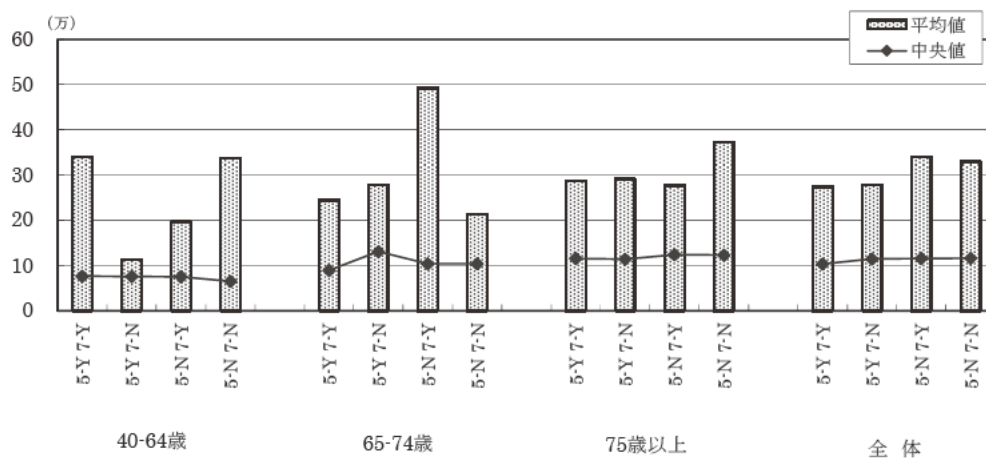
虚血性心疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	47	333	496	876
5-Y 7-N	26	150	303	479
5-N 7-Y	22	144	300	466
5-N 7-N	64	249	656	969
全 体	159	876	1,755	2,790

・診療費（一人あたり1年間、円）

年齢階級別において虚血性心疾患患者については平均値、中央値のいずれにおいても一定の傾向を認めることができなかったが、全体では「5-Y」（セルフケア群）の平均値が低く、「5-N」（非セルフケア群）の平均値は高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	339670	76500	244490	89730	287350	115760	273860	103230
5-Y 7-N	113610	75860	278580	130770	290940	113760	277440	114330
5-N 7-Y	196550	75030	492030	104120	276880	123950	339570	115490
5-N 7-N	337290	65270	213710	103680	372830	122960	329600	116010
全 体	281910	72270	284980	100440	318410	118740	306020	111630



脳血管疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

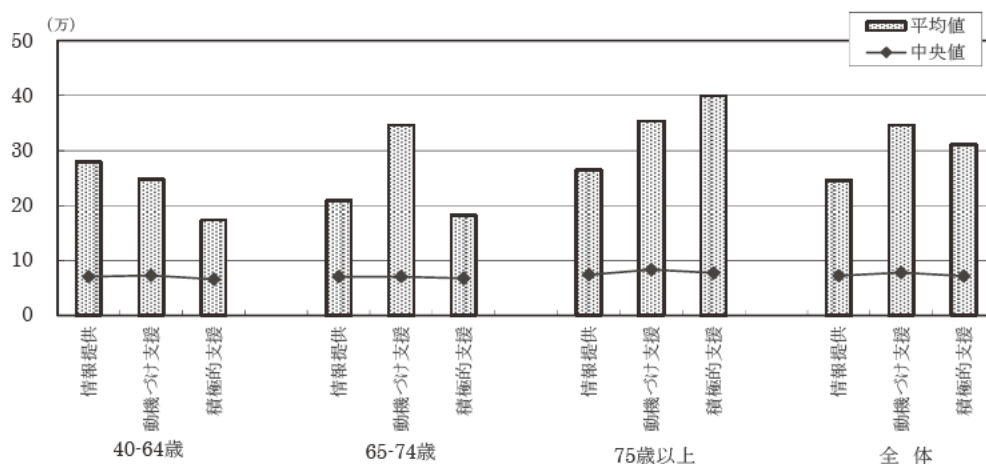
脳血管疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	128	846	1,472	2,446
動機づけ支援	95	399	1,131	1,625
積極的支援	28	102	192	322
計	251	1,347	2,795	4,393

・診療費（一人あたり1年間、円）

75 歳以上の年齢階級において歯科階層化判定が重くなるほど診療費の平均値が高くなる傾向があった。情報提供群に比べて積極的支援群の平均値が約 14 万円程高くなっていた。それ以外の年齢階級では積極的支援群における平均値、中央値が最も低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	278910	70500	208230	70500	264360	74150	245710	72230
動機づけ支援	247660	72600	347090	70500	354150	83280	346190	78000
積極的支援	173810	65550	182510	67290	400130	77040	311510	71450
全 体	255360	70500	247420	70500	310020	78000	287700	72600



脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

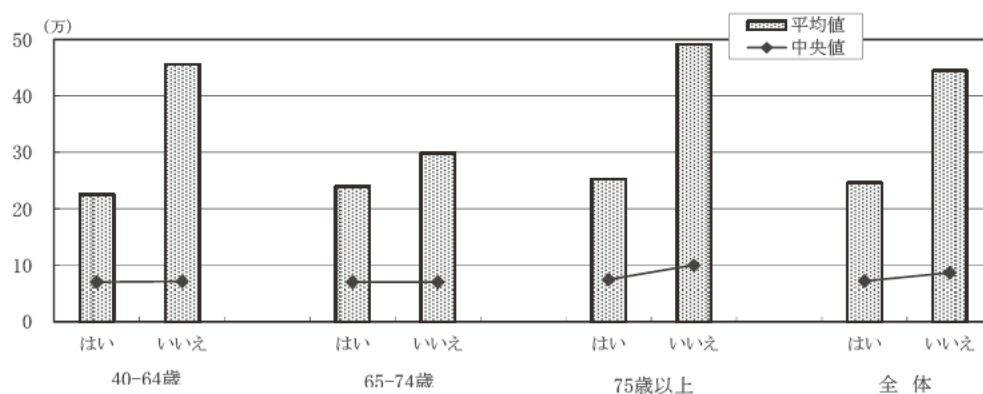
脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	219	1,131	2,062	3,412
い い え	32	205	644	881
無 回 答	0	11	89	100
計	251	1,347	2,795	4,393

・診療費(一人あたり1年間、円)

すべての年齢階級で「はい」の方が平均値、中央値とも低くなっていた。全体でも、「はい」の方が平均値で約20万円低く、中央値においても約1.5万円低かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	226100	70500	239490	70500	252870	74390	246710	72180
い い え	455590	71520	299140	70500	490930	100040	445020	86850
全 体	255360	70500	247420	70500	310020	78000	287700	72600



脳血管疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

脳血管疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	75	506	682	1,263
5-Y 7-N	42	199	404	645
5-N 7-Y	37	237	498	772
5-N 7-N	97	393	1,122	1,612
全 体	251	1,335	2,706	4,292

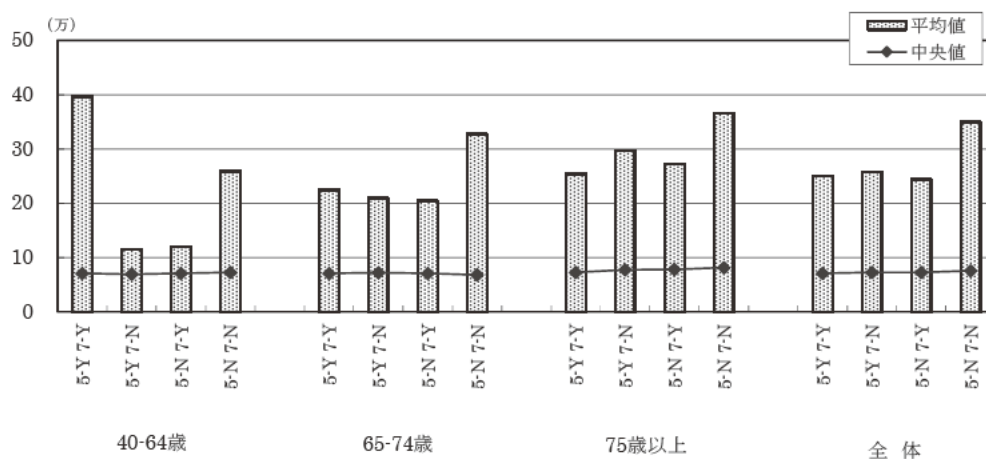
・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳、75歳以上の年齢階級において「5-N 7-N」の平均値が最も高かったが、40-64歳では「5-Y 7-Y」の平均値が最も高かった。

全体では「5-N 7-N」群の平均値が高くなっていた。

75歳以上の年齢階級では情報提供群が最も低く、歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	396560	70500	224200	70500	253320	72600	250160	70500
5-Y 7-N	114530	69560	209120	71790	296840	77280	257900	72600
5-N 7-Y	120530	70500	204370	70500	271830	78000	243870	72600
5-N 7-N	258580	72540	327330	68190	364980	81200	349400	75500
全 体	255360	70500	247420	70500	310020	78000	287700	72600



糖尿病 年齢階級別歯科階層化判定別

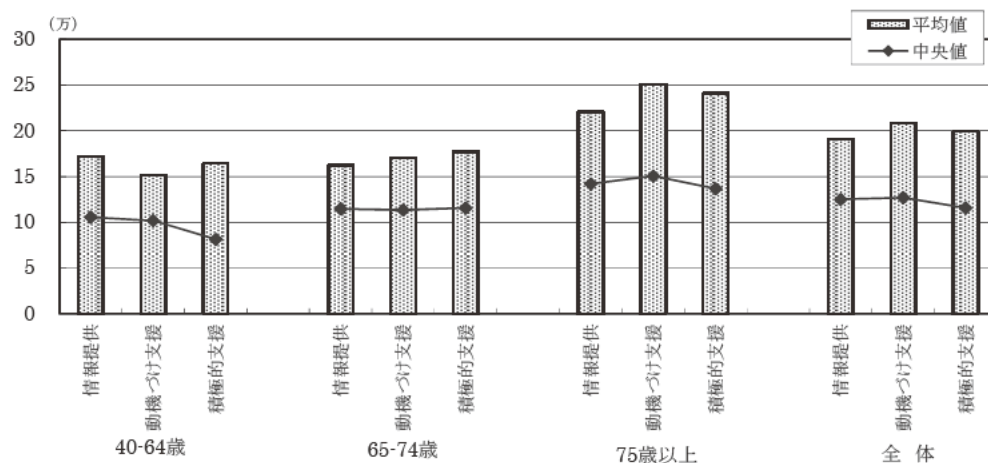
糖尿病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40・64歳	65・74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	382	1,622	1,765	3,769
動機づけ支援	312	891	1,203	2,406
積極的支援	90	230	198	518
計	784	2,743	3,166	6,693

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において平均値が最も高くなる群が異なっていた。全体では動機づけ支援群が平均値、中央値ともに高くなっていた。

	40・64歳		65・74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	172140	105470	162280	114620	220690	141810	190630	124860
動機づけ支援	151850	101670	170480	113370	250890	150600	208270	126740
積極的支援	164510	81180	177100	115520	240940	136670	199320	115670
全 体	163190	102770	166190	114360	233430	145530	197640	125340



糖尿病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

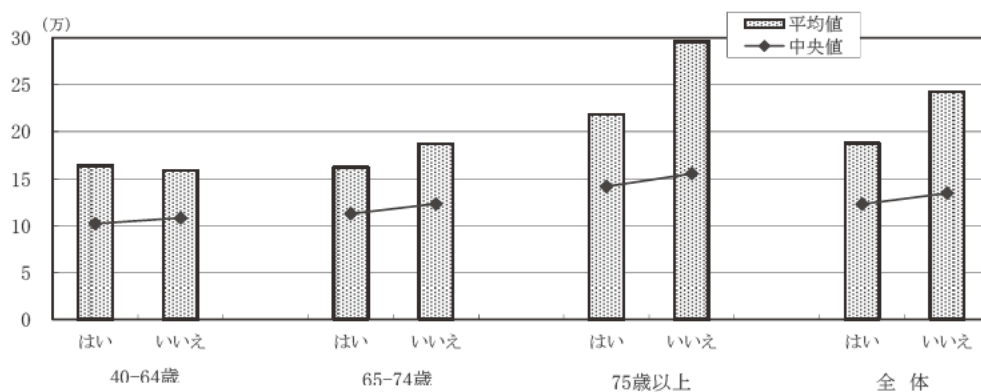
糖尿病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	696	2,340	2,532	5,568
い い え	84	377	523	984
無 回 答	4	26	111	141
計	784	2,743	3,166	6,693

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳の年齢階級を除いて、その他の年齢階級において「はい」の方の平均値、中央値ともに低くなっていた。全体では、「いいえ」の方が平均値で約 5 万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	163700	102120	162510	112700	218450	141870	188100	122880
い い え	158380	108020	187520	123210	296220	155220	242800	134580
全 体	163190	102770	166190	114360	233430	145530	197640	125340



糖尿病 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

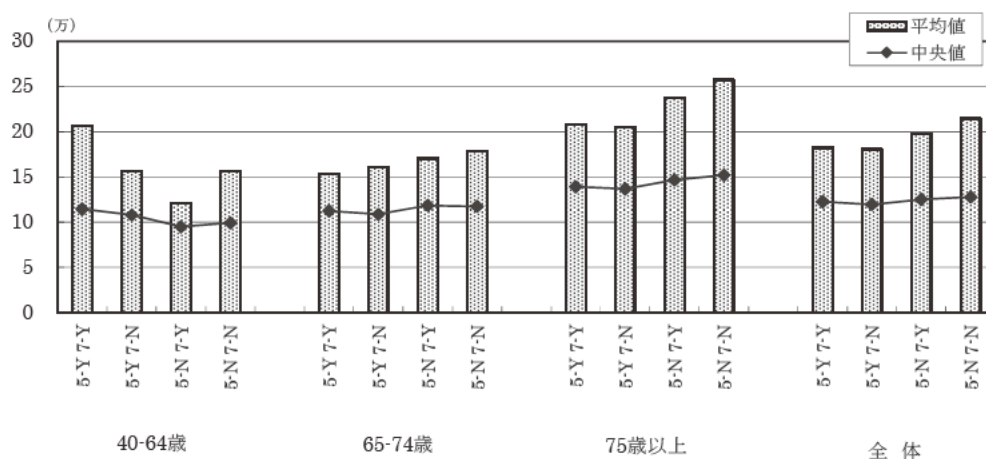
糖尿病の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	193	891	834	1,918
5-Y 7-N	141	430	486	1,057
5-N 7-Y	125	488	558	1,171
5-N 7-N	321	909	1,176	2,406
全 体	780	2,718	3,054	6,552

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74歳、75歳以上の年齢階級において「5-N 7-N」の平均値が最も高かった。全体においても「5-N 7-N」は平均値が最も高く、中央値も最も高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	206530	114570	153120	112320	207750	139100	182250	122640
5-Y 7-N	156460	107820	160940	108540	204880	136640	180550	119460
5-N 7-Y	121050	94950	170340	118460	237560	146480	197110	125100
5-N 7-N	156340	99000	178600	117420	257170	151830	214030	127850
全 体	163190	102770	166190	114360	233430	145530	197640	125340



高血圧性疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

高血圧性疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

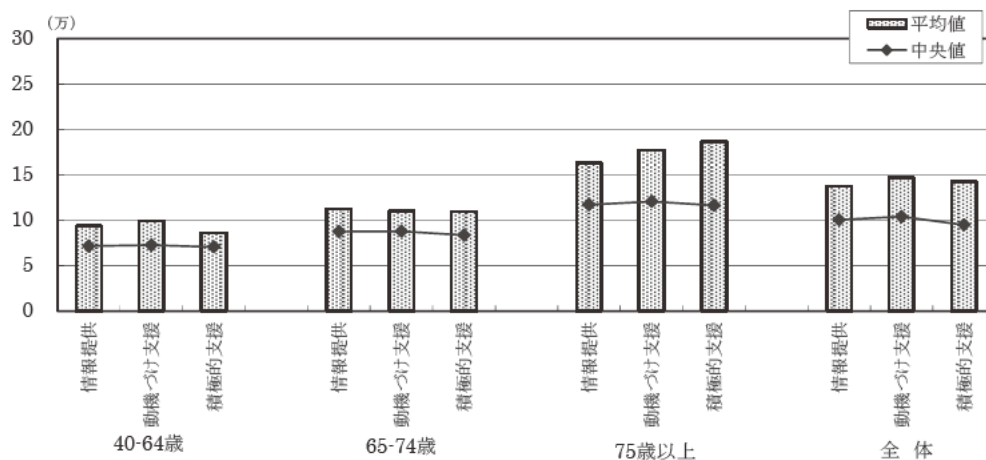
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	1,440	6,321	8,543	16,304
動機づけ支援	1,090	3,732	6,377	11,199
積極的支援	343	919	1,127	2,389
計	2,873	10,972	16,047	29,892

・診療費（一人あたり1年間、円）

65-74 歳の年齢階級では情報提供群の平均値が最も高かった。40-64 歳の年齢階級では平均値、中央値とも動機づけ支援群が最も高く、全体でも同様であった。

75 歳以上の年齢階級では情報提供群が最も低く、歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	93550	71430	112630	87420	162780	117210	137220	100430
動機づけ支援	98910	72480	110110	87810	177180	120600	147210	103920
積極的支援	86170	70560	109750	83640	186790	116490	142710	94920
全 体	94700	71760	111530	87150	170190	118380	141400	101400



高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

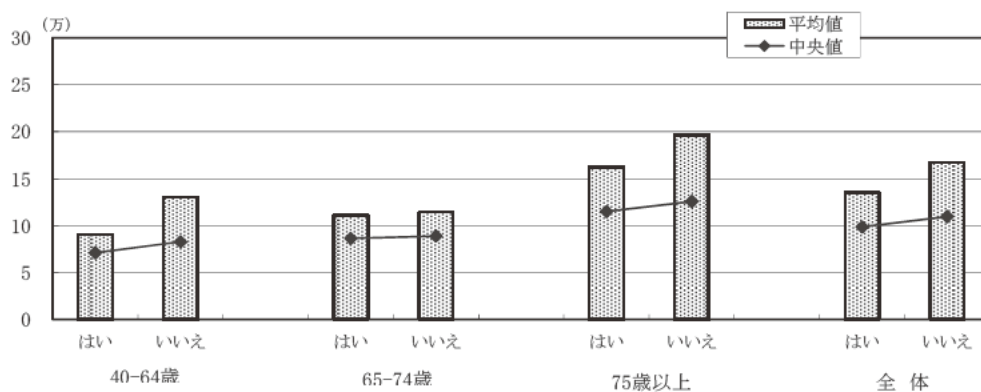
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	2,558	9,533	12,565	24,656
い い え	295	1,336	2,800	4,431
無 回 答	20	103	682	805
計	2,873	10,972	16,047	29,892

・診療費（一人あたり1年間、円）

各年齢階級の平均値、中央値とも「はい」の方が低くなっていた。全体でも、「はい」の方が平均値で約3万円、中央値で約1万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	90460	71100	110910	86490	162520	114840	135090	98580
い い え	130250	82860	114300	89030	196750	125570	167460	109620
全 体	94700	71760	111530	87150	170190	118380	141400	101400



高血圧性疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

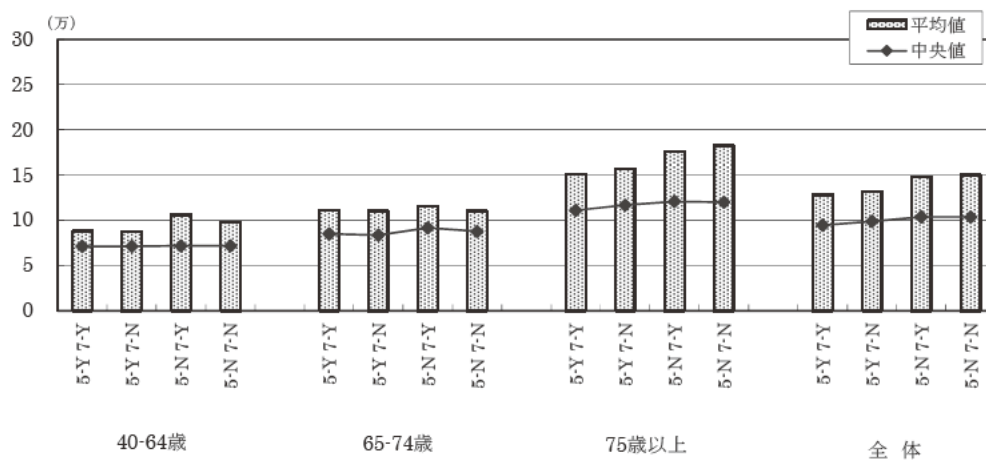
高血圧性疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	772	3,626	4,088	8,486
5-Y 7-N	543	1,985	2,601	5,129
5-N 7-Y	405	1,609	2,472	4,486
5-N 7-N	1,133	3,648	6,202	10,983
全 体	2,853	10,868	15,363	29,084

・診療費（一人あたり1年間、円）

75歳以上では「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」が平均値、中央値とも最も高かったが、その差は大きくない。全体でも「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、「5-N 7-N」が平均値、中央値とも最も高かったがその差は大きくなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	88240	71360	111370	85110	150800	111050	128260	94650
5-Y 7-N	87990	71160	110350	83820	156710	116850	131490	98730
5-N 7-Y	106250	71730	115320	91650	175600	120930	147720	103970
5-N 7-N	97870	71880	110060	87810	182940	120050	149960	103500
全 体	94700	71760	111530	87150	170190	118380	141400	101400



動脈硬化症 年齢階級別歯科階層化判定別

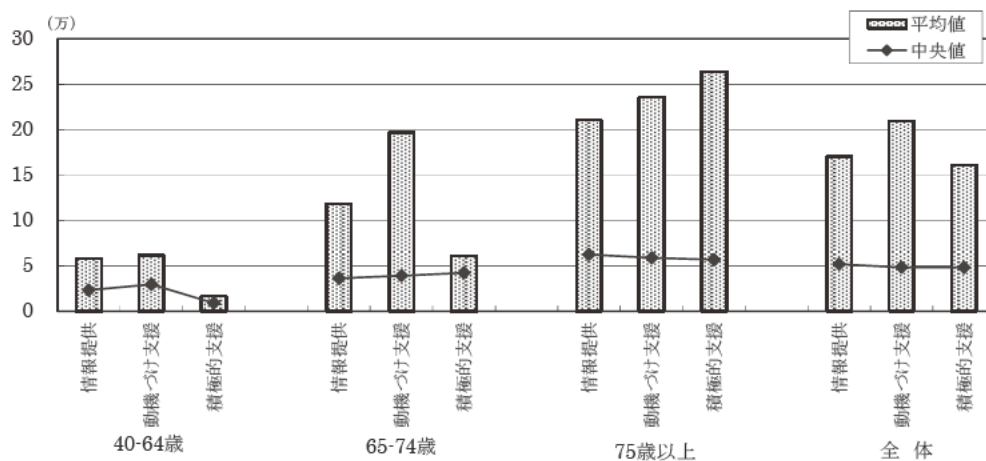
動脈硬化症の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	20	77	157	254
動機づけ支援	11	41	83	135
積極的支援	6	13	21	40
計	37	131	261	429

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳、65-74 歳の年齢階級では動機づけ群の平均値が最も高く、積極的支援群の平均値が最も低かった。全体では平均値、中央値ともに同様の傾向が認められた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	57710	23280	118620	36300	210540	62370	170640	51780
動機づけ支援	61610	29640	196740	39150	235520	58590	209570	48420
積極的支援	16640	8880	61230	42180	263620	56610	160800	48090
全 体	52210	14040	137380	38430	222760	59550	181980	49980



動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目1回答別

動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

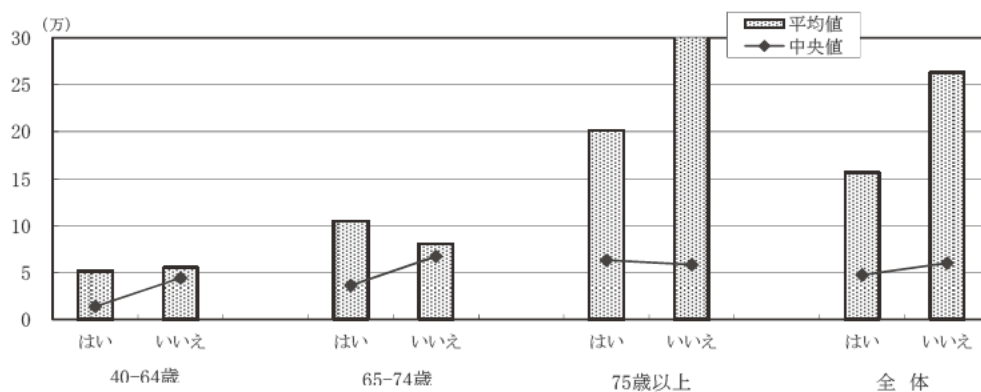
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	32	113	202	347
い い え	5	16	49	70
無 回 答	0	2	10	12
計	37	131	261	429

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳、75 歳以上の年齢階級の平均値で「はい」の方が低くなっていた。

全体でも、「はい」の方が平均値で約 10 万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	51660	13970	104630	36300	201760	63230	156290	47520
い い え	55720	44280	80630	67110	344330	58590	263440	60150
全 体	52210	14040	137380	38430	222760	59550	181980	49980



動脈硬化症 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

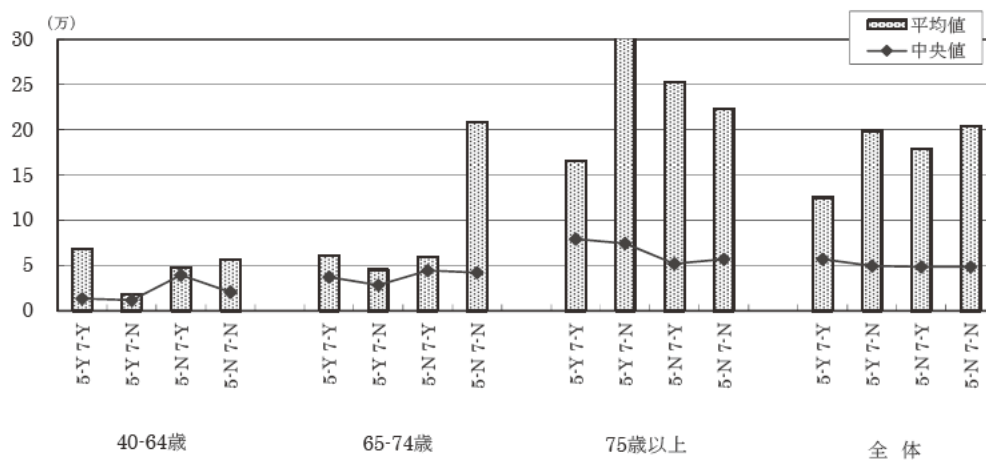
動脈硬化症の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	12	37	77	126
5-Y 7-N	6	29	41	76
5-N 7-Y	7	24	51	82
5-N 7-N	12	39	82	133
全 体	37	129	251	417

・ 診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において一定の傾向は認められなかった。全体では「5-N 7-N」が平均値で最も高く、「5-Y 7-Y」の平均値が最も低く、その差は平均値で約 8 万円だった。中央値では逆に「5-N 7-N」が最も低く、「5-Y 7-Y」が最も高かった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	67970	13440	60980	37500	165330	79320	125420	56990
5-Y 7-N	18120	11580	45360	28500	334300	74370	199090	49520
5-N 7-Y	47520	39420	59680	44580	252760	52050	178730	48530
5-N 7-N	56230	20820	207940	42180	223170	56960	203640	48420
全 体	52210	14040	137380	38430	222760	59550	181980	49980



肺炎 年齢階級別歯科階層化判定別

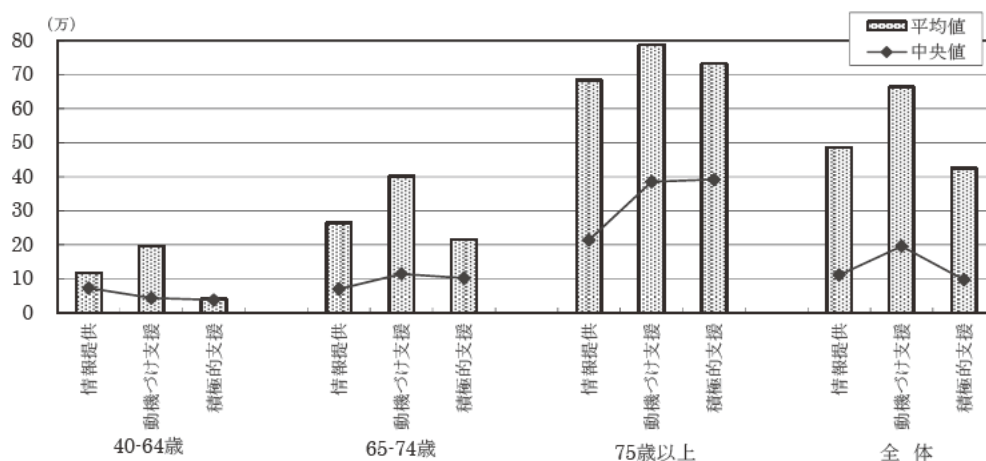
肺炎の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	22	68	116	206
動機づけ支援	14	23	103	140
積極的支援	6	8	13	27
計	42	99	232	373

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において動機づけ支援群の平均値が最も高く、全体でも同様になっている。75歳以上の年齢階級ではそれ以外の群と比べてグンと診療費が高くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	118370	73470	264430	70380	684010	213480	485100	111050
動機づけ支援	195670	43530	401050	114780	786630	384810	664190	196200
積極的支援	41090	38070	215730	101850	732290	391620	425640	97500
全 体	133100	51990	292240	83610	732280	334590	548010	128760



肺炎 年齢階級別歯科質問項目1回答別

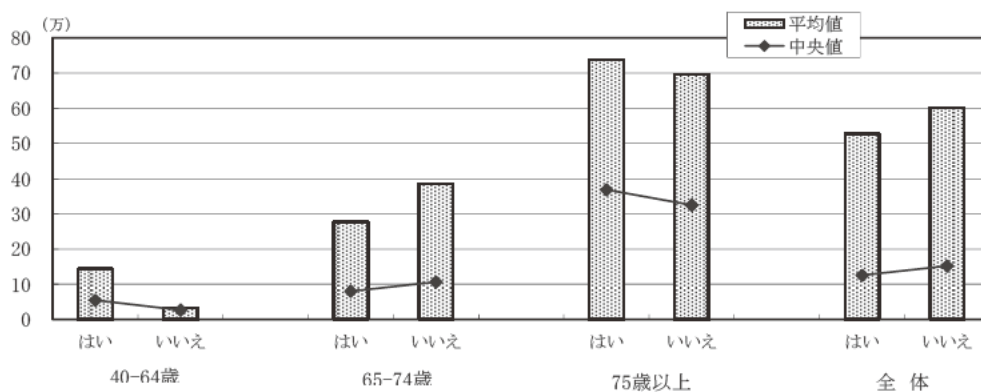
肺炎の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	38	86	169	293
い い え	4	13	54	71
無 回 答	0	0	9	9
計	42	99	232	373

・診療費（一人あたり1年間、円）

40-64 歳、75 歳以上の年齢階級で「はい」の方が平均値、中央値ともに高かった。全体では「いいえ」の方が平均値、中央値とも高く、平均値で約 7.5 万円の差があった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	143710	54680	278100	80700	739000	368610	526510	125370
い い え	32250	26730	385720	106200	695610	325110	601500	151860
全 体	133100	51990	292240	83610	732280	334590	548010	128760



肺炎 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

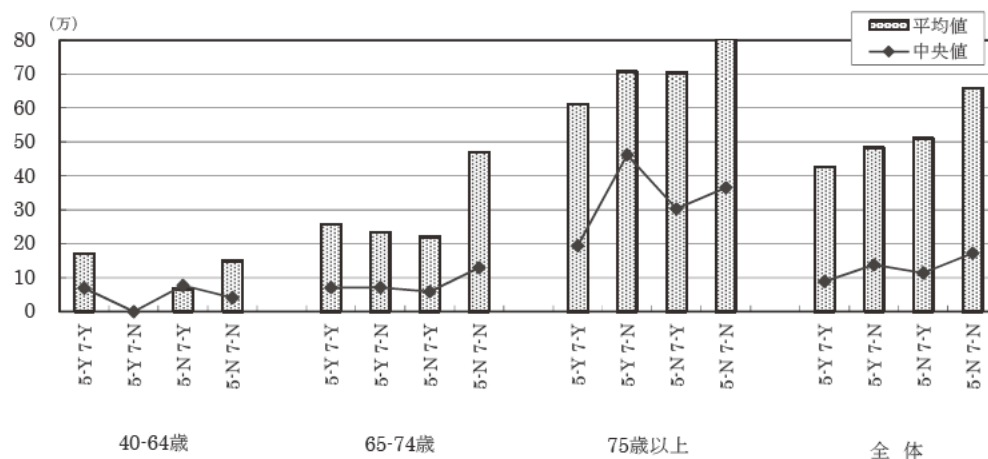
肺炎の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	11	36	48	95
5-Y 7-N	0	26	29	55
5-N 7-Y	11	15	48	74
5-N 7-N	20	22	98	140
全 体	42	99	223	364

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体で見ると「5-Y 7-Y」が平均値、中央値とも最も低く、平均値では「5-N 7-Y」より約23万円、中央値でも約8万円低かった。また、5-Y群が5-N群に比べて平均値が低くなっていた。年齢階級別で見た場合、75歳以上でその傾向が顕著で、「5-Y 7-Y」は「5-N 7-N」より平均値において約19万円、中央値においても約17万円低かった。74歳以下の年齢階級では、ばらつきがみられた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	169300	69600	256430	70380	610080	194420	425030	88740
5-Y 7-N	0	0	233770	71520	706530	462330	483040	137790
5-N 7-Y	67440	77340	219580	58890	703370	303050	510770	114140
5-N 7-N	149300	40920	469460	129450	805290	365390	658800	172170
全 体	133100	51990	292240	83610	732280	334590	548010	128760



歯の疾患 年齢階級別歯科階層化判定別

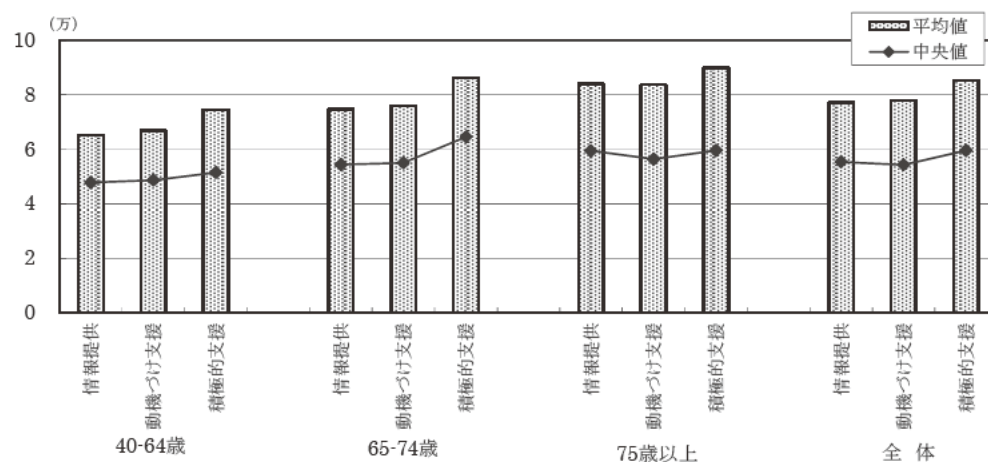
歯の疾患の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

	40・64歳	65・74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	4,700	13,188	12,951	30,839
動機づけ支援	1,400	3,199	3,805	8,404
積極的支援	515	1,083	987	2,585
計	6,615	17,470	17,743	41,828

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で積極的支援群の平均値、中央値が最も高くなっていた。動機付け支援群と情報提供群ではばらつきがあるが、その差が小さかった。全体では、情報提供群は積極的支援群より平均値で約 8 千円、中央値で約 4 千円低かった。

	40・64歳		65・74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	65260	47810	74770	54420	84130	59460	77250	55380
動機づけ支援	66840	48690	75930	55050	83730	56340	77940	54320
積極的支援	74540	51480	86060	64590	90010	59520	85270	59520
全 体	66320	48300	75680	55020	84370	58920	77890	55350



歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目1回答別

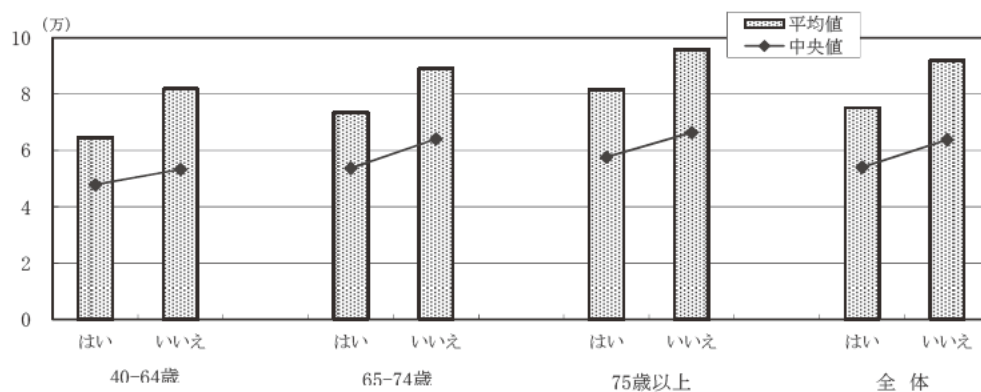
歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	5,922	15,033	14,057	35,012
い い え	675	2,341	3,260	6,276
無 回 答	18	96	426	540
計	6,615	17,470	17,743	41,828

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級で平均値、中央値とも「はい」の方が低くなっていた。全体で見ると、「はい」の方が平均値で約 1.7 万円、中央値で約 1 万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	64470	47870	73560	53760	81760	57630	75320	54030
い い え	82030	53310	89080	64110	95960	66380	91890	63860
全 体	66320	48300	75680	55020	84370	58920	77890	55350



歯の疾患 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

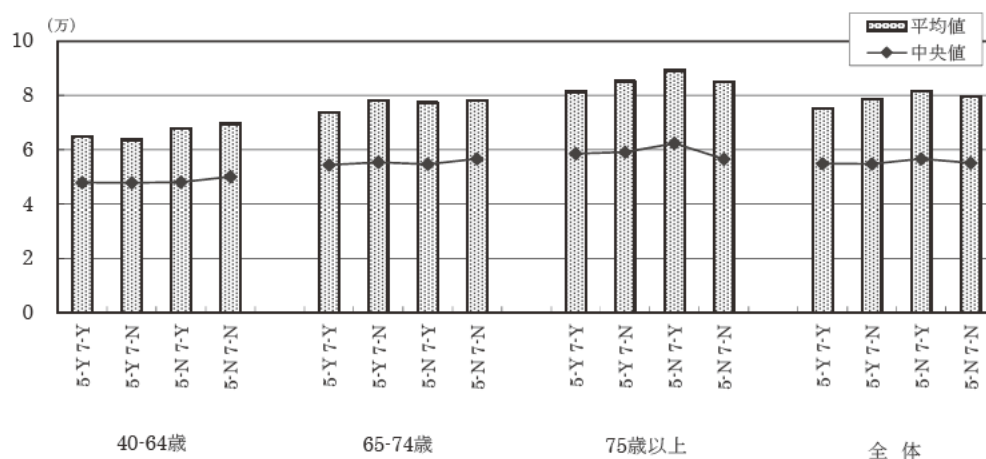
歯の疾患の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	3,046	8,930	7,566	19,542
5-Y 7-N	825	2,085	1,986	4,896
5-N 7-Y	1,297	3,239	4,051	8,587
5-N 7-N	1,429	3,119	3,714	8,262
全 体	6,597	17,373	17,317	41,287

・診療費（一人あたり1年間、円）

どの年齢階級においても、歯科質問項目5×7回答別による平均値、中央値とも大きな差は認められなかった。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	64710	47850	73670	54420	81390	58530	75260	54870
5-Y 7-N	63710	47820	78090	55380	85250	59090	78570	54780
5-N 7-Y	67840	48060	77310	54660	89220	62310	81500	56640
5-N 7-N	69610	50040	77990	56580	84980	56510	79680	55080
全 体	66320	48300	75680	55020	84370	58920	77890	55350



(5) 生活習慣病に関する分析

生活習慣病 年齢階級別歯科階層化判定別

生活習慣病の年齢階級別歯科階層化判定別受診者数を下表に示す。

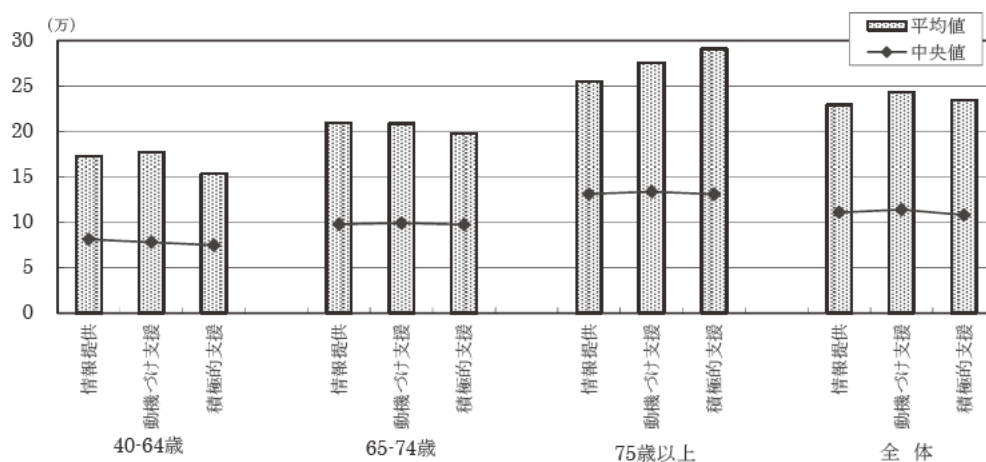
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
情 報 提 供	2,299	9,862	12,983	25,144
動機づけ支援	1,713	5,490	9,507	16,710
積極的支援	528	1,403	1,681	3,612
計	4,540	16,755	24,171	45,466

・診療費（一人あたり1年間、円）

75 歳以上の年齢階級では、歯科階層化判定が重くなるほど平均値が高くなっていたが、中央値は動機づけ支援群が高くなっていた。

全体では動機づけ支援群の平均値が最も高かったが、平均値、中央値ともに大きな差はない。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
情 報 提 供	172260	81210	209370	97650	255450	131040	229770	110700
動機づけ支援	177210	77910	208510	98870	275290	133530	243300	113700
積極的支援	153140	74660	197680	97230	290680	130560	234450	108020
全 体	171910	78660	208110	98130	265710	132240	235110	111510



生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目1回答別

生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目1回答別受診者数を下表に示す。

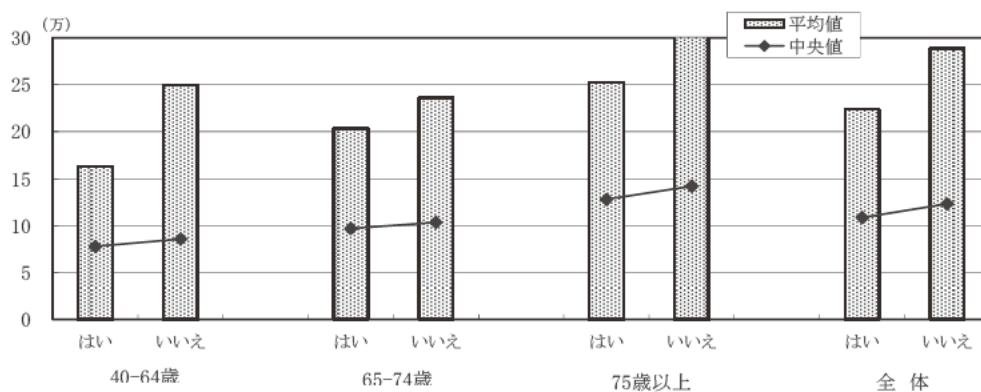
	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
は い	4,024	14,462	18,887	37,373
い い え	489	2,142	4,358	6,989
無 回 答	1,104	27	151	1,282
計	5,617	16,631	23,396	45,644

・診療費（一人あたり1年間、円）

すべての年齢階級において「はい」の方が平均値、中央値が低くなっていた。

全体でも、「はい」の方が平均値で約 6 万円、中央値で約 1.4 万円低くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
は い	162730	77660	203240	96920	252920	127950	223980	108690
い い え	249540	85890	236170	103580	318630	142010	288520	123150
全 体	171910	78660	208110	98130	265710	132240	235110	111510



生活習慣病 年齢階級別歯科質問項目5×7回答別

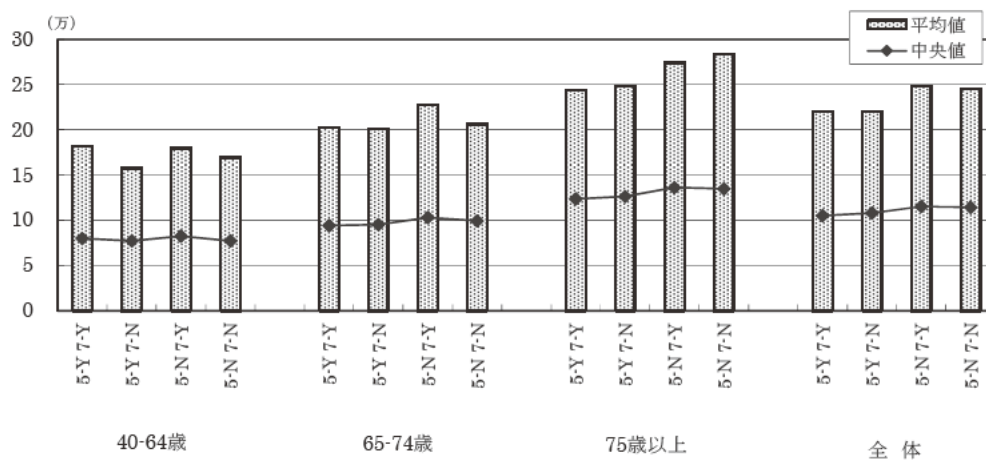
生活習慣病の年齢階級別歯科質問項目5×7回答別受診者数を下表に示す。

	40-64歳	65-74歳	75歳以上	全 体
5-Y 7-Y	1,244	5,692	6,234	13,170
5-Y 7-N	855	2,920	3,884	7,659
5-N 7-Y	658	2,578	3,890	7,126
5-N 7-N	1,756	5,414	9,234	16,404
全 体	4,513	16,604	23,242	44,359

・診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、「5-Y」（セルフケア群）は「5-N」（非セルフケア群）より平均値、中央値とも低い傾向が認められたが、「7-Y」（プロフェッショナルケア群）と「7-N」（非プロフェッショナルケア群）については大きな差は認められず、セルフケアの影響が強くなっていた。

	40-64歳		65-74歳		75歳以上		全 体	
	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
5-Y 7-Y	182060	80150	202890	94250	243370	123690	220080	105120
5-Y 7-N	157740	77370	200810	95340	248550	126470	220210	108030
5-N 7-Y	179870	82610	227760	103050	273950	136320	248550	115340
5-N 7-N	169230	77250	206270	99410	283400	134750	245720	114390
全 体	171910	78660	208110	98130	265710	132240	235110	111510



まとめ・考察（Ⅲ）

歯科階層化判定と診療日数・医療費の関係

- ・歯科階層化判定区分の重さと診療日数、診療費との関連性は医科、調剤においては特に認められなかった。歯科においては積極的支援群において診療費が最も高く、情報提供群、動機づけ支援群の間にはあまり差がなかった。

歯科質問項目 1 回答と診療日数・医療費の関係

- ・歯科質問項目 1「なんでも噛んで食べられる」にはいと答えた人の方が医科、歯科、調剤とも診療日数、診療費とも少なかった。

歯科質問項目 5×7 回答と診療日数・医療費の関係

- ・歯科質問項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と歯科質問項目 7「定期的（年 1 回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）について、診療日数において医科と調剤では「5・N」（非セルフケア群）で多く、歯科では「7・Y」（プロフェッショナルケア群）で多くなっていた。これは歯科では近年の予防歯科の概念のもと定期健診を行うことが多くなってきたことが医科、調剤と傾向が変わってきたことの要因と考えられる。
- ・診療費においても医科と調剤は診療日数と同様に「5・Y」（セルフケア群）で平均値が低かった。歯科の平均値においては「5・Y 7・Y」が最も低く、「5・N 7・Y」が最も高かった。

主要疾患別歯科階層化判定と診療費の関係

- ・虚血性心疾患、歯の疾患においては歯科階層化判定が重くなるほど診療費が高くなる傾向が見られた。
- ・他の疾患においては歯科階層化判定の重さと診療費の関係に一定の傾向を見出すことは難しかった。

主要疾患別歯科質問項目 1 回答別と診療費の関係

- ・すべての疾患において「はい」の方が医療費が低かった。特に脳血管疾患においてはその差が大きく、全体でみると約 20 万円程「はい」の方が医療費が低かった。

主要疾患別歯科質問項目 5×7 回答別と診療費の関係

- ・すべての疾患において「5・Y 7・Y」の診療費が低く、「5・N 7・N」の診療費が高くなる傾向が見られたが、肺炎以外ではその差はあまり大きくなかった。肺炎は主要疾患別の中で最も診療費の平均値が高い疾患で、口腔ケアの有無によって診療費が大きくかわる可能性が示唆された。また同じように口腔ケアや歯周病との関連がある糖尿病については診療費においては大きな差は認められなかった。

年齢階級と診療費の関係

- ・糖尿病、高血圧性疾患、動脈硬化症、肺炎、歯の疾患、生活習慣病においては年齢階級が上がるにつれ診療費の平均値、中央値が増加する傾向が著明であった。中でも肺炎については 75 歳以上の年齢階級では 65・74 歳の年齢階級に比べて約 2 倍の診療費となっていた。その他の疾患もおおむね年齢階級があがるほど診療費が増加する傾向にあったがその程度は緩やかであった。

疾患別の診療費

- ・全体の平均値が最も高かった疾患は肺炎で、最も低かった疾患は歯の疾患であった。また、平均値が中央値の 3 倍以上となる疾患は悪性新生物、脳血管疾患、肺炎で、逆に平均値が中央値の 2 倍以下だった疾患は糖尿病、高血圧性疾患、歯の疾患であった。

IV 平成 25 年度特定健診受診者のうち平成 26 年 5 月に歯科を受診した者の状況

一 調査の概要

1 分析対象者および分析方法

香川県国民健康保険団体連合会および香川県後期高齢者医療広域連合の協力を得て、平成 25 年度特定健診受診者の特定健診の質問票回答を入手できた者のうち、平成 26 年 5 月に歯科を受診し、歯科レセプトに現在歯数、歯周病の程度、咬合の状態、歯科健診受診頻度が記載された者 5,695 人を対象者とした。

特定健診受診者の歯科質問票から分類された歯科階層化判定別と歯科質問項目 1「何でもかんで食べられる」、項目 5「デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている」（セルフケア）と項目 7「定期的に（年に 1 回以上）に歯の検診や予防のために歯科医院を受診している」（プロフェッショナルケア）のクロス回答別（以下、項目 5×7）に現在歯数、歯周病の程度、咬合の状態、歯科健診受診頻度について 40-64 歳、65-75 歳、75 歳以上に分類して分析を行った。なお、以下、項目 5 も 7 も「はい」を「5-Y 7-Y」、5 が「はい」で 7 は「いいえ」を「5-Y 7-N」、5 が「いいえ」で 7 が「はい」を「5-N 7-Y」、5 も 7 も「いいえ」を「5-N 7-N」と表す。

また、現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果（HbA1c）の状況について分析を行った。

二 調査・分析結果

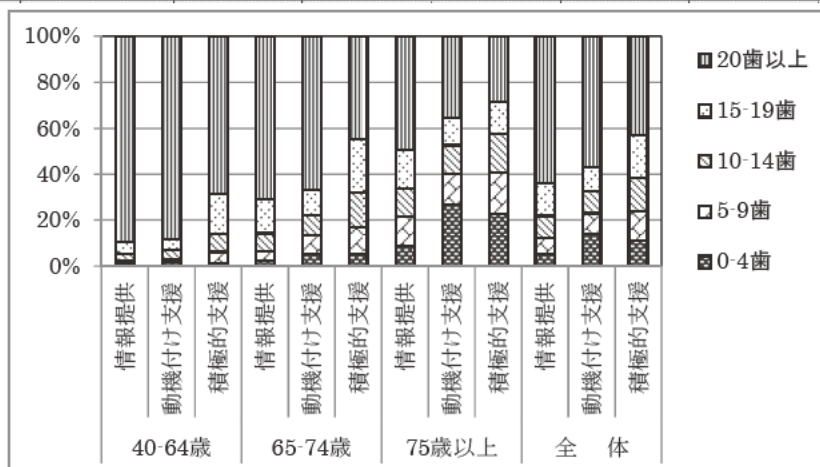
A 特定健診の歯科質問項目と現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度の状況

(1) 特定健診の歯科質問項目からの歯科階層化判定別、現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度の状況

1-1 歯科階層化判定別現在歯数

歯科階層化判定と現在歯数との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、20 歯以上の割合が少ない傾向にあった。しかし、0-4歯と極端に現在歯数の少ない者の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多かった。年齢階級別においても全体の傾向と同様であった。

年齢階級	階層化判定	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	情報提供	556	6	6	18	29	497
	動機付け支援	186	4	1	8	9	164
	積極的支援	64	1	3	5	11	44
65-74歳	情報提供	1,847	46	77	143	268	1,313
	動機付け支援	442	24	36	38	49	295
	積極的支援	137	7	16	21	32	61
75歳以上	情報提供	1,861	166	236	230	313	916
	動機付け支援	475	127	63	60	57	168
	積極的支援	127	29	23	21	18	36
全 体	情報提供	4,264	218	319	391	610	2,726
	動機付け支援	1,103	155	100	106	115	627
	積極的支援	328	37	42	47	61	141
		割 合					
40-64歳	情報提供	100.0%	1.1%	1.1%	3.2%	5.2%	89.4%
	動機付け支援	100.0%	2.2%	0.5%	4.3%	4.8%	88.2%
	積極的支援	100.0%	1.6%	4.7%	7.8%	17.2%	68.8%
65-74歳	情報提供	100.0%	2.5%	4.2%	7.7%	14.5%	71.1%
	動機付け支援	100.0%	5.4%	8.1%	8.6%	11.1%	66.7%
	積極的支援	100.0%	5.1%	11.7%	15.3%	23.4%	44.5%
75歳以上	情報提供	100.0%	8.9%	12.7%	12.4%	16.8%	49.2%
	動機付け支援	100.0%	26.7%	13.3%	12.6%	12.0%	35.4%
	積極的支援	100.0%	22.8%	18.1%	16.5%	14.2%	28.3%
全 体	情報提供	100.0%	5.1%	7.5%	9.2%	14.3%	63.9%
	動機付け支援	100.0%	14.1%	9.1%	9.6%	10.4%	56.8%
	積極的支援	100.0%	11.3%	12.8%	14.3%	18.6%	43.0%

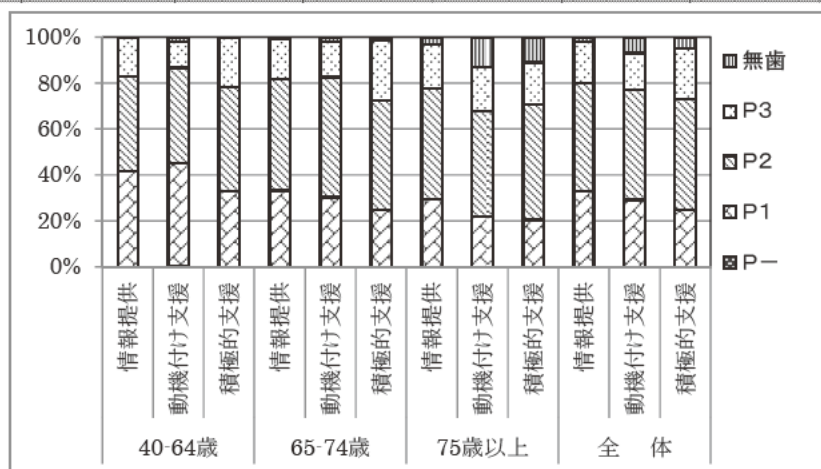


1-2 歯科階層化判定別歯周病の程度

歯科階層化判定と歯周病の程度との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と支援の程度が重くなる程、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあった。P2の割合は各階層でほぼ同じであった。しかし、無歯の割合は、積極的支援群より動機づけ支援群の方が多く、昨年と同様であった。

年齢階級別では、75歳以上では支援の程度が重くなる程、P-およびP1の者の割合が少なく、P3および無歯の割合が多くなる傾向にあったものの、無歯の割合に限ってみると、動機づけ支援群が一番多かった。40-64歳、65-74歳では、動機づけ支援群よりも情報提供群の方がP3の割合が多かった。

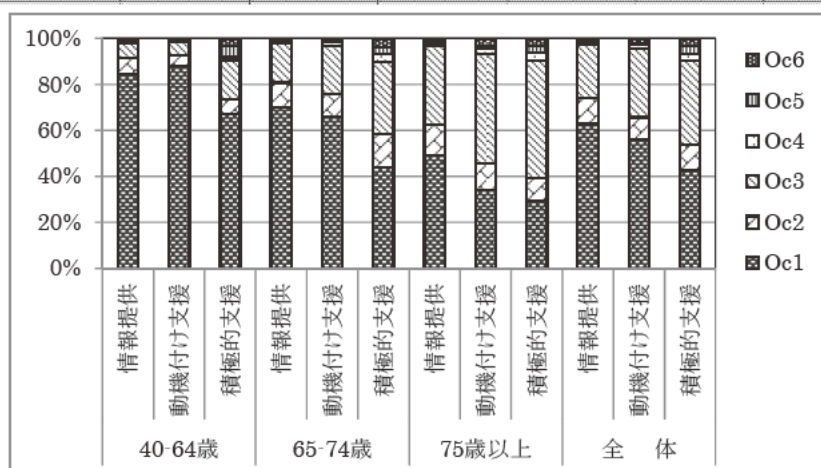
年齢階級	階層化判定	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	情報提供	556	0	233	228	93	2
	動機付け支援	186	1	83	77	21	4
	積極的支援	64	0	21	29	14	0
65-74歳	情報提供	1,847	0	615	896	322	14
	動機付け支援	442	0	134	231	67	10
	積極的支援	137	0	34	65	36	2
75歳以上	情報提供	1,861	0	549	899	350	63
	動機付け支援	475	0	104	218	90	63
	積極的支援	127	0	26	64	23	14
全 体	情報提供	4,264	0	1,397	2,023	765	79
	動機付け支援	1,103	1	321	526	178	77
	積極的支援	328	0	81	158	73	16
		割 合					
40-64歳	情報提供	100.0%	0.0%	41.9%	41.0%	16.7%	0.4%
	動機付け支援	100.0%	0.5%	44.6%	41.4%	11.3%	2.2%
	積極的支援	100.0%	0.0%	32.8%	45.3%	21.9%	0.0%
65-74歳	情報提供	100.0%	0.0%	33.3%	48.5%	17.4%	0.8%
	動機付け支援	100.0%	0.0%	30.3%	52.3%	15.2%	2.3%
	積極的支援	100.0%	0.0%	24.8%	47.4%	26.3%	1.5%
75歳以上	情報提供	100.0%	0.0%	29.5%	48.3%	18.8%	3.4%
	動機付け支援	100.0%	0.0%	21.9%	45.9%	18.9%	13.3%
	積極的支援	100.0%	0.0%	20.5%	50.4%	18.1%	11.0%
全 体	情報提供	100.0%	0.0%	32.8%	47.4%	17.9%	1.9%
	動機付け支援	100.0%	0.1%	29.1%	47.7%	16.1%	7.0%
	積極的支援	100.0%	0.0%	24.7%	48.2%	22.3%	4.9%



1-3 歯科階層化判定別咬合の状態

歯科階層化判定と咬合の状態との関係は、全体では、情報提供群、動機づけ支援群、積極的支援群と、支援の程度が重くなる程、Oc1 の割合は少なくなり Oc3～Oc6 の割合は多くなっていた。年齢階層別では、40-64 歳では、動機づけ支援群が Oc1 の割合が最も多くなっていた。65-74 歳、75 歳以上では、全体の傾向と同様であった。

年齢階級	階層化判定	人 数						
		総数	Oc1	Oc2	Oc3	Oc4	Oc5	Oc6
40-64歳	情報提供	555	470	37	36	8	1	3
	動機付け支援	186	164	8	11	1	0	2
	積極的支援	64	43	4	11	1	3	2
65-74歳	情報提供	1,846	1,293	198	320	16	6	13
	動機付け支援	437	289	42	92	7	1	6
	積極的支援	137	60	20	43	5	4	5
75歳以上	情報提供	1,855	909	253	630	27	14	22
	動機付け支援	474	162	55	226	11	4	16
	積極的支援	127	37	13	65	4	4	4
全 体	情報提供	4,256	2,672	488	986	51	21	38
	動機付け支援	1,097	615	105	329	19	5	24
	積極的支援	328	140	37	119	10	11	11
		割 合						
40-64歳	情報提供	100.0%	84.7%	6.7%	6.5%	1.4%	0.2%	0.5%
	動機付け支援	100.0%	88.2%	4.3%	5.9%	0.5%	0.0%	1.1%
	積極的支援	100.0%	67.2%	6.3%	17.2%	1.6%	4.7%	3.1%
65-74歳	情報提供	100.0%	70.0%	10.7%	17.3%	0.9%	0.3%	0.7%
	動機付け支援	100.0%	66.1%	9.6%	21.1%	1.6%	0.2%	1.4%
	積極的支援	100.0%	43.8%	14.6%	31.4%	3.6%	2.9%	3.6%
75歳以上	情報提供	100.0%	49.0%	13.6%	34.0%	1.5%	0.8%	1.2%
	動機付け支援	100.0%	34.2%	11.6%	47.7%	2.3%	0.8%	3.4%
	積極的支援	100.0%	29.1%	10.2%	51.2%	3.1%	3.1%	3.1%
全 体	情報提供	100.0%	62.8%	11.5%	23.2%	1.2%	0.5%	0.9%
	動機付け支援	100.0%	56.1%	9.6%	30.0%	1.7%	0.5%	2.2%
	積極的支援	100.0%	42.7%	11.3%	36.3%	3.0%	3.4%	3.4%

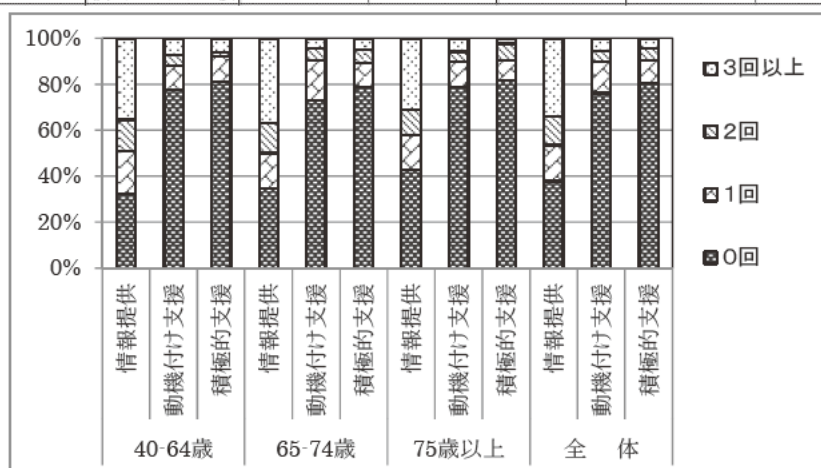


1-4 歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、情報提供群と支援群の間で大きく傾向が分かれた。情報提供群では0回がおよそ4割、そして、動機づけ支援群と積極的支援群では0回がどちらも8割近くという結果だった。動機づけ支援群と積極的支援群の歯科健診受診頻度割合はほぼ同じだったが、積極的支援群の方が、0回の割合が若干高く、1回以上の割合は若干少なくなっていた。

年齢階級別においても全体の傾向と同様であった。

年齢階級	階層化判定	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	情報提供	556	180	104	75	197
	動機付け支援	186	144	20	8	14
	積極的支援	64	52	7	1	4
65-74歳	情報提供	1,847	638	287	241	681
	動機付け支援	442	322	77	23	20
	積極的支援	137	108	14	8	7
75歳以上	情報提供	1,861	800	276	209	576
	動機付け支援	475	374	52	21	28
	積極的支援	127	104	11	9	3
全 体	情報提供	4,264	1,618	667	525	1,454
	動機付け支援	1,103	840	149	52	62
	積極的支援	328	264	32	18	14
		割 合				
40-64歳	情報提供	100.0%	32.4%	18.7%	13.5%	35.4%
	動機付け支援	100.0%	77.4%	10.8%	4.3%	7.5%
	積極的支援	100.0%	81.3%	10.9%	1.6%	6.3%
65-74歳	情報提供	100.0%	34.5%	15.5%	13.0%	36.9%
	動機付け支援	100.0%	72.9%	17.4%	5.2%	4.5%
	積極的支援	100.0%	78.8%	10.2%	5.8%	5.1%
75歳以上	情報提供	100.0%	43.0%	14.8%	11.2%	31.0%
	動機付け支援	100.0%	78.7%	10.9%	4.4%	5.9%
	積極的支援	100.0%	81.9%	8.7%	7.1%	2.4%
全 体	情報提供	100.0%	37.9%	15.6%	12.3%	34.1%
	動機付け支援	100.0%	76.2%	13.5%	4.7%	5.6%
	積極的支援	100.0%	80.5%	9.8%	5.5%	4.3%



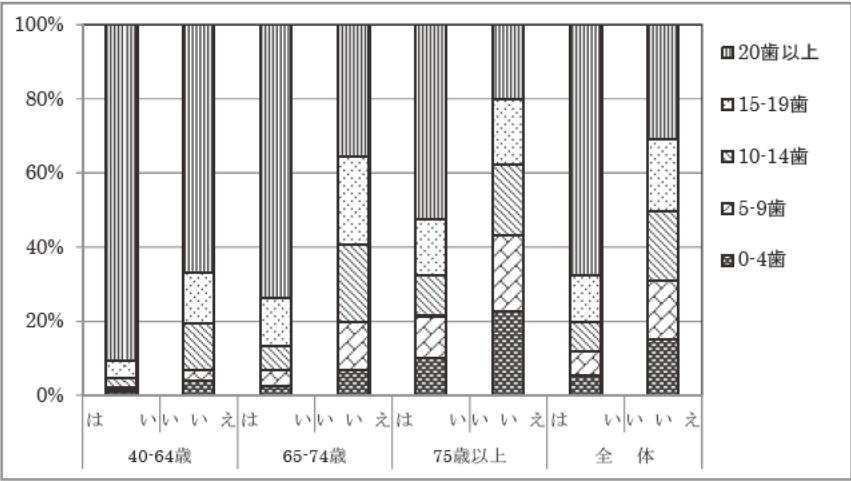
(2) 歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)別、現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度の状況

2-1 歯科質問項目1別現在歯数

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)と現在歯数との関係は、全体では、「はい」と「いいえ」との間で、20 歯以上ある者の割合が「はい」で 67.5%、「いいえ」で 31.0%と大きな差があった。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても 20 歯以上ある者の割合は「はい」が「いいえ」より約 3 割多かったが、現在歯数は年齢階級が進むにつれ減少していた。何でもかんで食べられるかで一番大きな差があるのは全ての年齢階級で 20 歯以上だが、2 番目に差があるのはいずれの年齢階級においても 15-19 歯であった

年齢階級	問 診 1 回 答	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	は い	702	7	7	18	35	635
	い い え	103	4	3	13	14	69
	無 回 答	1	0	0	0	0	1
65-74歳	は い	2,099	53	88	138	273	1,547
	い い え	306	21	40	63	73	109
	無 回 答	21	3	1	1	3	13
75歳以上	は い	1,932	197	217	210	295	1,013
	い い え	476	108	97	91	84	96
	無 回 答	55	17	8	10	9	11
全 体	は い	4,733	257	312	366	603	3,195
	い い え	885	133	140	167	171	274
	無 回 答	77	20	9	11	12	25
		割 合					
40-64歳	は い	100.0%	1.0%	1.0%	2.6%	5.0%	90.5%
	い い え	100.0%	3.9%	2.9%	12.6%	13.6%	67.0%
	無 回 答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
65-74歳	は い	100.0%	2.5%	4.2%	6.6%	13.0%	73.7%
	い い え	100.0%	6.9%	13.1%	20.6%	23.9%	35.6%
	無 回 答	100.0%	14.3%	4.8%	4.8%	14.3%	61.9%
75歳以上	は い	100.0%	10.2%	11.2%	10.9%	15.3%	52.4%
	い い え	100.0%	22.7%	20.4%	19.1%	17.6%	20.2%
	無 回 答	100.0%	30.9%	14.5%	18.2%	16.4%	20.0%
全 体	は い	100.0%	5.4%	6.6%	7.7%	12.7%	67.5%
	い い え	100.0%	15.0%	15.8%	18.9%	19.3%	31.0%
	無 回 答	100.0%	26.0%	11.7%	14.3%	15.6%	32.5%



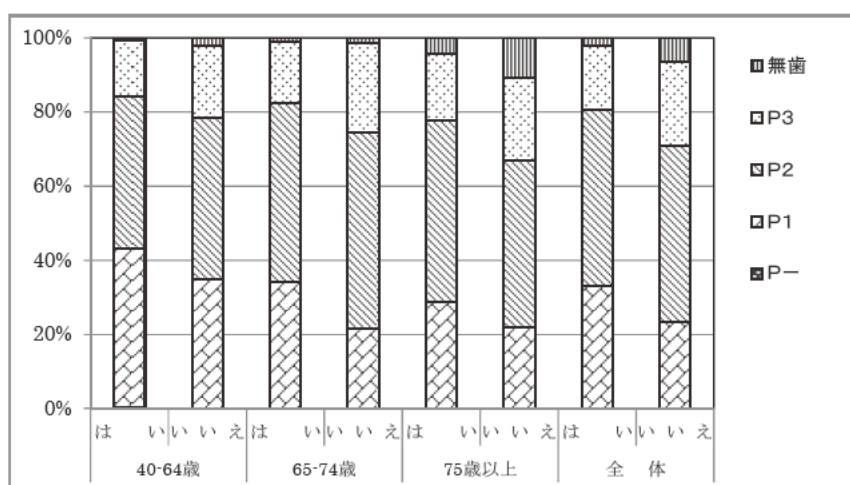
2-2 歯科質問項目1別歯周病の程度

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)と歯周病の程度との関係は、全体では、P-およびP1が「はい」で 33.2%「いいえ」で 23.4%と「はい」の方が 9.8%多く、また、P3が「はい」で 17.0%「いいえ」で 22.7%と「はい」が 5.7%少なくなっており、「いいえ」の方が歯周病の程度が重度になっていた。

年齢階級別では、40-64 歳、65-74 歳、75 歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた者より「いいえ」と答えた者の方が歯周病の程度が重度である傾向が見られた。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	問診1回答	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	は い	702	1	301	288	108	4
	い い え	103	0	36	45	20	2
	無 回 答	1	0	0	1	0	0
65-74歳	は い	2,099	0	715	1,014	349	21
	い い え	306	0	66	162	74	4
	無 回 答	21	0	2	16	2	1
75歳以上	は い	1,932	0	557	945	349	81
	い い え	476	0	105	213	107	51
	無 回 答	55	0	17	23	7	8
全 体	は い	4,733	1	1,573	2,247	806	106
	い い え	885	0	207	420	201	57
	無 回 答	77	0	19	40	9	9
		割 合					
40-64歳	は い	100.0%	0.1%	42.9%	41.0%	15.4%	0.6%
	い い え	100.0%	0.0%	35.0%	43.7%	19.4%	1.9%
	無 回 答	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
65-74歳	は い	100.0%	0.0%	34.1%	48.3%	16.6%	1.0%
	い い え	100.0%	0.0%	21.6%	52.9%	24.2%	1.3%
	無 回 答	100.0%	0.0%	9.5%	76.2%	9.5%	4.8%
75歳以上	は い	100.0%	0.0%	28.8%	48.9%	18.1%	4.2%
	い い え	100.0%	0.0%	22.1%	44.7%	22.5%	10.7%
	無 回 答	100.0%	0.0%	30.9%	41.8%	12.7%	14.5%
全 体	は い	100.0%	0.0%	33.2%	47.5%	17.0%	2.2%
	い い え	100.0%	0.0%	23.4%	47.5%	22.7%	6.4%
	無 回 答	100.0%	0.0%	24.7%	51.9%	11.7%	11.7%

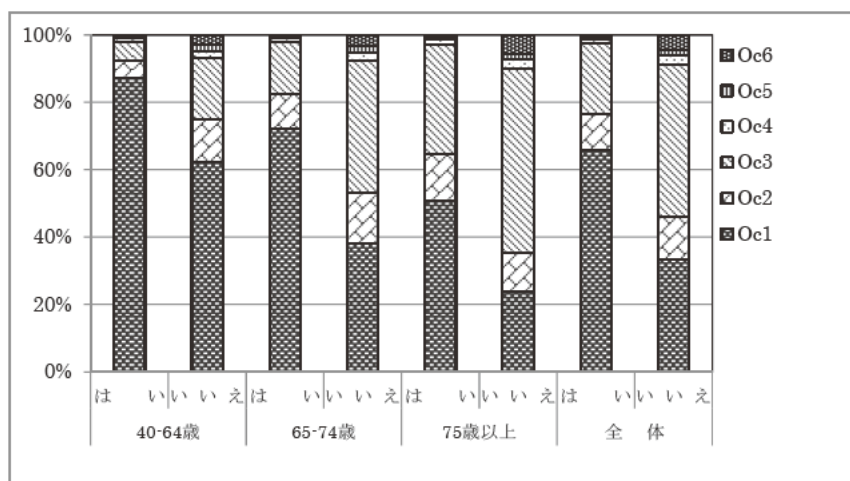


2-3 歯科質問項目1別咬合の状態

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)と咬合の状態との関係は、全体では、Oc1では「はい」が65.7%、「いいえ」が33.1%と「はい」が32.6%多く、Oc2～Oc6では「いいえ」が多かった。

年齢階級別では、75歳以上でOc2においても「はい」のほうが多かった。

年齢階級	問診1回答	人数						
		総数	Oc1	Oc2	Oc3	Oc4	Oc5	Oc6
40-64歳	はい	701	612	36	39	8	2	4
	いいえ	103	64	13	19	2	2	3
	無回答	1	1	0	0	0	0	0
65-74歳	はい	2,094	1,511	212	331	21	5	14
	いいえ	305	116	46	120	7	6	10
	無回答	21	15	2	4	0	0	0
75歳以上	はい	1,928	981	261	628	29	15	14
	いいえ	473	112	55	259	13	7	27
	無回答	55	15	5	34	0	0	1
全 体	はい	4,723	3,104	509	998	58	22	32
	いいえ	881	292	114	398	22	15	40
	無回答	77	31	7	38	0	0	1
		割合						
40-64歳	はい	100.0%	87.3%	5.1%	5.6%	1.1%	0.3%	0.6%
	いいえ	100.0%	62.1%	12.6%	18.4%	1.9%	1.9%	2.9%
	無回答	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65-74歳	はい	100.0%	72.2%	10.1%	15.8%	1.0%	0.2%	0.7%
	いいえ	100.0%	38.0%	15.1%	39.3%	2.3%	2.0%	3.3%
	無回答	100.0%	71.4%	9.5%	19.0%	0.0%	0.0%	0.0%
75歳以上	はい	100.0%	50.9%	13.5%	32.6%	1.5%	0.8%	0.7%
	いいえ	100.0%	23.7%	11.6%	54.8%	2.7%	1.5%	5.7%
	無回答	100.0%	27.3%	9.1%	61.8%	0.0%	0.0%	1.8%
全 体	はい	100.0%	65.7%	10.8%	21.1%	1.2%	0.5%	0.7%
	いいえ	100.0%	33.1%	12.9%	45.2%	2.5%	1.7%	4.5%
	無回答	100.0%	40.3%	9.1%	49.4%	0.0%	0.0%	1.3%



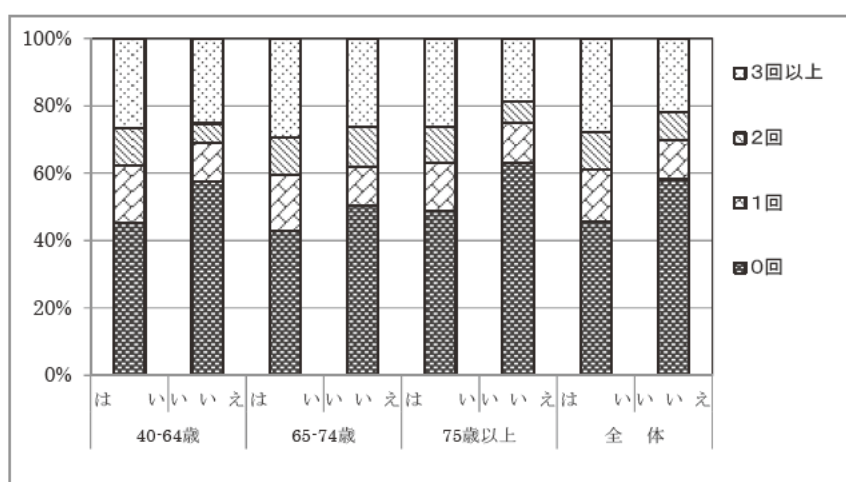
2-4 歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

歯科質問項目1(何でもかんで食べられる)と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、「はい」より「いいえ」と答えた者の方が歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。歯科健診受診頻度0回の者の割合は「はい」が「いいえ」より12.4%少なく、歯科受診頻度3回以上の者の割合は「はい」が「いいえ」より5.8%多かった。

年齢階級別では、40-64歳、65-74歳、75歳以上のいずれにおいても「はい」と答えた者より「いいえ」と答えた者の方が受診頻度が少なくなる傾向が見られたが、その差の一番大きかったのが75歳以上であった。

これらの傾向は昨年と同じであった。

年齢階級	問診1回答	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	はい	702	317	119	78	188
	いいえ	103	59	12	6	26
	無回答	1	0	0	0	1
65-74歳	はい	2,099	903	342	235	619
	いいえ	306	154	35	37	80
	無回答	21	11	1	0	9
75歳以上	はい	1,932	941	277	205	509
	いいえ	476	301	56	30	89
	無回答	55	36	6	4	9
全 体	はい	4,733	2,161	738	518	1,316
	いいえ	885	514	103	73	195
	無回答	77	47	7	4	19
		割 合				
40-64歳	はい	100.0%	45.2%	17.0%	11.1%	26.8%
	いいえ	100.0%	57.3%	11.7%	5.8%	25.2%
	無回答	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
65-74歳	はい	100.0%	43.0%	16.3%	11.2%	29.5%
	いいえ	100.0%	50.3%	11.4%	12.1%	26.1%
	無回答	100.0%	52.4%	4.8%	0.0%	42.9%
75歳以上	はい	100.0%	48.7%	14.3%	10.6%	26.3%
	いいえ	100.0%	63.2%	11.8%	6.3%	18.7%
	無回答	100.0%	65.5%	10.9%	7.3%	16.4%
全 体	はい	100.0%	45.7%	15.6%	10.9%	27.8%
	いいえ	100.0%	58.1%	11.6%	8.2%	22.0%
	無回答	100.0%	61.0%	9.1%	5.2%	24.7%

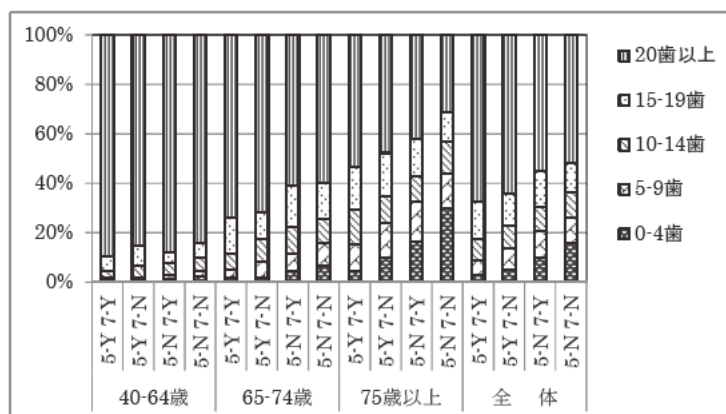


(3) 歯科質問項目5×7別、現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度の状況

3-1 歯科質問項目5×7別現在歯数

歯科質問項目5と7のクロス回答と現在歯数との関係は、全体では、20 歯以上の割合は、「5-Y 7-Y」が最も多く、次に「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」の順で、「5-N 7-N」が最も少なかった。年齢階級別では、65-74 歳と75 歳以上では全体と同じ傾向であったが、40-64 歳では、歯科質問項目 5×7 別であまり差がなかった。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数					
		総数	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上
40-64歳	5-Y 7-Y	372	4	3	9	23	333
	5-Y 7-N	107	1	1	5	9	91
	5-N 7-Y	141	2	2	7	6	124
	5-N 7-N	185	4	4	10	11	156
65-74歳	5-Y 7-Y	1,278	20	43	85	184	946
	5-Y 7-N	259	5	16	25	27	186
	5-N 7-Y	432	19	30	48	72	263
	5-N 7-N	436	30	39	43	63	261
75歳以上	5-Y 7-Y	1,128	51	121	156	197	603
	5-Y 7-N	264	26	37	29	46	126
	5-N 7-Y	553	90	90	56	83	234
	5-N 7-N	463	138	66	60	53	146
全 体	5-Y 7-Y	2,778	75	167	250	404	1,882
	5-Y 7-N	630	32	54	59	82	403
	5-N 7-Y	1,126	111	122	111	161	621
	5-N 7-N	1,084	172	109	113	127	563
		割 合					
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	1.1%	0.8%	2.4%	6.2%	89.5%
	5-Y 7-N	100.0%	0.9%	0.9%	4.7%	8.4%	85.0%
	5-N 7-Y	100.0%	1.4%	1.4%	5.0%	4.3%	87.9%
	5-N 7-N	100.0%	2.2%	2.2%	5.4%	5.9%	84.3%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	1.6%	3.4%	6.7%	14.4%	74.0%
	5-Y 7-N	100.0%	1.9%	6.2%	9.7%	10.4%	71.8%
	5-N 7-Y	100.0%	4.4%	6.9%	11.1%	16.7%	60.9%
	5-N 7-N	100.0%	6.9%	8.9%	9.9%	14.4%	59.9%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	4.5%	10.7%	13.8%	17.5%	53.5%
	5-Y 7-N	100.0%	9.8%	14.0%	11.0%	17.4%	47.7%
	5-N 7-Y	100.0%	16.3%	16.3%	10.1%	15.0%	42.3%
	5-N 7-N	100.0%	29.8%	14.3%	13.0%	11.4%	31.5%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	2.7%	6.0%	9.0%	14.5%	67.7%
	5-Y 7-N	100.0%	5.1%	8.6%	9.4%	13.0%	64.0%
	5-N 7-Y	100.0%	9.9%	10.8%	9.9%	14.3%	55.2%
	5-N 7-N	100.0%	15.9%	10.1%	10.4%	11.7%	51.9%

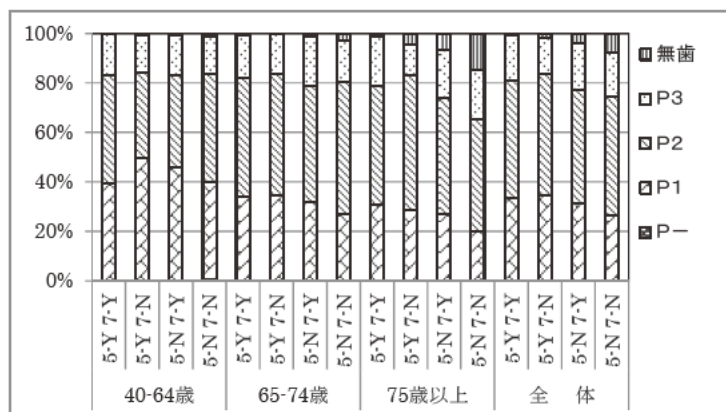


3-2 歯科質問項目5×7別歯周病の程度

歯科質問項目5と7のクロス回答と歯周病の程度との関係は、全体では、P-とP1を合わせた者の割合が多いのは「5-Y 7-N」、「5-Y 7-Y」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順であり、P3と無歯を合わせた者の割合が多いのは「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」の順であった。

年齢階級別では、75歳以上ではP1の割合が「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に少なくなっていたが、40-64歳、65-74歳ではP1の割合が「5-Y 7-N」が最も多く、「5-Y 7-Y」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順に少なくなっていた。

年齢階級	問診5回答	人 数					
		総数	P-	P1	P2	P3	無歯
40-64歳	5-Y 7-Y	372	0	146	163	62	1
	5-Y 7-N	107	0	53	37	16	1
	5-N 7-Y	141	0	65	52	23	1
	5-N 7-N	185	1	73	81	27	3
65-74歳	5-Y 7-Y	1,278	0	435	615	222	6
	5-Y 7-N	259	0	90	127	42	0
	5-N 7-Y	432	0	138	202	85	7
	5-N 7-N	436	0	118	232	74	12
75歳以上	5-Y 7-Y	1,128	0	345	544	225	14
	5-Y 7-N	264	0	76	143	33	12
	5-N 7-Y	553	0	148	262	106	37
	5-N 7-N	463	0	93	209	92	69
全 体	5-Y 7-Y	2,778	0	926	1,322	509	21
	5-Y 7-N	630	0	219	307	91	13
	5-N 7-Y	1,126	0	351	516	214	45
	5-N 7-N	1,084	1	284	522	193	84
		割 合					
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	0.0%	39.2%	43.8%	16.7%	0.3%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	49.5%	34.6%	15.0%	0.9%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	46.1%	36.9%	16.3%	0.7%
	5-N 7-N	100.0%	0.5%	39.5%	43.8%	14.6%	1.6%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	0.0%	34.0%	48.1%	17.4%	0.5%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	34.7%	49.0%	16.2%	0.0%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	31.9%	46.8%	19.7%	1.6%
	5-N 7-N	100.0%	0.0%	27.1%	53.2%	17.0%	2.8%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	0.0%	30.6%	48.2%	19.9%	1.2%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	28.8%	54.2%	12.5%	4.5%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	26.8%	47.4%	19.2%	6.7%
	5-N 7-N	100.0%	0.0%	20.1%	45.1%	19.9%	14.9%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	0.0%	33.3%	47.6%	18.3%	0.8%
	5-Y 7-N	100.0%	0.0%	34.8%	48.7%	14.4%	2.1%
	5-N 7-Y	100.0%	0.0%	31.2%	45.8%	19.0%	4.0%
	5-N 7-N	100.0%	0.1%	26.2%	48.2%	17.8%	7.7%

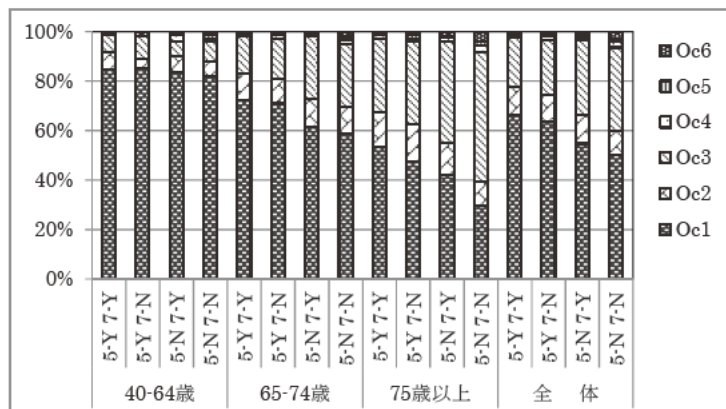


3-3 歯科質問項目5×7別咬合の状態

歯科質問項目5と7のクロス回答と咬合の状態との関係は、全体では、Oc1の割合が多いのは「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順であった。

年齢階級別では、40-64歳では歯科質問項目による差は少なく、年齢階級が上がる程、全体と同じ傾向になった。

年齢階級	問診5回答	人 数						
		総数	Oc1	Oc2	Oc3	Oc4	Oc5	Oc6
40-64歳	5-Y 7-Y	372	316	25	25	4	1	1
	5-Y 7-N	107	91	4	10	0	0	2
	5-N 7-Y	140	117	9	8	4	0	2
	5-N 7-N	185	152	11	15	2	3	2
65-74歳	5-Y 7-Y	1,278	924	139	192	10	5	8
	5-Y 7-N	257	182	26	41	5	0	3
	5-N 7-Y	431	266	47	109	4	1	4
	5-N 7-N	433	255	46	109	9	5	9
75歳以上	5-Y 7-Y	1,123	599	159	331	18	6	10
	5-Y 7-N	264	125	40	88	4	4	3
	5-N 7-Y	552	232	71	228	7	5	9
	5-N 7-N	462	137	46	240	13	7	19
全 体	5-Y 7-Y	2,773	1,839	323	548	32	12	19
	5-Y 7-N	628	398	70	139	9	4	8
	5-N 7-Y	1,123	615	127	345	15	6	15
	5-N 7-N	1,080	544	103	364	24	15	30
		割 合						
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	84.9%	6.7%	6.7%	1.1%	0.3%	0.3%
	5-Y 7-N	100.0%	85.0%	3.7%	9.3%	0.0%	0.0%	1.9%
	5-N 7-Y	100.0%	83.6%	6.4%	5.7%	2.9%	0.0%	1.4%
	5-N 7-N	100.0%	82.2%	5.9%	8.1%	1.1%	1.6%	1.1%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	72.3%	10.9%	15.0%	0.8%	0.4%	0.6%
	5-Y 7-N	100.0%	70.8%	10.1%	16.0%	1.9%	0.0%	1.2%
	5-N 7-Y	100.0%	61.7%	10.9%	25.3%	0.9%	0.2%	0.9%
	5-N 7-N	100.0%	58.9%	10.6%	25.2%	2.1%	1.2%	2.1%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	53.3%	14.2%	29.5%	1.6%	0.5%	0.9%
	5-Y 7-N	100.0%	47.3%	15.2%	33.3%	1.5%	1.5%	1.1%
	5-N 7-Y	100.0%	42.0%	12.9%	41.3%	1.3%	0.9%	1.6%
	5-N 7-N	100.0%	29.7%	10.0%	51.9%	2.8%	1.5%	4.1%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	66.3%	11.6%	19.8%	1.2%	0.4%	0.7%
	5-Y 7-N	100.0%	63.4%	11.1%	22.1%	1.4%	0.6%	1.3%
	5-N 7-Y	100.0%	54.8%	11.3%	30.7%	1.3%	0.5%	1.3%
	5-N 7-N	100.0%	50.4%	9.5%	33.7%	2.2%	1.4%	2.8%

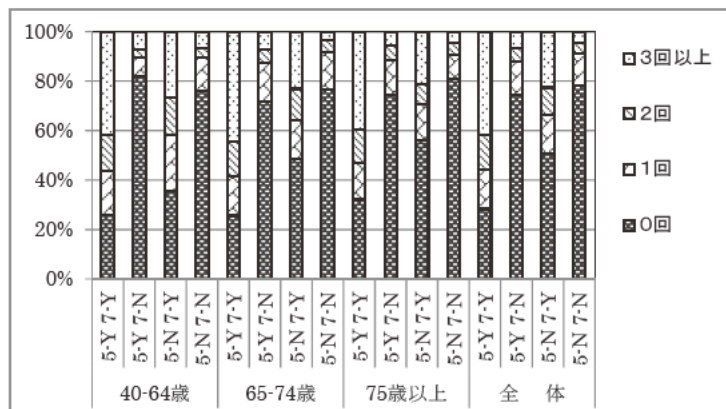


3-4 歯科質問項目5×7別歯科健診受診頻度

歯科質問項目5と7のクロス回答と歯科健診受診頻度との関係は、全体では、0回の割合は「5・N 7・N」が最も多く、「5・Y 7・Y」が最も少なかった。「7・N」(非プロフェッショナルケア群)が多く、質問項目7の回答が同じなら、「5・N」(非セルフケア群)の方が多かった。

年齢階級別で見ても、各年齢階級で割合の差はあるものの、全体と概ね同じ傾向であった。

年齢階級	問 診 5 回 答	人 数				
		総数	0回	1回	2回	3回以上
40-64歳	5-Y 7-Y	372	97	66	53	156
	5-Y 7-N	107	88	8	3	8
	5-N 7-Y	141	50	32	21	38
	5-N 7-N	185	141	25	7	12
65-74歳	5-Y 7-Y	1,278	327	204	182	565
	5-Y 7-N	259	186	40	14	19
	5-N 7-Y	432	210	67	55	100
	5-N 7-N	436	334	66	21	15
75歳以上	5-Y 7-Y	1,128	362	170	151	445
	5-Y 7-N	264	196	37	16	15
	5-N 7-Y	553	309	81	46	117
	5-N 7-N	463	375	45	22	21
全 体	5-Y 7-Y	2,778	786	440	386	1,166
	5-Y 7-N	630	470	85	33	42
	5-N 7-Y	1,126	569	180	122	255
	5-N 7-N	1,084	850	136	50	48
		割 合				
40-64歳	5-Y 7-Y	100.0%	26.1%	17.7%	14.2%	41.9%
	5-Y 7-N	100.0%	82.2%	7.5%	2.8%	7.5%
	5-N 7-Y	100.0%	35.5%	22.7%	14.9%	27.0%
	5-N 7-N	100.0%	76.2%	13.5%	3.8%	6.5%
65-74歳	5-Y 7-Y	100.0%	25.6%	16.0%	14.2%	44.2%
	5-Y 7-N	100.0%	71.8%	15.4%	5.4%	7.3%
	5-N 7-Y	100.0%	48.6%	15.5%	12.7%	23.1%
	5-N 7-N	100.0%	76.6%	15.1%	4.8%	3.4%
75歳以上	5-Y 7-Y	100.0%	32.1%	15.1%	13.4%	39.5%
	5-Y 7-N	100.0%	74.2%	14.0%	6.1%	5.7%
	5-N 7-Y	100.0%	55.9%	14.6%	8.3%	21.2%
	5-N 7-N	100.0%	81.0%	9.7%	4.8%	4.5%
全 体	5-Y 7-Y	100.0%	28.3%	15.8%	13.9%	42.0%
	5-Y 7-N	100.0%	74.6%	13.5%	5.2%	6.7%
	5-N 7-Y	100.0%	50.5%	16.0%	10.8%	22.6%
	5-N 7-N	100.0%	78.4%	12.5%	4.6%	4.4%



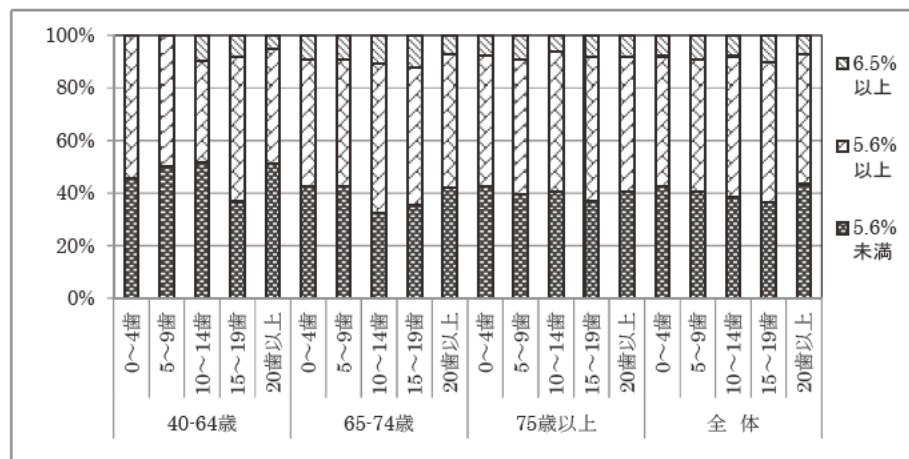
B 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況

(1) 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度とHbA1c(NGSP 値)

1-1 現在歯数とHbA1cの検査結果

現在歯数とHbA1cの関係は、全体では、5.6%未満の割合は、10-19 歯でやや少なく、0-10 歯と20 歯以上ではやや多くなっていた。6.5%以上の割合は20 歯以上が最も少なかった。

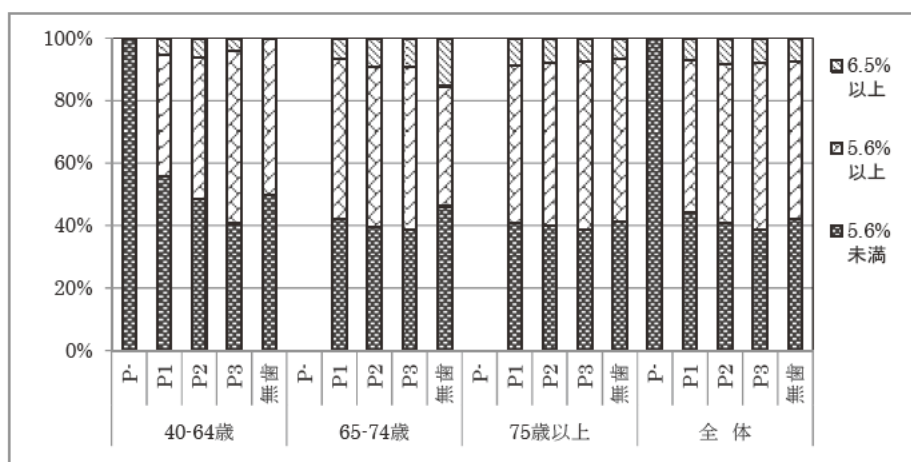
		人 数				割 合			
		総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上	総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上
40-64歳	0~4歯	11	5	6	0	100.0%	45.5%	54.5%	0.0%
	5~9歯	10	5	5	0	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	10~14歯	31	16	12	3	100.0%	51.6%	38.7%	9.7%
	15~19歯	49	18	27	4	100.0%	36.7%	55.1%	8.2%
	20歯以上	700	359	304	37	100.0%	51.3%	43.4%	5.3%
65-74歳	0~4歯	75	32	36	7	100.0%	42.7%	48.0%	9.3%
	5~9歯	127	54	61	12	100.0%	42.5%	48.0%	9.4%
	10~14歯	199	65	113	21	100.0%	32.7%	56.8%	10.6%
	15~19歯	347	123	181	43	100.0%	35.4%	52.2%	12.4%
	20歯以上	1,656	693	843	120	100.0%	41.8%	50.9%	7.2%
75歳以上	0~4歯	318	135	158	25	100.0%	42.5%	49.7%	7.9%
	5~9歯	318	126	163	29	100.0%	39.6%	51.3%	9.1%
	10~14歯	308	125	164	19	100.0%	40.6%	53.2%	6.2%
	15~19歯	388	144	212	32	100.0%	37.1%	54.6%	8.2%
	20歯以上	1,109	449	568	92	100.0%	40.5%	51.2%	8.3%
全 体	0~4歯	404	172	200	32	100.0%	42.6%	49.5%	7.9%
	5~9歯	455	185	229	41	100.0%	40.7%	50.3%	9.0%
	10~14歯	538	206	289	43	100.0%	38.3%	53.7%	8.0%
	15~19歯	784	285	420	79	100.0%	36.4%	53.6%	10.1%
	20歯以上	3,465	1,501	1,715	249	100.0%	43.3%	49.5%	7.2%



1-2 歯周病の程度とHbA1cの検査結果

歯周病の程度とHbA1cの関係は、全体では、歯周病の程度が重度になるほど、5.6%未満が少なくなり、5.6%以上 6.5%未満が多くなっていた。6.5%以上は歯周病の程度の違いによる差は少なかった。

		人 数				割 合			
		総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上	総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上
40-64歳	P-	1	1	0	0	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	P1	336	187	131	18	100.0%	55.7%	39.0%	5.4%
	P2	330	160	149	21	100.0%	48.5%	45.2%	6.4%
	P3	128	52	71	5	100.0%	40.6%	55.5%	3.9%
	無歯	6	3	3	0	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
65-74歳	P-	0	0	0	0	—	—	—	—
	P1	776	326	400	50	100.0%	42.0%	51.5%	6.4%
	P2	1,180	466	604	110	100.0%	39.5%	51.2%	9.3%
	P3	422	163	220	39	100.0%	38.6%	52.1%	9.2%
	無歯	26	12	10	4	100.0%	46.2%	38.5%	15.4%
75歳以上	P-	0	0	0	0	—	—	—	—
	P1	670	274	337	59	100.0%	40.9%	50.3%	8.8%
	P2	1,174	470	610	94	100.0%	40.0%	52.0%	8.0%
	P3	459	178	246	35	100.0%	38.8%	53.6%	7.6%
	無歯	138	57	72	9	100.0%	41.3%	52.2%	6.5%
全 体	P-	1	1	0	0	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	P1	1,782	787	868	127	100.0%	44.2%	48.7%	7.1%
	P2	2,684	1,096	1,363	225	100.0%	40.8%	50.8%	8.4%
	P3	1,009	393	537	79	100.0%	38.9%	53.2%	7.8%
	無歯	170	72	85	13	100.0%	42.4%	50.0%	7.6%

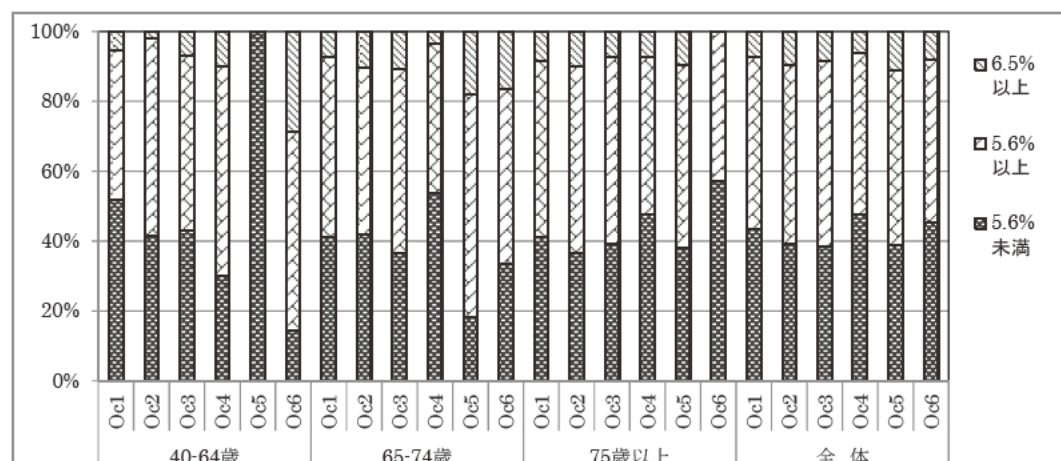


1-3 咬合の状態とHbA1cの検査結果

咬合の状態とHbA1cの関係は、全体では Oc1～Oc6 全ての咬合の状態において、5.6%未満が約 4 割、5.6～6.5%が約 5 割、6.5%以上が約 1 割であり、咬合の状態による差は認められなかった。

年齢階層別では、40-64 歳では Oc5 を除けば咬合の状態が良い程 5.6%未満の割合が多かった。

		人 数				割 合			
		総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上	総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上
40-64歳	Oc1	673	350	287	36	100.0%	52.0%	42.6%	5.3%
	Oc2	48	20	27	1	100.0%	41.7%	56.3%	2.1%
	Oc3	58	25	29	4	100.0%	43.1%	50.0%	6.9%
	Oc4	10	3	6	1	100.0%	30.0%	60.0%	10.0%
	Oc5	4	4	0	0	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	Oc6	7	1	4	2	100.0%	14.3%	57.1%	28.6%
65-74歳	Oc1	1,629	669	840	120	100.0%	41.1%	51.6%	7.4%
	Oc2	260	109	124	27	100.0%	41.9%	47.7%	10.4%
	Oc3	447	164	234	49	100.0%	36.7%	52.3%	11.0%
	Oc4	28	15	12	1	100.0%	53.6%	42.9%	3.6%
	Oc5	11	2	7	2	100.0%	18.2%	63.6%	18.2%
	Oc6	24	8	12	4	100.0%	33.3%	50.0%	16.7%
75歳以上	Oc1	1,098	452	554	92	100.0%	41.2%	50.5%	8.4%
	Oc2	319	117	170	32	100.0%	36.7%	53.3%	10.0%
	Oc3	912	357	487	68	100.0%	39.1%	53.4%	7.5%
	Oc4	42	20	19	3	100.0%	47.6%	45.2%	7.1%
	Oc5	21	8	11	2	100.0%	38.1%	52.4%	9.5%
	Oc6	42	24	18	0	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%
全 体	Oc1	3,400	1,471	1,681	248	100.0%	43.3%	49.4%	7.3%
	Oc2	627	246	321	60	100.0%	39.2%	51.2%	9.6%
	Oc3	1,417	546	750	121	100.0%	38.5%	52.9%	8.5%
	Oc4	80	38	37	5	100.0%	47.5%	46.3%	6.3%
	Oc5	36	14	18	4	100.0%	38.9%	50.0%	11.1%
	Oc6	73	33	34	6	100.0%	45.2%	46.6%	8.2%

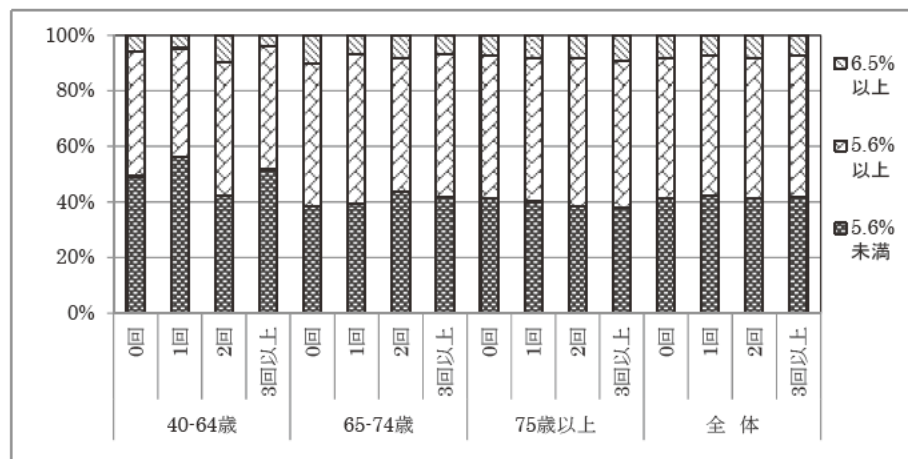


1-4 歯科健診受診頻度とHbA1cの検査結果

歯科健診受診頻度とHbA1cの関係は、全体では、5.6%未満の割合は少ない順に0回、2回、3回以上、1回となっていた。6.5%以上の割合は2回が最も多かった。しかし、大きな差はなかった。

年齢階級別では、40-64歳では6.5%以上の割合は2回が最も多く、5.6%未満は1回が多かった。65-74歳では6.5%以上の割合は0回が多く、5.6%未満の割合は2回が多かった。75歳以上では、6.5%以上の割合は3回以上が多く、5.6%未満の割合は0回が多かった。しかし、大きな差はなかった。

		人 数				割 合			
		総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上	総数	5.6%未満	5.6%以上	6.5%以上
40-64歳	0回	373	184	167	22	100.0%	49.3%	44.8%	5.9%
	1回	130	73	51	6	100.0%	56.2%	39.2%	4.6%
	2回	83	35	40	8	100.0%	42.2%	48.2%	9.6%
	3回以上	215	111	96	8	100.0%	51.6%	44.7%	3.7%
65-74歳	0回	1,057	407	542	108	100.0%	38.5%	51.3%	10.2%
	1回	376	148	203	25	100.0%	39.4%	54.0%	6.6%
	2回	267	117	128	22	100.0%	43.8%	47.9%	8.2%
	3回以上	704	295	361	48	100.0%	41.9%	51.3%	6.8%
75歳以上	0回	1,268	525	649	94	100.0%	41.4%	51.2%	7.4%
	1回	334	134	172	28	100.0%	40.1%	51.5%	8.4%
	2回	238	92	126	20	100.0%	38.7%	52.9%	8.4%
	3回以上	601	228	318	55	100.0%	37.9%	52.9%	9.2%
全 体	0回	2,698	1,116	1,358	224	100.0%	41.4%	50.3%	8.3%
	1回	840	355	426	59	100.0%	42.3%	50.7%	7.0%
	2回	588	244	294	50	100.0%	41.5%	50.0%	8.5%
	3回以上	1,520	634	775	111	100.0%	41.7%	51.0%	7.3%



まとめ・考察（Ⅳ）

A 特定健診の歯科質問項目と現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度の状況

歯科階層化判定別現在歯数

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど現在歯数が少なくなっていたが、0-4 歯の者の割合については動機づけ支援群が一番多かった。
- ・75 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より 0-4 歯の者の割合が多いという特徴が見られた。
- ・以上から、歯科階層化判定は、5 歯以上ある者については、現在歯数が少ないほど重度に判定されているが、0-4 歯の極端に歯の数が少ない者に関してはこれが当てはまらない。

歯科階層化判定別歯周病の程度

- ・全体の傾向として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど P3および無歯の程度が多くなっていた。
- ・年齢階級別にみると、40-65、65-74 歳では動機づけ支援群の方が情報提供群より重度歯周病の割合が少ないという特徴が見られ、75 歳以上と異なっていた。
- ・65 歳以上では動機づけ支援群の方が積極的支援群より無歯の者の割合が多いという特徴が見られ、この傾向は、65-74 歳より 75 歳以上でより強く認められた。
- ・以上から、65 歳以上の有歯者においては、歯周病が重度なほど歯科階層化判定が重度に判定されているが、無歯のものについては、これが当てはまらず、75 歳以上に無歯の者が多いことから、75 歳以上でも、歯科階層化判定と歯周病の程度についての関係が当てはまらなくなる可能性が示唆された。

歯科階層化判定別咬合の状態

- ・全体として歯科階層化判定で支援の程度が重い者ほど Oc1 の割合が少なくなり、Oc3～Oc6 の割合が多くなった。
- ・年齢階級別にみると、40-64 歳では Oc1 で最も割合が多いのは動機づけ支援群であった。65 歳以上は全体とほぼ同様の傾向であった。
- ・以上から、歯科階層化判定と咬合の状態に関連がある可能性が示唆された。

歯科階層化判定別歯科健診受診頻度

- ・各年齢階級においても全体においても、情報提供群の方が支援群よりも歯科健診受診頻度は明らかに高くなっており、歯科階層化判定と歯科健診受診頻度との間に相関があった。これは、階層化の最初のステップが定期受診の有無であることから当然の結果といえる。
- ・動機づけ支援群と積極的支援群の間では、わずかだが積極的支援群の方が動機づけ支援群よりも歯科健診受診頻度が少ない傾向にあった。

歯科質問項目1別現在歯数

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が現在歯数が少なく、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

歯科質問項目1別歯周病の程度

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が歯周病の程度が重度になり、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

歯科質問項目1別咬合の状態

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が咬合の状態が悪く、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。

歯科質問項目1別歯科健診受診頻度

- ・質問項目1に対して「いいえ」と答えたグループの方が歯科健診受診頻度が低く、どの年齢階級においても、同じ傾向であった。年齢階級別では、65・74 歳が最も歯科健診受診が多かった。

歯科質問項目 5×7別現在歯数

- ・全体では、「5-Y 7-Y」が最も現在歯数が多くなり、次に「5-Y 7-N」、更に「5-N 7-Y」の順に現在歯数が少なくなり「5-N 7-N」が最も現在歯数が少ない傾向にあった。

歯科質問項目 5×7別歯周病の程度

- ・全体では、「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」が歯周病の程度がやや軽度となり、「5-N 7-N」、「5-N 7-Y」が歯周病の程度がやや重度の傾向にあった。

歯科質問項目 5×7 別咬合の状態

- ・咬合の状態が良いのは「5-Y 7-Y」、「5-Y 7-N」、「5-N 7-Y」、「5-N 7-N」の順であった。

歯科質問項目 5×7別歯科健診受診頻度

- ・歯科健診受診頻度については、当然ながら、「7-Y」(プロフェッショナルケア群)の方が受診頻度が多くなっていた。
- ・また、プロケアの有無が同じ群の間では、「5-Y」(セルフケア群)の方が、歯科健診受診頻度が多くなっていた。

B 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・歯科健診受診頻度と特定健診の検査結果の状況

現在歯数とHbA1cの検査結果

- ・全体では、現在歯数と HbA1c の関連は認められなかった。HbA1c6.5%以上の割合は 20 歯以上が最も少なくなっていた。

歯周病の程度とHbA1cの検査結果

- ・全体では、歯周病の程度が重度になるほど、5.6%未満の割合が少なくなり、5.6%以上 6.5%未満の割合は多くなっていた。6.5%以上の割合は歯周病の程度の違いによる差は少なかった。

咬合の状態とHbA1cの検査結果

- ・全体では、どの咬合の状態においても HbA1c5.6%以上 6.5%未満が約 5 割、5.6%未満が約 4 割、6.5%以上が約 1 割となり、咬合の状態と HbA1c の関連は認められなかった。

歯科健診受診頻度とHbA1cの検査結果

- ・歯科健診受診頻度と HbA1c の関連は認められなかった。

V 訪問歯科診療受診者 調査・分析結果

平成 26 年 5 月に行われた訪問歯科診療受診者についても、通院歯科診療受診者と同様に現在歯数、歯周病の状態、咬合の状態を調査した。

A 平成26年5月訪問歯科診療受診者の属性

(1) 性別・年齢階級別の構成

対象となった訪問歯科診療受診者 873 人の性別・年齢階級別の構成は次のとおりである。

表 A-1-1 性別・年齢階級別人数・割合(訪問歯科診療)

年齢階級	男 性		女 性	
	人数	割合	人数	割合
40 歳 代	9	3.7%	9	1.4%
50 歳 代	18	7.4%	18	2.9%
60-64 歳	15	6.1%	13	2.1%
65-69 歳	18	7.4%	18	2.9%
70-74 歳	21	8.6%	36	5.7%
75-79 歳	33	13.5%	58	9.2%
80 歳 以上	130	53.3%	477	75.8%
合 計	244	100.0%	629	100.0%

(2) 訪問歯科診療対象者の現在歯数の状況

2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数

年齢階級別現在歯数について人数ならびに割合を表 A-2-1 および図 A-2-1 に示す。

40 歳代では 0-4 歯が 0%、20 歯以上が 88.9%であるのに対して、80 歳以上では 0-4 歯が 38.9%、20 歯以上が 21.1%と年齢が高くなるにつれて、現在歯数が減少していた。

訪問歯科診療受診者は、各年齢階級で通院歯科診療受診者に比べ、現在歯数が少なくなっていた。

表 A-2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数(訪問歯科診療)

年齢階級	0-4歯	5-9歯	10-14歯	15-19歯	20歯以上	総数
40 歳 代	0	1	0	1	16	18
50 歳 代	0	2	1	4	29	36
60-64 歳	3	4	8	4	9	28
65-69 歳	1	4	7	10	14	36
70-74 歳	5	6	6	10	30	57
75-79 歳	15	9	14	18	35	91
80 歳 以上	236	100	77	66	128	607
合 計	260	126	113	113	261	873
40 歳 代	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	88.9%	100.0%
50 歳 代	0.0%	5.6%	2.8%	11.1%	80.6%	100.0%
60-64 歳	10.7%	14.3%	28.6%	14.3%	32.1%	100.0%
65-69 歳	2.8%	11.1%	19.4%	27.8%	38.9%	100.0%
70-74 歳	8.8%	10.5%	10.5%	17.5%	52.6%	100.0%
75-79 歳	16.5%	9.9%	15.4%	19.8%	38.5%	100.0%
80 歳 以上	38.9%	16.5%	12.7%	10.9%	21.1%	100.0%
合 計	29.8%	14.4%	12.9%	12.9%	29.9%	100.0%

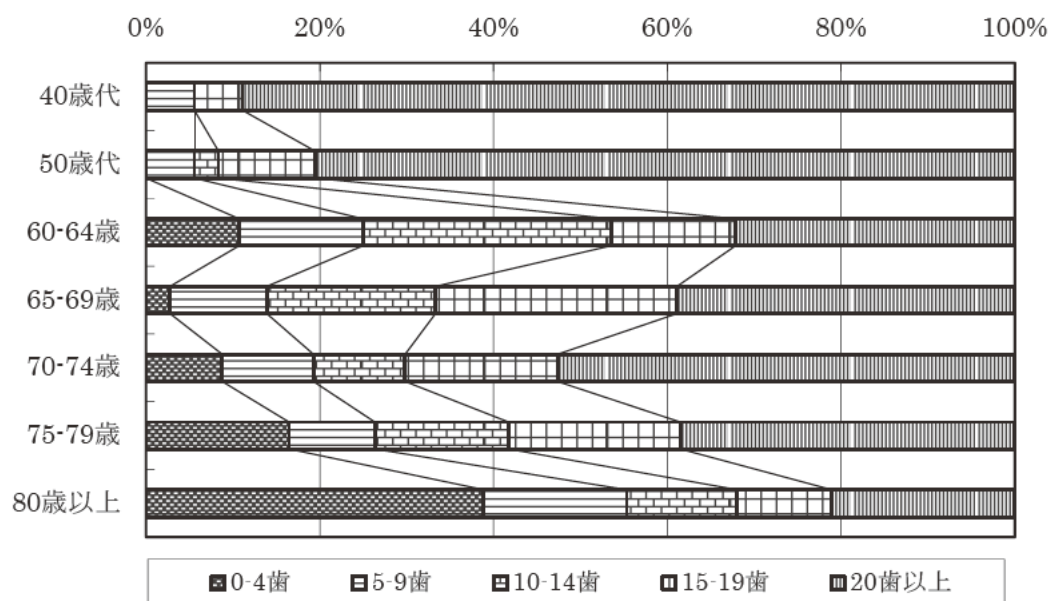


図 A-2-1 年齢階級別現在歯数階級別人数の割合(訪問歯科診療)

2-2 年齢階級別現在歯数状況

訪問歯科診療対象者のうち 80 歳以上(607 人)の平均現在歯数は 9.9 本で、通院歯科診療対象者の平均現在歯数 13.6 本に比べ 3.7 本少なかった。また、20 歯以上(8020 達成者)の割合は 21.1%で、通院歯科診療対象者の 33.0%に比べ 11.9 ポイント低かった。

表 A-2-2 年齢階級別現在歯数状況(訪問歯科診療)

年齢	人数	平均 現在歯数	最小値	最大値	人数		割合	
					0-19歯	20歯以上	0-19歯	20歯以上
40 歳 代	18	25.7	9	30	2	16	11.1%	88.9%
50 歳 代	36	23.0	8	30	7	29	19.4%	80.6%
60-64 歳	28	14.7	0	28	19	9	67.9%	32.1%
65-69 歳	36	17.3	0	30	22	14	61.1%	38.9%
70-74 歳	57	18.3	0	30	27	30	47.4%	52.6%
75-79 歳	91	15.4	0	32	56	35	61.5%	38.5%
80 歳 以上	607	9.9	0	30	479	128	78.9%	21.1%
合 計	873	12.3	0	32	612	261	70.1%	29.9%

(3) 訪問歯科診療対象者の歯周病の状況

3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数

年齢階級別歯周病の程度について人数ならびに割合を表 A-3-1 および図 A-3-1 に示す。

表 A-3-1 の下段には無歯を除いた者のうちの P- ～P3 の割合を示している。

訪問歯科診療受診者すべてに何らかの歯周病 (P1～P3) があつた。40 歳代では P1 (軽度) が 72.2%、P3 (重度) が 0.0%であるのに対して、80 歳以上では P1 が 29.2%、P3 が 12.4%と年齢が高くなるにつれて、歯周病の程度が重症になっていた。

表 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別人数(訪問歯科診療)

年齢階級	P-	P1	P2	P3	P1～P3(再掲)	無歯	総数
40 歳 代	0	13	5	0	18	0	18
50 歳 代	0	19	15	2	36	0	36
60・64 歳	0	7	15	5	27	1	28
65・69 歳	0	14	17	4	35	1	36
70・74 歳	0	16	36	4	56	1	57
75・79 歳	0	27	47	8	82	9	91
80 歳 以上	0	132	264	56	452	155	607
合 計	0	228	399	79	706	167	873
40 歳 代	0.0%	72.2%	27.8%	0.0%	100.0%		
50 歳 代	0.0%	52.8%	41.7%	5.6%	100.0%		
60・64 歳	0.0%	25.9%	55.6%	18.5%	100.0%		
65・69 歳	0.0%	40.0%	48.6%	11.4%	100.0%		
70・74 歳	0.0%	28.6%	64.3%	7.1%	100.0%		
75・79 歳	0.0%	32.9%	57.3%	9.8%	100.0%		
80 歳 以上	0.0%	29.2%	58.4%	12.4%	100.0%		
合 計	0.0%	32.3%	56.5%	11.2%	100.0%		

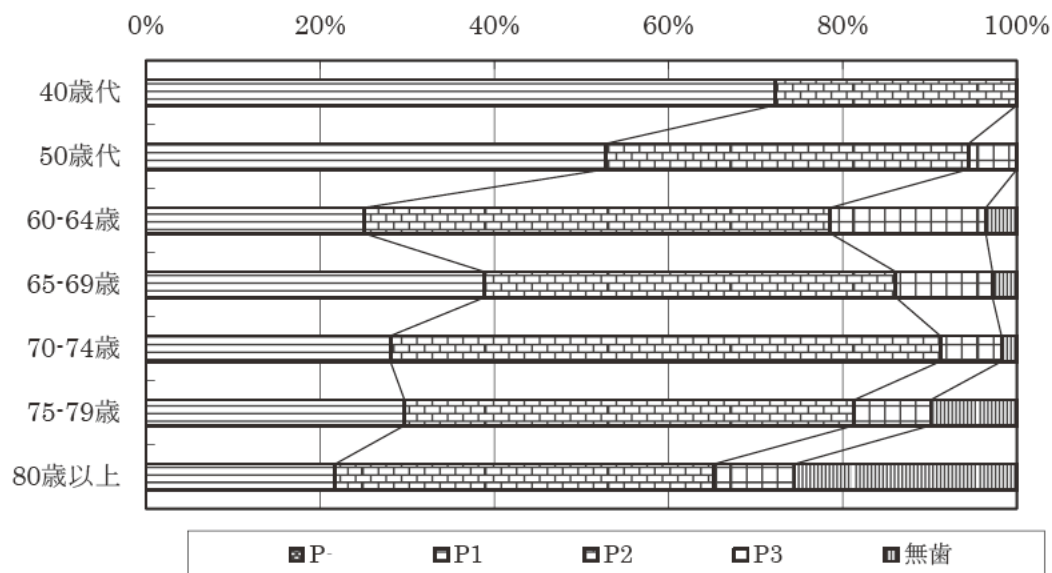


図 A-3-1 年齢階級別歯周病の程度別割合(訪問歯科診療)

(4) 訪問歯科診療対象者の咬合の状態

4-1 年齢階級別咬合の状態別人数

年齢階級別咬合の状態について人数ならびに割合を表 A-4-1 および図 A-4-1 に示す。

40 歳代では Oc1 が 88.9%、Oc3 が 5.6%、Oc6 が 0.0%であるのに対して、80 歳以上で Oc1 が 22.1%、Oc3 が 40.2%、Oc6 が 26.2%と年齢が高くなるにつれて、現在歯による臼歯部咬合が減少し、義歯による咬合や咬合なしが増加していた。

訪問歯科診療対象者の多くを占める 80 歳以上では、Oc1 は 22.1%で通院歯科診療対象者の 57.6%に比べ 35.5%少なく、Oc6 は 26.2%で、通院歯科診療対象者の 5.7%に比べ 20.5 ポイント多くなっていた。

表 A-4-1 年齢階級別咬合の状態別人数(訪問歯科診療)

年齢階級	Oc1	Oc2	Oc3	Oc4	Oc5	Oc6	総数
40 歳 代	16	1	1	0	0	0	18
50 歳 代	29	3	3	0	0	1	36
60-64 歳	12	5	9	1	0	0	27
65-69 歳	19	1	10	1	1	4	36
70-74 歳	30	2	14	6	0	4	56
75-79 歳	41	8	19	4	1	16	89
80 歳 以上	131	36	238	27	5	155	592
合 計	278	56	294	39	7	180	854
40 歳 代	88.9%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
50 歳 代	80.6%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	2.8%	100.0%
60-64 歳	44.4%	18.5%	33.3%	3.7%	0.0%	0.0%	100.0%
65-69 歳	52.8%	2.8%	27.8%	2.8%	2.8%	11.1%	100.0%
70-74 歳	53.6%	3.6%	25.0%	10.7%	0.0%	7.1%	100.0%
75-79 歳	46.1%	9.0%	21.3%	4.5%	1.1%	18.0%	100.0%
80 歳 以上	22.1%	6.1%	40.2%	4.6%	0.8%	26.2%	100.0%
合 計	32.6%	6.6%	34.4%	4.6%	0.8%	21.1%	100.0%

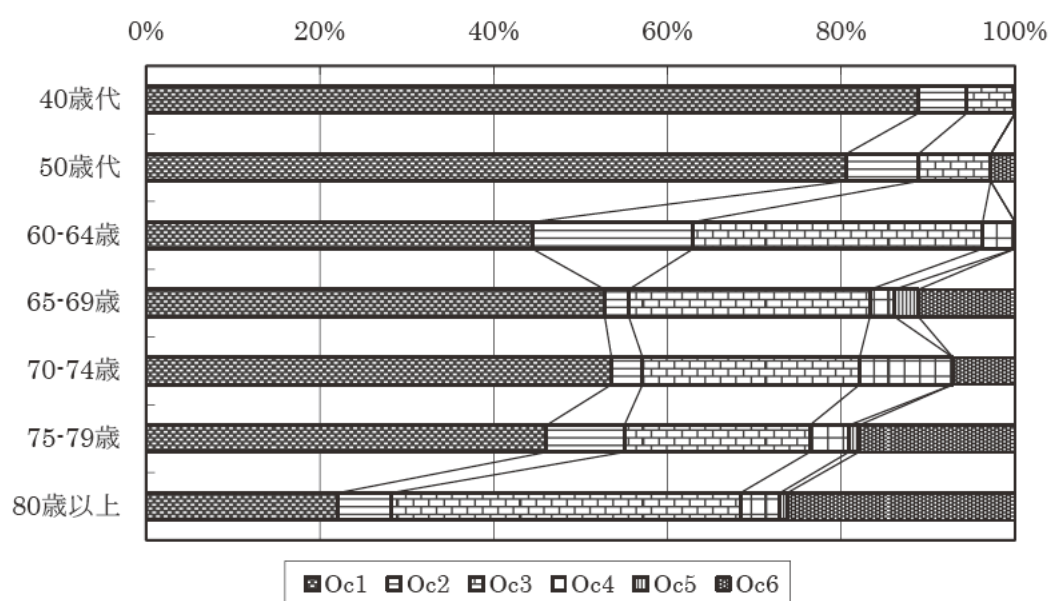


図 A-4-1 年齢階級別咬合の状態別割合(訪問歯科診療)

B 平成 26 年 5 月に訪問歯科診療を受診し、平成 25 年 5, 8, 11, 平成 26 年 2 月に受診した者の状況

1 分析対象者および分析方法

香川県国保連合会および香川県後期高齢者医療広域連合では毎年度 5, 8, 11, 2 月診療分のレセプトについて疾病分類を行っているので、この 4 か月分のレセプトを用いて以下の項目について分析を行った。分析に当たって、レセプトの個人コードを基に名寄せを行い、分析に使用した。レセプトは 4 か月分なので求めた諸数値を 3 倍して、受診者 1 人あたり 1 年間の諸数値を求めた。

診療日数や診療費の分布はほとんどの場合、正規分布しない。そのような分布において、平均値は飛び外れた高い値に影響を受けるので、集団の代表値として適さないこともある。そのような場合、中央値は代表値として有用である。そこで、今回の分析では、それぞれの平均値とともに中央値を求めた。グラフでは、平均値を棒グラフに、中央値を折れ線グラフで示した。

2 分析項目

(1) 医科(入院・外来含む)、歯科、調剤別

(2) 疾病 19 分類

疾病 19 分類に調剤を加えた 20 分類で分析した。

下表に 19 分類名および本報告書での表記について記した。

疾病 19 分類+調剤	本報告での表記	対象者(人)
調剤	0_調剤	640
感染症及び寄生虫症	1_感染症	53
新生物	2_新生物	39
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3_血液・免疫	11
内分泌、栄養及び代謝疾患	4_内分泌	80
精神及び行動の障害	5_精神	126
神経系の疾患	6_神経系	164
眼及び付属器の疾患	7_眼	78
耳及び乳様突起の疾患	8_耳	20
循環器系の疾患	9_循環器系	314
呼吸器系の疾患	10_呼吸器系	90
消化器系の疾患	11_消化器系	700
皮膚及び皮下組織の疾患	12_皮膚	103
筋骨格系及び結合組織の疾患	13_筋骨格系	99
尿路性器系の疾患	14_尿路性器系	44
妊娠、分娩及び産じょく	15_妊娠分娩	0
周産期に発生した病態	16_周産期	0
先天奇形、変形及び染色体異常	17_先天奇形	4
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	18_症状・徴候	83
損傷、中毒及びその他の外因の影響	19_損傷・中毒	157

なお、15_妊娠分娩、16_周産期は該当が 0 だったため分析から除外した。

3 分析結果

(1) 現在歯数・歯周病の程度・咬合の状態・口腔ケア施行頻度別医科、歯科、調剤別一人あたり日数・診療費の状況

現在歯数別日数(一人あたり1年間、日)

全体の平均日数は医科 77.2 日で、通院歯科診療対象者の 40.5 日に比べて 36.7 日多くなっていた。歯科は 17.9 日で、通院歯科診療の 14.0 日に比べて 3.9 日多くなっていた。また、調剤は 29.2 日で通院歯科診療の 17.4 日より 11.8 日多くなっていた。

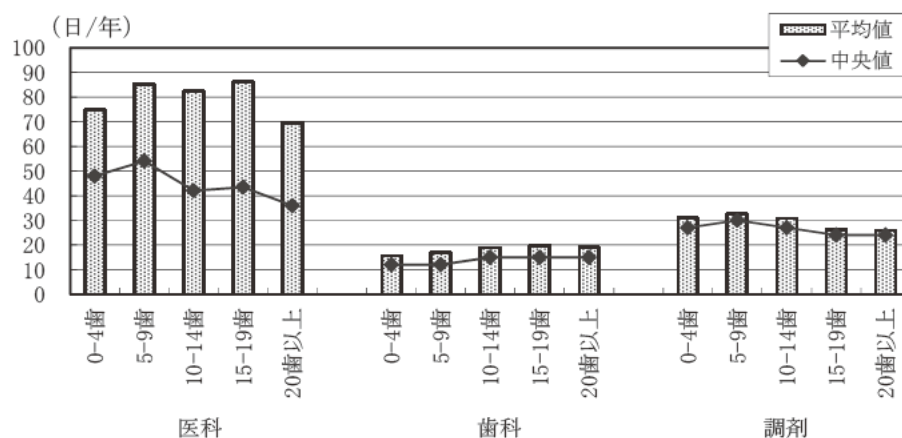
医科では 5-19 歯の平均日数が多く 0-4 歯と 20 歯以上はやや少なくなっていた。

歯科では 0-4 歯が 15.6 日で最も少なく、20 歯以上が 19.2 日と概ね現在歯数が多いほど日数が多くなっていた。

調剤では 0-4 歯はやや少なくなっていたが、5-9 歯が 32.6 日で最も多く、20 歯以上が 26.0 日と、現在歯数が多いほど日数が少なくなっていた。

19 歯以下と 20 歯以上では、医科と調剤では 19 歯以下のほうが多くなっていたが、歯科では 20 歯以上の方が多くなっていた。

現在歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	254	74.9	48.0	15.6	12.0	31.0	27.0
5 - 9 歯	123	85.4	54.0	16.8	12.0	32.6	30.0
10 - 14 歯	110	82.3	42.0	19.0	15.0	30.9	27.0
15 - 19 歯	112	86.2	43.5	19.9	15.0	26.4	24.0
19 歯以下 (A)	599	80.6	48.0	17.3	12.0	30.5	27.0
20 歯以上 (B)	256	69.6	36.0	19.2	15.0	26.0	24.0
全 体	855	77.2	45.0	17.9	12.0	29.2	27.0
比 較 (A)/(B)	234.0%	115.7%	133.3%	90.3%	80.0%	117.5%	112.5%

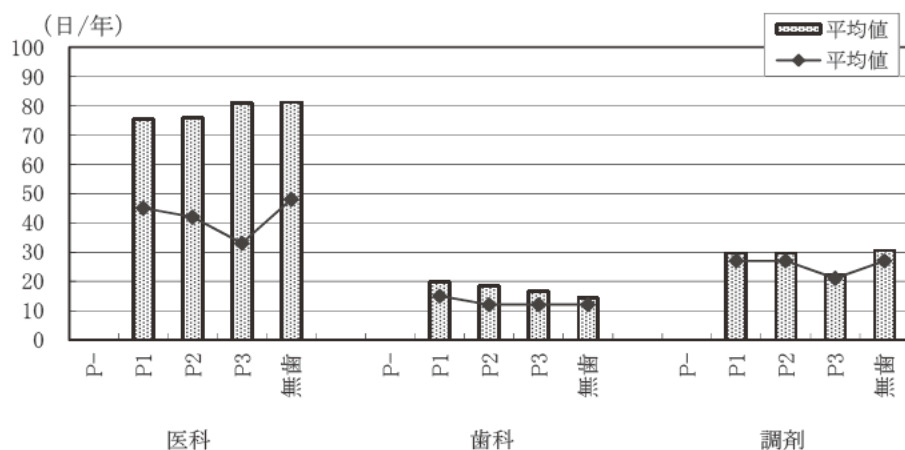


歯周病の程度別日数(一人あたり1年間、日)

医科ではP1の平均日数が75.5日、P2が75.9日、P3が81.0日と、歯周病の程度が重度になるほど日数が多くなっていたが、中央値で見ると逆に重度になるほど日数が少なくなっていた。歯科ではP1が平均19.8日、P2が18.4日、P3が16.6日と、重度ほど日数が少なくなっていた。

調剤ではP1とP2が平均29.8日で、P3が22.0日と、P3が少なくなっていた。

歯周病分類	人数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし(P-)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯周病有り(A)	P1	218	75.5	45.0	19.8	15.0	29.8
	P2	396	75.9	42.0	18.4	12.0	29.8
	P3	78	81.0	33.0	16.6	12.0	22.0
無 歯	692	76.3	42.0	18.6	15.0	28.9	24.0
全 体	163	81.1	48.0	14.3	12.0	30.5	27.0
比 較 (A)/(P-)	855	77.2	45.0	17.9	12.0	29.2	27.0



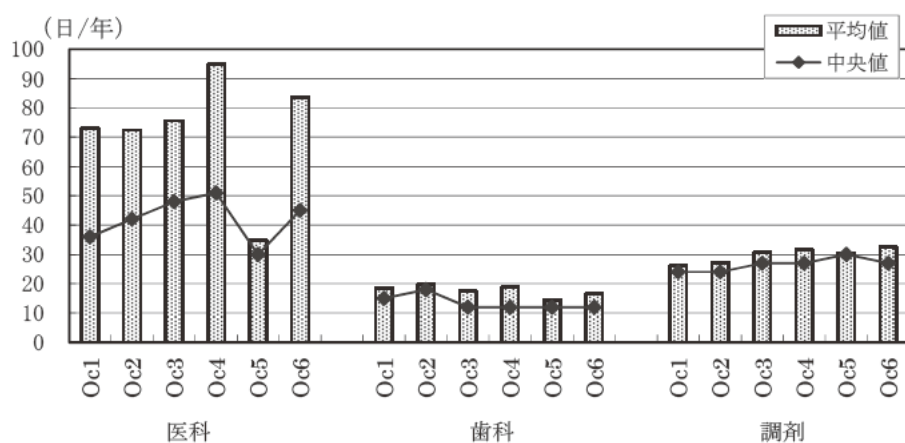
咬合の状態別日数(一人あたり1年間、日)

医科では Oc1 の平均日数が 73.1 日、Oc2 が 72.3 日、Oc3 が 75.6 日、Oc4 が 94.8 日と臼歯部咬合支持が少なくなるほど日数が多くなり、人数の少なかった Oc5 は 34.7 日とかなり少なかったが、Oc6 は 83.6 日と Oc4 に次いで多くなっていた。

歯科では Oc1 が平均 18.5 日、Oc2 が 19.9 日と多く、Oc5 が 14.5 日、Oc6 が 16.7 日と少なく、概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど日数が少なくなっていた。

調剤では Oc1 が平均 26.1 日、Oc2 が 27.2 日、Oc3 が 30.8 日、Oc4 が 31.6 日、Oc5 が 30.5 日、Oc6 が 32.6 日で、概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど日数が多くなっていた。

咬 合 状 態	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	272	73.1	36.0	18.5	15.0	26.1	24.0
Oc2	54	72.3	42.0	19.9	18.0	27.2	24.0
Oc3	288	75.6	48.0	17.6	12.0	30.8	27.0
Oc4	39	94.8	51.0	19.0	12.0	31.6	27.0
Oc5	7	34.7	30.0	14.5	12.0	30.5	30.0
Oc6	178	83.6	45.0	16.7	12.0	32.6	27.0
全 体	855	77.2	45.0	17.9	12.0	29.2	27.0



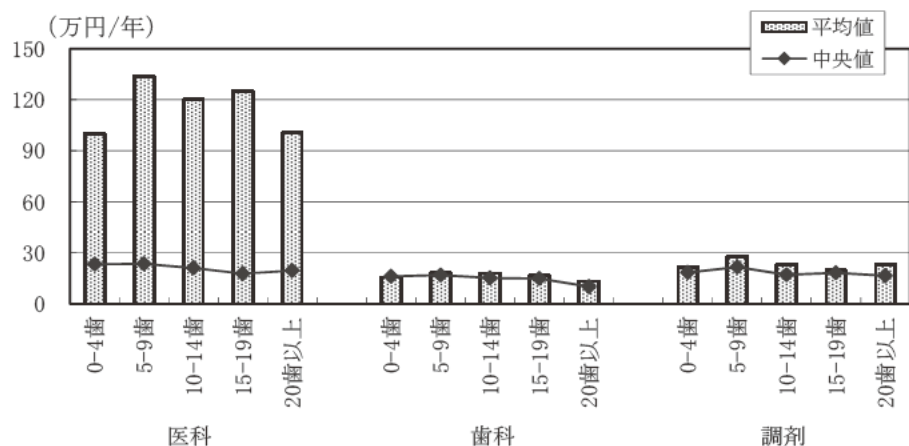
現在歯数別診療費(一人あたり1年間、円)

全体の平均診療費は医科約 111.0 万円で、通院歯科診療対象者の約 45.5 万円に比べて 65.5 万円高くなっていた。歯科は約 15.7 万円で、通院歯科診療の 9.2 万円に比べて 6.5 万円高くなっていた。また、調剤は 23.0 万円で通院歯科診療の 17.1 万円よりも 5.9 万円高くなっていた。医科では 5-19 歯の平均診療費が高く、0-4 歯と 20 歯以上はやや少なくなっていた。中央値では概ね現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

歯科では 0-4 歯はやや低くなっていたが、5-9 歯の平均診療費が約 18.2 万円で最も高く、そこから現在歯数が多くなるほど診療費が低くなっていた。

調剤でも 0-4 歯はやや低くなっていたが、5-9 歯の平均診療費が約 28.0 万円で最も高く、そこから現在歯数が多くなるほど診療費が低くなっていた。

現在歯数分類	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
0 - 4 歯	254	1,001,353	232,920	156,164	160,995	216,974	184,140
5 - 9 歯	123	1,339,965	234,570	181,780	168,450	280,381	214,950
10 - 14 歯	110	1,203,244	211,080	179,183	150,900	231,779	170,355
15 - 19 歯	112	1,252,234	177,645	168,172	148,275	198,690	181,965
19 歯以下 (A)	599	1,155,226	211,755	168,586	157,380	230,145	187,905
20 歯以上 (B)	256	1,007,206	194,175	131,749	100,395	229,324	163,620
全 体	855	1,110,338	207,810	157,477	145,440	229,902	180,465
比 較 (A)/(B)	234.0%	114.7%	109.1%	128.0%	156.8%	100.4%	114.8%



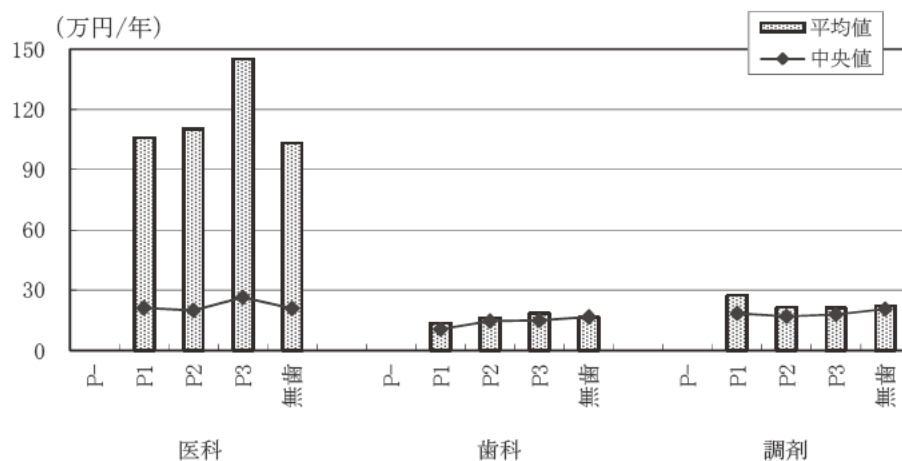
歯周病の程度別診療費（一人あたり1年間、円）

医科ではP1の平均診療費が約105.9万円、P2が約110.2万円、P3が145.1万円と、歯周病の程度が重度になるほど診療費が高くなっていた。

歯科でもP1の平均診療費が約13.4万円、P2が約16.2万円、P3が約18.5万円と、重度ほど診療費が高くなっていた。

調剤ではP1の平均診療費が約27.4万円、P2が約21.4万円、P3が約21.2万円と、逆に重度ほど低くなっていた。

歯周病分類	人数	医科		歯科		調剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
歯周病なし P-	0	0	0	0	0	0	0
P1	218	1,058,529	212,010	134,365	105,930	273,725	183,975
P2	396	1,102,489	199,260	161,923	146,295	214,187	169,200
P3	78	1,451,196	264,390	184,501	149,730	212,345	178,890
歯周病有り(A)	692	1,128,233	207,420	155,981	137,775	231,671	175,920
無歯	163	1,032,393	208,200	164,818	167,100	222,137	205,830
全体	855	1,110,338	207,810	157,477	145,440	229,902	180,465
比較 (A)/(P-)							



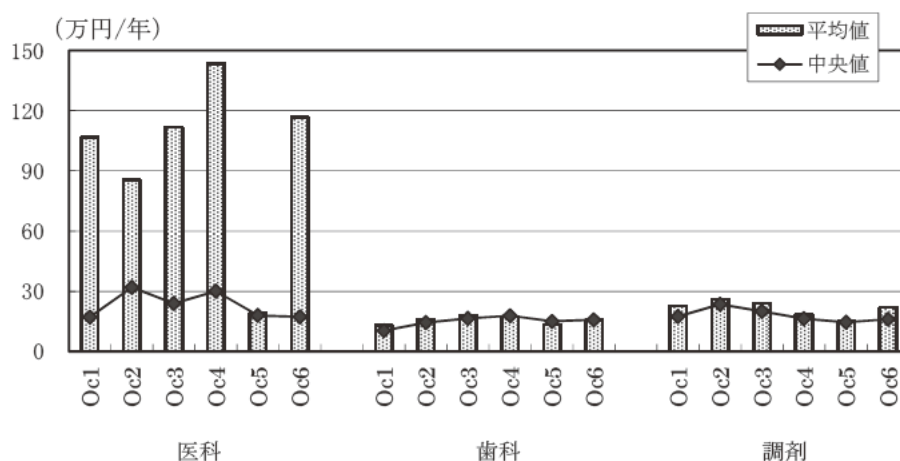
咬合の状態別診療費（一人あたり1年間、円）

医科では Oc1 の平均診療費が約 106.7 万円でやや高かったが、Oc2 が約 85.5 万円、Oc3 が約 111.5 万円、Oc4 が約 143.4 万円と臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなり、人数の少なかった Oc5 は約 19.3 万円とかなり少なかったが、Oc6 は 116.7 万円と Oc4 に次いで高くなっていた。

歯科では Oc3 が平均約 18.0 万円、Oc4 が約 17.3 万円と高く、Oc1 が約 13.2 万円で最も低くなっていた。

調剤では Oc1 が平均約 22.8 万円でやや低くなっていたが、Oc2 が約 26.1 万円で最も高く、Oc3 が約 24.0 万円、Oc4 が約 18.6 万円、Oc5 が約 15.0 万円と臼歯部咬合支持が少なくなるほど低くなり、Oc6 は約 22.0 万円でやや高くなっていた。

咬 合 状 態	人 数	医 科		歯 科		調 剤	
		平均値	中央値	平均値	中央値	平均値	中央値
Oc1	272	1,066,798	171,690	132,129	104,340	228,411	175,350
Oc2	54	855,454	319,470	160,401	144,480	261,336	235,335
Oc3	288	1,115,377	240,660	179,652	165,840	240,004	200,850
Oc4	39	1,434,011	301,320	173,197	179,565	186,198	164,160
Oc5	7	193,363	179,790	134,325	149,925	150,315	146,730
Oc6	178	1,167,079	173,910	157,484	158,400	220,158	161,505
全 体	855	1,110,338	207,810	157,477	145,440	229,902	180,465



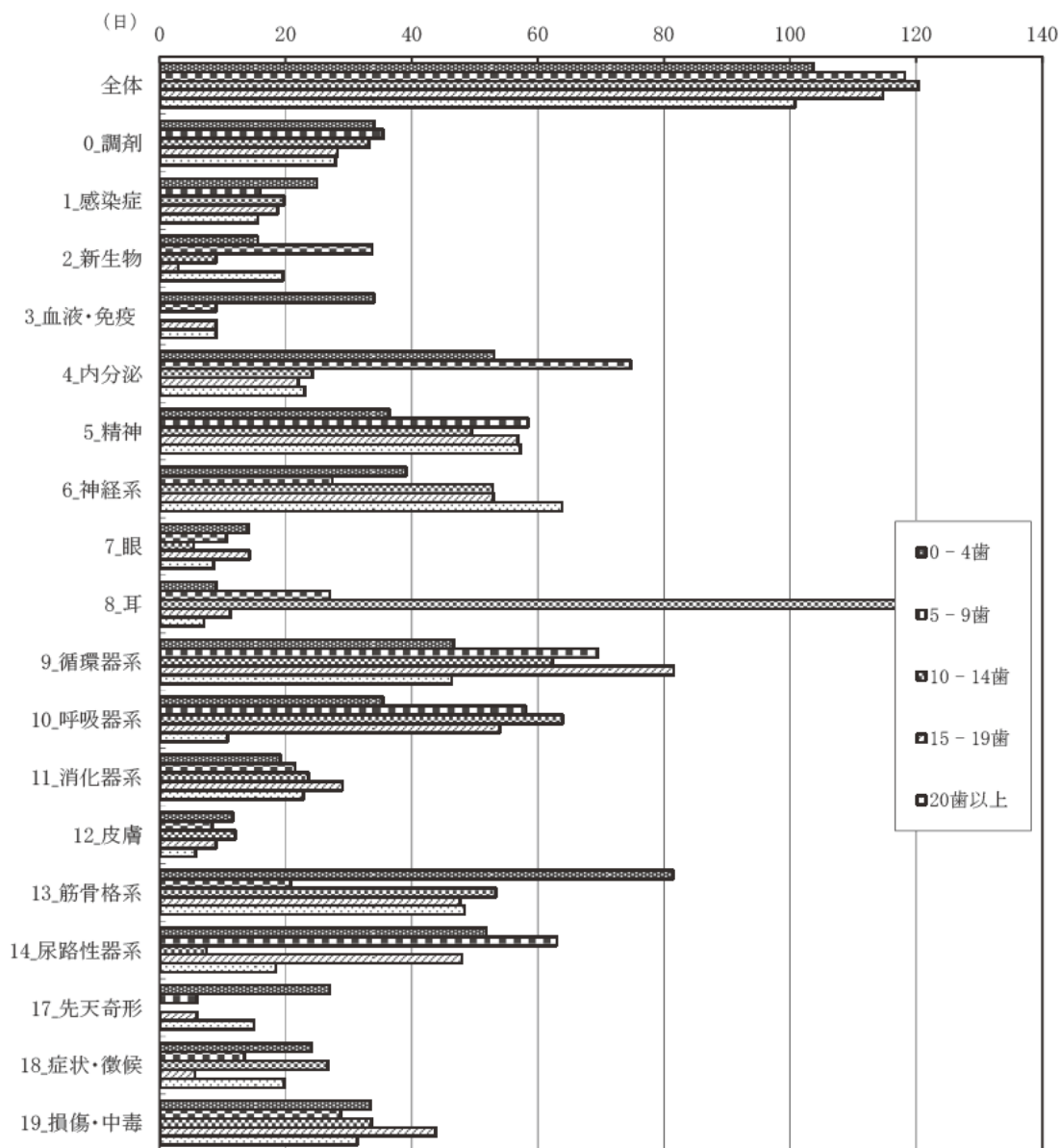
(2) 19 分類疾病別の分析

現在歯数別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、10-14 歯の診療日数が最も多く、そこから現在歯数が多くなるほど、また少なくなるほど少なくなっていた。疾病分類別では、調剤、感染症で概ね現在歯数が多いほど診療日数が少なくなる傾向が認められた。

現在歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0-4歯	103.7	34.1	25.0	15.5	34.0	53.1	36.5	39.1	14.1
5-9歯	118.2	35.5	16.0	33.8	9.0	74.8	58.4	27.5	10.6
10-14歯	120.4	33.2	19.8	9.0	0.0	24.3	49.5	52.9	5.4
15-19歯	114.8	28.2	18.8	3.0	9.0	22.0	56.8	53.0	14.3
20歯以上	100.8	28.0	15.6	19.6	9.0	23.1	57.2	63.9	8.6

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
9.0	46.7	35.4	19.1	11.6	81.4	51.9	27.0	24.1	33.5
27.0	69.5	58.1	21.5	8.4	20.8	63.0	6.0	13.4	28.7
123.0	62.3	63.9	23.6	12.0	53.3	7.5	0.0	26.6	33.6
11.3	81.5	54.0	29.0	9.0	47.7	48.0	6.0	5.7	43.8
7.0	46.3	10.9	22.8	5.7	48.3	18.4	15.0	19.8	31.3

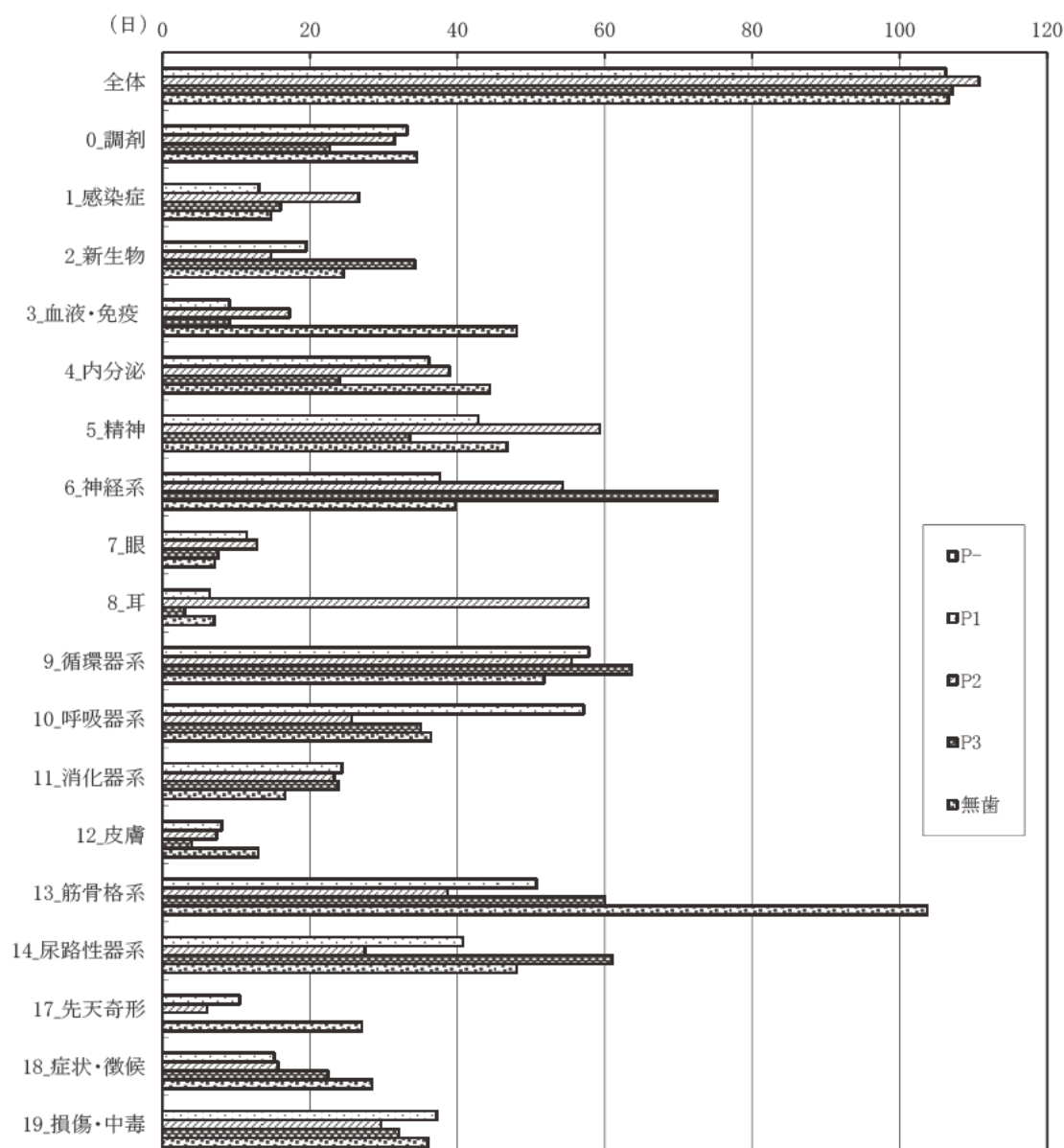


歯周病の程度別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、P2 が 110.8 日で最も多く、P3 が 107.1 日、P1 が 106.3 日とやや少なくなっていた。
 疾病分類別では、神経系、症状・徴候で歯周病の程度が重いほど診療日数が多くなる傾向が認められた。

歯周炎分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
P1	106.3	33.2	13.0	19.5	9.0	36.2	42.8	37.6	11.4
P2	110.8	31.5	26.6	14.7	17.3	38.9	59.3	54.3	12.8
P3	107.1	22.7	16.0	34.2	9.0	24.0	33.5	75.3	7.5
無歯	106.6	34.4	14.8	24.5	48.0	44.4	46.8	39.8	7.1

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6.4	57.8	57.1	24.3	8.1	50.8	40.7	10.5	15.2	37.2
57.8	55.5	25.6	23.3	7.3	38.6	27.5	6.0	15.6	29.6
3.0	63.7	35.0	23.8	4.0	60.0	61.0	0.0	22.5	32.1
7.0	51.7	36.4	16.6	13.0	103.8	48.0	27.0	28.4	36.0

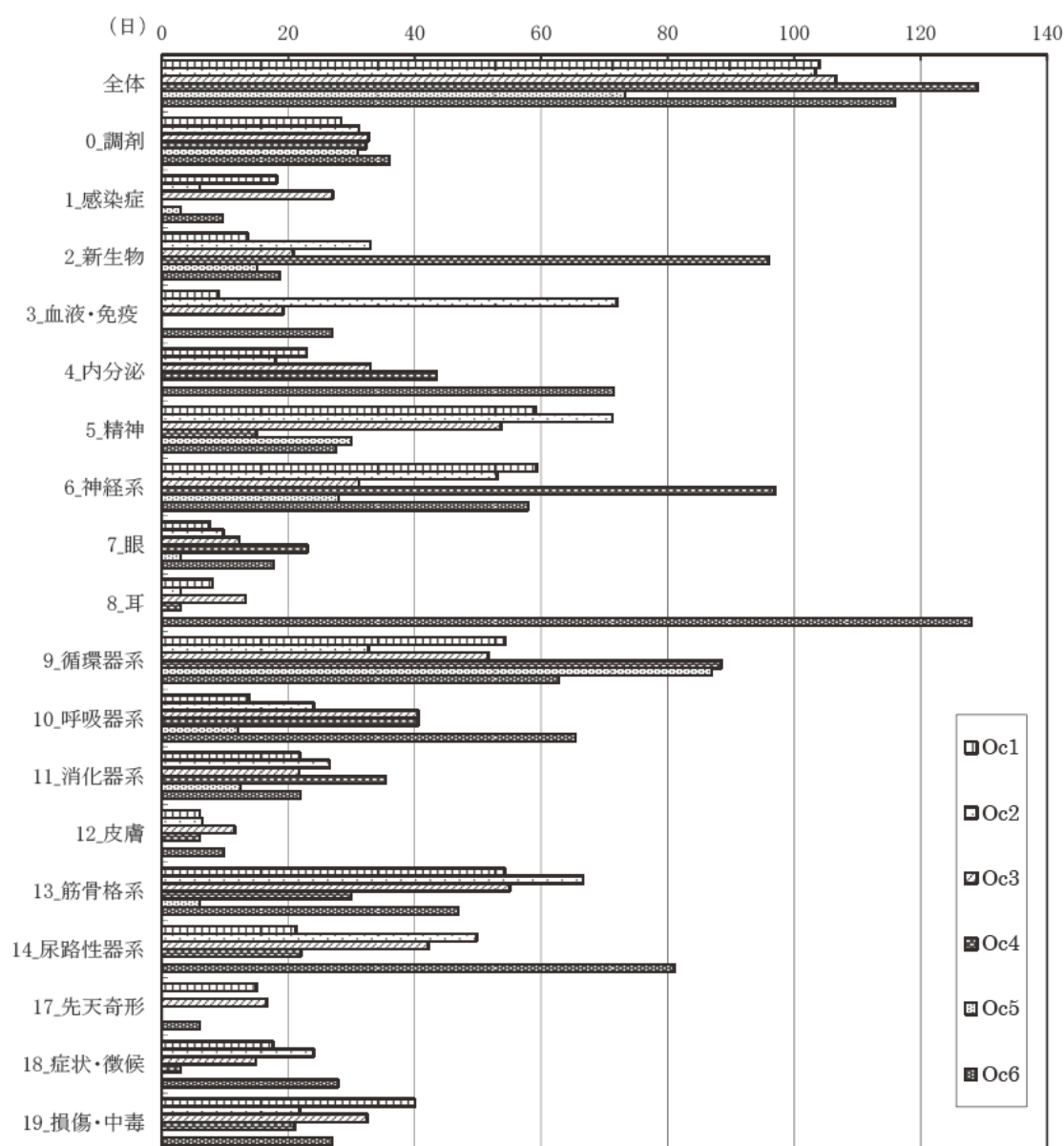


咬合の状態別19分類疾病別日数（一人あたり1年間平均、日）

全体では、Oc4が最も多く、対象人数が少ないOc5を除き、Oc1が少なくなっていた。疾病分類別では、調剤、内分泌、呼吸器系で概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が認められた。

咬合状態	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
Oc1	104.0	28.4	18.2	13.6	9.0	22.9	59.1	59.2	7.6
Oc2	103.3	31.1	6.0	33.0	72.0	18.0	71.3	53.0	9.8
Oc3	106.6	32.7	27.0	20.8	19.2	33.0	53.6	31.2	12.2
Oc4	129.0	32.3	0.0	96.0	0.0	43.5	15.0	97.0	23.0
Oc5	73.3	31.0	3.0	15.0	0.0	0.0	30.0	28.0	3.0
Oc6	115.9	36.0	9.7	18.8	27.0	71.5	27.5	57.9	17.6

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
8.0	54.2	13.8	21.9	6.0	54.2	21.2	15.0	17.5	40.0
3.0	32.6	24.0	26.5	6.4	66.7	49.8	0.0	24.0	21.8
13.3	51.6	40.5	21.7	11.5	55.0	42.2	16.5	14.9	32.5
3.0	88.5	40.5	35.4	6.0	30.0	22.0	0.0	3.0	21.0
0.0	87.0	12.0	12.4	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
128.0	62.8	65.4	22.0	9.8	46.9	81.0	6.0	27.9	27.0

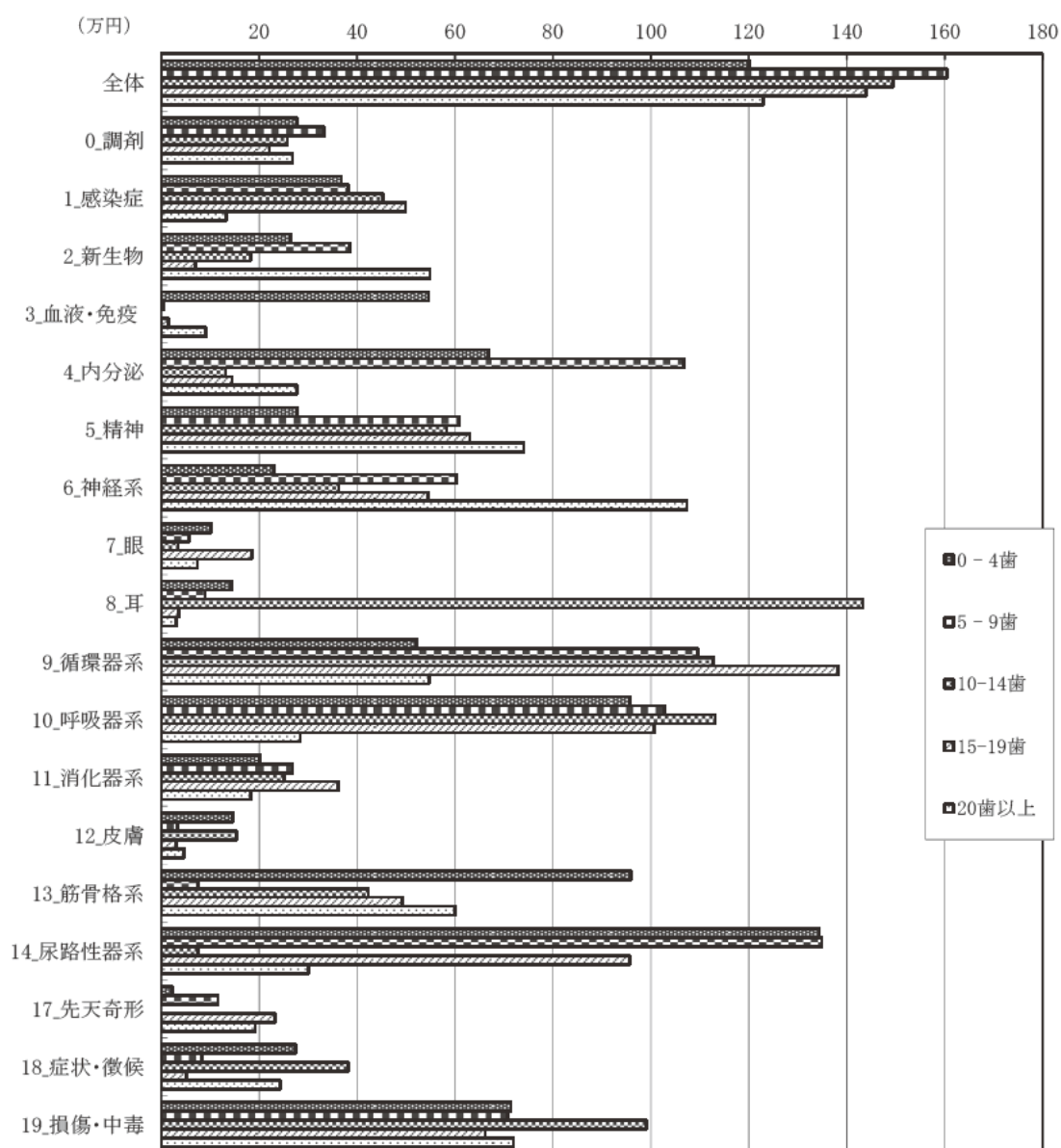


現在歯数別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間平均、円）

全体では、0-4 歯が最も低くなっていたが、5-9 歯が最も高くそこから現在歯数が多いほど診療費が低くなっていた。

現在歯数分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
0-4歯	1201520	277670	367220	264360	545920	667580	276770	229670	101620
5-9歯	1604240	333080	382080	383930	6300	1067790	608100	602950	57210
10-14歯	1495240	257330	453670	182370	0	131280	583470	362960	35150
15-19歯	1439300	221210	498310	69950	15900	145200	629890	544270	184770
20歯以上	1229640	268400	133390	548440	91630	276890	740150	1074280	73420

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
142980	521840	956870	201570	146540	958990	1343180	23100	274010	714650
89550	1095400	1028280	268190	33650	74710	1348790	115260	83470	706950
1432780	1127040	1131620	250430	153830	422730	74600	0	382300	991490
35710	1382220	1006180	361820	30030	492420	955890	232020	52430	661260
30890	546990	284670	182830	46650	600510	300590	192360	242900	719810

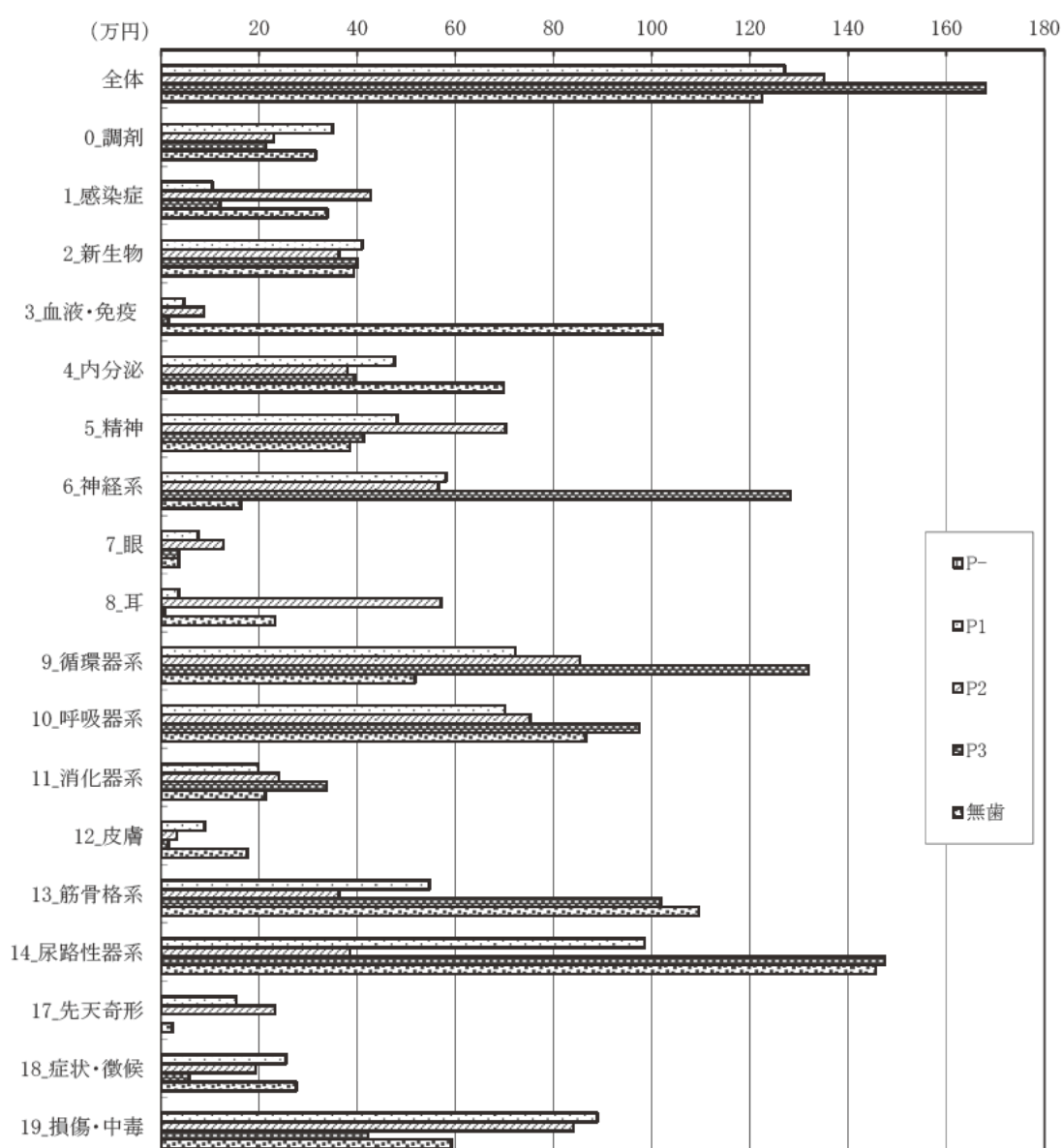


歯周病の程度別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、P1 が約 127 万円、P2 が約 135 万円、P3 が約 168 万円と歯周病の程度が重いほど診療費が高くなっていた。疾病分類別では、循環器系、呼吸器系で歯周病の程度が重いほど診療費が高くなっていた。

歯周病分類	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
P-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P1	1270580	349940	105070	409350	46090	476430	481320	581000	75430
P2	1351690	230130	427250	362930	87820	379550	702310	565300	127480
P3	1680350	214330	121090	399890	15900	395570	412970	1282560	36380
無歯	1224860	315020	338820	393360	1022380	699200	385610	162960	36270

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_尿路性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36780	721730	701390	198160	88750	547500	985480	153810	254970	888860
571640	854430	752040	240880	32480	363500	385320	232020	193480	841390
8100	1319220	974440	338070	16510	1018300	1474470	0	56860	422040
232830	517530	865670	213220	176170	1096590	1457120	23100	275680	591220

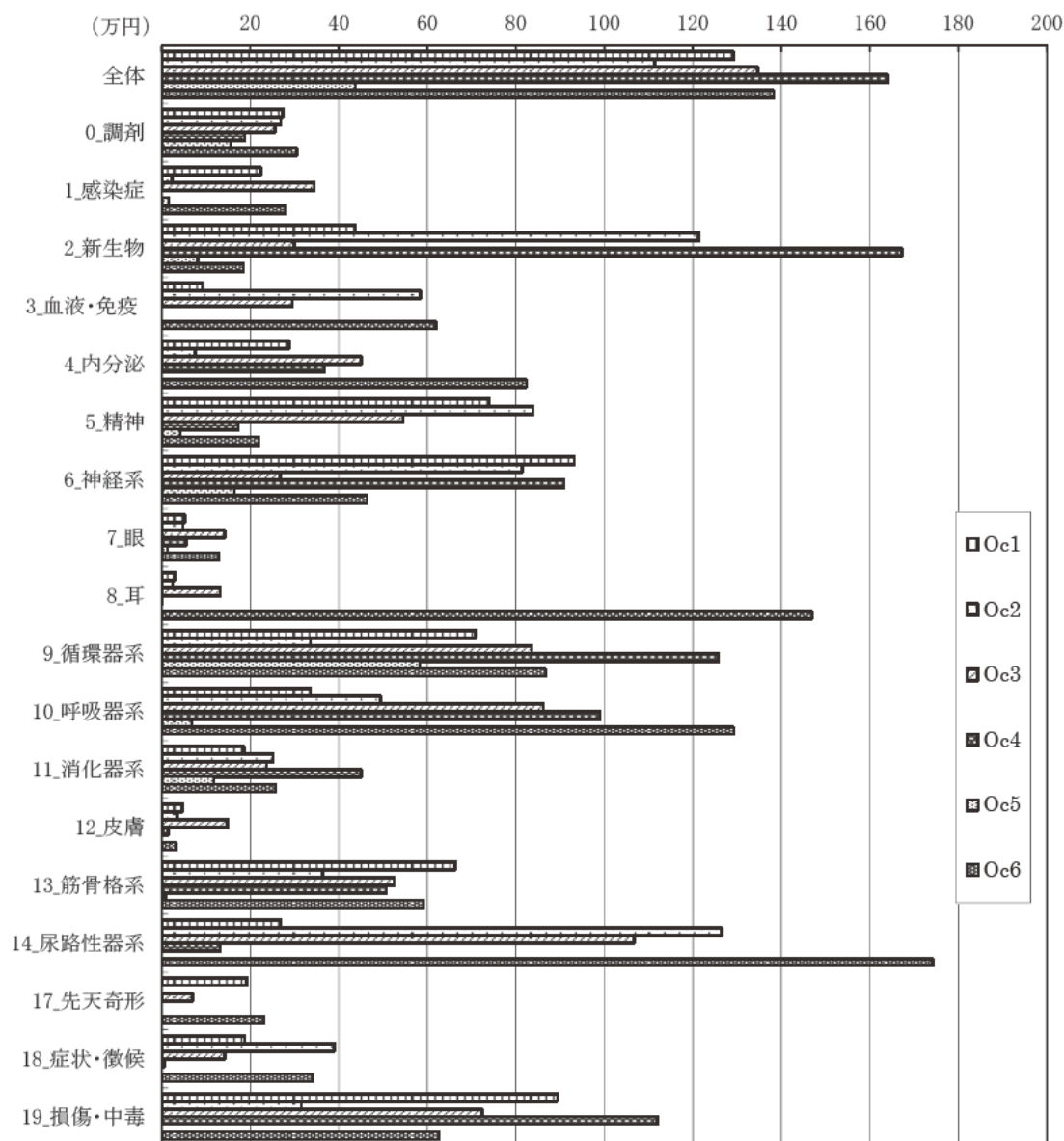


咬合の状態別19分類疾病別診療費（一人あたり1年間、円）

全体では、Oc4 が約 164 万円で最も高く、対象者が少ない Oc5 を除き、Oc2 が約111万円で最も低く、次に Oc1 が 129 万円で低くなっていた。疾病分類別では、呼吸器系で概ね臼歯部咬合支持が少なくなるほど診療費が高くなる傾向が認められた。

咬合状態	全体	0_調剤	1_感染症	2_新生物	3_血液・免疫	4_内分泌	5_精神	6_神経系	7_眼
Oc1	1291510	273680	223570	437250	91630	287090	740420	931540	52680
Oc2	1113170	268490	22620	1213530	584160	74830	839600	814600	48650
Oc3	1345980	255580	344540	298550	294990	451020	545700	267390	141900
Oc4	1641040	187220	0	1672020	0	367350	172730	909260	54460
Oc5	437340	154590	16140	81210	0	0	41310	164840	13470
Oc6	1382790	305300	280610	185790	619290	823650	220120	463460	129030

8_耳	9_循環器系	10_呼吸器系	11_消化器系	12_皮膚	13_筋骨格系	14_泌尿性器系	17_先天奇形	18_症状・徴候	19_損傷・中毒
29390	709880	335900	186020	46250	663560	268610	192360	187730	894120
23610	336600	493800	251580	34510	363450	1264610	0	389360	315390
132460	836620	862490	237130	148980	524820	1066880	69180	142110	724150
2100	1258570	989990	450240	13740	507460	131850	0	5070	1119300
0	582510	68970	118140	0	8700	0	0	0	0
1469010	867270	1291930	257800	31610	592520	1741920	232020	342170	627490



まとめ・考察（Ⅴ）

A 平成 26 年 5 月訪問歯科診療受診者の状況

現在歯数の状況

- ・平成 26 年 5 月に香川県下の歯科訪問診療を受診した調査対象者の現在歯数の状況をみると、80 歳以上の平均現在歯数は 9.9 本で通院歯科診療受診者の 13.6 本に比べ 3.7 本少なく、20 歯以上の歯を有する 8020 達成者の割合も、21.1%で通院歯科診療対象者の 33.0%に比べ 11.9 ポイント低くなっていた。また 79 歳以下の年齢階級でも平均現在歯数、20 歯以上の歯を有する者の割合とも、通院歯科診療対象者より低下していた。

歯周病の状況

- ・訪問歯科診療対象者の歯周病なしは 0 人であった。訪問歯科診療対象者は通院歯科診療対象者より 60-64 歳を除き全ての年齢階級で、P1 の割合が高く、P3 の割合が低くなっていた。

咬合の状況

- ・訪問歯科診療対象者の多くを占める 80 歳以上では、Oc1 は 22.1%で通院歯科診療対象者の 57.6%に比べ 35.5 ポイント少なく、Oc6 は 26.2%で、通院歯科診療対象者の 5.7%に比べ 20.5 ポイント多くなっていた。

B 平成 26 年 5 月に訪問歯科診療を受診し、平成 25 年 5, 8, 11, 平成 26 年 2 月に受診した者の状況

現在歯数と診療日数・診療費の関係

- ・現在歯数と診療日数・診療費との関係では、医科・調剤では、0-4 歯がやや低くなっていたが、概ね現在歯数が少ないほど、診療日数・診療費は増加していた。
- ・歯科では、診療日数は現在歯数が少ないほど少なくなっていたが、診療費は現在歯数が少ないほど高くなっていた。

歯周病の程度と診療日数・診療費の関係

- ・歯周病の程度と診療日数・診療費との関係では、P-の人数が 0 人であり、歯周病ありの中では、医科では、診療日数・診療費とも歯周病の程度が重度なほど高くなっていた。
- ・歯科では、診療日数は、歯周病の程度が重度なほど少なくなり、診療費は、歯周病の程度が重度なほど高くなっていた。
- ・調剤では、診療日数・診療費とも、歯周病の程度が重度なほど少なくなっていた。

咬合の状態と診療日数・診療費の関係

- ・咬合の状態と診療日数・診療費との関係では、医科、調剤では、診療日数は臼歯部咬合支持が少ないほど増加していたが、診療費は咬合の状態による特徴的な傾向は認められなかった。
- ・歯科では、診療日数は概ね臼歯部咬合支持が少ないほど少なくなっていたが、診療費は概ね臼歯部咬合支持が少ないほど高くなっていた。

19 分類疾病別の状況

- ・訪問歯科診療対象者の 19 分類疾病別の分析では、日数と診療費に共通した特徴的な傾向は特に認められなかった。

**平成 26 年度香川県 8020 運動推進特別事業
(香川県歯科医師会委託事業)**

**平成26年度
香川県
歯の健康と医療費に関する実態調査報告書**

平成27年3月発行

公益社団法人 香川県歯科医師会

会長 豊嶋 健治

〒760-0020 香川県高松市錦町2丁目8番38号

TEL: 087-851-4965 FAX: 087-822-4948

Eメール: jimu@kashi.or.jp HP: <http://www.kashi.or.jp>

